

たちばなキッカーズ



BANA

創立 50 周年
記念誌

たちばなキッカーズ 創立50周年記念誌

－「子供が主役」のたちばなサッカー五十年史－



たちばなキッカーズ コーチ紹介



顧問 曾田 弘治



相談役 永田 欣也



代表 穴戸 正人



監督 三木 健司

U-12 クラス



川村 亮介

徳永 佳則

ヘッドコーチ
三木 健司

浦川 隆文

福富 厚太

関谷 健

U-10 A クラス



竹内 周平

吉田 泰介

ヘッドコーチ
大谷 稔

山田 倫之

浦崎 鉄平

U-10 B クラス



河本 尚徳

吉武 誠吾

ヘッドコーチ
八瀬尾 大輔

荒井 信次

U-8 クラス



宮崎 達夫

ヘッドコーチ
菊田 淳

森戸 ゆかり

三枝 昌樹

たちばなイレブン

作詞： 笠松文雄ほか

作曲： 山室鉦一

1. むね に かがやく たち ばな マーク すべ
2. おおぞら ひびく この せいえん に ちか

てのー ちかー ら だ しー き っ て ファイ
らー いっぱい たたかう ゆうき

トだ シュートだ スピードだ

ぼくらたちばな たちばな イレブン

たちばなイレブン

作詞 笠松 文雄ほか

作曲 山室 鉦一

胸に輝く たちばな マーク

すべての力 出しきって

ファイトだ シュートだ スピードだ

ぼくら たちばな たちばなイレブン

大空ひびく この声援に

ちから一ぱい 闘う勇氣

ファイトだ シュートだ スピードだ

ぼくら たちばな たちばなイレブン

－ 目 次 －

祝辞	1
(一社)横浜サッカー協会 4種委員会 委員長 石井 和則	1
(一社)横浜サッカー協会 4種委員会 顧問 鈴木 恒夫	1
衆議院議員 財務副大臣 鈴木けいすけ	2
港北区サッカー協会顧問 横浜市議員 酒井 誠	2
港北区体育協会 会長 神奈川県議員 嶋村 公	3
港北区サッカー協会 会長 石川 和暎	3
駒林サッカークラブ 6代目代表 上田 康博	4
NPO 法人 あざみ野 FC 会長 村上 源也	5
横浜市立下田小学校 校長 宮本 仁志	5
横浜市立日吉台西中学校 校長 志村 誠一郎	6
横浜市立高田中学校 校長 福田 之男	6
下田町自治会 会長 高橋 定雄	7
サンヴァリエ日吉自治会 会長 黒田 喬治	7
下田レインボー 総監督 道広 国昭	8
たちばなキッカーズ役員より	10
50周年に寄せて たちばなキッカーズ創設者 顧問 曾田 弘治	10
たちばなキッカーズ創立50周年を祝して 相談役 永田 欣也	14
－50周年に思うこと－ たちばなキッカーズ代表 宍戸 正人	15
自由奔放 たちばなキッカーズ監督/U12 コーチ(ヘッド) 三木 健司	17
創立～29期を振り返って	20
たちばなと私 元SL コーチ 田辺 昭治	49
たちばな誕生＝メキシコオリンピック・そして思うこと たちばな1期 森田 葉子	50
祝！感謝！たちばなキッカーズクラブ創立50周年 明治フリーバーズ少年蹴球団 笠松 文雄	51
創立50周年に寄せて 第10期OB及びフリーコーチ 田島 泰彦	53

30 期～TKC のこれから世代	54
サッカーと私そして、たちばなキッカーズ コーチ OB 伊藤 直和	88
- たちばなキッカーズの魅力 - コーチ OB 小林 徹	89
子供達と一緒に成長できる環境づくり フリーコーチ 小川 誠	120
たちばなキッカーズ 50 周年おめでとうございます！ コーチ OB 小野 欽也	122
祝！50 周年！ フリーコーチ 河野 優	123
現役コーチから 50 周年に寄せて	140
たちばなキッカーズ これから世代の写真集	150
たちばな年間スケジュール	160
たちばな杯	161
楽しい夏期合宿	162
スポーツテスト記録	169
歴代コーチの変遷	176
クラブ規約の変遷	179
たちばなキッカーズ指導方針	184
主要大会の記録	190
－編集後記－	203

本文中に記載の L は現在の U12 に、LL は U10 に、SL は U8 に相当する

祝辞

たちばなキッカーズ創立50周年祝辞

(一社) 横浜サッカー協会

4種委員会 委員長 石井 和則



たちばなキッカーズ創立50周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和43年創立以来、創設者である曾田弘治氏の『子どもたちにサッカーを好きになってもらい、押さえつけることはせず、子どもたちが主役の、のびのびとしたサッカーができるように』という意思を受け継ぎ、10年先、20年先も子ども自身が本心でサッカーは楽しいと思えるような指導を理念として立派に活動を続けてこられました。

子どもたちの健全育成はもとより、地域におけるスポーツの振興においても多大なる貢献をされましたことは誠に顕著であり、その熱意と努力に深く敬意を表します。ここまでの50年間色々とお苦勞もあったかと思いますが、穴戸正人代表をはじめとした指導者の皆様の少年サッカーに対する情熱と、それを支えてこられた保護者の皆様の協力体制があったからこそこのような良き日を迎えられたことご推察申し上げます。

尚、貴チームは篠原つばめSC、山王谷SCと共に横浜少年サッカーの御三家として礎を築いてきたチームとして、今日まで横浜少年サッカーの普及・発展に貢献をされ、その功績は我々第4種委員会の誇りであり感謝の念に堪えません。ここを巣立った子どもたちが、将来の日本の担い手として地域社会に貢献できるような人材として健全に育ってほしいと切に願っております。

最後になりましたが、この創立50周年を機に横浜少年サッカーの先駆者として更に60年70年と益々ご活躍ご発展されますことを祈念申しあげ、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

50周年おめでとうございます

(一社) 横浜サッカー協会 4種委員会 顧問

(元衆議院議員、元文部科学大臣)

鈴木 恒夫

皆さんの誇り「たちばなキッカーズ」が創立50周年をお迎えになられましたことを心からお慶び申し上げます。それぞれ様々な思い出がよみがえり、また新たなファイトを燃やされていることでしょう。

中学・高校のころサッカーに夢中だった私は、社会人になってもあれこれとサッカーと付き合い、30年以上も前の頃でしょうか、その頃に住んでいた自宅近くの小学校のグラウンドで休日一人でボール蹴りをしていました。日吉の丘の上にある下田小学校のグラウンド。そこで私は曾田弘治代表の監督が指導に走り回っている姿を遠くから見っていました。

この半世紀の間に、どれほど多くの少年少女たちが尊い汗を流していただいたことでしょう。私にも胸にこみ上げてくるものがあります。

ご関係の皆さん、どうぞまた、新たな一歩を。本当におめでとうございます。



たちばなキッカーズ創立 50 周年に寄せて

衆議院議員 財務副大臣

鈴木 けいすけ

この度、たちばなキッカーズ創立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。これもひとえに指導者並びに関係者の皆様方の熱意とご尽力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

今日まで先輩方が築いてきた 50 年の歴史と伝統を誇りに日々練習に励んでいる子どもたちにとって、サッカーを通じて得る「仲間」や「先輩」は何物にも代えがたい宝物だと思います。スポーツの楽しさも厳しさもすべてと一緒に経験をすることで互いの絆を深め、思いやりや助け合いの精神を育み、また切磋琢磨しながら共に成長していくことが、これからこの国を支えていく子どもたちの将来にとって、非常に重要な礎となると信じております。



サッカーを通じて子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を伝えてこられた、この 50 年間の皆様方のご尽力に心より敬意を表しますとともに、私もスポーツに親しんできた一人として、微力ではありますが、今後も子どもたちがスポーツに打ち込める環境づくりに向け、全力で頑張っまいりますこととお誓いし、また、たちばなキッカーズの益々のご発展と皆様方のさらなるご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 50 周年おめでとうございます

港北区サッカー協会顧問

横浜市議員

酒井 誠

たちばなキッカーズ創立 50 年おめでとうございます。

横浜の少年サッカーの原点とも言える貴クラブが早くも 50 年を迎える事に驚きさえも感じるころです。私もこの年代で地元日吉で幼少期を過ごす中で下田小学校のたちばなキッカーズという名前は有名であり今は引退をしましたが池畑先生が鬼のような形相で熱く子供達を指導していたのを、今でも覚えています。

それから年月が経ち自分の子供がサッカーを始め、弟分である駒林サッカークラブで長い間サッカーに関わらせて頂いていますが、常にたちばなキッカーズの背中を追い続けながら楽しく関わらせて頂いたことも改めて感謝をさせていただきます。さて近年の青少年育成も時代とともに変わりつつあります、クラブ運営、あるいは指導方法等、地域との繋がりも大事な部分だと思います。これからは横浜の少年サッカーを牽引して頂き、次の 100 年を目指し益々のご活躍を祈念しお祝いの一言とさせていただきます。50 周年おめでとうございます。



祝 ・ 創立50周年

港北区体育協会 会長
神奈川県議員
嶋村 公



たちばなキッカーズ50周年おめでとうございます。

歴史あるチームを大切に育ててきた監督、コーチの皆さん、各年代の選手にとって周年行事を通じて思い出となる試合やプレーそして仲間を振り返るとても良い行事だと思います。サッカーを通じて、良い仲間との出会い、家族の絆が深まる思い出がたくさん宝物のようにあふれ出ることでしょう。

“たちばなイレブン”という唄があることを知りました、「すべての力を出し切って」という歌詞は、きっとチームに受け継がれているのでしょね・・・

今年（2018年）は、ワールドカップの年で、フランスが20年ぶりに優勝しました、日本もベスト16でしたが、ベルギー戦は日本チームが改めて高い評価をされた試合でした、まさに、すべての力を出し切った試合だったと思います。

伝統あるチームには、必ずチームの心が受け継がれています、勝っても負けてもお互いにたたえ合い次のステップに進む精神をこれからもチームの力としてください。

これからも地元チームとして、数々の歴史を作る試合や仲間を増やして頂きたいと思います。

たちばなキッカーズ創立50周年に寄せて

港北区サッカー協会
会長 石川 和暎

この度は、たちばなキッカーズが記念すべき50周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

長いあいだ地域に根ざした活動をされてこられた役員や関係者の方々に敬意を表します。

2002年のサッカーワールドカップを成功させようと、港北区では数年に渡り多くのイベントを開催しました。その際、たちばなキッカーズの皆様には心強い協力をいただいたことをあらためて感謝申し上げます。また横浜市区選抜サッカー大会では、たちばなキッカーズの選手の活躍はすばらしいものでした。50周年を機に、たちばなキッカーズの更なる発展と栄光ある未来に向かい前進されることを祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



たちばなキッカーズ 創立 50 周年に添えて
『たちばなアレコレ、知ってましたかぁ～？』

駒林サッカークラブ

6 代目代表 上田 康博



たちばなキッカーズ様、創立 50 周年、誠におめでとうございます。

先ずは、クラブを創部されました曾田監督をはじめ、50 年を支えてこられました創部以来のクラブ関係者の皆様にご心より敬意を表したく存じます。

語り出したら“たちばなキッカーズ”さんの永くて、太くて、熱いエピソードの数々は留まることを知りません。

先ずは、横浜市で最初に生まれた少年サッカーチームが“たちばな KC”“篠原つばめ SC”“山王谷 SC”のたった 3 チームだったのをご存じでしたか。あれから 50 年、現在の横浜市に登録しているチーム数は、女子チームを含めると 180 チームを超えています。驚き～い！

斯く言う私ども“駒林サッカークラブ”も古いチームではありますが、元はと言えば“たちばな KC”の系譜を受けたクラブであり、“たちばな KC”創部 5 年後に拠点であった下田小の分校として駒林小ができた際に、“たちばな KC”でコーチをしていた池畑先生が駒林小に移って、“たちばな KC”の一部のメンバーを引き連れて誕生したのが“駒林 SC”でした。さらにその 5 年後、“たちばな KC”に居られた村上源也さんが、お子さんと共にあざみ野に引っ越されて、山内小を拠点に生まれたのが“あざみ野フットボールクラブ”であります。“たちばな KC”を親として、長男の“駒林サッカークラブ”、次男の“あざみ野フットボールクラブ”であることをご存じでしたでしょうか？ 初耳～い！

さらに、昭和 49 年にサッカーの神様：ペレが少年サッカーの指導をしに来日した際、その指導を受けたチームがなんと“たちばな KC”あのペレから神の指導を受けたのだそうです。さらには、あのセルジオ越後さんも選手時代に下田小へサッカーを教えに来ていたそう。羨まし～い！

そしてあれから 50 年、数々の栄光の歴史を積み重ね、数々の伝説の熱戦を繰り広げ、数々の優秀な選手を輩出し、数々の優秀な指導者を育て、数々の家族の幸せを創り出し、数々の地域の自慢を築き上げ、数々の感動を与え、いつも子供達を輝かせ続けている。

まだまだ現在進行形…、横浜の少年サッカー界を見守るオレンジ軍団の歴史は終わらない。

あの たちばなの唄「たちばなイレブン」を高らかに歌いながら、これからも皆で歩み続けてくださ～い。

祝 創立五十周年

NPO 法人 あざみ野 FC

会長 村上 源也

此の間、セルジオ越後さんと久しぶりに会ったとき、彼が「たちばな KC」と初めて会ったときのことを懐かしそうに話していました。それは「たちばな KC」が、初めて夏の合宿を富士緑の休暇村で行ったときのことでした。宿に着いて、セルジオさんが選手達の待つグラウンドに出て行ったとき、いきなり選手の一人が「何だ日本人と同じ顔じゃないか」といったのです。此の後、私も注意して見ていたのですが、その選手はその後、喰い入るようにセルジオさんのサッカー教室に見入り、その皆んなが作った輪の外に出て一人でセルジオさんの技の真似を始めたのです。「あれには感動しましたよ。あまり経験したことがなかったから」とセルジオさんは話していました。



このとき私が思ったことは「人にものを教えるには、言葉だけではなく、見せることが一番必要だ」と云うことでした。それ以来、私は我がチームの練習や試合には、なるべく多くの先輩やゲストに参加してもらうようお願いしています。

Jリーグの誕生などもあって、今や日本のサッカーも国際級の評価を受ける時代になりました。創立から五十年もの歴史を積んだ「たちばな KC」の、今後より一層の御活躍を祈りますとともに、創始者である曾田弘治さんの末永い御健康を心から祈って居ります。

たちばなキッカーズ創立 50 周年に寄せて

横浜市立下田小学校

校長 宮本 仁志

たちばなキッカーズの 50 周年おめでとうございます。一言で 50 年と言ってもそれは長い年月で、その間このサッカーチームを支えていくことは、大変なご苦労があったことと思います。改めて、50 年という長い間、支えてくださった多くの皆様に感謝申し上げます。

今年は、2018 ワールドカップロシア大会が行われ、日本代表チームを活躍し、サッカーは大いに盛り上がりました。私も、教師になった年に仲間誘われてサッカーを始めました。もともと、サッカーは好きでしたが、スパイクを買い、みんなとおそろいのユニフォームを着て試合に出るなどということは初めてでした。週 1 回土曜日（そのころは、土曜日も午前授業があったので）の午後に集まって、練習や試合をしてきました。私は、ディフェンスハーフ、サイドバック、ゴールキーパーとポジションは様々でしたが、仲間と声を掛け合いながら、チーム全体でゴールを守るという経験は、仲間づくりや仕事をしていくうえで大変役に立ちました。サッカーは団体競技でもありますから、みんなで努力し、みんなで考え、みんなで励まし合い、みんなで解決していくということが必要になります。また、試合には、勝ち負けが出てきます。その勝負の厳しさと勝敗を受け入れる姿勢も学ぶことが出来ると思います。これらの経験は、子どもたちのこれからの人生を豊かにしてくれることと思います。

キッカーズには、下田小学校の多くの児童が参加させていただいています。これからもずっと下田小学校のグラウンドで、たちばなキッカーズの子どもたちが元気よくボールを追いかける姿が見られることを楽しみにしています。

50 周年誠におめでとうございます。

創立 50 周年おめでとうございます

横浜市立日吉台西中学校

校長 志村 誠一郎

たちばなキッカーズ創立 50 周年おめでとうございます。

本校でも、昨年度 40 周年を記念して様々な行事を進めてまいりました。それよりも長い 50 年という歴史を積み重ねてこられ、長期にわたりサッカーを通して多くの子どもたちを育ててきていただいたことにとても感謝しております。

横浜市では、横浜型小中一貫教育を進めています。本学区では、下田小学校、駒林小学校、そして本校の 3 校で「横浜型小中一貫教育日吉台西中学校ブロック」として足並みをそろえ連携して、9 年間でこの地域の子どもたちの育成を図っております。地域の中で、このように長い伝統に支えられたサッカーチームの存在は、何よりも心強いものと感じています。

「サッカーに限らずスポーツや集団での活動は、勝ったり強くなったりすればよいものではなく、ルールやマナーをしっかりと守り、集団の一員としての責任をもち、健康な体と心を創ることが大切です。本校サッカー部も、私が着任してからの 5 年間で、県大会に出場するなど、地道な努力を重ねて力をつけてきました。たちばなキッカーズ出身の子どもたちが多く入部し、そして中心メンバーとしてチームを引っ張ってきていると聞いています。

「このような伝統のあるたちばなキッカーズが、これからもますます発展し、この地域の子どもたちがたくましく育つ原動力となってくれることを祈念しております。



創立 50 周年に寄せて

横浜市立高田中学校

校長 福田 之男

『たちばなキッカーズ』様の創立 50 周年、誠におめでとうございます。

心よりお祝い申し上げます。チーム結成から 50 年という長い年月、サッカーを通じて子どもたちの健全な育成のため、熱心に指導され、力を尽くしてこられました監督・コーチの皆様をはじめ、保護者の皆様のご努力、ご支援に深く敬意を表します。サッカーをはじめとする様々なスポーツは健康の保持増進、体力の向上はもとより、達成感・連帯感といった精神的な充足感をもたらし、心身両面にわたる健全な発達に重要な役割を果たすものと考えます。『人生 100 年時代がやってくるにあたり、人が生きがいを持って豊かに生きていくためにも、家庭や地域の方々のご指導のもとで子どもの頃からスポーツに親しむことの素晴らしさを強く感じます。

子どもたちが今後も多くの指導者や仲間、そして家族との絆を深めつつ、互いに高め合い充足した活動を行えるよう願いますとともに、『たちばなキッカーズ』様の更なるご繁栄・ご発展を祈念しております。

祝辞

下田町自治会
会長 高橋 定雄

このたび、たちばなキッカーズが創立 50 周年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

たちばなキッカーズは 1968 年サッカーを通じて「子供が主役」を目的に、ここ下田の地 思い出ある円形校舎がありました小学校で創立以来、リーダーを中心に英知と献身的なご努力を重ね、幾多の試練を克服してこられた苦労は並大抵ではなかったと推察致します。発足当時からご努力されて来られた方々に対し衷心より敬意を表する次第です。

当時はサッカーに対する理解度は現在とは雲泥の差があると思います。更に 1968 年にメキシコオリンピックで釜本選手の活躍で銅メダルを獲得したこともサッカー熱を加速させて、プロ組織化へと大きく前進する要因となり、日本のサッカーは大きく成長されてきました。

このような時代の進展の中であって、たちばなキッカーズは先輩各位の熱意と伝統を築き、子供たちに大きな夢と希望を与えて来られた 50 年の歴史は人生と共に重要な節目です。

結びに、たちばなキッカーズのサッカーに対する情熱を脈々と継続されてこられた 50 年を祝し、今後益々のご発展とご活躍を祈念しお祝いの言葉といたします。



たちばなキッカーズ創立 50 周年に寄せて

サンヴァリエ日吉自治会
会長 黒田 喬治

この度は、クラブ創立 50 周年記念、誠におめでとうございます。半世紀に渡りクラブを維持してきた事は、歴代の関係者の皆様に心から敬意を表します。

過去を鑑みますと、下田地区で初めての子供を対象にしたスポーツクラブを立ち上げ、下田小学校がホームグラウンドであることから下田小学校の校章であるたちばなの花の名をクラブ名に命名。現在では多くの方達に知られ愛されるクラブに成長しております。

私は 1963 年から下田住宅に居住しておりサッカークラブ設立当時の噂は耳にしておりましたが全く関心なく過ごしておりました。その訳は私の学生時代ラグビー一筋、息子は少年ソフトの道に進み親子共々ご縁がございませんでした。そのためサッカークラブについての思い出やエピソードを語ることは出来ませんが私の友人が一時コーチをしていたことからクラブのレベルや勝率等の情報を入手、結果を聞く度に一喜一憂した記憶があります。ある時は、下田小学校で大会が開催され遠くからたちばなの選手の動きを眺め必勝のエールを送っていました。

私のクラブに対する願いは、過去に二名プロに進んだ方はいますがここ数年選出されていません。たちばなサッカークラブの選手経験者から日本を代表する選手が選出されることです。これはたちばなサッカークラブの知名度アップに繋がると 생각합니다。夢のまた夢に終わる事なく正夢になる事を信じております。

最後に、今までご指導ご協力を頂いた関係者の皆様には心から感謝いたします。今後も子供達の健全育成のため、更なるご尽力を賜りますようお願い致します。指導者の皆様の方々の益々のご活躍を祈念して私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

お祝いの言葉

下田レインボー
総監督 道広 国昭

創立 50 周年 誠におめでとうございます。

半世紀ですよ、半世紀。すごい事ですね。「サッカー」と「野球」というジャンルの違いがあるとは言え、同じスポーツでのボランティアに携わる者として、「指導者の皆様」に敬意を表したいと思います。

指導を受けられた子供達は、中、高、大学、社会人として、立派に成長された事でしょう。そういう人達もこの 50 周年を心から祝っていると思います。

ボランティア活動を継続するには、指導者の熱意と、子供達は勿論、保護者、地域の人々との一体感が必要です。お互い指導者の立場として、今後も「下田の子供達」を「時に厳しく」「時にやさしく」見つめて行きたいと思います。

とは言うものの、この少子化の時代、又スポーツ多様化の時代ゆえ今後の長期継続は大変困難を極めると思います。しかし名門の「たちばなキッカーズ」の皆様なら、この先 100 周年も夢ではないと思います。100 周年を目指して（先ずは 60 周年を目指す）頑張ってくださいものです。我々の「はげみ」になります。

今後のますますの御活躍と御発展を祈っております。



2017 年度 第 49 期お別れ会 全体写真

たちばなキッカーズ役員より

50 周年に寄せて

たちばなキッカーズ創設者 顧問
曾田 弘治

当時、日本住宅公団に勤務しており、日吉団地に赴任しました。下田小学校を見下ろす住まいからボールを蹴る音に誘われ校庭へ。中山先生、池畑先生のご支援を受け、柏木校長に挨拶した後『たちばなKC』は誕生しました。

つばめ、山王谷等、同時期に発足したライバルチームと切磋琢磨しながら成長してきたことは、学校主体の他地域と違う横浜の活動につながっています。

また当時子ども達がテレビの『三菱ダイヤモンドサッカー』から大きな刺激を受けたことも思い出します。

50 周年を迎え誠に嬉しく思っています。

以下昭和 60 年 7 月から 62 年 4 月の「たちばなニュース」(20 周年記念誌参照)で当時の様子をご覧いただきたいです。



曾田顧問、葉子さんと穴戸代表、三木監督

たちばなの指導方針 監督 曾田弘治

本稿は、「たちばなニュース」に昭和六十年七月～昭和六十二年四月まで連載されたものである。

習うよりも会得する

わがたちばなキッカーズの恒例の入会受付の際に、よくこういう説明をしてきた。

「ここでは、音楽や習字などの、所謂お稽古事を習うように、手とり足とりで教えるやり方とはっておりません。むしろ、こども達にできるだけ自由にやらせ、遊ばせるという考えかたです」と。これを聞いて、やや拍子抜けといった顔をされるお母さんも多い。たしかに、この程度の口頭説明では不十分だし、また、指導方針にかかわる大切なことでもあるので、たちばなニュースの紙上を借りて、スポーツクラブの在りかたや指導の実際について、思いつくまま述べ、ご理解の足しにしたい。

少年サッカークラブとしてスタートした十七年前のころを振り返ってみると、サッカーを楽しむために集まってきた少年達を、まとめ、一緒にボールを蹴り、試合に連れてゆくのが仕事といえば仕事であったし、当時から教える、教えられる関係とは縁遠かった。

下田小学校庭を根拠地として発生した「草野球」ならぬ「草サッカー」チームがそのまま大きくなり、

年数を経て地域に根を下ろし、卒業生の父母まで包容するほどになったわけで、その点、学校の先生が、自分が勤務する学校の生徒を組織して作った、所謂「学校チーム」の行き方とは対照的だと思う。(たちばなキッカーズ創立十五周年記誌参照)

この間、日本スポーツ少年団にもいちはやく加盟し、また、神奈川県サッカー協会少年部への登録も早い。古顔チームのひとつであるが、サッカースクールに発展せず、少年達が自分等でサッカーを楽しみ、みんなでファイトを燃やす、草サッカーのチームカラーを捨てないクラブといったらいいであろうか。

こうして「たちばな」に定着したチームカラーのもとを強いていえば、こども達が、本来、のびのびと過ごしたい日曜日に、長時間ボールと過ごすわけであるから、型にはめる指導ではなく、できるだけ楽しく、思い切り発散できるスポーツ活動の場をつくる。こども達にとって、休日は貴重な自由時間であるから、鍛えるとか、ものを習得するとかいう目的意識も、できれば捨てて、夢中で好きなこと(サッカー)をやりながら、自然とサッカー技術も、サッカー以外のことも、自分で会得するように仕向ける。――ここでサッカー以外というのは、こども達でつくる「小社会」ともいうべきもので、仲間意識や、どうしても従わなければいけないきまりなどを含む人間関係で、この関門を通過しながら自我を形成してゆくと考える――これが指導方針で、習うのではなく、会得するという考え方である。

まずボールを足でさばく楽しさを！

スポーツの最大の効用は「心身の浄化」をもたらすことだと私は思っている。

これは非常に感覚的、主観的なとらえ方で、スポーツと「心身の浄化」を結びつけて、或る人は純真な高校野球を思い起こすだろうし、別の人はマラソンのアベベを連想し、また別の人はゴルフ場で、緑に包まれて、無心にクラブを振る瞬間を思い浮かべるかもしれない。

ただ、ここでは、「浄化」という言葉をあまり観念的にとらえないで、「最高にリラックスした状態で、スカッとする実感」として受け取っていただきたい。

こういう「実感」は何かのスポーツに没頭したことのある人なら、誰でも経験されていると思う。

さて、幼児期を脱した少年(少女)時代というのは、何にでも夢中になる時期だと思う。遊びでもスポーツでも、ゲームでも読書でもそのとき気に入ったことに夢中になる。そして興味が持続するようになる。(近頃は何にたいしても関心を示さず、夢中になれず、しかも機械のように従順な子がいると聞くが、これは悲劇です！)

現在、たちばなキッカーズでは、小学一年生から入会を受入れているが、この時期は我々の経験からすると、まだ幼児性が残っており、移り気でサッカーに集中できず、すぐに砂遊びなど他のことに関心が移りやすい。従って指導者は、ボールへの興味を、いかにして長くつなぐかに苦心する。この段階では、ボールに足で触れるのが楽しくてしょうがないという程になれば成功である。「ボールは丸くてほどよくはずむ。これを手でもてあそぶだけでも面白い。ましてや、手よりはるかに不器用な足でうまくさばけたらどんなに楽しいか(試しにお母さんもやってみたらいいが!)

こうして、最初に、ボールのこころよい感触、ボールを足で自由にさばくことの楽しさを頭の奥にしっかりと刻みつけることが大切と思う。サッカーの面白さは、それを出発点として、一対一で相手を抜く楽しさ、複数で相手のウラを取る楽しさ、相手のボールをカットする楽しさ、複数で相手の攻めを封ずる楽しさ、ゴールネットをゆるがす快感、自分達で団体戦術を駆使する楽しさ etc.と無限に発展してゆく。

サッカーの楽しさを全身で感じとった子の中には、日曜日になると早朝一人で目をさまして朝食をとり、自分で支度をして出掛ける者もいる。いわゆる自立の芽生えである。

子ども達が主役....

今回は、ボールを足でさばく楽しさを覚えることが出発点という話をした。「好きこそ物の上手なれ」.....サッカーに限らず、何事も、好きになり、夢中になることによって上達が加速する。ただそれだけではない。子ども時代に根づいた、好きなことに全身で打ち込む習慣が、その人が本来持つ「活力」をよび起こし、育てる。時を忘れて無心で遊び、夢中で競い合うスポーツは、このような「活力」を養うという意味からも大きなプラスである。

余談になるが、日本では、ご年配の方の中には、ヘドが出るほど走らなければいけない、苦しいスポーツがサッカーである、と決めている人がいるが、これは全くの誤解である。確かに、テレビなどで、足の早い選手が、ものすごい早さでドリブルして攻めるのも、見ていて、胸のすく思いであるが、サッカーのダイゴ味は、むしろそういう場面に付随する緩急のかけひきにあるのではなかろうか。

相手選手を、(また観衆をも)とっさにあざむく意表をつくプレーとそれに伴うスリルが見る者の心を奪う。走る早さの勝負はせいぜい 30m までであり、よみとわざのかけひきは虚々実々、局面が変わるたびにでる、瞬間的な判断力と実行力が勝負どころとなる。

苦しいのを我慢して走ってばかりいたら、瞬時に発揮すべき、高度のわざも力も期待できないだろう。そして、真に爆発的な力やスピード、意表をつくわざが発揮されるためには、試合中に適当なリラックスをおりませる必要があり、日ごろサッカーを徹底的に楽しむ素養がないと、試合で、効果的な「リラックス」はあり得ない。さて子ども達の問題にかえて、わがたちばなキッカーズのねらいとする「楽しさ」⇔「サッカー技術」⇒「活力」を無理なく自然に身につけさすにはどのような指導方法があるだろうか。お母さんの立場からすれば、我が子が丈夫でたくましく育ててほしいためにサッカーを選択するケースも多いと思うが、ここでは焦点を少し変えてみていただきたい。

かつて、昭和 49 年から 55 年頃にかけて、たちばなは、いつものびのび試合をする(10 周年会報、15 周年記念誌参照)とよくいわれた。それは、お手本になるようなフォーメーションで相手チームを圧倒するのではなく、球を持ち過ぎたり、いきなりロングシュートをしたり、自分達のやりたいことをやりながら、相手を自分達のペースに乗せてしまう試合ぶりが目についたのであろう。前々回で記したように、もともと「サッカースクール」の意識はなかったし、当時の下田小の子ども達の中にのびのびムードがあり、子ども達が自主的に行動し、チームづくりをする背景があったことが第一の原因と考える。そして、もうひとつは、我々の方で、大人のサッカー(組織プレー)はなるべく教え込まないようにしたこと、つまり、或るレベルに達した個人技のある子どもには、なるべく球を持たせ、自分の考えで試合をすすめるように意図したことであろう。

その延長線上の最大の行事が、富士山麓の合宿での班対抗戦である。合宿が定例行事になる前は、居住地域などでグループ分けした「たちばな杯争奪戦」が、昔の運動会のように気をはらんだ。現在では、合宿の班対抗戦で興奮がピークに達する。これが同じ子どもかと、立ち合う大人が目を見詰めるほどエキサイトする。自分達で作戦を立て、自分達でありったけの力を出し合って戦うのだから目の色が変わる。試合結果が吉とでるか凶とでるか。どう転んでも自分達がかぶるほかない。ここでは、すべて子ども達が主役である。

大人のコピーでない独創性を!

自分達が主役であることが、これだけ子どもの様相(すがた)を変えてしまうとは、本当に驚くほかはない。

「最近の子どもは生気がなくなった」とよくいわれる。無論、私はプロの教育者ではないが、サッカーを通じてこの17年間子どもと接している私の目にも、それが顕著である。もっとも、地元の下田町も、かつて人口増加に悩んだ時代を通り越し、逆に子どもの数の減少をかこつほど、町自体が沈静化してきた反映も考えられる。しかし、この合宿での子ども達の、子どもらしい生々とした一面を見て「まだ大丈夫」と感ずると同時に、色々と教えられることも多い。

合宿のすすめ方について、当初、もう卒業だから同じ6年生を、親しい者同士を同じ部屋に、という声もあった。一方、指導する側としては、日ごろ十分やれない技術指導を、広い場所でたっぷりやってみたい気もしたし、この際、きびしさのある団体生活を味わってもら案も頭を過った。また強い地元チームとの親善試合で、チーム力の強化を計るなどのメニューはいろいろある。しかし、この素晴らしい環境の中で、親善試合にウエイトを置くには、相手選手と寝食を共にするぐらいでなければ意味が薄らぐし、盛沢山の技術指導やきびしい団体訓練を、短時日に強行することは、彼等の自主性を奪い、子どもの本性をゆがめることになりかねない。合宿のプログラムについては、子どもだけではなく、大人も、もっと楽しめるアイデアはないかと、いまだに思案中である。

さて、子ども達が、自分達の城を築き、自主性をとりもどす意図で始めた、高学年、低学年込みの部屋割りと、部屋(班)対抗戦が、かつてのドキュメンタリー映画のように、思わぬ興奮を呼んでしまった。部屋対抗リーグ戦では、子ども達は、「良い子」の仮面を脱いで、「自然児」にもどり、ハダカとハダカでぶつかり合う。幼い低学年生までが、火事場のような働きをする。それにまた刺激されて高学年生が、とっさに頭脳的なプレーを敢行する。ハーフタイムには真剣な作戦会議だ。その作戦がウラ目に出たり、意外な成功をもたらしたり、汗と涙がごっちゃになるほど泣きわめいたかと思うと、貴重なゴールを奪って地球の引力に反発する。

このむきだしのスピリットが、応援のお母さん達に伝染しない筈はない。時ならぬカラフルな大声援が富士山をびっくりさせてしまう。

もし、卒業を間近に控えた6年生同士を同じ部屋にかため、以下学年ごとの部屋割りをしていたら、それなりの楽しさはあるにしても、このようなエキサイティングなドラマは、多分生まれまいだろう。合宿の内容がどうであろうと、大人の目が十分行き届くようであればならないが、「管理」を考え過ぎて、初めから子どもの手足や頭にワクをはめるようなやり方や、力士に真綿を着せるような発想は、なんとしても除きたい。

サッカーのプレーの上でも、幼い子はそれなりの自然のプレーで、大きい子を相手にせいっぱい戦うし、大きい子はパワフルではあるが、こういう場合、時々頭の回転が柔軟に働き、巧技が光る。また、日ごろどこにいるかわからないような、おとなしい6年生が、身体を張って相手のエースを封じたり、まとめ役を演じたりして我々を感激させる。大人の干渉の少ない状況下での子どもの世界は、意外と紳士的(?)でバランスがとれている。ここでは、それぞれ役割があり、持場があり、つまり、誰でも自発的な意志を発露できる場が作られている。長幼が混ざるからこそであると信じている。

サッカー技術(作戦等)は未熟でも、臨機応変に、思う存分個性を発揮できる試合は、単なる大人のサッカーのコピーとはならず、自分の判断でプレーし、自分で開発したフェイントや作戦をおりまぜるので、選手はもとより、観衆も最高に楽しい。

たちばなキッカーズ創立 50 周年を祝して

相談役 永田 欣也

昭和 43 年 11 月 メキシコオリンピックで日本チームが銅メダルの栄誉に輝いた年に、曾田現顧問創設の“たちばなキッカーズ”が創生期(1～9 期)・発展期(10～19 期)・成熟期(20～29 期)・飛躍期(30～39 期)・更なる飛躍期(40～49 期)を経て、ここに創立 50 周年を迎えられました事は、誠に喜ばしく心からのお祝いを申し上げます。



たちばなキッカーズが 50 周年をお祝い出来ますのは、創生期にクラブのホームグラウンド下田小学校の体育主任の中山先生並びに池畑先生（昭和 48 年下田小学校より駒林小学校が分校したのに従い転任。駒林サッカークラブを創設、初代代表）の全面のご支援・ご指導をいただき、また、自クラブのイベント試合に今日迄引き続き招待して頂く“ゴールプランダーズ(厚木市)・あざみ野 FC(村上代表)・明治フリーバーズ SSS(たちばなキッカーズ 4 期生笠松先輩)の厚情、たちばなキッカーズとほぼ同時期に創設された山王谷 SC・篠原つばめ SC・勝田 SC・FC アムゼル・洋光台 SC・港南台 SC・夏山 SC・FC ゼブラとの交流、さらに近隣港北区内各クラブとの春と秋の区大会での切磋琢磨のお陰です。

更に歴代お父さんコーチ陣の“たちばなキッカーズ指導方針”に基づく熱情的指導とお母さんチームの親身で献身的支援・応援を忘れてはなりません。

メキシコオリンピック後の活況後、日本サッカー界は低迷期に入りますが、25 年前の J リーグ発足後の発展は目を見張るばかりです。身近な小学生チームも港北区内 14 チーム、横浜市内 178 チーム、神奈川県内 553 チームと増えています。余談ながら私が昭和 20 年 4 月に入学した福岡県立中学校（旧制小）の校技はサッカーでした（当時はマイナーもマイナー）。高校 3 年時（昭和 25 年）県大会の出場校は僅か 8 校（全て県立校）で一日でお終いでした。今日では 156 校に増え東福岡高校などの強豪校が出ています。

私とたちばなキッカーズとの係わりは、息子（11 期生）が小学 3 年時入団（当時は 3 年生から入団可、入団テストがありました）、秋の横浜国際チビッ子大会前に LL-B チームの杉崎コーチが転居された後を受け、初陣は現県営桂団地着工前の原野の仮設グラウンドでした。その後、LL-B、L-B、SL を受け持ち平成 11 年（1999 年）退任後は応援団を自認し、区・市・県大会での応援を楽しんでいます。また息子達が悪さをして当時の下田小用務員の“昆”さんに追い掛けられ叱られていたのも懐かしい思い出です。

たちばなキッカーズは、既に次期に入りました。今後の更なる発展飛躍には中高一貫校受験での退・休会增加への対処、他スポーツ少年団に抗して部員の確保と維持に加えて個人技の練磨とチーム力の強化が必須です。お父さんコーチ陣とお母さんチームのより一層の熱意と頑張りで、60 周年、70 周年そして 100 周年を迎えられます様祈念しています。

－ 50周年に思うこと－

代表 宍戸 正人

たちばなキッカーズ創立50周年、誠にありがとうございます。そして、私を成長させてくれたことに感謝しています。

私は現在代表と言う立場ですが、50周年と言う節目に当たって過去を振り返りながら、「たちばな」との係わり、「たちばな」や少年サッカーに対する考え方の変遷などを紹介させていただくと共に、将来に向けた思いを述べさせていただきますと思います。

私が「たちばな」と出会ったのは1992年。息子がたちばなキッカーズに入団した時です。どこのサッカーチームに入れようかなどと迷ったりせず、息子が通う下田小学校を拠点とした少年サッカーチームであることから入りました。入団後、横浜では一番古く歴史のあるチームであることを知りましたが、最初は多くのお父さんと同じ「息子の応援団」でした。勝っては喜び、負けては悔しみ、そして「なぜそんなプレーしか出来ないのか?」「もっとフォーメーションを使ってプレー出来ないのか?」などと、息子に文句を言う時もありました。私も多くのお父さんと同じく学生時代にサッカーの経験があり、大人のサッカーの概念が頭にある人間でした。



「教え方を変えた方が良いのでは」とか、「もっとやる気を植え付ける必要があるのでは」とかの思いもあり、1994年からお父さんコーチとしてお手伝いをさせてもらうことになりました。当時、現役の子供を持つお父さんコーチは少なく、且つ、子供とお父さんコーチは同じチームにはならないルールがあり、息子はLLA、私はLLB担当となってコーチ業を始めました。コーチを始めた当初は大人のサッカーの考え方が頭にあり、如何に試合に勝つか、どの様なフォーメーションにするか等を考えながら練習をしていました。ただ、LLBに詳細なフォーメーションを説明しても理解出来る子は少なく、少し理解出来たとしてもそれを試合で使うことなど出来ない状態でした。「どうすれば勝つことが出来るか」に思いが行き過ぎ、試合でもベンチから色々指示をする様なコーチでした（今考えると、駄目コーチですね）。

当時のLLAヘッドは大島コーチ、LLBは横川コーチ（女性）でした。当時の先輩コーチは、全員が曾田さんの少年サッカーに対する熱意、指導方針に感銘を受け（私が入る前は「たちばなニュース」で定期的に指導方針が発信されていた）、その理念を遂行するコーチ陣が各クラスに配置されていました。従って、コーチ間の会議等は無く、「あうんの呼吸」とでも言う様な、暗黙の了解の下で運営されていました。私の様な新人コーチは、どの様にすれば良いのかが判らず戸惑ったものです。曾田さんはLA担当であり、私は曾田さんと直接話したことは少なく、どの様な指導理念であるかを余り理解出来ていませんでした。夏合宿の時に初めて曾田さんをはじめとしたコーチ陣が一同に集まり、夜な夜なアルコールを飲みながら熱い議論を交わし、たちばなの歴史を知り、考え方や指導理念を知ったのです。そして、私も徐々に「曾田イズム」に共感して行きました。

1996年に息子はLB、私はLA担当となり、初めて曾田さんと同じチームを担当することになりました。曾田さんと接して初めて知ったことが多々ありました。子供の体型によるプレーの癖、試合中の子供の目線により本人が何を考えているかを推測する、試合でのポジション取りによる本人の考え等をその時に学びました。「子供が主役」「楽しいサッカーを」「子供達の自由な発想を育む」「型にはめる指導はダメ」「低学年では組織プレーは不要」「パスを出せと言う前に自分でやれと言うべき」などを教えられたのもその頃です。そして「子供は小さな大人ではなく、大人のサッカーとは全く異なるものである」と言うことを知ったのです。日本サッカー協会の講習会にも参加して人間の誕生から成熟期までの発育の過程を知り、少年時代にはどの様な指導をするべきであるかも学びました。所謂「即座の習得」と呼ばれる時期であるゴールデンエイジでの育成方法です。

曾田さんが現役を退く時期が近いことを察し、1996年頃からは定期的にコーチ会議を開催して曾田さんの考え方をまとめ、コーチ間の意識の共有化を図り、「曾田イズム」をたちばなの指導方針として文書に残す取り組みを始めました。本誌に掲載した「たちばなキッカーズ指導方針」「TKCサッカートレーニング要綱」は、1996年当時に制定し、公開している指導方針の一端です。これ以外にも、コーチ内では更に具体的な指導方法をまとめているのですが、これらは「曾田イズム」を目に見える形で文書化したもののなのです。

たちばなの指導方針の中に「子供達の自主性に任せる」と言う考えがあります。それが端的に現れるのが夏期合宿での班対抗戦です。卒業アルバムで6年生が思い出を書く場合がありますが、「一番の思い出は、夏合宿の班対抗戦で優勝したこと」と書く子が非常に多いのです。それは何故か？ それは、まさに子供達が主役のたちばなキッカーズの夏合宿だからなのです。公式戦では多かれ少なかれ、対戦相手に勝つためにコーチからの指示があり、試合中も保護者やコーチからの叱責も少なからずあります。自分達だけで考えるサッカーは難しいのです。一方、合宿での班対抗戦は、コーチからの指示は全く無く、試合中の叱責も全く無く、失敗しても「ドンマイ、ドンマイ」、良いプレーには「ナイスプレー！」の連発。子供達は生き生きとし、キャプテンを中心にどの様な選手配置にするか、如何に勝つかを考え、まさに自分達の自由な発想で試合を組み立てることが出来るのです。戦術を変えて勝ったとか、配置を変えて負けたとか、優勝などしたらそれが一番の思い出に残り、卒業アルバムでの一番の思い出に書かれるのでしょうか。公式戦では負けても余り泣かないのに、夏合宿では負けて号泣するケースが毎年見られます。観戦しているコーチ、保護者も涙ぐむ、そんな班対抗戦はたちばなの指導方針が結実した結果なのです。公式戦においても、コーチや保護者がこうした班対抗戦の様な感覚で試合に臨むことが出来ればベストなのでしょう。

以上、今日に至るまでの私の考え方の変遷を簡単に紹介させて頂きましたが、最近は少年サッカーでも勝つことを目的とする流れがあり、それを目的とするチームも素晴らしいものがあり、その様なクラブが繁栄するのも事実です。こうした時流の中で「たちばな」の指導方針を維持し、継続することの難しさを痛感しています。私も代表と言う立場で15年が過ぎました。「たちばな」の様なクラブが長期間に亘って活動を継続するには、ぶれない、一貫した指導方針の下、その考えに賛同するメンバーでコーチ陣を揃える必要があると私は考えています。時代の変化に対応させるべき部分は改善する必要がありますが、人間の発育の過程が変わることはなく、大人のサッカーと子供のサッカーが全く異なるものであることは不変でしょう。指導方針の基本を変える必要は無く、将来、代表が代わったとしても、更に60年、70年と「曾田イズム」を継承して行きたいものです。

自由奔放

監督/U12 コーチ(ヘッド) 三木 健司

この前 (2018/6/17) たちばな創設者の曾田さん (私が U-12 (L) で教わった) が下田小に来て頂いた時、失礼ながら、“私たちって、ちゃんと、曾田さんのお話聞いてました？”って聞いた所、

「いやいや、全然聞いて無かったねー、“自由奔放”が基本方針だったから、自由にプレーしてもらってたよ、試合以外でもみんな自由だったんで色々な所でよく謝ってたよ！」

“う、そんなにご迷惑かけてたのか。。。。、でも、そういえば、この前の U-12 リーグで本部席の前でたちばなの選手がボールで遊んで怒られて、私も本部に謝ってたことを思い出し変に納得。

”たちばなは、昔も今も変わらないってこと？

じゃー、昔と今と何が違ううんだろう？ 自分の思いも含めて考えてみよう



		1977 年（私がたちばなで小 6）	現在
世界のサッカー人口		？ ？ ？	推定約 2 億 5 千万人
JFA 登録者数		273,887 人（1979 年） 内 4 種 68,950 人 内シニア 0 人	915,306（2017 年） 内 4 種 279,134 人 内シニア 33,446 人 いくつになってもサッカー出来る環境
日本代表		ワールドカップは夢のまた夢	ワールドカップ常連、2018 年ベスト 16
J リーグ		無し	J 54 チーム
横浜少年サッカーチーム数		約 30	約 180（6 倍か、すげー）
全国大会予選		11 人制	8 人制
たちばな	試合数等	55 試合（44 勝 8 敗 3 分け） 271 得点、48 失点 （しかし、すげー得点数だな） 市大会優勝、県 Best4、いい感じ	公式戦・カップ戦：約 70 試合 90 得点位、試合数は練習試合含めると昔より多く、得点が少なくなってる感じ 港北区大会準優勝、いい感じ
	合宿	富士緑の休暇村	富士緑の休暇村（何年使ってるんだ？）
	ユニフォーム	かっこいい、特に TKC のロゴ	更にかっこいい、ロゴも更にかっこいい
	月謝	300 円 マクドナルドのハンバーガー：200 円	2,000 円（庶民的は継続） マクドナルドのハンバーガー：100 円 日銀発表の消費者物価指数：1.55 倍
	フォーメーション	3-3-4（今考えるとすごい）	4-2-3-1、もしくは、4-4-2
	プレースタイル？	自由奔放	子供が主役、自分達の判断で
	雰囲気・環境等	曾田さんを「おじさん」と呼ぶ雰囲気の中で、サッカーがメチャクチャ楽しく出来る環境	←のような環境で出来るといいな
サッカーって？ スポーツって？ こういう根本的な部分は変わらないだろうなーーーー		真剣勝負っておもしろい、勝つと楽しいし、負けてもいいプレーが出来ると楽しい教科書風に言うと 運動の練習を共にした友、共に試合に出た戦友とも言える友、あるいは敵味方になって争ったその相手、生涯にとってもっとも大切な友になり得る 元気・感動・仲間・成長こそ人間が人間らしく生きる為の心のビタミン スポーツは、元気・感動・仲間・成長を感じ、そのことによって心を豊かにし、クオリティ・オブ・ライフを高めて行く人間の営み スポーツが文化だとすると、勝つことが全てなのではなく、すべての人に平等に与えられた勝つことを目指すという権利を大いに行使することによって、 元気・仲間・成長・感動 を体験することがスポーツの本質	

私がたちばなでサッカーを始めて 40 数年、浪人した 1 年を除いて、サッカーをやっていない時期はほぼない。

なんでだろう??? 楽しいからだな。

なんでだろう??? 仲間も出来るし(経験上、世界のどこに行っても仲間は出来る、結婚もサッカー部を通じてだな)、ピッチ内ではある意味自分の判断で、自由に出来るから(人に命令されてやるわけではない)かな?

サッカーの試合で上手くいった後は、楽しいので次も頑張ろうと思うし、上手くいかなかった時は、次もっと上手くやりたいと思うから、ずーっと続いちゃうんだよね。

それってやっぱり、たちばなでサッカーを「自由奔放」に出来て、楽しかったっていうのがきっかけなんだな、と思う。

昔と今でサッカー自体はかなり変わってると思うけど、ピッチ上で自分たちで考えてやるって所は変わらない(大きくなると決めごとが増えるが、一瞬の判断という意味では変わらない)。

たちばなの方針は、「子供が主役」、「自分達で考えさせる自由なサッカーを」等々あるが、要は、「**自由奔放**」だ。

「自由奔放」の中で、たちばなで指導者(ただ、一緒に蹴ってるだけ?)として子供をみて感じるのは、ちょっとした間に、急に上手くなる、それも、子供によって時期が全然違うけど、確実に成長する(例えば、今まで簡単にドリブルで抜けたのに急に抜けなくなったり、簡単にフェイントでかわされたりして大人げないけど悔しくなる)。それって、教えられて出来たことではなく、子供たち自身がトライして成功したプレーの積み重ねなんだと思う(その間失敗はあるけど)。

また、試合で得点した時とかにチームみんなで喜ぶ姿を見てるとチームとしての成長を感じる。そう言う意味では、個人としての成長もあるけど、チームとしての成長も確実にある。

選手達には、「接戦をものにした経験」(全力を出し切り結果をものにした経験)、「負けて悔しい経験」(次はもっといいゲームを、いいプレーをしようと思う経験)・・・(私もたちばな時代の県の準決でゴールプランダーズに負けたのはいまだに覚えてる、ゴールがなんでこんなに遠いんだろうと思った)を出来るような環境を作りたいと思っているが、こればかりは思い通りにならない。が、毎年、相応の経験をしてみんな成長してると思う。

確かに、自由にやらせると子供だから変に遊ぶようになるのではないかな? という疑問もあるかもしれないけど、今まで見てきた限り、試合は真剣そのもの、全く心配はいらない。

自分自身で考えてやって出来たことは確実に成長につながる。たちばなの次の 50 年のテーマは引き続き、「**自由奔放**」だ。

今後とも、選手達には、カッコいいオレンジのユニフォームを着て、「**自由奔放**」にサッカー(スポーツ)を楽しみ、自分で考える力を身に着け、成長して行って欲しい!

でも、選手で 4 年、指導者(全然指導してないけど)として 12 年、合計 16 年たちばにかかわってるんだー。。。。なんか感慨深いな。



初代？応援旗と第9期

第10期(53年度)寄贈の応援旗と第12期メンバー



第28期のSLメンバー

第40期(2008年度)の夏期合宿



創立40周年記念の応援旗

第50期新ユニフォームのエンブレムを配した応援旗



抽選でゲット! ミツハライスの応援旗

創立～29 期を振り返って


50 年前、下田小学校のグラウンドに小学生が集まり練習を始めたことから“たちばなキッカーズ”はスタートしました。

その創立第 1 期から第 29 期までの長い年月の中の輝かしい戦績や意外な出来事を過去の記念誌より抜粋して年表形式にまとめました。

たちばなキッカーズホームページに過去の記念誌を掲載しています。

第 1 期～第 29 期の詳細はこちらでもご覧ください。

(<https://tachibanakc1968.wordpress.com/>)

年	月	ことがら
第 1 期		
1968 年(昭和 43 年)	11	11 月 23 日 (祭日) 朝下田小学校校庭に 16 名? が集まり初練習を行う。曾田監督の長女(葉子さん:マネージャー)の呼びかけでチーム発足。5 年生以下の下田小学校生徒でスタートする。
	1969 年(昭和 44 年)	8
	9	校庭に初めてシュート板設置される。
	11	日吉地区少年サッカー大会を初めて行なう。朝日、南日吉、たちばな、若草クラブが参加。 優勝 朝日 3 位 たちばな 第 1 期 メンバー FW 村上 三紀夫 FB 高木 浩司 FW 飯田 隆 HB 田中 仁志 GK 賀久 哲郎 HB 豊田 雅彦 FW 木口 純一 FB 鈴木 正 FB 小林 泰和 FB 橋本 康司 FW 里見 清行 マネージャー 森田 葉子 HB 瀬戸 永祐 (旧姓 曾田)
		

第 2 期

1970 年(昭和 45 年)

4

第 2 回日吉地区少年サッカー大会

1 位 南日吉

2 位 たちばな

3 位 若草

(資格は小 4～中 1 のため年長者の多いチームが有利であった)

第 2 期 メンバー

FW	小山	栄	FB	木村	理貴
FW	今橋	和彦	FB	安達	均
FB	大野	昭	FW	森下	祐至
HB	岡見	圭	FB	小松	良輔
FW	加藤	公規	FW	岩城	祐二
FB	横田	浩	FW	渡辺	秀志
FB	大川	哲	GK	太田	明
HB	金子	賢	HB	村井	元
FW	長谷川	研二郎	HB	楠瀬	輝一
HB	竹沢	克衛	FB	越智	和志
FW	土屋	至孝	FW	漆原	明
HB	森	隆一郎		梅原	健一



第 3 期						
1971 年(昭和 46 年)	6	横浜サッカースポーツ少年団結成に加わる。宮西 FC ほか 12 チーム加盟。				
	7	クラブの規約をつくる				
		第 5 回全国スポーツ少年団サッカー大会 横浜地区予選に出場(公式戦初出場)				
		山王谷と共に横浜代表となり、県大会進出。 準決勝 で鎌倉おなりと 1 対 1 PK 戦で惜敗(おなり優勝)。				
		初めてスポーツ傷害保険に加入。				
	11	初めてユニフォームを決める				
		シャツはオレンジ、パンツは白 (後に紺)				
	11~12	第 3 回横浜国際チビ子サッカー大会に初参加				
	リトル (低学年)		準優勝			
	ジュニア (高学年)		予選 4 位			
12	初めて東京進出 (中山先生紹介)					
	たちばな 0 対 0 浜田山小					
	たちばな (4 年) 0 対 1 浜田山小 (5 年)					
1972 年(昭和 47 年)	3	第 1 回港北区少年サッカー大会				
		小学生の部 優勝				
		中学生の部 優勝				
第 3 期 メンバー						
	FB	鈴木	陽二	FW	横山	論
	FB	栗山	久史	FW	斎藤	均
	FB	渡辺	彰雄	FW	城風	智行
	FB	山下	孝夫	FW	東出	信太郎
	GK	松井	耕一	FW	深沢	道裕
	HB	町田	宏	FW	篠原	宏
	HB	舞山	日良	FB	高橋	裕明
	HB	船倉	直樹	FW	伴	英明
	FW	佐藤	丈二	GK	佐藤	明久
	FW	橋本	良		牛島	雅彦
	FW	椿	哲也			



初めてのユニフォーム
たちばなカラーのオレンジ



懐かしい応援旗

第 4 期							
1972 年(昭和 47 年)	7	第 6 回全国スポーツ少年団サッカー大会 横浜代表として山王谷、つばめと共に県大会に出場したが、秋葉台に歯がたたず。					
	9	初めて千葉県に遠征（2 年生以上） たちばな 4 対 0 常盤平団地、低学年も勝つ 第 1 回たちばな杯リーグ戦 各学年を通じ学校の組分けを利用して 4 チームに分ける。					
	11~1	第 4 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L の部 準優勝（この年だけ厚木のゴールブランダーズが特別参加し、優勝をさらう） LL の部は参加せず					
1973 年(昭和 48 年)	3	第 2 回港北区少年サッカー大会 小学生、中学生共に優勝 横浜少年選抜チーム韓国遠征 当クラブから笠松、小菅、菅沼（以上 6 年）、大場（兄）坂本（以上 5 年）参加					
	第 4 期 メンバー						
		FW	笠松	文雄	HB	瓜田	利明
		GK	川辺	圭一	HB	菅沼	敏行
		FB	草生	裕文	FW	小菅	基成
		HB	石村	泰三		高岡	孝次
			木村	敏夫		舟川	洋一
		HF	島村	昌彦		石田	明文
			小林	敬一		重田	隆史
			加藤	友基		関根	大輔
		FB	小黒	修一		山口	浩満
		FW	召田	充弘		小谷	秀一
			藤田	淳		渡辺	邦彦
		FW	久保寺	和彦		森	英二
		FB	福地	貴博		深沢	敏裕

第 5 期							
1973 年(昭和 48 年)	4	横浜少年サッカー大会 準優勝					
	7	第 7 回全国スポーツ少年団サッカー大会 県予選で強豪秋葉台に 0 対 1 で惜敗（秋葉台優勝）					
	8	島根県大社町で初めての合宿を行う 参加者 5・6 年生 30 名					
1974 年(昭和 49 年)	11~12	第 5 回横浜国際チビッ子サッカー大会 LL の部 3 位					
	1	第 1 回港北区新春スポーツ大会 たちばなレッド（5 年）2 位 たちばなホワイト（6 年）3 位					
第 5 期 メンバー							
		HB	岩崎	延宏	HB	木村	亮
		GK	久保寺	清	HB	鈴木	充彦
		FB	賀川	正規		斎藤	清

		FB 間瀬 浩之 FW 竹内 正昭 FB 吉川 薫夫 HB 阿久津 正人 FW 坂本 俊也 田中 潤 FB 小林 守 FW 石井 正人 FW 大場 浩正 HB 鈴木 彰浩 FW 鈴木 邦彦
第 6 期		
1974 年(昭和 49 年)	4~5 7 8~9 9 11	第 1 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 LL の部 準優勝 (L の部はこの年なし) 第 8 回全国スポーツ少年団サッカー県大会 準優勝の六会(藤沢)に PK 負け 第 1 回団地少年サッカー大会 A(高学年)B(低学年)共に優勝。 この時 TBS テレビで放映される。 9 こどもの国サッカー場こけら落としに参加。模範試合を行なう。 11 ペレ、少年サッカー指導のため 2 度目の来日、11 月 23 日東急本店屋上にてたちばな 全員ペレの指導を受ける。ペレにほめられ感激！



ペレを囲んで たちばなキッカーズ全員 渋谷・東急デパート

1975 年(昭和 50 年)	11~12	第 6 回横浜国際チビッコサッカー大会 LL の部 優勝 (L の部はベレ騒ぎで調子を崩す)	
	1	第 2 回港北区新春スポーツ大会 小学生の部 優勝	
	3	横浜選抜チーム韓国遠征 (2 回目) たちばなから中村、吉原、早川、岩 村、池沢(兄)、川村(以上全部 6 年生及び川村君のお母さん参加。	
		第 6 期 メンバー	
		FW 中村 浩人 FB 田代 裕之	
		FW 池沢 正彰 GK 村井 淳季	
		FW 吉原 昌利 HB 高橋 浩明	
		HB 三井 英一 FB 龍野 智久	
		HB 早川 司 FB 鈴木 善裕	
		FB 岩村 佳広 HB 高塚 直樹	
第 7 期		HB 川村 利一 HB 加藤 弘	
		HB 砂子 雅史 嶋田 正人	
		FB 野道 尚行 北村 健	
		FB 藤盛 一弘 FW 村井 進	
	1975 年(昭和 50 年)	4~6	第 2 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 L の部 4 位 LL の部 準優勝
		7	第 9 回全国スポーツ少年団サッカー県大会 強敵善行に 4 対 0 で敗れる。
		8	富士緑の休暇村で合宿 (この年から富士緑の休暇村での合宿が始まる)
		8~9	第 2 回団地少年サッカー大会 A (高学年)、B (低学年) 共に 3 位
		9	たちばな杯を、こどもの国サッカー場を借りきって盛大に行なう。
		10~11	第 7 回横浜国際チビッコサッカー大会 LL の部 3 位
1976 年(昭和 51 年)		1	第 3 回港北区新春スポーツ大会
			第 7 期メンバー
			HB 5 鈴木 一浩 22 斎藤 理
			FW・GK 9 大森 亨 久保寺 一仁
		FW 7 瓜田 和彦 太田 秀一	
		FW 11 岩城 一夫 24 村井 進	
		FB 2 笠松 吉雄 25 佐藤 稔	
		HB 6 大森 亘 40 川口 秀之	
		GK 23 田辺 誉 31 荏原 利明	
		FW 8 石本 広之 41 山口 勇司	
	HB 21 坂村 武		
	HB 山中 さだのり		

第 8 期									
1976 年(昭和 51 年)	2~4	第 1 回横浜少年サッカー大会 この年から五年生以下の新人戦として、学校チームも含めて開かれる。 たちばな 3 位							
	5~6	第 3 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 L の部 準優勝 LL の部 優勝							
	7	第 10 回全国スポーツ少年団サッカー県大会							
	8	富士緑の休暇村で合宿							
	8~9	第 3 回団地少年サッカー大会 A クラス 準優勝 B クラス 優勝							
	9	たちばな杯を新日鉄グラウンドで行なう							
	10~11	第 8 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L の部 3 位 LL の部 準優勝							
1977 年(昭和 52 年)	1	第 4 回港北区新春スポーツ大会 ホワイト (6 年) 2 位 レッド (5 年) 3 位 第 3 回神奈川県少年サッカー選手権大会 低学年 優勝 高学年は羽鳥に敗れる							
	2	バザーを行なう 純益金約 16 万円 テント購入							
		第 8 期メンバー							
		FW	9	黒岩	典正	FW	17	落合	佳人
		GK	1	杉山	信次郎		18	高橋	篤男
		FB・GK	2	佐野	祐一	FW	28	関根	圭介
		FB	3	友藤	信英	FB	30	藤	英明
		FW	4	滝山	佳男			池上	努
		FB	5	砂子	泰彦			豊原	義行
		HB	6	木下	圭			芹田	弘
		FB	7	田辺	博之			中丸	清
		FW	8	安沢	芳生			鈴木	一也
		FW	11	篠原	力			下村	学昭
		FW	12	堀尾	哲司			川森	隆弘
		HB	10	舞山	春輝				

第 9 期		
1977 年(昭和 52 年)	2~5	第 2 回横浜少年サッカー大会。(新人戦) 準優勝
	4~5	第 4 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 L の部 優勝 LL の部 3 位
	7	第 1 回全日本少年サッカー神奈川大会 4 位
	8	富士緑の休暇村で合宿に際し、セルジオ越後氏の指導を受ける。 この時の合宿は浜見平と一諸に行う。
	8~9	第 4 回団地少年サッカー大会 A・B 共に優勝 (この年から中央大会はよみうりグラウンドで開催)
	9	国立競技場で、全日本対コスモス (ベレ出場) の試合を観戦。(小・中学生 45 名)
	10~11	第 9 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L の部 優勝 LL の部 優勝
	12	読売少年サッカー冬季大会に初出場 2 回戦でアストラジュニア (準優勝) に敗れる



セルジオ越後氏と記念撮影

1978 年(昭和 53 年)	1	第 5 回港北区新春スポーツ大会 3 位 (L-A チームは県大会と重なったため出場せず)
	1~2	第 4 回神奈川県少年サッカー選手権大会 高学年の部 4 位 低学年の部 優勝
	3	第 1 回大京杯少年サッカー大会出場
		第 9 期メンバー
		HB 7 池沢 潤 FB 22 井出 裕二
		FW 10 林 陽介 FW 27 石川 淳之
		FW 11 早川 裕樹 FW 25 玉手 弘章
		FB 3 大島 宏樹 HB 28 佐藤 隆造
		HB 2 木下 牧 HB 26 網代 茂三
		HB 6 鳥海 秀之 (旧姓 内田)
第 10 期		GK 1 堀江 浩 小林 透
		FW 8 三木 健司 林 史郎
		FB 5 村上 滋春 岡本 哲知
		FW 12 軽部 浩一 渋谷 淳一
		FW 4 増山 祐一 白石 智
1978 年(昭和 53 年)	2~5	第 3 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 優勝
	7	第 2 回全日本少年サッカー神奈川県大会 準優勝 (優勝は逸したが藤沢の壁を初めて破る。)
	4~7	第 5 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 L の部、LL の部ともに優勝
	8	富士緑の休暇村で合宿 第 2 回関東少年サッカー大会 優勝 (於藤岡市)
	8~10	第 5 回団地少年サッカー大会 A クラス (高学年) 予戦で敗退 (関東大会のため L-A 出場せず) B クラス (低学年) 準優勝
	10~12	第 10 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L の部 優勝、 LL の部は準々決勝で敗れる
	12	12 月 17 日創立 10 周年記念行事を行う FC 清水招待試合 24 チーム中 7 位だが、上位 7 チームは全て全国各地の選抜チーム。 単独チームとしては No.1
1979 年(昭和 54 年)	1	第 1 回全国少年ミニサッカー大会 神奈川代表 (横浜港北選抜、横浜東、駒林・つばめも含む) として出場 優勝 第 5 回神奈川県少年サッカー選手権大会

		第 10 期メンバー							
	FW	9	本間	真一郎	GK	1	落合	尚人	
	FB	11	村上	祐也	HB	6	松原	茂徳	
	HB	7	安沢	祐之	HB		田島	泰彦	
	FB	4	目形	康	FW		三宅	元	
	FB	2	熊木	卓也	HB		木下	忠幸	
	HB	5	戸田	和彦	HB		本宿	冬郎	
	FB	3	西尾	健	FW		丹治	一功	
	HB	12	渡井	哲	FB		小須田	雅	

[illegible]

第 11 期										
1979 年(昭和 54 年)	2	第 4 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 優勝								
	3~4	なの花カップ（館山） 優勝								
	4	第 6 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 優勝								
	7	読売旗争奪読売少年サッカー夏期大会 5 対 5 で PK 負け								
	5~8	第 3 回全日本少年サッカー神奈川大会 準優勝								
	8	第 3 回関東少年サッカー大会 初戦で葦崎（山梨）に 4 対 5 で敗れる。この年葦崎優勝（於千葉） 富士緑の休暇村で合宿 全日本で優勝した甲府 FC の選手 9 人を持つ玉諸チームと親善試合。 4 対 3 で敗れる								
		第 6 回団地少年サッカー大会 A クラス 優勝								
	10~12	第 11 回横浜国際チビ子サッカー大会 L 3 位 LL 4 位								
	1980 年(昭和 55 年)	1	港北区少年サッカー大会 第 2 回全国ミニサッカー大会 ベスト 8（於宇都宮）							
		1~2	第 6 回神奈川県少年サッカー大会 4 回戦まで進出。FC504 に 1 対 1 で PK 負け							
		第 11 期メンバー								
		FW	10	大場	賢治	HB	19	金田	健一	
	FW	8	増山	高弘	HB		西村	繁		
	HB	15	永田	俊策	FB		藤本	和敏		
	HB	2	岡本	享	FW		宮本	圭介		
	FB	14	藤	純司	FW		金子	博樹		
	FB	3	高崎	進			行司	秀俊		
	GK	1	山口	光晴		16	三木	俊二		
	HB	13	末山	靖		9	秋元	研二		
	HB	17	高橋	利明						
第 12 期										
1980 年(昭和 55 年)	2~4	第 5 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 3 回戦で夏山に 1 対 4 で敗れる 第 7 回横浜スポーツ少年団サッカー大会								
	5~7	第 4 回全日本少年サッカー神奈川大会 ベスト 8 (中央大会で前年度優勝の浜見に 4 対 2 で勝ち前年度の雪辱を果たしたが、準々決勝で G・P に敗れる)								
	8	富士緑の休暇村で合宿 第 7 回団地少年サッカー大会 A チーム（高学年） 準々決勝 で浜見平に 2 対 3 で敗れる B チーム（低学年） 優勝 （決勝は港南台と 1 対 1 で PK 勝）								

1981 年(昭和 56 年)	10~12	第 12 回横浜国際チビッ子サッカー大会 優勝（決勝は黒滝に 5 対 0 で完勝）
	1	港北区少年少女スポーツ大会 たちばなホワイト 準決勝で大曾根 SC に敗れる 第 3 回全国少年ミニサッカー大会 3 位 爪田と大滝が優秀選手賞受賞（於静岡県三島市） 第 7 回神奈川県少年サッカー選手権大会 宿敵浜見に PK 負け
		第 12 期メンバー
		CH 瓜田 直樹 HB 篠原 要
		CB 山田 光裕 FB 南雲 啓一
		RW 大滝 友男 FW 前島 輝
		ST 石井 洋平 HB 牧野 健人
		RH 今仲 浩康 HB 村上 治雄
		LH 上野 貴生 HB 山崎 洋一
		CF 桑山 法久 GK 鎌田 聡明
1981 年(昭和 56 年)	2~5	第 6 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 優勝（1 対 0 港南台）
	4~6	第 8 回横浜市スポーツ少年団大会 決勝トーナメント一回戦で横浜東に PK 負け
	6	第 5 回全日本少年サッカー神奈川大会 2 回戦で村岡 A に敗退
	8	富士緑の休暇村で合宿 第 8 回団地少年サッカー大会
	10~12	第 13 回横浜国際チビッ子サッカー大会 LL-A II 部 優勝
	1	第 4 回全国少年ミニサッカー大会 準々決勝で PK 負け（対仙台向山） 第 8 回神奈川県少年サッカー選手権大会 L の部 1 回戦で敗退 LL の部 4 位
		第 13 期メンバー
		FW 10 鈴木 孝春 FB 麯谷 毅
		GK 1 渡井 巧 HB 小笠原 直樹
		FB 5 龍野 文範 HB 横川 英俊
1982 年(昭和 57 年)	1	第 4 回全国少年ミニサッカー大会 準々決勝で PK 負け（対仙台向山） 第 8 回神奈川県少年サッカー選手権大会 L の部 1 回戦で敗退 LL の部 4 位
		第 13 期メンバー
		FW 10 鈴木 孝春 FB 麯谷 毅
		GK 1 渡井 巧 HB 小笠原 直樹
		FB 5 龍野 文範 HB 横川 英俊
		FB 3 藤 裕治 HB 笹谷 次郎
		HB 4 中野 純 FW 今野 英一
		FB 2 江浜 克明 GK 富吉 龍玄

		<div> <div>HB 6 安田 知司</div> <div>HB 8 丸山 智治</div> <div>HB 7 若森 彰</div> <div>FW 11 絹村 誠</div> <div>FW 唐 泰三</div> <div>FB 岩城 俊彦</div> <div>FB 森部 達彦</div> </div> <div> <div>HB 阿部 靖</div> <div>HB 今井 英智</div> <div>GK 高倉 泰介</div> <div>HB 池田 新吾</div> <div>FB 松井 茂</div> <div>FW 三宅 稔</div> <div>堀川 昭博</div> </div>
第 14 期		
1982 年(昭和 57 年)	2~5	第 7 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 4 位 (準決勝で横浜東に PK 負け。3 位決定戦では山王谷に PK 負け)
	4~6	第 9 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 5 勝 1 分けて 1 位 決勝トーナメント準々決勝で FC 本郷に敗れる
	6	第 6 回全日本少年サッカー神奈川大会 予選ブロック準決勝で鶴ヶ台 A に PK 負け。
	7	第 4 回全国子供ミニサッカー大会神奈川予選トーナメント(於伊勢丹屋上) 予選トーナメント準決勝で OS ジュニアに負け全国大会に出られず。
		57 年度読売旗争奪読売少年サッカー夏季大会 第 2 次予選リーグ 3 位
	8	富士緑の休暇村にて合宿 第 9 回関東団地少年サッカー大会 A クラス (高学年) 準々決勝で山崎 Z に PK 負け。この年山崎 Z 優勝
	9	第 2 回こどもの国キリンカップ少年サッカー大会
	10~12	第 14 回横浜国際チビッ子サッカー大会 4 勝 2 分けて 1 位 決勝トーナメント 4 位 (3 位決定戦で駒林に敗れる)
	11~12	57 年度読売旗争奪読売少年サッカー秋季大会 第 2 次リーグ 3 位のため決勝トーナメントに進出できず。(国際チビッ子 3 位決定戦と重なり L-B で対戦)
1983 年(昭和 58 年)	1	第 9 回神奈川県少年サッカー大会 3 回戦で南大野コスモスに PK 負け 第 5 回全国少年ミニサッカー大会 8 人制の部 準決勝で PK 負け、4 位
	2	たちばなキッカーズ創立 15 周年記念行事実行委員会発足 9 月に祝賀式典を開催。記念誌を発行する。それにともなう資金づくりとしてバザーを開催することに決定
第 14 期メンバー		
		<div> <div>HB 9 吉村 幸大</div> <div>FW 7 山本 和人</div> <div>HB 5 田村 誠</div> <div>GK 1 平方 雅之</div> <div>FB 2 杏 敏男</div> <div>FB 3 松本 哲也</div> <div>CB 4 川合 康弘</div> <div>FW 6 中林 明彦</div> <div>HB 8 谷嶋 輝樹</div> </div> <div> <div>FB 24 村山 精一</div> <div>HB 25 横山 大輔</div> <div>FB/GK 26 馬瀬 直人</div> <div>HB 27 藤田 宏</div> <div>HB 28 西ヶ谷 聡享</div> <div>HB 29 田畑 裕三</div> <div>42 渡部 貴</div> <div>平山 昌和</div> <div>13 長塚 真也</div> </div>

		FW 11 佐世 真一	配野 学
		FW 20 谷山 一也	50 野里 洋介
		FB 12 神田 信幸	笹子 貢
		HB 17 落合 明人	松本 典浩
		FW 18 桑山 和也	辛 洪山
		FW 19 石川 和夫	日比野 誠
		GK/HB 21 山田 功	山崎 浩
		FB 22 福田 一	小宮 浩一郎
		FB 23 柏瀬 秀一	
第 15 期			
1983 年(昭和 58 年)	2~5	第 8 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 3 位	
	5	5 月 8 日 バザー開催	
		第 10 回横浜スポーツ少年団サッカー大会 4 位	
	5~7	第 7 回全日本少年サッカー神奈川大会	
		予選ブロック 2 位	
		第 5 回全国子どもミニサッカー大会神奈川県大会 優勝 (於伊勢丹屋上)	
		全国大会一回戦 たちばな 4 対 3 で仲ノ木に勝つも合宿と重なる為、以降の試合は棄権	
	8	富士緑の休暇村にて合宿	
		あざみ野 FC、八潮 SC (埼玉) 中西バーバリアン (東京) と親善試合を行う	
		二日目昼食は飯ごう炊飯	
		読売少年サッカー夏季大会 二次リーグで 2 位 (準決勝進出できず)	
		第 10 回関東団地少年サッカー大会	
		A チーム (高学年) 決勝トーナメント 1 回戦 西上尾に敗退	
		B チーム (低学年) 予選リーグ 2 位 海浜 (千葉) に PK 負	
	9	9 月 18 日 創立 15 周年記念式典開催	
		第 15 回横浜国際チビッ子サッカー大会	
		LL-A 2 部決勝トーナメント 準優勝	
1984 年(昭和 59 年)	1	第 1 回クラブ対抗ミニサッカー大会	
		3 年~6 年生 総合 2 位 特別トーナメント優勝	
		第 10 回神奈川県少年サッカー選手権大会	
		L の部 (PK 戦負け)、LL の部ともに 3 回戦で敗退	
	2	58 年度読売旗争奪読売少年サッカー冬季大会	
		第一次予選リーグで惜敗	
		第 15 期メンバー	
		MF 7 田辺 実	GK/MF 17 大村 慎二
		FW 8 伊藤 淳平	MF 18 小笠原 直広
		DF 2 中林 真人	DF 19 草野 真裕
		DF 3 波多野 暁宏	FW 21 白岩 俊明
		FW 5 辛 燭日	稲田 和彦
		MF 6 鈴木 信二郎	DF 22 望月 基
		FW 9 佐藤 勇	今村 和郎
		DF 12 守口 貴広	柳原 新太郎
		GK 1 山本 亮	服部 博之
		FW 10 河本 充弘	小林 啓寛

第 16 期																																																																																																																																							
1984 年(昭和 59 年)	2	第 9 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 2 回戦で本郷に敗退 曾田監督 現場に復帰																																																																																																																																					
	4	第 11 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A、LL-A とともに予選ブロック 1 位 決勝トーナメント 1 回戦で敗退 L-B 予選ブロック 4 位、LL-B 予選ブロック 5 位																																																																																																																																					
	5	第 8 回全日本少年サッカー神奈川県大会 L-A 予選ブロック 2 回戦で敗退																																																																																																																																					
	6	下田小グラウンド整備終了 永田コーチ長期出張から復帰																																																																																																																																					
	7	第 6 回全国子供ミニサッカー神奈川県大会 優勝の大根ラディッシュに 3 回戦で敗退																																																																																																																																					
	8	富士緑の休暇村で合宿 鷺沼、八潮 SC (埼玉) と親善試合を行う。 第 11 回関東団地対抗少年サッカー大会 L、LL とともに予選リーグで敗退																																																																																																																																					
	9	鶴間 10 周年招待試合 決勝リーグ進出 静岡の長泉南に惜敗 準優勝 勝田 SS 10 周年記念招待試合 優勝																																																																																																																																					
	10	第 16 回横浜国際チビ子サッカー大会 LL-A 準優勝																																																																																																																																					
	11	港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 優勝																																																																																																																																					
	1985 年(昭和 60 年)	1	第 11 回神奈川県少年サッカー大会 県予選ブロック 1 位 4 年ぶりに県中央大会に進出するも 1 回戦で惜敗。330 チーム中 16 位。 第 1 回クラブ対抗ミニサッカー大会 LL サロンフットボールの部 優勝																																																																																																																																				
		3	清水招待試合に参加																																																																																																																																				
第 16 期メンバー																																																																																																																																							
<table><tr><td>MF</td><td>7</td><td>配野</td><td>治</td><td>FW</td><td></td><td>桑山</td><td>真</td></tr><tr><td>FW</td><td>9</td><td>内田</td><td>昇</td><td>MF</td><td></td><td>山室</td><td>淳史</td></tr><tr><td>DF</td><td>6</td><td>樺沢</td><td>健二</td><td>MF</td><td>8</td><td>永長</td><td>勝行</td></tr><tr><td>MF</td><td>11</td><td>田中</td><td>剛</td><td>GK</td><td>2</td><td>斉藤</td><td>登</td></tr><tr><td>FW</td><td>10</td><td>野里</td><td>拓也</td><td>MF</td><td></td><td>増田</td><td>克彦</td></tr><tr><td>DF</td><td>5</td><td>篠原</td><td>雄太</td><td>DF</td><td></td><td>佐藤</td><td>礼和</td></tr><tr><td>FW</td><td></td><td>河本</td><td>利弘</td><td>FW</td><td></td><td>辛</td><td>爛碩</td></tr><tr><td>MF</td><td>17</td><td>笠原</td><td>宣広</td><td>MF</td><td></td><td>中鉢</td><td>要介</td></tr><tr><td>DF</td><td></td><td>仁平</td><td>圭</td><td>DF</td><td></td><td>新井</td><td>弘展</td></tr><tr><td>MF</td><td></td><td>塚本</td><td>茂樹</td><td>DF</td><td></td><td>新山</td><td>武志</td></tr><tr><td>GK</td><td>1</td><td>室伏</td><td>太地</td><td>MF</td><td></td><td>久保寺</td><td>徹</td></tr><tr><td>DF</td><td>14</td><td>篠原</td><td>晃</td><td>MF</td><td></td><td>国房</td><td>太郎</td></tr><tr><td>FW</td><td></td><td>白鶴</td><td>清治</td><td>MF</td><td></td><td>大西</td><td>文夫</td></tr><tr><td>DF</td><td></td><td>横川</td><td>英明</td><td></td><td></td><td>今仲</td><td>浩和</td></tr><tr><td>MF</td><td></td><td>森木</td><td>龍也</td><td></td><td></td><td>平方</td><td>哲郎</td></tr><tr><td>MF</td><td>5</td><td>有村</td><td>昌雄</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								MF	7	配野	治	FW		桑山	真	FW	9	内田	昇	MF		山室	淳史	DF	6	樺沢	健二	MF	8	永長	勝行	MF	11	田中	剛	GK	2	斉藤	登	FW	10	野里	拓也	MF		増田	克彦	DF	5	篠原	雄太	DF		佐藤	礼和	FW		河本	利弘	FW		辛	爛碩	MF	17	笠原	宣広	MF		中鉢	要介	DF		仁平	圭	DF		新井	弘展	MF		塚本	茂樹	DF		新山	武志	GK	1	室伏	太地	MF		久保寺	徹	DF	14	篠原	晃	MF		国房	太郎	FW		白鶴	清治	MF		大西	文夫	DF		横川	英明			今仲	浩和	MF		森木	龍也			平方	哲郎	MF	5	有村	昌雄				
MF	7	配野	治	FW		桑山	真																																																																																																																																
FW	9	内田	昇	MF		山室	淳史																																																																																																																																
DF	6	樺沢	健二	MF	8	永長	勝行																																																																																																																																
MF	11	田中	剛	GK	2	斉藤	登																																																																																																																																
FW	10	野里	拓也	MF		増田	克彦																																																																																																																																
DF	5	篠原	雄太	DF		佐藤	礼和																																																																																																																																
FW		河本	利弘	FW		辛	爛碩																																																																																																																																
MF	17	笠原	宣広	MF		中鉢	要介																																																																																																																																
DF		仁平	圭	DF		新井	弘展																																																																																																																																
MF		塚本	茂樹	DF		新山	武志																																																																																																																																
GK	1	室伏	太地	MF		久保寺	徹																																																																																																																																
DF	14	篠原	晃	MF		国房	太郎																																																																																																																																
FW		白鶴	清治	MF		大西	文夫																																																																																																																																
DF		横川	英明			今仲	浩和																																																																																																																																
MF		森木	龍也			平方	哲郎																																																																																																																																
MF	5	有村	昌雄																																																																																																																																				

第 17 期										
1985 年(昭和 60 年)	2	第 10 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 1 回戦で敗退								
	5	第 12 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A、L-B ともに予選ブロック 3 位 LL-A 予選ブロック 4 位、LL-B 予選ブロック 5 位 第 9 回全日本少年サッカー神奈川県大会 L-A 予選ブロック 2 回戦								
	6	第 1 回港北区サッカー協会大会 L-A 1 回戦 LL-A 3 回戦、LL-B 1 回戦で敗退								
	8	富士緑の休暇村で合宿 あざみ野と親善試合を行う。 第 12 回関東団地少年サッカー大会 L 決勝トーナメントで尾山台に敗退 LL 予選 1 勝 1 負								
	9	旭高校サッカー部 新日鉄グラウンドにてたちばなを指導								
	10	第 17 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選ブロック 3 位、L-B 予選ブロック 6 位 LL-A 予選ブロック 1 位、決勝トーナメントで駒林に惜敗 LL-B 予選ブロック 5 位								
	11	港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 優勝、L-B 2 回戦敗退 LL-A 3 位、LL-B 1 回戦敗退								
	1986 年(昭和 61 年)	1	第 12 回神奈川県少年サッカー大会 L-A 県予選ブロック 2 位							
		3	61 年度読売旗争奪読売少年サッカー春季大会 予選リーグ 1 位、ブロック決勝で惜敗							
	第 17 期メンバー									
			DF	3	前島	睦	FW	11	丸山	大助
		MF	4	土谷	悟	MF		大島	健	
		FW	6	関谷	明大	FW		三宅	弘幸	
		DF		南間	利之	MF		平田	浩二	
		FW		大野	樹里			(旧姓	難波)	
		DF	8	小栗	周一	MF		西口	剛史	
		MF	10	田辺	義昭					

第 18 期

1986 年(昭和 61 年)	2	第 11 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 第 2 回戦 上星川に敗れる					
	4	第 13 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選ブロック 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退 L-B 予選ブロック 5 位 LL-A 予選ブロック 1 位、決勝トーナメント 2 回戦敗退 LL-B 予選ブロック 6 位 SL 予選ブロック 5 位					
	5	第 10 回全日本少年サッカー神奈川県大会 L-A 予選ブロック 2 位					
	6	第 2 回港北区サッカー協会大会 L-A、L-B ともに 3 回戦敗退 LL-A 1 回戦敗退 (PK 負け)、LL-B 1 回戦敗退 SL 4 位。					
	7	第 8 回全国子供ミニサッカー大会 県予選 2 位、全国大会 4 位					
	8	富士緑の休暇村で合宿 GP フェスティバル 5 年生大会招待試合 予選リーグ 2 位、決勝リーグ浜松 JFC に惜敗。 第 13 回関東団地少年サッカー大会 L、LL ともに予選リーグ 2 位、決勝トーナメント進出出来ず SL 3 位。					
	10	第 18 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A、L-B ともに予選リーグ 4 位。 LL-A、LL-B ともに予選リーグ 5 位 SL 予選リーグ 4 位					
	11	第 6 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 準優勝					
	1987 年(昭和 62 年)	1	第 13 回神奈川県少年サッカー大会 L、LL ともに 2 回戦敗退				
		3	62 年度読売旗争奪読売少年サッカー春季大会 決勝トーナメント進出 準々決勝で惜敗				
			第 18 期メンバー				
		GK	1	遠藤 誠	FW	21	相原 且登
		DF	2	安土 有一郎	DF	22	箕輪 吉利大
		DF	3	福谷 和彦	DF	25	関 貴士
		MF	4	越前 恒雄	MF	26	家次 崇太
		DF	5	芳賀 優樹	FW	27	近藤 大輔
		FW	7	伊藤 謙三	DF	28	伊藤 文彦
		MF	8	草野 光雄	MF	30	阪本 学
		FW	9	室伏 勢			波多野 公士
		MF	10	吉村 正輝			酒井 寿和
		MF	18	山岸 治			浅井 庸介
		FW	19	安土 健太郎			

第 19 期										
1987 年(昭和 62 年)	2	第 12 回横浜少年サッカー大会 (新人戦) L 第 2 戦ではやぶさに PK 負け								
	4	第 14 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選ブロック 1 位、決勝トーナメント 準々決勝で駒林に PK 戦で惜敗 L-B 予選ブロック 6 位 LL-A 予選ブロック 2 位、決勝トーナメント 1 回戦で敗退 LL-B 予選ブロック 5 位 SL 予選ブロック 3 位 「たちばなキッカーズ創立 20 周年準備委員会組織」発足								
	5	第 11 回全日本少年サッカー神奈川県大会 4 回戦 いずみ KC に惜敗								
	6	第 3 回港北区サッカー協会大会 L-A 3 回戦敗退、L-B 1 回戦 PK 負け LL-A、LL-B ともに 1 回戦敗退 SL 3 位								
	8	富士緑の休暇村で合宿 腰越(鎌倉)、矢崎(府中)、町田 SS と親善試合実施 第 14 回関東団地対抗少年サッカー大会 L、LL ともに決勝トーナメント 1 回戦で惜敗								
	9	9 月 20 日 バザー開催								
	10	第 19 回横浜国際チビっ子サッカー大会 L-A 予選ブロック 2 位、準々決勝で若葉台に惜敗。 L-B 予選ブロック 8 位 LL-A 予選ブロック 5 位、LL-B 予選ブロック 6 位 SL 予選リーグ 2 位、この年は 1 位しか決勝トーナメントに進出出来ず、 涙をのむ								
	11	鶴見川(亀島橋下流)河川敷 たちばな専用グラウンド整備開始 第 7 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 3 回戦敗退、L-B 2 回戦敗退 LL-A 2 回戦敗退、LL-B 1 回戦敗退 SL 準優勝								
	1988 年(昭和 63 年)	1	第 14 回神奈川県少年サッカー大会 L、LL 共に予選ブロック 1 回戦敗退							
		2	第 7 回セルジオ杯記念サッカー大会 3 位							
	第 19 期メンバー									
		FW	10	田辺 貴之	MF	20	蔦木 浩一			
		MF	9	海野 貴男	FW	21	児島 健一			
		FW	8	小田 俊直	MF	22	田端 淳記			
		DF	3	山口 昌平	FW	23	那須 隆行			
		FW	7	出口 浩一郎	FW	24	岸 健司			
		FW	11	十河 康	FW	25	松久 友隆			
		DF	2	横山 惣一	DF	26	窪田 寛			
		DF	5	岩渕 寿洋	DF	28	小泉 裕希			
		DF	4	田中 誠	GK	29	久保田 宏			

		MF 6 近藤 宏樹 DF 17 高木 辰有	DF 30 佐々木 大輔
第 20 期			
1988 年(昭和 63 年)	1	第 13 回横浜少年サッカー大会(新人戦) L 1 回戦 PK 負け	
	2	藤沢市新人戦交流大会 予選リーグ 3 位、3 位パート優勝	
	4	63 年度読売旗争奪読売少年サッカー春季大会 一次予選リーグ 1 位、二次予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 4 位	
		第 15 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 2 回戦敗退 L-B 予選リーグ 7 位 LL-A 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退 LL-B 予選リーグ 5 位 SL 予選リーグ 7 位	
	5	第 12 回全日本少年サッカー神奈川県大会 予選ブロック優勝、中央大会 1 回戦で GP に惜敗 (GP が県代表となる)	
	6	第 4 回港北区サッカー協会大会 L-A 優勝、L-B 2 回戦敗退 LL-A 2 回戦敗退、LL-B 1 回戦敗退 SL 1 回戦敗退	
	8	富士緑の休暇村で合宿 第 15 回関東団地対抗少年サッカー大会 L 予選ブロック 1 位、決勝トーナメント 2 回戦敗退 LL 予選ブロック 3 位	
	9	創立 20 周年記念ガーデンフットボール大会 雨天の為、L、LL は中止 SL はアムゼル、つばさ、大曽根、たちばなの 4 チームで実施	
	10	第 20 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退 L-B 予選リーグ 6 位 LL-A 予選リーグ 4 位 LL-B 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 2 回戦敗退 SL 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退	
	11	第 8 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 準々決勝で敗退、L-B 2 回戦敗退 LL-A 3 回戦敗退、LL-B 1 回戦敗退 SL 1 回戦敗退	
1989 年 (平成元年)	1	第 15 回神奈川県少年サッカー大会 L 予選ブロック決勝で敗退、LL 1 回戦敗退	
	2	第 8 回セルジオ杯記念サッカー大会 3 位決定戦で駒林に PK 戦で敗退	

		第 20 期メンバー								
		GK 1 秋元 洋平	MF 22 工藤 崇広							
		DF 2 佐々木 弘一	MF 23 大輪 光広							
		DF 3 青木 健二	FW 27 藤本 武志							
		DF 4 城 宏隆	DF 28 遠藤 豊							
		MF 5 薄木 雄	MF 30 南間 貴之							
		FW 6 斉藤 将人	FW 31 村松 孝広							
		MF 7 今井 洋一	FW 32 鹿子島 光康							
		FW 8 猪狩 浩二	DF 33 本山 龍祐							
		MF 9 辻 真弘	DF 34 小松 正博							
		MF 10 田島 直宗	FW 35 大野 智有							
		FW 11 梅林 健治	DF 丸島 大輔							
		DF 12 加藤 靖	和気 正紀							
		DF 19 中村 拡史	松山 英一郎							
		MF 20 勝田 尚義	岡田 比呂樹							
		DF 21 野崎 秀和	世良 貴久							
第 21 期										
1989 年（平成元年）	1	第 14 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 1 回戦敗退								
	4	第 16 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 1 回戦で敗退 L-B 予選リーグ 6 位 LL-A 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 2 回戦敗退 LL-B 予選リーグ 6 位 SL 予選リーグ 5 位								
	5	第 13 回全日本少年サッカー神奈川県大会 L 2 回戦で敗退								
	6	第 5 回港北区サッカー協会大会 L-A 3 位入賞、L-B 1 回戦敗退 LL-A 1 回戦敗退、LL-B 1 回戦敗退 SL 1 回戦敗退								
	8	富士緑の休暇村で合宿								
	10	第 21 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦で敗退 L-B 予選リーグ 6 位 LL-A 予選リーグ 6 位、LL-B 予選リーグ 7 位 SL 予選リーグ 6 位								
	11	第 9 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 3 位入賞、L-B 1 回戦敗退 LL-A 4 回戦敗退、LL-B 1 回戦敗退 SL 1 回戦敗退								
	1	第 9 回セルジオ杯記念サッカー大会 1 次リーグ 2 位、2 位グループで 1 位 第 16 回神奈川県少年サッカー大会 L 4 回戦敗退、LL 2 回戦敗退								

		<div>第 21 期メンバー</div> <table><tr><td>GK</td><td>1</td><td>沼田</td><td>隆利</td><td>FW</td><td>10</td><td>吉川</td><td>元宏</td></tr><tr><td>DF</td><td>3</td><td>今西</td><td>哲也</td><td>FW</td><td>11</td><td>小島</td><td>健一</td></tr><tr><td>DF</td><td>4</td><td>高橋</td><td>宗漢</td><td>DF</td><td>18</td><td>田端</td><td>祐介</td></tr><tr><td>DF</td><td>5</td><td>内山</td><td>大輔</td><td>FW</td><td>19</td><td>杉島</td><td>聡</td></tr><tr><td>MF</td><td>6</td><td>藤井</td><td>光治</td><td>FW</td><td>20</td><td>中村</td><td>洋介</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(旧姓 三田)</td><td></td><td>DF</td><td>21</td><td>山本</td><td>圭一</td></tr><tr><td>DF</td><td>7</td><td>辰巳</td><td>輝</td><td></td><td></td><td>布藤</td><td>淳之介</td></tr><tr><td>FW</td><td>8</td><td>沢田</td><td>直樹</td><td></td><td></td><td>(旧姓 柴田)</td><td></td></tr><tr><td>FW</td><td>9</td><td>坂本</td><td>充</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	GK	1	沼田	隆利	FW	10	吉川	元宏	DF	3	今西	哲也	FW	11	小島	健一	DF	4	高橋	宗漢	DF	18	田端	祐介	DF	5	内山	大輔	FW	19	杉島	聡	MF	6	藤井	光治	FW	20	中村	洋介			(旧姓 三田)		DF	21	山本	圭一	DF	7	辰巳	輝			布藤	淳之介	FW	8	沢田	直樹			(旧姓 柴田)		FW	9	坂本	充				
GK	1	沼田	隆利	FW	10	吉川	元宏																																																																			
DF	3	今西	哲也	FW	11	小島	健一																																																																			
DF	4	高橋	宗漢	DF	18	田端	祐介																																																																			
DF	5	内山	大輔	FW	19	杉島	聡																																																																			
MF	6	藤井	光治	FW	20	中村	洋介																																																																			
		(旧姓 三田)		DF	21	山本	圭一																																																																			
DF	7	辰巳	輝			布藤	淳之介																																																																			
FW	8	沢田	直樹			(旧姓 柴田)																																																																				
FW	9	坂本	充																																																																							
第 22 期																																																																										
1990 年（平成 2 年）	1	第 15 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 1 回戦敗退																																																																								
	4	第 17 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選リーグ 3 位、L-B 予選リーグ 6 位 LL-A 予選リーグ 5 位、LL-B 予選リーグ 6 位 SL 3 負 3 分																																																																								
	5	第 14 回全日本少年サッカー神奈川県大会 予選ブロック優勝で中央大会へ。中央大会 1 回戦敗退。																																																																								
	6	第 6 回港北区サッカー協会大会 L-A 全日本大会の為棄権、L-B 1 回戦敗退 LL-A 3 位入賞、LL-B 1 回戦敗退 SL 1 回戦敗退																																																																								
	7	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会 予選リーグ 4 位																																																																								
	8	富士緑の休暇村で合宿																																																																								
	10	第 22 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 4 位、L-B 予選リーグ 5 位 LL 予選リーグ 1 位、優勝 （決勝戦は緑少年少女に 2 対 1 で勝利） SL 予選リーグ 4 位																																																																								
	11	第 10 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 2 回戦で PK 戦負け、L-B 2 回戦敗退 LL-A 1 回戦敗退、LL-B 2 回戦敗退 SL 1 回戦敗退																																																																								
	1991 年（平成 3 年）	1	第 17 回神奈川県少年サッカー大会 L 3 回戦敗退 LL 3 回戦敗退（準決勝に進出出来ず）																																																																							
		2	第 10 回セルジオ杯記念サッカー大会 第 22 期メンバー																																																																							
			<table><tr><td>MF</td><td>10</td><td>秋元</td><td>純</td><td>DF</td><td>13</td><td>横山</td><td>正幸</td></tr><tr><td>MF</td><td>6</td><td>内田</td><td>耕平</td><td>FW</td><td>11</td><td>上江</td><td>亮</td></tr><tr><td>DF</td><td>5</td><td>鈴木</td><td>悠介</td><td></td><td></td><td>田尻</td><td>正和</td></tr><tr><td>FW</td><td>9</td><td>佐藤</td><td>敏久</td><td>DF</td><td>4</td><td>田賀糸</td><td>朋</td></tr><tr><td>MF</td><td>7</td><td>関</td><td>桂介</td><td>DF</td><td>14</td><td>森木</td><td>智也</td></tr><tr><td></td><td></td><td>井関</td><td>裕哉</td><td>FW</td><td>15</td><td>田川</td><td>浩幸</td></tr><tr><td>DF</td><td>2</td><td>春原</td><td>康之</td><td>DF</td><td>16</td><td>小松</td><td>弘典</td></tr><tr><td>DF</td><td>3</td><td>久保田</td><td>旭</td><td>GK</td><td>1</td><td>小蒲</td><td>公太</td></tr></table>	MF	10	秋元	純	DF	13	横山	正幸	MF	6	内田	耕平	FW	11	上江	亮	DF	5	鈴木	悠介			田尻	正和	FW	9	佐藤	敏久	DF	4	田賀糸	朋	MF	7	関	桂介	DF	14	森木	智也			井関	裕哉	FW	15	田川	浩幸	DF	2	春原	康之	DF	16	小松	弘典	DF	3	久保田	旭	GK	1	小蒲	公太							
MF	10	秋元	純	DF	13	横山	正幸																																																																			
MF	6	内田	耕平	FW	11	上江	亮																																																																			
DF	5	鈴木	悠介			田尻	正和																																																																			
FW	9	佐藤	敏久	DF	4	田賀糸	朋																																																																			
MF	7	関	桂介	DF	14	森木	智也																																																																			
		井関	裕哉	FW	15	田川	浩幸																																																																			
DF	2	春原	康之	DF	16	小松	弘典																																																																			
DF	3	久保田	旭	GK	1	小蒲	公太																																																																			

		FW 12 松永 範導	GK 17 平田 順基
		MF 8 中野 貴宏	MF 31 高島 大輔
		小山 優	

第 23 期		
1991 年（平成 3 年）	1	第 16 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 3 回戦で PK 戦負け
	4	第 18 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L 予選リーグ 3 位 LL 予選リーグ 6 位 SL 3 負 1 分、2 不明
	5	第 15 回全日本少年サッカー神奈川県大会 予選 1 回戦敗退
	6	第 7 回港北区サッカー協会大会 L-A 2 回戦敗退、L-B 1 回戦敗退 LL 4 位入賞（3 位決定戦で駒林 B に敗退） SL 2 回戦敗退
	7	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会 予選リーグ 3 位、3 位トーナメント 2 回戦で敗退
	8	富士緑の休暇村で合宿
	10	第 23 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 3 位、L-B 予選リーグ 7 位 LL 予選リーグ 6 位 SL 2 勝 4 負 1 分け 1 不戦勝、1 不明
	11	第 11 回港北区ジュニアスポーツ大会 L 準優勝、LL 3 回戦敗退、SL 1 回戦敗退
1992 年（平成 4 年）	1	第 18 回神奈川県少年サッカー大会 L、LL とともに 2 回戦敗退
	2	第 11 回セルジオ杯記念サッカー大会
第 23 期メンバー		
	GK 1	遠藤 崇 渡辺 哲平
	DF 2	伊地知 俊行 沼田 拓也
	DF 4	荘司 一磨 横山 士朗
	DF 5	小橋 史和 山本 玲
	FW 6	藤本 康志 内山 寛基
	MF 7	小橋 史典 上村 秀明
	MF 8	金高 俊介 三井 周太郎
	FW 9	辻 剛史 石井 崇暁
	FW 10	木津 謙太郎 樫本 大輝
	FW 11	浜田 雄貴 鶴田 智文
		依田 剛

第 24 期		
1992 年（平成 4 年）	1	第 17 回横浜少年サッカー大会(新人戦) 1 回戦敗退
	4	本年度も昨年に続き下田小校庭が校舎建て替えの為使用出来ず

1993 年（平成 5 年）		第 19 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L 予選リーグ 5 位 LL-A、LL-B ともに予選リーグ 7 位 SL 予選リーグ 4 位
	5	第 16 回全日本少年サッカー神奈川県大会 2 回戦で PK 戦負け
	6	第 8 回港北区サッカー協会大会 L-A 優勝 、L-B 1 回戦敗退 LL-A 2 回戦敗退、LL-B 1 回戦敗退 SL 3 回戦敗退（4 位）
	7	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会 予選リーグ 3 位、3 位グループで 3 位
	8	富士急河口湖ロッジで合宿 富士緑の休暇村で実施予定であったが、下田小の臨海学校(5 年生)が重なり 急きょ変更
	10	第 24 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 3 位入賞、L-B 予選リーグ 8 位 LL-A 予選リーグ 4 位、LL-B 予選リーグ 8 位 SL 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退
	11	第 12 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 優勝 （春・秋初連覇）、L-B 2 回戦敗退 LL-A、LL-B とも 1 回戦敗退 SL 3 位入賞（参加 12 チーム）
	1	第 19 回神奈川県少年サッカー大会 L、LL ともに 2 回戦敗退
	2	第 12 回セルジオ杯記念サッカー大会
		第 24 期メンバー
		GK 2 浦田 一毅 FW 13 小関 正浩
		DF 3 谷嶋 正樹 FW 14 野崎 大輔
		MF 4 小田 俊輔 MF 15 西田 圭吾
		DF 5 春原 健司 DF 16 村岡 健一
		DF 6 箕輪 亮佑 FW 17 小谷 剛史
		FW 7 竹原 石裕 DF 18 堀口 勝
		MF 8 池野 遊 FW 27 大鍛治 大介
		FW 9 森 和也 DF 30 染森 宏二
		FW 10 杉本 光広 MF 31 石川 直樹
		FW 11 浜田 慶大 MF 32 岩倉 聡
		DF 12 中村 光伸
第 25 期		
1993 年（平成 5 年）	1	第 18 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 1 回戦敗退
	4	第 20 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選リーグ 5 位、L-B 予選リーグ 8 位 LL-A 予選リーグ 3 位、LL-B 予選リーグ 7 位 SL 予選リーグ 6 位

1994 年（平成 6 年）	5	第 17 回全日本少年サッカー神奈川県大会 1 回戦敗退																																			
	6	第 9 回港北区サッカー協会大会 L-A 1 回戦敗退（PK 負け）、L-B 2 回戦敗退 LL-A 準優勝（優勝は城郷）、LL-B 1 回戦敗退 SL 4 位入賞（参加 17 チーム）																																			
	7	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会 大雨で到着が遅れ、初日に棄権																																			
	8	富士緑の休暇村で合宿 第 20 回関東団地対抗少年サッカー大会 L、LL とともに 2 回戦敗退																																			
	10	第 25 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 4 位、L-B 予選リーグ 6 位 LL-A 予選リーグ 4 位、LL-B 予選リーグ 6 位 SL 予選 4 位																																			
	11	第 13 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A、L-B とともに 1 回戦敗退 LL-A 準々決勝で敗退、LL-B 2 回戦敗退 SL 3 位入賞（参加 19 チーム）																																			
	1	第 20 回神奈川県少年サッカー大会 L 1 回戦敗退、LL 準決勝で敗退																																			
	2	第 13 回セルジオ杯記念サッカー大会																																			
	第 25 期メンバー																																				
	<table><tr><td>GK/FW</td><td>2</td><td>真田 和宏</td><td>FW</td><td>8</td><td>渡辺 大策</td></tr><tr><td>DF</td><td>3</td><td>塚本 伸男</td><td>DF</td><td>9</td><td>長尾 健太郎</td></tr><tr><td>GK</td><td>4</td><td>大八木 紘之</td><td>MF</td><td>10</td><td>持丸 純也</td></tr><tr><td>DF</td><td>5</td><td>松久保 信介</td><td>FW</td><td>11</td><td>田端 祥太</td></tr><tr><td>MF</td><td>6</td><td>阿南 誠</td><td>MF</td><td>27</td><td>九鬼 準</td></tr><tr><td>MF</td><td>7</td><td>中川 綾</td><td>DF</td><td>39</td><td>久保田 光</td></tr></table>		GK/FW	2	真田 和宏	FW	8	渡辺 大策	DF	3	塚本 伸男	DF	9	長尾 健太郎	GK	4	大八木 紘之	MF	10	持丸 純也	DF	5	松久保 信介	FW	11	田端 祥太	MF	6	阿南 誠	MF	27	九鬼 準	MF	7	中川 綾	DF	39
GK/FW	2	真田 和宏	FW	8	渡辺 大策																																
DF	3	塚本 伸男	DF	9	長尾 健太郎																																
GK	4	大八木 紘之	MF	10	持丸 純也																																
DF	5	松久保 信介	FW	11	田端 祥太																																
MF	6	阿南 誠	MF	27	九鬼 準																																
MF	7	中川 綾	DF	39	久保田 光																																

第 26 期		
1994 年（平成 6 年）	1	第 19 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 1 回戦敗退
	4	第 21 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選リーグ 3 位、L-B 予選リーグ 8 位 LL-A 予選リーグ 4 位、LL-B 予選リーグ 8 位 SL 予選リーグ 7 位
	5	第 18 回全日本少年サッカー神奈川県大会 予選準決勝で敗退
	6	第 10 回港北区サッカー協会大会 L-A 準優勝（城郷に完敗）、L-B 1 回戦敗退 LL-A 優勝、LL-B 1 回戦敗退 SL 2 回戦敗退（参加 20 チーム）
	7	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会 予選 2 位で決勝進出、決勝 1 回戦敗退

1995 年（平成 7 年）	8	富士緑の休暇村で合宿
	10	第 26 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 4 位、L-B 予選リーグ 7 位 LL-A 予選リーグ 3 位、LL-B 予選リーグ 7 位 SL 予選 6 位
	11	第 14 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 準々決勝で城郷に負、L-B 1 回戦敗退 LL-A 1 回戦 PK 戦で敗退、LL-B 1 回戦敗退 SL 2 回戦敗退（参加 18 チーム） 第 14 回小田原カップフェスティバル L グループ 2 位で決勝大会進出ならず
	1	第 21 回神奈川県少年サッカー大会 L 1 回戦 PK 戦で敗退 LL 1 回戦 PK 戦で敗退
	2	第 14 回セルジオ杯記念サッカー大会
	第 26 期メンバー	
	GK	1 大井 真作 FW 9 九鬼 優飛
	DF	2 天野 順平 MF 10 菅野 力鳴
	DF	3 九鬼 優士 DF 14 古川 貴浩
	DF	4 岩田 和久 MF 15 福岡 聡
	MF	5 杉山 満 FW 16 山辺 恵一郎
	MF	6 山口 洋樹 MF 17 篠原 啓輔
	FW	7 松田 賢幸 DF 32 徳永 晋也
	MF	8 佐野 正樹 FW 33 高杉 久志
第 27 期		
1995 年（平成 7 年）	1	第 20 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 1 回戦敗退
	4	第 22 回横浜市内スポーツ少年団サッカー大会 L-A 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退（PK 戦負け） L-B 予選リーグ 6 位 LL-A 予選リーグ 5 位、LL-B 予選リーグ 4 位 SL 予選リーグ 3 位
	5	第 19 回全日本少年サッカー神奈川県大会 グループ決勝で敗退
	6	第 11 回港北区サッカー協会大会 L-A 3 位（準決勝で城郷に負）、L-B 2 回戦敗退 LL-A 優勝（2 年連続優勝） 、LL-B 1 回戦敗退 SL 2 回戦敗退（参加 15 チーム）
	7	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会（20 周年招待試合） 総合 3 位
	8	富士緑の休暇村で合宿
	10	第 27 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 4 位、L-B 予選リーグ 7 位 LL-A 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント準々決勝で帷子に PK 戦負け

1996 年（平成 8 年）	11	LL-B 予選リーグ 6 位
		SL 予選リーグ 3 位
		第 15 回港北区ジュニアスポーツ大会
		L-A 1 回戦敗退、L-B 1 回戦 PK 戦で敗退
		LL-A 準々決勝で城郷に負、LL-B 1 回戦 PK 戦で敗退
		SL 準優勝（参加 15 チーム）
		1 第 22 回神奈川県少年サッカー大会
		L 1 回戦敗退、LL 2 回戦敗退
		2 第 1 回 GP フットサル大会
		SL 決勝進出し 4 位（参加 20 チーム）
1996 年（平成 8 年）	1	第 15 回セルジオ杯記念サッカー大会
		第 27 期メンバー
		GK 1 渡辺 啓太 MF 8 内山 和也
		DF 2 北島 秀樹 FW 9 松久保 直樹
		DF 3 阿南 慶 MF 10 小瀬村 大亮
		DF 4 小蒲 文郎 FW 11 小西 翼
		FW 5 小谷 篤史 FW 12 永田 勝利
		DF 6 小川 大武 MF 13 羽田野 慶太
		MF 7 成瀬 真一 GK 14 坂川 光平
		1996 年（平成 8 年）
1 回戦敗退		
4 第 23 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会		
L-A 予選リーグ 3 位、L-B 予選リーグ 6 位		
LL-A 予選リーグ 3 位、LL-B 予選リーグ 6 位		
SL 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退		
第 1 回東急カップちびっこフットサル大会		
LL 3 位（参加 32 チーム）		
5 第 20 回全日本少年サッカー神奈川県大会		
1 回戦敗退		
1996 年（平成 8 年）	1	6 第 12 回港北区サッカー協会大会
		L-A 1 回戦 PK 戦で敗退、L-B 1 回戦敗退
		LL-A 2 回戦敗退、LL-B 1 回戦敗退
		SL 準優勝（参加 15 チーム）
		7 GP サッカーフェスティバル 2 年生大会
		予選 2 位、2 位リーグ順位決定戦は雨天中止
		8 富士緑の休暇村で合宿
		10 第 28 回横浜国際チビっ子サッカー大会
		L-A 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退
		L-B 予選リーグ 7 位
1996 年（平成 8 年）	1	LL-A 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退
		LL-B 予選リーグ 4 位
		SL 予選リーグ 3 位

1997 年（平成 9 年）	11	第 16 回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 3 位入賞、L-B 1 回戦敗退 LL-A 準決勝：城郷 A に負、LL-B 準決勝:つばめ B に負 3 位決定戦はたちばな同士となる。LL-A 3 位入賞、LL-B 4 位入賞 SL 2 回戦敗退（参加 16 チーム）
	1	戸塚少年 SC 招待読売杯 準優勝（16 チーム参加） 第 23 回神奈川県少年サッカー大会 L 1 回戦敗退 LL 4 回戦（予選ブロック決勝）で南百合ヶ丘に敗退 第 2 回 GP フットサル大会 SL 予選リーグ 3 位、3 位トーナメント 1 回戦敗退（黒滝に PK 戦負け）
	2	第 16 回セルジオ杯記念サッカー大会 第 28 期メンバー GK 1 長田 孟 FW 9 鈴木 健之 GK 2 佐藤 洸 MF 10 横山 隆太郎 MF 3 石井 智 FW 11 小野 佑樹 DF 4 庄司 壮志 GK 12 金指 健太 DF 5 鳥見 寛 DF 13 菅田 堅之 MF 6 新井 健太郎 緒方 隆人 MF 7 白石 健也 長尾 慎二郎 FW 8 昆 恵介
	第 29 期	
	1	第 22 回横浜少年サッカー大会（新人戦） 2 回戦敗退
	4	第 24 回横浜市春季少年サッカー大会 この年から大会の名称が変更となり、木村和司杯と副題も付く L-A 予選リーグ 3 位、L-B 予選リーグ 7 位 LL-A 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 2 回戦敗退 LL-B 予選リーグ 7 位 SL 予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退 第 2 回東急カップちびっこフットサル大会 LL 準優勝（決勝で FC ゼブラ B に惜敗）
	5	第 21 回全日本少年サッカー神奈川県大会 2 回戦敗退
	6	第 13 回港北区サッカー協会大会 L-A 3 位入賞（参加 17 チーム）、L-B 1 回戦敗退 LL-A 準優勝、LL-B 1 回戦敗退 SL 1 回戦敗退
	7	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会 優勝（参加 24 チーム） 7 月 13 日(日)に創立 30 周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約 40 万円
	8	富士緑の休暇村で合宿

1998 年(平成 10 年)	10	第 29 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 予選リーグ 4 位、L-B 予選リーグ 4 位 LL-A 予選リーグ 3 位、LL-B 予選リーグ 5 位 SL 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 準決勝であざみ野に惜敗。 3 位入賞（決定戦で丸山台に PK 戦勝ち）
	11	第 1 回港北区区民サッカー大会 L-A 2 回戦敗退、L-B 1 回戦敗退 LL-A 3 位入賞、LL-B 2 回戦敗退 SL 2 回戦敗退
	1	戸塚少年 SC 招待読売杯 第 24 回神奈川県少年サッカー大会 L 1 回戦敗退、LL 予選ブロック 2 位 第 3 回 GP フットサル大会 SL 3 位入賞
	2	創立 30 周年準備委員会組織発足、コーチが主体となり開催準備を実施する事とする 第 17 回セルジオ杯記念サッカー大会
		第 29 期メンバー GK 1 徳永 哲也 DF 12 鷺沢 弘太 DF 2 高井 大輔 DF 13 小林 孝資 DF 3 御手洗 匡史 FW 14 片山 翔 DF 4 松田 滋 MF 15 小野田 篤嗣 DF 5 穴戸 将晃 DF 16 石川 紀良 MF 6 佐藤 奨 DF 17 阿南 祐典 MF 7 関口 亮 MF 18 城田 貴之 MF 8 白石 直人 GK 19 古田 裕介 FW 9 細井 雄輔 DF 36 岳野 洸一郎 FW 10 堀内 慶太 DF 37 水島 瞬 MF 11 宮川 克彦



たちばなと私

元 SL コーチ 田辺 昭治

私がタチバナにお世話になった切っ掛けは、息子がサッカーをやりたいといった一言です。当時息子は二年で SL が無く入部を一旦見送られた事を記憶しています。その時、曾田監督と初めて出会い、相談の結果「遊びに来るならいいですよ」と、息子共々お世話になりました。その後 SL を立上げ、いつの間にかコーチとなり、三十年余り SL 一筋で在籍させて頂きました。

五十年とは、半世紀、すごい事ですね。私もその中の一員としてお手伝いを出来たことが本当に幸せで嬉しく思います。知る処であります、タチバナは、横浜サッカークラブの中で二番目の歴史と伝統を持ったチームで、誇りと自信を持っています。そしてタチバナを卒業したコーチが他でサッカーチームを造り、活躍の場を広げ、その影響は計りしれないものがあると思います。どこの試合会場でも、「あのタチバナさんですか」と手厚く紹介されたことなど憶えています。この様に、コーチを続けている時に、様々な人との出会いに触れ多くの知り合いが出来ました。また一方、行政との関係を築き、港北区サッカー協会を設立させました。これもタチバナでサッカーをしていたお陰と感じ取っています。その後の 2002 年の日韓ワールドカップ時に、韓国のサッカーチームを招き、国際競技場のある港北区が担当し、韓国チームの子供たちをタチバナを始めとする各チームの親御さんにホームステイをして頂いたことなどが思い浮かびます。

私の思い出話になってしまい恐縮ですが、五十年の歩みの中、タチバナに在籍していた時の一コマです。また、既にタチバナを離れ他界したコーチも居られ歴史の深さを感じざるを得ません。話はまだまだ山ほどありますが、ここで曾田監督がいつも言っていた教えの話があります。子供達に考えさせるサッカー、それが出来たら褒めてあげる。そのことを守り、次の世代に伝えて頂ければ大変嬉しく思います。

これからも微力ではありますが、時に触れお役にたてばとたちばな杯や朝練に顔を出させていただいております。これからもタチバナのスタイルを変える事なく益々発展することを願っています。

五十周年誠におめでとうございます。

たちばな誕生＝メキシコオリンピック・そして思うこと

たちばな 1 期（マネージャー）

森田 葉子

（旧姓 曾田）

今やバレーボールを始め日本中のスポーツの応援の定番となった“ニッポン・チャ・チャ・チャ”実はサッカーから始まったことをご存知でしょうか？

メキシコオリンピックの代表を応援するためサッカー誌で、日本最初の応援団＝日本サッカー狂会（父も草創期からの会員だった）の呼びかけた“ニッポン・チャ・チャ・チャ”と“ラッカー（？）”という木の鳴り物の製作方法が掲載されていた記憶があります。調べてみると、オリンピック少し前の 5 月にイングランド・アーセナルとの親善試合で初めてこのチャントが導入されたとのこと。1968 年に戻り、10 月 24 日／3 位決定戦。地元メキシコ・スタンドの盛り上がり！日本が 2 点先制。すると相撲で横綱が平幕に負けて座布団が舞うように物が投げ入れられ、「ハポン」「ハポン」の大合唱！強烈な印象は目に焼き付き、クラスの男子たちも急にボールを蹴り始めた！メダルに触発されたのは父も同じで『子ども達に教えてみたい』と。私はすぐにクラスメートに声をかけた。



それから 50 年。小 5 だった 1 期生は還暦を過ぎ、たくさんの方々に支えられた『たちばな KC』は今日に至っています。

私は今、木村和司のファンだったことと OB の大場賢治（現・健史）君が所属したことも有って、日産自動車→横浜 F マリノスを応援、ほとんどのホームゲームをスタジアムで観戦しています。今年のマリノスは、『ポストコ革命』『アタッキング・フットボール』と称され、堅守から攻撃的なサッカーに変わったと話題に。観戦しているとスタイルだけではなく、メンタルが変わったのでは？！意識が変わることで行動が変わり、さらなる意識や自覚が芽生えていると思います。W 杯後、最初の仙台戦を 8－2 で勝利。次節・味スタ東京戦は 5 点先取されるも「このままで終わる訳無い！」応援に声を嗄らすと PK&新人・山田康太で 2 得点。その後、広島、川崎に連敗。最多得点&失点となるも、補強メンバーのチアゴ・マルチンスや久保建英の活躍で持ち直し始めました。ポストコグルー監督は、リスクを承知して“挑戦”する気持ち、自分たちを信じ、信じようとするポジティブな考え方を選手のみならず、サポーターにももたせたと考えています。たちばな OG としてこの“ポジティブな姿勢”を後輩の皆さんに送ります。

今この時、挑戦・成長出来ることを喜びに感じて欲しいです。最後に、たちばな KC、駒林 SC、あざみ野 FC の皆さんと共に『世界の共通語・サッカー』を楽しんでいることを幸せに感じています。

祝！感謝！たちばなキッカーズクラブ創立50周年

明治フリースタイル少年蹴球団

(第4期 1972 年度卒業)

笠松 文雄

たちばなキッカーズ創立50周年おめでとうございます。

曾田さんを始め、歴代の指導者の皆さん、愛好会の皆さん、下田小学校のグラウンドでサッカーボールを追い続けたたちばなキッカーズの子どもたち。そして応援し協力いただいたお父さん、お母さん方。その時その時の積み重ねが今のたちばなキッカーズを作ってきました。時代は移り変わっても「選手中心、選手が考えるサッカー」というたちばなの伝統は脈々と受け継がれているでしょう。数年ではありますが、このたちばなに選手として関わったこと、たいへん誇りに思います。



40 周年の記念式典に出席させていただき、曾田さんに自分の結婚式以来22 年振りにお会いできてからもう10 年も経っているのですね。それを考えると月日の流れるのは早いものだとしみじみ思っています。先日、6 月17 日にたちばなの三木監督から「曾田さんと娘さんがたちばなを見に下田小学校に来られました。めちゃくちゃお元気でした。」というコメントとともに写真も送られてきてそのお元氣な姿を拝見して本当に懐かしく、うれしく思いました。

たちばな草創期の頃

ワールドカップロシア大会は、フランスが優勝し、大会前はあまり期待されていなかった日本代表が予選リーグや決勝トーナメント1 回戦で3 位になったベルギーと好試合を展開して日本中が盛り上がりましたが、たちばなキッカーズができた1968 年は、メキシコオリンピックで日本が銅メダルを取るという快挙を成し遂げた年。小学校2 年の自分も同じ社宅のお兄さんたちに誘われて訳もわからずボールを蹴っていた記憶があります。

たちばなとの、曾田さんとの出会い

5 年生になって下田小学校で区の学校対抗サッカー大会をやるということで、7 人制のメンバーに選ばれたのが、サッカーを始めた切っ掛けでしたが、「日曜日の朝7 時から9 時まで学校とは違うサッカーがあるからサッカーがやりたかったら来てみて」と誰かから誘われて行ってみました。5 年生の11 月頃だったと思います。そこで初めて曾田さんと出会いました。そこでの曾田さんとの出会い、サッカーとの良い出会いが47 年経った今でも自分をサッカーに関わり続けてさせてくれているのです。

翌週にはユニフォームの空いている背番号は3 番か4 番か8 番と言われ、フォワードっぽい8 番にするとって、人生初めて付ける背番号を決めたことを今でも鮮明に覚えています。まだ、L は人数もいなかったその翌週には根岸線で根岸中学校まで試合をしに行き、フォワードとしてただ訳も分からず走りまわっていたという記憶があります。自分の学年は総じてサッカーを始めるのが遅く、技術的には高くなかったですが、それでも6 年生になる頃には25 人くらい集まりました。土曜日は午後から中山先生や池畑先生と学校でサッカーをし、毎朝8 時から学校で朝練をし、日曜日の午前中はたちばなでボールを蹴るという、サッカーばかりの毎日を知らない間にするようになっていました。たちばなの練習は、といっても曾田さんと子供たちが、ボールを蹴り合って遊びながらサッカーを楽しんでいたというのが正しいかも知れません。ゲームが中心で校庭すべてを使って、ラインを引いているわけではないので、時にはブランコの柵を飛び越えながらボールを追うという今思えばなんとおおらかなスタイルでサッカーを楽しんでいたことでしょう。このたちばなでのサッカーとの出会いがプロ野球選手を夢見て

いた野球少年だった自分を「サッカーが最高に面白い！」と一瞬にしてサッカー大好き少年に変わらせたのです。自分をとりこにしたサッカーの面白さとは、なんといっても監督やコーチに指示されてもピッチに出れば自分の判断、意思でプレーができること。自分自身で考え、判断してプレーし、それがうまくいったときの達成感がすごく大きかった。

この自分で考え、判断することの大切さを教えてくれたのが、曾田さんでした。当時は、「おじさん」と子ども達から呼ばれていた曾田さんは本当に自由な雰囲気の中で自由にやらせてくれてその指導方針が、自由な発想と自分で考えてやってみるということを自然に身に付けさせてくれたと思います。当時は、自分たちで考えてチームの応援歌（現在のたちばなイレブンの原型）を作ったり（作詞をして作曲は音楽の先生に頼んだ）、半袖のユニフォームがなく、そのデザインを自分たちでしたり（白の半袖で左胸にオレンジの2本線が入っているもので結局自分たちは着ることができませんでした）、本当に自分たちで何でも行うような雰囲気があり、それがより一層サッカーを面白くさせていたと思います。

指導者として

中学・高校・大学・社会人とサッカーを何の迷いもなく続けてきましたが、自分の息子が藤沢の明治フリースターズでサッカーを始めると必然的にお父さんコーチになって少年の指導を始めました。息子が卒団した後もコーチを続け、指導を始めてから21年になります。たちばなには、4年生に毎年12月に明治招待に来ていただいていますし、明治の6年生をたちばなの卒団記念大会に呼んでもらうなどチーム同士の交流もさせていただいています。今回も4年生を50周年記念大会に招待していただきました。ありがとうございます。これからも良いお付き合いをさせていただければと思います。自分は指導者として、明治フリースターズでサッカーを始めた子どもたちに自分がたちばなで曾田さんに少年時代させてもらったサッカーとの良い出会いをして欲しいと思い、その良いサッカーとの出会いの手助けをたくさんすること、これが、自分が明治フリースターズで指導する使命だと考えています。

小学生でサッカーを始め、青春時代に一生懸命サッカー選手として上を目指し、社会人になり、毎週指導者として子どもたちといっしょにサッカーし、子どもたちからも元気をもらい、親としても夢を追いかける息子の応援、サポートをすることが今でもできている。思えば、サッカーが無ければ自分の人生は今とはまったく違うものになっていたと思います。今の人生はサッカー抜きでは語れません。そのサッカーにたちばなキッカーズと曾田さんに出会わせてもらいました。本当に感謝しています。

明治フリースターズ少年蹴球団もたちばなキッカーズと同じく今年創立50周年を迎えます。また、10年後、20年後も続いていけるよう、自分もたちばなキッカーズのみなさんに負けないように、たちばなが、曾田さんが教えてくれたサッカーの面白さを子どもたちに伝えていきたいと思います。

最後になりましたが、当時のたちばなの思い出とたちばなへの、サッカーへの想いを書かせていただき、お祝いと感謝の言葉に代えさせていただきます。これからもサッカー大好き少年・少女をたくさん輩出していきましょう。

創立 50 周年に寄せて

第 10 期 OB 及びフリーコーチ 田島 泰彦

たちばなキッカーズ創立 50 周年おめでとうございます。

半世紀に渡り、少年サッカーチームを運営されてきたことは、大変な偉業だと思います。

創設者の曾田さんをはじめ、コーチの皆様、またご父兄の方々の多大なご尽力とご協力があって、この偉業が成し遂げられたことと思います。本当におめでとうございます。

さて私自身、たちばなの第 10 期生であります。息子は 38 期生になり、親子でたちばなにお世話になりました。

その後私はコーチとして十数年、たちばなでスタッフとして微力ながら協力をさせて頂きましたが、3～4 年ほど前から、フリーのコーチとして席だけ置かせて頂いております。

私が思うたちばなは、まず曾田さんのサッカーに対する思いや考え方に大変深く共感したことです。

私が曾田さんに習ったサッカーは、スピードやパワーを主体としたものではなく、ドリブルやフェイントなど、テクニックを主体とした個人技を磨くサッカーでした。練習が終わると必ずリフティングをやらされ、徐々にですが、リフティングが上手に出来ていくことに喜びを感じました。小学 3 年～6 年生のゴールデンエイジの時期、応用力を徹底的に磨くそんなサッカーを教えてもらいました。私はその曾田イズムに惹かれ、コーチをやっていた十数年間、子供達には同じような練習を教えてきました。

子供の応用力は凄いもので、このゴールデンエイジの時期は、物凄い勢いで成長をしていきます。小さい体をした子供が、大の大人を簡単にドリブルで抜いて行きます。またリフティングをやらせると、数百回、中には数千回も蹴る子供もいました。これには驚きました。コーチをやっていて、正しく指導が行えているのかという不安もありましたが、子供達がテクニックを磨き、大人相手に簡単にドリブルで抜いていく成長を間近で見ると、指導者として大変嬉しく思いました。

現在でもたちばなは、宍戸代表を筆頭に、そんな曾田イズムのサッカーを守り続けていると思います。コーチの皆様のご尽力は計り知れません。皆さんが同じ志をもって、その伝統を継承していることに感銘しております。

たちばなが 50 年にも渡って子供達にサッカーの楽しさを教えてきました。どれだけの数の子供達が卒団していったのでしょうか。ここでの経験を社会に生かし、立派に成長していることと思います。現在でも街中で声をかけてもらえる事があります。卒団生は私の顔を覚えていますが、私は成長した彼らの顔が分かりません。子供の頃の顔しか覚えていないからです。しかし、声をかけてもらえる事が、何より嬉しく思いました。

最後になりますが、たちばなキッカーズの益々のご発展と、コーチや関係スタッフの方々のご健勝を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

30 期～TKC のこれから世代

創立から 30 年、日本におけるサッカーの人気は不動のものとなり、サッカーのレベルも飛躍的に向上しました。

1998 年のフランス大会への初出場以降、日本はワールドカップの常連国へと成長し、海外の有名クラブチームで活躍する日本人選手も増えています。

たちばなキッカーズは、地域に根ざし子供を主役とした伝統を維持しつつ、「10 年先の完成期にいかに大きく成長させるか」をモットーに、クラブの更なる発展を目指してきました。

現在の日本のサッカーを担い、これからを担っていく世代である、30 期(1998 年度卒業)から 56 期(2024 年度卒業予定)までのチームとメンバーをご紹介します。

第 30 期 1998 年度(平成 10 年度)卒業生

チーム紹介 第 30 期生 菊地 雄一郎

創立 50 周年おめでとうございます。30 期生を代表して、チーム紹介や当時の思い出を書かせて頂きます。

たちばなキッカーズを卒団してからもう 20 年も経つんですね。当時は J リーグが発足し、日本全体がサッカー熱に帯びていた事を記憶しております。縁あってたちばなキッカーズの一員として活動してきた 6 年間は、私の人生のかけがえのない財産となっております。

30 期生チームはお世辞にも強いとは言えませんでした。ほとんどの大会が予選負けであり、港北区の大会での準優勝が最高位だったと思います。入団当初は人数も多かったのですが、様々な事情で 6 年生になる頃には 12 人までに減ってしまいました。逆に残った 12 人の結束は強く、また個性豊かな仲間恵まれたおかげで「悔しい」というよりも「楽しい」という思い出が強く残っております。

夏の合宿ではそれぞれのチームで出し物を考え、キャンプファイヤーをやったり、夜更かしもしたりと、サッカー以外でも楽しい思い出しか浮かんできません。

たちばなキッカーズでの経験を通し、自分に自信を持つことができました。そして、仲間の大切さを知りました。これも監督やコーチはじめ、周りの皆様方のサポートがあったからこそだと思います。この場を借りて感謝申し上げます。

最後になりましたが、これからもたちばなキッカーズと皆様方の益々のご活躍、ご繁栄をお祈り申し上げます。



メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	木虎 翔平	高田小	目立ちたがらない GK、無口で堅実で勇敢、小さい小さいと思っていたが、いつのまにか背が伸び、精神的成長も目立つ。試合では、執念のパフォーマンスでアピールせよ。
MF	2	守山 大輝	下田小	ボールさばきは腰が下りて、フェイントに無理が少なく、キックは左右共に素直で自然、あとは筋力が付くの待つのみ。名選手の技を盗み自分の特徴をつくりたい。
DF	3	入月 誠也	川和小	重心が低く当たりが強い。ドリブルで上がっていく速さも魅力。スローインもよく飛ぶ。状況判断が速くなれば、もっと楽に守れるだろう。
DF	4	大井 薫	下田小	5 年のときからカバリングの速さとキック力で頭角をあらわす。6 年後半から攻めの意欲も強くなったが、まだ結果は出ない。反射神経も目もいい。GK へ進む道もありそう。すべてはこれからだ。
DF	5	赤尾 健太郎	高田小	身体に恵まれないが、スペースへ動くのが速く、苦も無くサッカーをやっているように見える。100%の力を出し切ればもっと速いプレーが出せるはず。開き直ってやろう。
MF	6	木村 寛	高田小	右サイドの高い位置にいて、いつも攻撃を意識し、クレバーな攻めが特徴。右足センタリングのタイミングもいい。敵にカットされた場合、守りの速さが欲しい。
MF	7	佐藤 敦	下田小	ディフェンスの位置から、危険地帯をつぶして回り、攻撃にもからむ。いつも全力で立ち向かうファイター。思い切りのいいシュートも欲しい。
DF	8	佐藤 貴紘	高田小	必殺のタックルがトレードマークだが、5 年の時の広範囲な動きが印象に残る。責任感旺盛。左足キックに自信を持てば、視界が広がり、サッカーがもっと変わるかも。
FW	9	徐 森	高田小	シュートのタイミングを逃がさない瞬時の判断が素晴らしい。ジャンプヘッドのタイミングもいい。5 年のとき、周りを見ながら、ボールをキープしていた。あれが良かった。
MF	10	菊地 雄一郎	下田小	ドリブル、リフティング、強いシュート全て抜群の優等生。時には、ボールをキープしながら、緩急の使い分け、1対1のかけひきをもっと楽しんで欲しい。ゲーム感覚を養うことも大切。
FW	11	佐藤 真	下田小	6 年の初めころと比べると、運動量も動きの質も、チームプレーもすっかり変わった。ゴールした後のパフォーマンスより、シュートに入る「決定的瞬間」での最高のパフォーマンスを見たい！
DF	12	飯田 雄介	下田小	合宿の班対抗戦での活躍が記憶に新しい。試合では、無心でプレーした時、その人の長所が出る。キック力も生きる。サッカーは、個性と個性のぶつかり合いが面白いのだ。



試合に負けてしょんぼりの第 30 期生

シーズンレビュー

SL 1994 年度(平成 6 年度)

- 4 月 第 21 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- 6 月 第 10 回港北区サッカー協会大会
- 7 月 GP サッカーフェスティバル 2 年生大会
- 10 月 第 26 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 14 回港北区ジュニアスポーツ大会

- 予選 8 チーム中 7 位
- 2 回戦敗退(参加 20 チーム)
- 予選 2 位で決勝進出、決勝 1 回戦敗退
- 予選 7 チーム中 6 位
- 2 回戦敗退(参加 18 チーム)

LL 1996 年度(平成 8 年度)

- 4 月 第 23 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- 6 月 第 12 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 28 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 16 回港北区ジュニアスポーツ大会

- | | |
|-------------------------------|----------|
| LL-A | LL-B |
| 3 勝 2 負で 3 位 | 5 負で 6 位 |
| 2 回戦敗退 | 1 回戦敗退 |
| 3 勝 1 負 2 分で 2 位 3 勝 3 負で 4 位 | |
| 決勝トーナメント 1 回戦敗退 | |
| 準決勝：城郷 A に負 準決勝：つばめ B に負 | |
| 3 位決定戦はたちばな同士となる。 | |
| 3 位、4 位入賞 | |
| 4 回戦(予選ブロック決勝)で南百合ヶ丘に敗退 | |
| 準優勝 (決勝で FC ゼブラ B に惜敗) | |

L 1998 年度(平成 10 年度)

- 1 月 第 23 回横浜少年サッカー大会(新人戦)
- 4 月 第 25 回横浜市春季少年サッカー大会
- 5 月 第 22 回全日本少年サッカー神奈川県大会
- 6 月 **第 14 回港北区サッカー協会大会**
- 7 月 7 月 20 日(月)に創立 30 周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約 40 万円
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 30 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 2 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 25 回神奈川県少年サッカー選手権

- | | |
|------------------|------------------|
| L-A | L-B |
| 3 回戦敗退 | — |
| 4 勝 2 負で 3 位 | 2 勝 3 負 1 分で 5 位 |
| 2 回戦敗退 | — |
| 準優勝 | 1 回戦敗退 |
| 1 勝 3 負 2 分で 7 位 | 6 負で 7 位 |
| 1 回戦敗退 | 1 回戦敗退 |
| 1 回戦敗退 | |



SL 当時のメンバー

第 14 回港北区サッカー協会大会 L-A 準優勝



第 31 期 1999 年度(平成 11 年度)卒業生

チーム紹介 第 31 期生 庄司 政史

たちばなキッカーズ創立 50 周年おめでとうございます。自分はまだ下田町に住んでいますので、休日にたちばなのユニフォームを着た子供達を見かけるとなんだか嬉しくなり、ほっこりした気持ちになります。

私たちが「たちばなキッカーズ」を卒業して早いもので約 19 年になります。たちばなで過ごした日々の記憶も大分薄くなりました。しかし、サッカーが大好きで楽しく毎週練習したことや、力の限り頑張った試合。コーチに怒られたり褒められたりしたこと。楽しかった合宿等、今でもいろいろな思い出が溢れてきます。何より仲間達とたわいもない話をして楽しかったという記憶は一生忘れることはないでしょう。

私たちのチームは、とても仲が良く、チームワーク抜群のチームであったと思います。たちばなに加入した時期や学校は皆それぞれ違いましたが、土日だけではなく平日も校庭に集まりサッカーをして遊んだりしました。また、サッカーだけでなく、家に集まりゲームをしたり映画やプールに行ったりと、本当に仲が良かったです。こうしたことでチームワークが良くなっていったのだと思います。

成績はどうだったかという正直あまり覚えていないのですが、6 年生の時はまあまあ強かったかな？という印象があります。みんなの努力の甲斐もあり中央大会に出場することもでき、新聞に写真とチーム紹介が載り、とても嬉しかったと共に誇らしく思ったことを覚えています。港北大会でもコーチからの檄、父兄達の大きな声援により、自分達の持てる以上の力を出し切り優勝することができました。試合終了のホイッスルの時には嬉しさと充実感でいっぱいでした。

たちばなキッカーズを卒業して、中学、高校はバラバラになりましたが、部活で今度は敵として試合をすることもありました。これはこれで良い思い出です。最近では SNS を通して現状を知れたり、連絡が来たりすることもあります。最高の友達に出会えたことをとても嬉しく思います。

最後になりますが、監督ならびにコーチ、父兄の方々の協力があつたからこそ、私たちは思いっきりサッカーを楽しめ、貴重な体験や、楽しい思い出をたくさん作ることができました。心から感謝致します。ありがとうございました。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	五嶋 裕輝	高田東小	今年、彼の悔し涙を見た記憶がない。それほど安定した守護神だったと思う。声も指示も良く出ていた。キャッチングをしっかりすること。後ろへの対応を俊敏に。その為にはもっと体を絞ること。ガンバレ！
DF	2	箕輪 潔証	高田東小	ポジショニングの良さで、再三のピンチを防いでくれた。小さな体のわりに大きなプレーが目立った。秋からは、体面したにもかかわらず、メンバー不足のとき、試合に出場してくれてありがとう。
DF	3	高井 将太	高田小	バックの位置から上がっていったときの破壊力がすばらしい！特に、コーナーキックのボールに対する嗅覚は抜群で、何度もチームを勝利に導いてくれた。それにしても、初めての合宿での“お楽しみ会”の演技は最高！だった。
DF	4	石原 敏史	下田小	大きな体でキック力もあり、何度もチームのピンチを救ってくれたのを思い出します。秋の大会で、その頑張りを見られなかったのが残念でした。これからも、スケールの大きなサッカーを続けて欲しい。
MF	5	小西 快	荻子田小	安定したディフェンスで幾度もピンチを未然に防いでくれた。落ち着いた動きで、味方にも安心感を与えた。ただ、足を痛めてから、引きずる様な走り方が癖になっているのが気にかかる。

MF	6	深瀬 剛志	下田小	ボールを持ってからのドリブル、フェイント、パスの安定感が出てきた。言葉少なめだが、堅実なプレーで味方を救ってくれた。相手との接触プレーの中でも負けないキック力をつけ、積極的にアピールできるようにしよう。
MF	7	高井 唯人	高田小	君は、LB のキャプテンとして、1 年間チームのために大変良くやってくれたと思う。ありがとう！キャプテンという立場で、チームを引っ張り、勇気付けてくれました。なかなか勝てない時、点が取れない時、いつも声を出して、最後まで諦めない姿勢は、チームにとって多大な功績を残した選手といえる。これからも、サッカーを続けることを望む。大いに期待できる選手に成長すると思う。
MF	8	樋口 聖	下田小	右サイドでのスピードとシュートをイメージできるとてもすばらしい選手でした。チームのムードメーカーでもありみんなを盛り上げながらプレーできる数少ない貴重な存在でした。
FW	9	鈴木 浩介	下田小	「右足の魔術師」。ゴール前での細かいドリブルとフェイントが持ち味で、思わぬところでゴールをあげる。パスを呼ぶ声もいい。中盤ではもっと顔を上げ、周囲をよく見ながらプレーすることが、これからの課題だ。
MF	10	庄司 政史	下田小	個性的なメンバーが多かったこのチームを良くまとめてくれた。プレーは決して派手ではないが、中盤での活躍が、苦しい試合を勝利に導いたケースが随分あった。精神的にタフになれば、もっともったいプレーができる。
FW	11	成田 秀平	高田小	恵まれた身体能力を生かし、ゴールを量産してくれた。サッカーセンスも抜群で、相手をおちょくるプレーもなかなかのものがある。これからはサッカーを続けて、ますますプレーに磨きをかけてほしい。
DF	12	若井 惇克	下田小	卒業おめでとう。L になって数ヶ月しか一緒にサッカーができなかったのでもって残念でした。春の大会では、左サイドで頑張っていたけど 1 点も取れず、1 勝も出来ずに終わってしまいましたね。その後、若井君と石原君が受験でいなくなってからは、2 人の穴を埋めるのに苦労しました。好きなサッカーを我慢して受験することは、とても大変でしたね。中学校へいっても、頑張ってください。
DF	13	長田 真	下田小	君が一番サッカーを楽しんでくれたと思います。何度も倒され、途中で病院に運ばれ、もうだめかと思っても、病院から戻ってきたらもう試合に出たがり、私も困ったり、驚いたりしましたが、これからは、自分の進む道をしっかり考え、たくましく成長してほしい。
DF	14	金 根洙	下田小	金君、あなたはサッカーを、4 年生の途中から始めた為、最初は大変苦労したと思う。しかし、あなたの一生懸命さは、チームのメンバー全員がわかっていたと思う。そして、持ち前の屈託のない明るい性格で、早くからチームに溶け込み、人気者として活躍するようになって、本当に良かったと思う。卒業してから、種々なスポーツにチャレンジすると思うが、持ち前の明るさと、失敗を恐れない気持ちを持った金君であれば、必ずやいい選手になること間違いないといえる。「本当によく頑張ってくれました。ありがとう！」
MF	15	中川 領太	高田東小	卒業おめでとう。君とは、練習であまり会わなかったね。なぜ、練習に来ないのかな。仲間たちとうまくいかないのかと心配したこともありました。でも、大会には、時々参加してくれましたね。車での移動の時、みんなと大声で楽しそうでしたね。君は、本当は元気で明るい子なんだね。もっと、練習に参加すれば、もっと楽しくサッカーが出来たんじゃないかな。中学校に行っても、頑張ってください。
MF	16	加藤 卓也	橘小	体は大きくて、気持ちはとっても優しい性格でした。高学年になって B キャプテンも経験してすごく自信を持ってプレーしていました。守備型 MF として安定したプレーで活躍してくれました。
		金子 真育	横国付属小	

シーズンレビュー

SL 1995 年度(平成 7 年度)

4 月	第 22 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	予選 7 チーム中 3 位
6 月	第 11 回港北区サッカー協会大会	2 回戦敗退(参加 15 チーム)
7 月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会(20 周年招待試合)	総合 3 位
10 月	第 27 回横浜国際チビッ子サッカー大会	予選 7 チーム中 3 位
11 月	第 15 回港北区ジュニアスポーツ大会	準優勝(参加 15 チーム)
2 月	第 1 回 GP フットサル大会	決勝進出し 4 位(参加 20 チーム)

LL 1997 年度(平成 9 年度)

LL-A LL-B

4 月	第 24 回横浜市春季少年サッカー大会 この年から大会の名称が変更となり、木村和司杯と副題も付く	4 勝 1 分で 1 位 6 負で 7 位 決勝トーナメント 2 回戦敗退
6 月	第 13 回港北区サッカー協会大会	準優勝 1 回戦敗退
7 月	7 月 13 日(日)に創立 30 周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約 40 万円	
8 月	富士緑の休暇村で合宿	
10 月	第 29 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 勝 1 負 1 分で 3 位 2 勝 4 負で 5 位
11 月	第 1 回港北区区民サッカー大会	3 位入賞 2 回戦敗退
1 月	第 24 回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック 2 位 -
2 月	創立 30 周年準備委員会組織発足、コーチが主体となり開催準備を実施する事とする	

L 1999 年度(平成 11 年度)

L-A L-B

1 月	第 24 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	1 回戦敗退 -
4 月	第 26 回横浜市春季少年サッカー大会	4 勝 2 負で 2 位 - 決勝トーナメント 1 回戦敗退
5 月	第 23 回全日本少年サッカー大会	ブロック優勝(中央大会進出) 中央大会 1 回戦敗退
6 月	第 15 回港北区サッカー協会大会	予選 5 勝 1 分で 1 位 - 優勝
8 月	富士緑の休暇村で合宿	
10 月	第 31 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 2 負 1 分で 4 位 -
11 月	第 3 回港北区区民サッカー大会	5 勝 2 負で 3 位 -
1 月	第 26 回神奈川県少年サッカー大会	1 回戦敗退 -



第 32 期 2000 年度(平成 12 年度)卒業生

チーム紹介 第 32 期生 関崎 亮

創立 50 周年おめでとうございます。

卒団してから 18 年の時が経ちましたが、当時を思い出しながら第 32 期のチーム紹介をさせていただきます。

私の印象としては割りと物静かなチームだったかなと思います。プレーしてる選手よりは、外で観ている保護者の方が熱く、試合中にゲキを飛ばされるような、そんなチームでした(笑)ただ、みんなサッカーが好きで、直向きに練習に取り組み真面目な選手が多かったなとも思います。それでも、一人一人特徴がありそれを活かすサッカーをチームで目指していました。

チームの特徴として、身体能力の高い選手が多く前線にはスピードがある選手を中心に攻撃し、守備も安定していて失点が少なかったなと思います。攻撃と守備のバランスが良く当時はあまり感じる事ができなかったですが、今振り返るととてもやりやすいチームでした。

そして、最大の武器としていたのがロングスローです。相手陣地の深いところでのスローインはコーナーキックよりもチャンスメイクしてたのではないのでしょうか(笑)小学生で 25 メートルもスローインを投げれる選手は他では見たことがありません(笑)とても助けられたのは印象的です。

また、思い出に残る試合として、4 年生の時の区大会の決勝はすごく印象に残っています。緊迫したゲーム展開で、途中までリードされながらも諦めずにチーム一丸となって優勝を目指した結果逆転優勝することができました。

チームとしては特別いい成績を残したわけではないですが、区大会で優勝し 1 番になれたこと、県の中央大会では 1 回戦負けではありましたが 1 つ上のレベルで試合ができた経験はチームの財産として残ったと思います。

最後に、これまでサッカーを続けてきた上で原点となっているのはたちばなキッカーズです。このチームで仲間と支えあい、切磋琢磨して有意義に過ごせたことはとても貴重な時間でした。この時間を共に過ごしたチームメイトやコーチ、保護者の方々に感謝して締めさせていただきます。

これからも、たちばなキッカーズのご活躍とご健勝を心より祈願しております。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	細井 大輔	下田小	責任感が強い。「ポジション的にも要求される」これからも強い気持ちを持ち続けることを希望します(たちばなの守護神)。
DF	2	城戸 一祥	高田東小	真面目で継続性が有り、また一途な所が大変好感が持てます。「継続は力なり」。これからは気持ちをもう少し前に出そう。
MF	3	木虎 宏影	高田小	守備的 MF のポジションからミドルレンジ、ロングレンジからのシュートが豪快でした。生きたボールをたくさん蹴って、更に磨きをかけて下さい。
DF	4	松田 誠	高田小	体を張ったディフェンスは見事で、チームの要としてよく頑張ってくれました。対戦相手にとって、堅実なディフェンスとロングスローは大きな脅威だったと思います。区選抜大会優勝の原動力となったプレーが記憶に残ります。
MF	5	本田 一光	下田小	

MF	6	浅原 順	下田小	試合での頭脳的なプレーが非常に印象的でした。巧なボールコントロールと、中盤下からの球出しはすばらしく、チームには欠かすことの出来ないプレーヤーの一員でした。
MF	7	永嶋 裕一	下田小	まじめな性格がサッカーにもよく現われ、最後まであきらめずボールを追う姿が印象的でした。6 年の春には L-B のキャプテンとしてみんなの面倒を良くみてくれました。アリガトウ！
DF	8	海鋒 ジョセフ	久末小	5 年生からサッカーを始め、最初は思うようにプレー出来なかったが、今ではスローイン、ヘディング、スピード、スタミナ、どれを取っても引けを取らない。もともとセンスが良く、早くから始めていたら・・・と思うとオソロシイ存在。今後の活躍が楽しみ！
MF	9	森口 駿	下田小	静かなところにも秘めた気持ち、センスもあり技術的にもきらりと光るものが見える。もう少し熱くなれば将来は大物か！！
MF	10	関崎 亮	下田小	本当にサッカーが好きで頑張りやでキッカーズの皆の良なお手本になったと思います。区選抜、市選抜に選ばれ、そしてたちばなではキャプテンとして仲間をリードしてくれました。これからの活躍がとても楽しみです。ガンバレ！
FW	11	佐々木 秀一	下田小	ゴールへ向かって走るたくましいスピードの持ち主。トップギヤに入ってもバランスがくずれず、反射神経もバツグン。FW に最適の素質をどのように生かすか考え、まずドリブルでは誰にも負けない力をつけよう！
MF	25	鈴木 秀人	矢上小	6 年生になって他のチームからたちばなに入会、普段はおとなしいが、ゲームでボールを持つとバランスが良く、いつの間にかゴール前。最後は味方にパス。名前のようにシュートで終われるように自信を持ってプレーしよう！
FW	27	岩倉 賢	下田小	いろいろと質問をしてくれる姿勢が良いです。これからも基本練習をしっかりと身に付けてサッカーを楽しんで下さい。
DF	28	岩倉 潤	下田小	楽しくプレーしている姿が印象に残っています。楽しくプレーすることは「サッカーを好きになる気持ち」の基本です。この気持ち、大切に持ち続けて下さい。
		中村 康輔	下田小	

第 14 回港北区サッカー協会大会 LL-A 優勝 (SL とのアベック優勝)



第 32 期卒業生



シーズンレビュー

SL 1996 年度(平成 8 年度)

4 月	第 23 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	4 勝 1 負 1 分で 1 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退
6 月	第 12 回港北区サッカー協会大会	準優勝(参加 15 チーム)
7 月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会	予選リーグ 4 チーム中で 2 位 2 位リーグ順位決定戦は雨天中止
10 月	第 28 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 勝 2 負で 3 位
11 月	第 16 回港北区ジュニアスポーツ大会	2 回戦敗退(参加 16 チーム)
1 月	第 2 回 GP フットサル大会	予選リーグ 2 勝 2 負で 3 位 3 位トーナメント 1 回戦敗退 (黒滝に PK 戦負け)

LL 1998 年度(平成 10 年度)

4 月	第 25 回横浜市春季少年サッカー大会	LL-A 3 勝 2 負 1 分で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退	LL-B 1 勝 4 負 1 分で 6 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退
6 月	第 14 回港北区サッカー協会大会	3 勝 1 負 1 分で 2 位 優勝	4 負で 5 位
	本年度から SL、LL は予選リーグ、決勝トーナメント方式に変更		
7 月	7 月 20 日(月)に創立 30 周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約 40 万円		
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 30 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 勝 1 負 1 分で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退	5 負 1 分で 7 位
11 月	第 2 回港北区区民サッカー大会	5 勝 1 負で 1 位 準優勝	1 勝 5 負
1 月	第 25 回神奈川県少年サッカー選手権	ブロック優勝(15 年振り中央大会進出) 中央大会 1 回戦敗退	

L 2000 年度(平成 12 年度)

1 月	第 25 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	L-A -	L-B -
4 月	第 27 回横浜市春季少年サッカー大会	3 勝 1 負 2 分で 3 位 2 回戦敗退	-
5 月	第 24 回全日本少年サッカー大会	予選 2 勝 1 負で 2 位 決勝トーナメント 2 回戦敗退	-
6 月	第 16 回港北区サッカー協会大会		
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 32 回横浜国際チビッ子サッカー大会	2 勝 1 負 3 分で 3 位 2 勝 1 分で 1 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退	-
11 月	第 4 回港北区区民サッカー大会	第 3 位	-
1 月	第 27 回神奈川県少年サッカー大会		



第 33 期 2001 年度(平成 13 年度)卒業生

チーム紹介 第 33 期生 伊藤 輝紀

たちばなキッカーズ、創立 50 周年おめでとうございます。

早いもので、卒団してから 15 年以上の月日経ちますが、たちばなで過ごした 6 年間はいまも忘れることのできない大切な思い出ばかりで、サッカーで得た経験、出逢いはたちばなで過ごした時間、仲間、コーチの方々、応援してくださったの方々のお陰だと感謝しています。

私たち 33 期生は SL、LL 時代には好成績を残していました。しかし、6 年生になるまでに受験や他競技専念などで、残念ながら退団してしまった主力の仲間も多くいました。

そんな事情もあり、L になるとなかなか勝つことができずに悔しい思いをすることも多かった気がします。

それでもともに頑張り、ともにボールを蹴り、ともにボールを追いかけ、ともに卒団を迎えた 8 人の仲間を紹介させていただきます。

- 1 鈴木 総司(愛称:ソウシ)
最後尾から大きな声でチームを支えた頼れる守護神。
- 3 赤尾 祐次郎(愛称:アカオ)
細い身体でしなやかなドリブルを魅せるナイスガイ。
- 6 三浦 拓(愛称:タク)
普段は優しい口調も、試合となると激しいプレーでチームを支えたディフェンダー。
- 7 入月 祐人(愛称:イリ)
鋭い出足のインターセプト、豊富な運動量で中盤を支えたチームのダイナモ。
- 8 新岡 義弘(愛称:よっちゃん)
高さ、スピードを兼ね備えたディフェンスの要。
- 9 井上 敬介(愛称:イノ)
チーム一のテクニシャン。チャンスメイクもできるストライカー。
- 11 小西 哉人(愛称:カナ)
抜群のキープ力と正確なキックが武器の攻撃の要。
- 10 伊藤 輝紀(愛称:テルキ)
33 期キャプテンを務めた私はスピードを武器にゴールへ向かうタイプの FW で、みんなが守り、繋いでくれたパスで点を取る。そんなプレーが多かったと思います。

自分勝手なプレーや味方に文句を言ったりと、振り替えれば、いいキャプテンではなかったと思います。そんな私が楽しくサッカーができていたのは仲間にも恵まれたからだと思っています。みんな、ありがとう！

厳しくも優しく接してくださったコーチの方々、ありがとうございました。いつも応援に駆けつけてくださった方々、ありがとうございました。

最後になりますが、たちばなキッカーズの益々の発展と後輩たちの活躍を心より祈っています。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK/DF	1/4	鈴木 総司	下田小	まさに「たちばな」の守護神。この一年 GK として素晴らしい活躍してくれました。初めて LL の時に GK としてデビュー、あの時の危うさ、自分の所に飛んできたボールをハエタキでたたき落とすしかなかった頃に較べたら月とスッポンだね。現在の積極性をこれからも維持して下さい。いつもニコニコしている持ち前の明るさと、大きなかけ声で味方にカツを入れましょう。
DF	3	赤尾 祐次郎	高田小	ベンチにいてもいつも真剣に、試合を、プレーを観察していました。それが勉強になって、今の赤尾君があります。大変カンのよいプレーで皆からの信頼感も増しました。もう少し筋肉がついて身体能力が向上したら、持久力もつき素晴らしいプレイヤーになれるですよ。
DF	6	三浦 拓	高田小	外面的には物事にあまり頓着しないように見えるが、実際は細かい事にも気を遣うタイプ。ユーモアを解し、いつも笑顔を絶やさない「タク」も技術面での向上は目覚ましいものがあり、DF としての意地を見せてくれた。これからは、裏を取られないように、よく首を振って周囲を見ようね。
MF	7	入月 祐斗	川和小	予測してスタートする時の出足の良さは抜群です。状況判断は良いが頭の中だけで、次々と予測をしていると動きに遅れが出てしまいます。目で見て判断したら、すぐ行動に移ることですね。足の速さを生かすためにも、積極的で、メリハリのあるプレーをイメージしよう。
DF	8	新岡 義弘	下田小	あの尊敬すべき井原選手が「アジアの壁」だった頃、君は「たちばなの壁」だったんだね。ストライド走法で敵をコーナーに追いつめて行く姿は一見に値する。たまにウラを取られて追いつめ損なうところも見せてくれちゃってヒヤヒヤとさせられたのも今となっては懐かしいシーンだね。接触プレーに強くなろうね、格闘技なんだからサ。
FW	9	井上 敬介	下田小	「たちばな」の主砲として、文字通りの実績を上げました。伊藤君とのペアでの破壊力は凄まじいモノがあったと思います。残念ながら 10 月の国際チビッツ大会初日での骨折事故で長期療養となってしまいましたが、我慢強くりハビリに励みようやく完治かな。心の中の口惜しさは想像を絶するものがあったと思いますが、逆境を克服した強みを武器にしてこれからも頑張ろう。
FW	10	伊藤 輝紀	下田小	最後に、絶対忘れてはならないこの男。「たちばな」の押しも押されぬ司令塔、身体能力も抜群で、ゲームメイクができるから、敵のマークにさらされる事もシバシバ、いつの間にか混戦からヌケだしたと思ったら、敵をなぎ倒したと濡れ衣を着せられることも数知れず。本当のところはどうだったのか、一度ジックリ聴いてみたい。親父コーチ達の怒声にもキャプテンとしてチームメイトのためによくぞ耐えてくれました。感動した、アリガトウ。
MF	11	小西 哉人	荏子田小	L になってから体格がしっかりしてきて、骨太マッチョマンの感じがします。しばしば見せる後方からの列車砲のようなシュートは敵の意表をつくに十分な威力があります。これからはゴールマウスが見えたら積極的に狙っていきましょう。これは脅威になりますよ。
木村 卓 (高田小)、小沢 俊介 (高田小)、笹木 脩平 (子母口小)、鈴木 祐介 (下田小)、金 熙洙 (下田小)、鈴木 剛流 (矢上小)、伊丹 淳記 (下田小)				



シーズンレビュー

SL 1997 年度(平成 9 年度)

4 月	第 24 回横浜市春季少年サッカー大会 この年から大会の名称が変更となり、 木村和司杯と副題もつく	5 勝 1 負で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退
6 月	第 13 回港北区サッカー協会大会	1 回戦敗退
7 月	7 月 13 日(日)に創立 30 周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約 40 万円	
7 月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会	優勝 (参加 24 チーム)
10 月	第 29 回横浜国際チビっ子サッカー大会	5 勝 0 負で 1 位 決勝トーナメント 準決勝であざみ野に惜敗 3 位入賞 (決定戦で丸山台に PK 戦勝ち)
11 月	第 1 回港北区区民サッカー大会	2 回戦敗退
1 月	第 3 回 GP フットサル大会	3 位入賞
2 月	創立 30 周年準備委員会組織発足、コーチが主体となり開催準備を実施する事とする	

LL 1999 年度(平成 11 年度)

4 月	第 26 回横浜市春季少年サッカー大会	LL-A 5 勝 1 負で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退	LL-B 1 勝 4 負 1 分 5 勝 2 負で 3 位
6 月	第 15 回港北区サッカー協会大会	5 勝 2 負で 3 位	1 勝 4 負 1 分
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 31 回横浜国際チビっ子サッカー大会	6 戦全勝 1 位 決勝トーナメント	2 勝 4 負 ベスト 8
11 月	第 3 回港北区区民サッカー大会	4 勝 1 負 2 分で 3 位	2 勝 5 負
12 月	MEIJI SSS (藤塚杯)	5 位	—
1 月	第 26 回神奈川県少年サッカー選手権	ブロック決勝敗退	

L 2001 年度(平成 13 年度)

1 月	第 26 回横浜少年サッカー大会 (新人戦)	L-A 4 回戦敗退	L-B —
4 月	第 28 回横浜市春季少年サッカー大会	2 勝 3 負 1 分で 5 位	—
5 月	第 25 回全日本少年サッカー大会	1 回戦敗退	
6 月	第 17 回港北区サッカー協会大会	4 勝 2 負 1 分で 4 位	—
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 33 回横浜国際チビっ子サッカー大会	6 戦全勝 1 位 決勝トーナメント	— 4 位
11 月	第 5 回港北区区民サッカー大会	3 勝 3 負 1 分	—
1 月	第 28 回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック準決勝敗退	—



第 34 期 2002 年度(平成 14 年度)卒業生

チーム紹介 第 34 期生 五嶋 健人

たちばなキッカーズ、創立 50 周年おめでとうございます。34 期のチームを紹介します。

私達のチームは、目立つ選手はいなかったですが、チームワークが良く、なによりサッカーを楽しんでプレーをしていました。このチームは、

SL 区大会優勝・市大会ベスト 8

LL 中央大会出場

L 区大会優勝・市大会ベスト 8

と数多くの結果を残せました。このような結果が出せたのも、当時のコーチや OB の方々が支えてくれたお陰であり、なにより先輩や後輩関係なくみんながサッカーを楽しめる環境があったからだと思います。

私は良いチームメイトに恵まれ、そのおかげでサッカーが本当に好きになりました。そして、サッカーだけでなく、仲間の大切さや、人の大切さ等も学ぶことができました。

最後になりましたが、これからもたちばなキッカーズの皆様のご活躍とご健勝を心より祈願しております。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	伊藤 光城	下田小	いよいよ、最後は「たちばな」の守護神登場。文字通り押しも押されぬ GK として、ゴールを死守してくれました。昨年のチーム力との差は、PK 戦をモノに出来るようになった事。これは、ひとえに「ミツチャン」の瞬発力がもたらしたものであると思っています。守りで勝ためにも、勇気あるプレーで前で勝負できる GK は大変貴重な戦力なのです。ゲームの流れの中で守勢、攻勢に合わせて柔軟にポジション取りをしましょう。
DF	2	桑名 岳	下田小	通称「ガク」。低い姿勢から獲物（相手の持ち込むボール）を狙っていたという印象があります。真剣に練習に励み、技術面でも随分と向上しました。ゲームでも MF や DF として安定したプレーと意地を見せてくれた。これからの成長過程で身体ができてくれば、将来楽しみなプレーヤー。
MF	3	佐瀬 大樹	下田小	LL の時から、ラッキーボーイの印象が強い。動きにはすばしっこさがあり、ゴール前での混雑になると大いに期待が持てるプレーヤー。今年の出番が少なかったが、正しい蹴り方を習得して、相手の一歩前で勝負すること。キックにパワーがつけば得点機を逃さぬプレーができるようになります、ホントだよ。
DF	5	石黒 翔太	下田小	君の最大の特徴は、素直さです。DF だけではなく、サッカー選手としてコーチの指導を良く理解、吸収して実践できました。サッカーというメンタリティーに富むスポーツを通して技術的には勿論のこと、精神的にも大変に向上した一人だと思っています。一見ホソイけれど筋力がついてきたら、更に良いプレーができるでしょう。左足でも蹴れるというバランス感覚が良い。
DF	6	城戸 寿郎	高田東小	倒れても倒れてもすぐに起き上がって相手を追い詰めるという、実に見上げた精神の持ち主。相手に最も嫌われるタイプで、味方にとっては、実に頼もしく、サッカーは格闘技であることをマザマサと見せつける男。いつも身体を張ってプレーしていました。タックルは時と場所を選んで仕掛けようネ。

MF	7	深瀬 貴晃	下田小	左MFとして活躍、売り物だった足の速さに湿り気が出て、今年はちと沈滞気味。スタートの時、足を細かく動かし、ピッチ走法でスピードに乗ろう。左からのドリブルとセンタリングの冴えを磨こう、左足から切り替えて右足でのセンタリング。トラップは優しく、身体のひねりは速く。
FW	8	椎塚 健太	下田小	「たちばな」の看板を背負って常に第一線に立ち、ポイントゲッターとして活躍してくれた。ボールが来なくて中央付近で寂しく立ち尽す孤独の人の場面もあったけど、懐の深い体勢からゴールを狙えるプレーヤーとして貴重な存在。余裕のプレーを目指せばゴールマウスも君を嫌ったりはしないぜ。
MF	9	村木 晃太	下田小	快足を生かしてアレヨ、アレヨという間に相手のゴール間近までボールを運んでしまうチャンスメーカー。それだけに相手のマークもキツくなる事を自覚して、背後の味方を信頼することも大切です。目の大きさに見合った状況判断を期待したい。たとえどんなに辛い時でも、持ち前のユーモアを忘れないようにしましょう。
DF	10	五嶋 健人	高田東小	通称「ゴシケン」。キャプテンとしていつも真剣に、落ち着いてプレーをしていました。DFの要として前、左右への的確な指示、それが今の君なのだ。カバーリングは一流で味方の危機を随分救っていました。たまにミスキックをした時は、ベンチに暗雲が立ち込める程、普段はとても信頼の高いプレーヤーです。キャプテンの重責を立派に果たしてくれました。ご苦労様でした。でも、たまにはアガりたいよネ！
FW	11	永山 諒	下田小	「ゴッツアン・ゴール」が多かった、ということは前に良く詰めたと言うことか。コーチに言われる前に基本的なプレーを、思いきりの良いプレーを心がけましょう。つぶされる前にシュートを放て！ゴール前でモタモタするな！DFとしての足運びは天性のものかな？プレスを良くかけていました。
MF	21	遠藤 純輝	下田小	6年生になって、四国・松山から「たちばな」に返り咲いた。LLの時の仲間達とスグに打ち解け、チームに足りなかった司令塔、配球係として活躍。ソフトなボールタッチでのパッサーとして、また、ある時は内に秘めたファイトを前面に出してのプレーは見ていて爽やかさを感じる。チームにとっても太い芯の通ったフォーメーションができて上がった。将来楽しいプレーヤー。
田中 直樹 (下田小)、小澤 賢人 (子母口小)、友澤 誠也 (子母口小)、植木 陽也 (下田小)、 会田 幸司 (下田小)、末次 匠吾 (下田小)、光畑 勇樹 (子母口小)、井出 宗一郎 (子母口小)、 清水 貴之 (子母口小)、内田 竜二 (下田小)、				



L 港北区大会 優勝



SL 港北区大会 優勝

シーズンレビュー

SL 1998 年度(平成 10 年度)

4 月	第 25 回横浜市春季少年サッカー大会	5 勝 1 分で 1 位 決勝トーナメント準々決勝で敗退(ベスト 8) (参加チーム総数 57)
6 月	第 14 回港北区サッカー協会大会	予選 5 勝 1 負で 1 位 決勝トーナメント 優勝
	本年度から SL、LL は予選リーグ、決勝トーナメント方式に変更	
7 月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会	優勝
7 月	7 月 20 日(月)に創立 30 周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約 40 万円	
10 月	第 30 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 勝 2 負で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦で駒林に敗退
11 月	第 2 回港北区区民サッカー大会	予選 5 勝 2 負で 3 位
2 月	フットサル GP カップ	予選リーグ 1 位 決勝トーナメント初戦敗退

LL 2000 年度(平成 12 年度)

		LL-A	LL-B
4 月	第 27 回横浜市春季少年サッカー大会	5 勝 1 分で 1 位	—
		決勝トーナメント	ベスト 8
6 月	第 16 回港北区サッカー協会大会	7 戦全勝で予選通過	—
		決勝トーナメント	第 3 位
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 32 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 2 負 1 分	—
11 月	第 4 回港北区区民サッカー大会	3 勝で予選通過	—
		決勝トーナメント 1 回戦敗退	
12 月	明治カップ	3 勝 2 敗で 2 位	—
		2 位パート準優勝	
1 月	第 27 回神奈川県少年サッカー選手権	ブロック優勝	
		中央大会 1 回戦敗退	

L 2002 年度(平成 14 年度)

		L-A	L-B
1 月	第 27 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	2 回戦敗退	—
4 月	第 26 回全日本少年サッカー大会	予選ブロック決勝敗退	
4 月	第 29 回横浜市春季少年サッカー大会	3 勝 2 負 2 分で 4 位	—
6 月	第 18 回港北区サッカー協会大会	3 勝 1 負で 1 位	—
		優勝	
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 34 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 勝 1 負 1 分で 2 位	—
		決勝トーナメント 2 回戦敗退	
11 月	第 6 回港北区区民サッカー大会	4 勝 1 負 2 分で 2 位	—
		決勝トーナメント	第 3 位
1 月	第 29 回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック 2 回戦敗退	—

第 35 期 2003 年度(平成 15 年度)卒業生

チーム紹介 第 35 期生 堀内 大夢

たちばなキッカーズ 50 周年、心よりお喜び申し上げます。

早いもので、私たちが卒団してからすでに 10 年以上の月日経ちますが、今もなお当時のことは大切な思い出として鮮明に記憶に残っております。

さて、私たち 35 期生のメンバーを紹介させて頂きますと、一言でいえば“少数精鋭、という言葉がぴったりなチームでした。最初から最後まで、私たちの 35 期のチームメイトは、一緒に卒団を迎えることができれば 10 人のチームメイトがおりましたが、度重なる転校や仕方のない個人の都合などで卒団時にはその半分の 5 人となっていました。もちろん、チームを離れることになったメンバーも、今日まで友人でありチームメイトであるという意識は変わりませんでしたが、なかでも最後まで残ってチームを支えてくれた 5 人のメンバーには、深く感謝をしています。小学生という、たった一学年の差が大きく運動能力を分けるスポーツのなかで、11 人中チームの半分にも満たない 6 年生のチームメイトは、それぞれが良く役割を果たしてリーダーシップを発揮してくれました。

そんな三十五期のチームメイトを簡素ながら個々に紹介させて頂きます。

まずチームメイトが減る度に、ポジションが幾度も変遷した私、MF の堀内を始めとして、

大きな身体で、センターラインを悠々と超えるパントキックを放っていた GK の川辺君。

冷静な判断で守りの要を担ってくれていた、実はすごく負けず嫌いの DF 木村君。

抜群の運動神経とサッカーセンスで、なぜか現在はお笑い芸人をやっている MF 小林君。

一年の 1/3 ほどは怪我に悩まされながら、試合に出たときは頼りになった FW の神谷君。

少ないながらも皆個性的で、楽しく恵まれたサッカー生活を送ることができました。これもチームメイト、コーチ、父兄の方々、たちばなキッカーズがあつてのことだと思っています。

この先、60 年、70 年——と、いつまでも変わらないたちばなキッカーズの繁栄をお祈りいたしまして、お祝いのメッセージとさせていただきます。



第 35 期 卒業生



OB の大場さん(第 11 期)を囲んで

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK/DF	1/15	川辺 大地	下田小	久方ぶりの大型守護神、見るからにおおらかな性格でシンボルの存在。ゴールを死守しながらチームメイトを大声で叱咤激励して大活躍してくれた。その体格に似合わず繊細なところがあり、ドリブルやフェイントでも楽しんでたね。足元にくるシュートの処理は今でもいささか不安が残るが、状況判断で前に出るタイミングを身に付ければもっと信頼感が厚くなる。ただ、君の声に呼応してチームメイトが答えてくれる場面が少なかったのと、君の素晴らしいハンドキックをものにできる場面が少なかったのは大変残念に思う。
DF	7	木村 晃	高田小	押しも押されぬ、たちばなの壁として君臨してくれた。今年は攻め込まれる場面が多かったので随分と忙しかったと思います。もっと自信をもって自分のプレーをすれば良いのにとと思うときもありました。思いきりの良いプレーを心がけるようになってからファインプレーが多くなったように思います。謙遜するばかりでなく、もっと自分をアピールしよう。自信を持つと球筋の見極めができ、余裕のあるプレーにつながります。
MF	9	小林 惇	下田小	配球係としての役割は、周囲がよくみられるようになってから。上がるタイミングも抜群。持ち前のすばしっこさと出足で、ボールを取り返し前線への速いパスまわしでチャンスを何度も作っていた。誰よりも先にボールにさわって、確実にマイボールにし、周りを見てパスを出すという基本を十分にマスターしていた。ただパスの受け側がそれを意識していたかどうか大いに疑問が残るところであるが…。時として放つミドルレンジからのシュートも、敵の度肝を抜く効果は十分だった。早く配球係から配球士へ、やがては配球師となり司令塔を目指して欲しい。
MF	10	堀内 大夢	下田小	キャプテン。左 MF として活躍、売り物である出足の鋭さは一見に値する。敵陣に切り込んでもサポートがいない苦しい場面があり、惜しいシーンが多かった。試合中にボールを追いながら、あるいはボールを持ち込みながら、彼のつぶやき声を聞いた人がいるだろうか。納得の行くプレーが出来ている時、まるで自分に言い聞かせているような余裕のつぶやきである。時として華麗なプレーも見せてくれたね、自分のアイデアで意外性を見せることも大切。どちらかというと静的で状況判断は的確、ほかのプレーヤーへの指示と自らのポジショニングを考えることにより、もっと成長すると思うよ。
FW	11	神谷 祐次	下田小	敵のゴール前で右に左に飛び回る君を見るとき、手に汗を握り、キックのタイミングで思わず体をよじってしまったよ。それほどのチャンスに恵まれた君の得点を増やすためには、鋭くキック、すなわち膝から下の速い足の振り。シュートコースを見極めた瞬間に放たれる速く強いシュートを常にイメージしていて欲しい。でも、怪我で泣くことも多かったね、状況判断がまいちだったのかな。足の速さを大いに生かしてこれからも活躍して下さい。
林 哲也(下田小)、太田 裕介(下田小)、守山 健二(下田小)、園部 明(下田小)、石永 聡(下田小)				

SL 港北区サッカー協会大会 4 位



話が長いんだよね～！

シーズンレビュー

SL 1999 年度(平成 11 年度)

4 月 第 26 回横浜市春季少年サッカー大会

6 月 第 15 回港北区サッカー協会大会

7 月 GP サッカーフェスティバル 2 年生大会

10 月 第 31 回横浜国際チビッ子サッカー大会

11 月 第 3 回港北区区民サッカー大会

2 月 フットサル GP カップ

3 勝 1 負 2 分で 1 位

3 勝 3 分で予選通過

決勝トーナメント 4 位

予選 4 勝 1 分

準優勝

3 勝 1 負 1 分で予選通過

決勝トーナメント初戦敗退

予選 5 勝 1 負で予選通過

決勝トーナメント 4 位

予選リーグ 3 位

3 位パート優勝

LL 2001 年度(平成 13 年度)

4 月 第 28 回横浜市春季少年サッカー大会

6 月 第 17 回港北区サッカー協会大会

7 月 横浜すみれ招待

8 月 富士緑の休暇村で合宿

10 月 第 33 回横浜国際チビッ子サッカー大会

11 月 第 5 回港北区区民サッカー大会

1 月 第 28 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

LL-B

5 勝 1 負で 2 位

決勝トーナメント 2 回戦敗退

5 勝 1 負 1 分で 2 位

決勝トーナメント 第 3 位

2 勝 2 敗で 3 位

2 勝 1 負 2 分で 4 位

6 勝 1 負 1 分で予選通過

決勝トーナメント 1 回戦敗退

予選ブロック 3 回戦敗退

L 2003 年度(平成 15 年度)

1 月 第 28 回横浜少年サッカー大会 (新人戦)

4 月 第 30 回横浜市春季少年サッカー大会

4 月 第 27 回全日本少年サッカー大会

6 月 第 19 回港北区サッカー協会大会

8 月 富士緑の休暇村で合宿

8 月 35 周年記念サッカー大会

9 月 第 1 回三ツ池公園チビッ子少年少女サッカー大会

10 月 第 35 回横浜国際チビッ子サッカー大会

11 月 第 7 回港北区区民サッカー大会

1 月 第 30 回神奈川県少年サッカー大会

L-A

L-B

3 勝 3 負で 3 位

4 回戦敗退

3 勝 1 負 1 分

決勝トーナメント 1 回戦敗退

2 勝 (対山王谷、篠原つばめ)

2 勝 2 敗

3 勝 2 負 1 分で 3 位

2 勝 1 負 1 分

予選ブロック 1 回戦敗退



第 36 期 2004 年度(平成 16 年度)卒業生

チーム紹介 第 36 期生 関崎 太央

50 周年おめでとうございます！

私の第 36 期生の紹介をします。私たちの代は、決して強くありませんでした。そして、人数も多くありませんでした。ただ、人数が少ない分みんな仲が良くチームワークがすごく良かったと思います。たちばなの練習前後でもみんなで必ずサッカーしてました。

僕らの代は、受験する子が多かったので当初は、仕方なくキャプテンをやっていましたが、チームメイトや両親にも支えられ最終的にはやって良かったと思っています。

これから先も繁栄していくよう私たちも応援し続けていきたいと思っています。



メンバー紹介

背番号	名前	小学校	紹介
3	軽部 真斗	日吉台小	悪い意味ではなく、たまにいいボケをかまして、みんなを和ませてくれましたね。ありがとう。お父さんはお元気ですか？ よろしくお伝えください。
4	八代 元気	下田小	家も近所なのでよく一緒に試合に行きましたね。 「やめろ」といったのに、キックオフシュートを決めた試合は今でもよく覚えています(笑) また見かけたら遠慮なく声をかけてくださいね。ガンバレもっくん！
5	御影 秋人	駒林小	体は小さく、おとなしいイメージだが、負けん気は 1 人一倍、どんな時でも全力でぶつかり取り組んでました。 気分がのり、ファイトが全面に出たときは生き生きとてビックリするプレーが出てました。体力をつけて、自信を持ってサッカーを楽しんで下さい。
6	山岸 翔一	下田小	「コーチ、僕の一番悪いところは、自分に自信が無いことだね」と話していたことを思い出します。 でもそれを克服してプレーできたことも沢山あったよ。その時の嬉しかった感じをイメージして、どんなことにも失敗を恐れずチャレンジしてってください！ 誰でも初めから自信があるわけじゃないよね！
7	猪田 康夫	高田東小	あまり目立たない、派手とは言えないプレー、しかし、その動き方、ボールの取り方、そのあとのパス、どれをとってもコーチ連中からの評価の高かった玄人受けするプレーヤー、それが猪田君でした。あぶない！、と思うところに必ず顔を出し、相手チームの攻撃の芽を摘みではチャンスを作ってくれました。たまには上がって行って、シュートを打ってこいよ、というコーチの声は聞こえてたかな？
8	小川 雄太	下田小	キーパーからボランチからフォワードまでどんなポジションでも、コーチの言うことに「うん、いいよ」と答えてこなしてくれた、「素直で器用な」プレーヤー。そのなかでもボランチがいちばん合っていたようで、運動量は人一倍、どこにでも顔を出し、ときどきトップまで上がって行っては、ボールを取られるとトップスピードで戻ってきてディフェンスをやる姿が印象に残っています。
9	大谷 健悟	下田小	ドリブル・パス・シュートとボールタッチの柔らかさはチーム一、サッカーセンスも抜群でした。でも時折、孤立する事も度々ありました。周りとのコミュニケーションを取ればプレーの幅が広がります。自分のテクニックだけでは勝てない、高い戦術を覚えよう。
10	関崎 太央	下田小	この一年、キャプテンとしてのサッカーに集中し、チームを纏める難しさを体験しました。ゴールへ向かって走り、何が何でもシュート！「点を取る」積極性が魅力。俊敏さ、スタミナ・ファイトも最高。後はシュートの確実性、決定力をつければ「鬼に金棒」もう一段高いサッカーを目指そう。
11	林 翼	下田小	独特のリズム感でドリブルとフェイントで相手を抜いていく、相手ディフェンスのいやがるフォワードが翼君です。あのフェイントはコーチでもひっかかってしまうほどでした。センタリングだけでなく、切り込んで行つての右 45 度からのシュートも威力がありました。運動量も豊富で、ゲームではいつも真っ赤な顔で、汗をかいていました。
	岩澤 秀平	駒林小	



シーズンレビュー

SL 2000 年度(平成 12 年度)

4 月	第 27 回横浜市春季少年サッカー大会	3 勝 2 負
6 月	第 16 回港北区サッカー協会大会	4 勝 2 負 1 分
7 月	GP サッカーフェスティバル	予選 4 勝ブロック 1 位 準優勝
10 月	第 32 回横浜国際チビッ子サッカー大会	6 勝で 1 位 決勝トーナメント初戦敗退
11 月	第 4 回港北区区民サッカー大会	3 勝 1 負 2 分で 2 位 決勝トーナメント 4 位
2 月	フットサル GP カップ	2 勝 2 敗 予選リーグ 3 位 3 位パート優勝

LL 2002 年度(平成 14 年度)

		LL-A	LL-B
4 月	第 29 回横浜市春季少年サッカー大会	3 勝 2 負 1 分	—
6 月	第 18 回港北区サッカー協会大会	4 勝で 1 位	—
7 月	エルマーズ招待	決勝トーナメント 第 3 位 優勝	
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 34 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 2 負	—
11 月	第 6 回港北区区民サッカー大会	4 勝 1 負で 2 位 3 位	4 負 1 分予選敗退
12 月	明治杯招待	1 勝 1 敗で 2 位 2 位パート 1 勝 1 敗	
1 月	第 29 回神奈川県少年サッカー選手権	予選ブロック決勝敗退	

L 2004 年度(平成 16 年度)

1 月	第 29 回横浜少年サッカー大会 (新人戦)	1 回戦敗退
4 月	第 31 回横浜市春季少年サッカー大会	4 勝 1 負 1 分で 2 位 決勝トーナメント 2 回戦敗退
5 月	第 28 回全日本少年サッカー大会	1 回戦敗退
6 月	第 20 回港北区サッカー協会大会	4 勝 1 負 決勝トーナメント 1 回戦敗退
8 月	富士緑の休暇村で合宿	
9 月	第 2 回三ツ池公園チビッ子少年少女サッカー大会	2 回戦敗退
10 月	第 36 回横浜国際チビッ子サッカー大会	0 勝 4 負 2 分で 6 位
11 月	第 8 回港北区区民サッカー大会	3 勝 2 負で 3 位
1 月	第 31 回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック準決勝敗退

第 37 期 2005 年度(平成 17 年度)卒業生

チーム紹介 第 37 期生 野田 哲司

50 周年おめでとうございます。

僕たち 37 期のメンバーは全員で 15 人でしたが、受験組が多く、6 年生の時は主に 5 人で、大会には下級生とのチームで出場することがほとんどでした。6 年生最後の大会で、受験組が戻ってきて、全員で試合をすることが出来、嬉しかった事を覚えています。

今でもサッカーの試合はたくさん観ますが、それもたちばなに入団していたからこそサッカーを好きになれたからだと思っています。お世話になった監督コーチの方々に感謝しています。

たちばなキッカーズの益々のご発展を願っています。



メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1/33	野田 哲司	下田小	この一年、キャプテンとしてチームをまとめることがどんなに難しいかを体験しました。フィールドから GK にコンバート、GK としては小さい方でしたが、持ち前の瞬発力で守備範囲は広く、前に出る気迫は凄いものがありました。中学校では、集中力欠けることなく、この恵まれた素質を生かして、サッカーを楽しんでください。
MF	2	植松 篤	高田小	中学受験で 6 年生になってからはなかなか練習、試合にも参加できなくなりましたが、試合の中で一生懸命ボールを追っている植松君の姿が思い出されます。たまには息抜きをすることも必要です。中学に入ったら自分の思うことを精一杯頑張ってください。
MF	3	芹田 修平	高田小	練習も休まずまじめに頑張りました。走り方が重戦車のように特徴的でした。公式戦で得点をしたときの芹田君の笑顔が忘れられません。6 年生になってからは仲間が少なくなりましたがその中で一生懸命やっている姿は印象的です。これからも頑張ってください。
MF	4	西 康雄	下田小	サッカーをやりながら体が大きく強くなりました。キックとボールキープ力も素晴らしくなりました。ボランチとして積極的に攻撃の起点となりチャンスメイクしました。粘り強い頑張りと言面目さでも素晴らしいです。もうちょっと体力をつけ、個人技を磨いて視野の広い選手を目指してください。自信をもて！
MF	5	小林 亮	下田小	体に似合わずとてもおとなしい性格でサッカーにもそれが出ていたようです。ポジション的に難しい位置でしたがその中で一生懸命まじめに頑張っていた姿がとても印象的です。中学へ行ってもそのまじめさを大事にしているいろいろなことにチャレンジしてください。
FW	6	山岸 悠希	下田小	ガッツあるプレーは、劣勢のときチームに力をみなぎらせ、試合の流れを変えられることもある。そういう力のあるユウキは、サッカーに限らずいろんなことにもその持ち味を上手く生かしてガンバレ！ユウキ！ただし、集中は切らさないように（笑）
DF	7	加納 凌	下田小	試合中に時折みせるセンスの良さは、持ち前の運動神経の良さでしょう。LL 時代に L の試合に助っ人で来てくれた時、右サイドからのセンタリングにドンピシャで反応！久しぶりに見た美しいヘッドでのゴールは今でもハッキリ記憶しています。これからも練習で益々磨きをかけてください。
MF	8	笹原 章生	高田小	真面目で一生懸命な練習態度は、いつも感心していました。試合のときのモチベーションも高く、集中力もある MF として活躍していました。意地もあるので、取られたボールは取り返す！責任感のあるプレースタイルは任せて安心です。これからもその精神は忘れずに！
FW	9	手代木 凌	下田小	FW と DF どちらでもやれる。GK として B チームの「助っ人」、頼れる選手。時にはびっくりするようなファインプレーが出る。いつも目の前のことに全力でぶつかり、ファイトも充分。良いプレーを見て盗んで、サッカーセンスを身に付けて下さい。ワンタッチ目を大切にするためにもリフティングを練習しましょう！
MF	10	徳永 昌也	下田小	サッカーに対する熱い思い、誰よりも負けず嫌いな性格が、今後キミの人生に大きな力となって役立つことでしょう。負け試合のあと、悔しさあまりに涙をこぼしていたその気持ちを大切に、今後幾多の苦難があった時も、力強い熱い思いを持って取り組んで下さい。そんなこだわりがキミを成長させていきます。
DF	11	新岡 弘和	下田小	右足でのインステップキックはチームで一番。ロングスローでは再三チャンスをつくる。ボールを優しく扱えるようにもっとリフティングを練習しましょう！左足でもボールを扱えるようになり、ディフェンスの意識を身に付ければ攻撃力にも幅が出来ます。プロの試合をよく見てサッカーセンスを身に付け磨いてください。
DF	12	伊藤 亘	下田小	物事にまじめに取り組む姿勢がキミの持ち味です。サッカーに対するまじめな姿勢は新鮮に伝わっていました。それゆえに B チームのキャプテンという大役が務まったのだと思います。物事に真剣に取り組む謙虚な姿勢をいつまでも忘れずに、何事にも一生懸命な気持ちを持ち続けて下さい。

MF	13	遠山 義明	下田小	パスをもらいドリブルする姿を忘れません。体が小さく、おとなしくて、目立たない存在でしたが、黙々と練習する姿勢に秘める闘志は素晴らしいです。後は体力を付け、自信を持つことです。スペースに動いてボールを受ける事を覚え、1 対 1 の勝負をしてください。中学校では思い切り楽しいサッカーをして下さい。
FW	14	森 一史	下田小	シュートを決め、喜んでいる君の顔を忘れない！得点のにおいを感じ取る力は「ピカイチ」。一生懸命ボールを追いかけ、声を出して頑張っていました。時折、味方のドリブルコースを塞いだり、味方同士で衝突もしていました。周りを良く見て空いたスペースに動く事を習得して下さい。「笑顔」を忘れずにサッカーを楽しんでください。
FW	18	秋山 駿	下田小	どこのポジションでも任せられました。身体のバランスが良く、周りを見ての状況判断は素晴らしく、いい動きでした。身体を使って果敢にボールを奪い、冷静さと激しさを持ったプレーが魅力的でした。「頭はクールに、心は熱く」そのものです。中学校ではボールに親しみ、個人技を磨き、サッカーを楽しんでください。
内山 慎也 (下田小)、峰 慶樹 (下田小)、池上 耕太郎 (下田小)、柏井 直樹 (下田小)				



シーズンレビュー

SL 2001 年度(平成 13 年度)

4 月	第 28 回横浜市春季少年サッカー大会	2 勝 4 負で 4 位
6 月	第 17 回港北区サッカー協会大会	3 勝 1 負 3 分で 3 位
7 月	GP サッカーフェスティバル	1 勝 1 負 2 分で 4 位
		4 位トーナメント 2 勝
10 月	第 33 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 3 負で 3 位
11 月	第 5 回港北区区民サッカー大会	4 勝 1 負 2 分で 3 位
		決勝トーナメント 1 回戦敗退
1 月	フットサル GP カップ 2 年生大会	予選ブロック 1 位
		1 位、2 位トーナメント 1 勝 1 敗

LL 2003 年度(平成 15 年度)

4 月	第 30 回横浜市春季少年サッカー大会	LL-A	LL-B
6 月	第 19 回港北区サッカー協会大会	4 勝 2 負	0 勝 6 負
		5 勝で 1 位	0 勝 5 負
		決勝トーナメント	一回戦敗退
8 月	35 周年記念サッカー大会	1 勝 1 負	1 負 1 分
		(山王谷、つばめ)	(山王谷 A、B)
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
10 月	第 35 回横浜国際チビッ子サッカー大会	2 勝 2 負 2 分	2 勝 4 負
11 月	第 7 回港北区区民サッカー大会	4 勝 1 分で 1 位	5 負
		決勝トーナメント	一回戦敗退
12 月	明治杯招待	1 勝 1 敗で 2 位	
		2 位パート 1 勝 1 敗	3 位
1 月	第 30 回神奈川県少年サッカー選手権	予選ブロック一回戦敗退	

L 2005 年度(平成 17 年度)

1 月	第 30 回横浜少年サッカー大会 (新人戦)	L-A	L-B
4 月	第 32 回横浜市春季少年サッカー大会	3 回戦敗退	
5 月	第 29 回全日本少年サッカー大会	2 勝 2 負 2 分で 4 位	2 勝 3 負 1 分で 5 位
6 月	第 21 回港北区サッカー協会大会	1 回戦敗退	
8 月	富士緑の休暇村で合宿	4 勝 2 負で 3 位	0 勝 4 負 1 分で 5 位
9 月	第 3 回三ツ池公園チビッ子少年少女サッカー大会		
		1 勝 2 負	
10 月	第 37 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 1 負 2 分で 3 位	
11 月	第 9 回港北区区民サッカー大会	2 勝 2 負 1 分で 3 位	
1 月	第 32 回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック 2 回戦敗退	



第 38 期 2006 年度(平成 18 年度)卒業生

チーム紹介 第 38 期生 伊藤 圭祐

この度は、たちばなキッカーズ創立 50 周年おめでとうございます！

私たち 38 期のチーム紹介をさせていただきます。

私たちのチームは、2002 日韓ワールドカップが開催されその波に乗りサッカーを始めたメンバーや、また創立以来初となる女子メンバーを含む 19 名という大所帯のメンバーが卒団しました。

私自身は LL と L の 2 回キャプテンをやらせていただきました。最初は不安もありましたが仲間やコーチのおかげで楽しくサッカーができました。キャプテンをやった時のヘッドコーチである伊藤コーチ(LL)、渡辺コーチ(L)にはとても感謝しています。今でも当時の仲間にキャプテン！といじられます(笑)。高校で引退してから小学生以来 5～6 年ぶりに当時の仲間とサッカーをした時、その当時と比べ物にならないくらい上手くなっていてキャプテンとしてとても嬉しかったです。幼稚園の頃にサッカーをはじめ、たちばなには 2 年生の時に入団しました。たちばなに入り本格的にサッカーというものを知りそして没頭するようになりました。

さて、私たち 38 期のチーム成績はというと、いいところまでは行きますが大事なところではいつも負けてしまい招待杯以外では表彰台は経験がない勝負弱いチームでした。個人個人の能力はすごく高いのに勝てなかったのはキャプテンである私の責任だと、今考えるとそう思います。LL 時に港北区大会の決勝トーナメントで大豆戸と試合し勝った試合が唯一勝負強かった試合だと思います。そのあとは結局勝てず 4 位に終わりました。市大会では、勝ち点や得失点などすべてが同率で並び、くじ引きで 2 位を決め、見事決勝トーナメント進出を決めるという 2 度とない経験もしました。(あの時は最高に気持ちよかったことを今でも覚えています)

6 年生になると主力メンバー含む数名が受験で抜けたこともあり苦しい試合が続きました。受験が終わりみんなが帰ってきてくれた時は本当に嬉しかったです。最後の招待杯で全員が揃い、太尾杯では準優勝・大豆戸杯では曾田さんが見に来てくれて見事優勝し良い締めくくりができました。

これまで私の代の振り返りをしましたが、最後にたちばなとしての思い出を語らせていただきます。私がたちばなで一番良いと思うのは合宿です。3 年～6 年が参加し学年関係なくチームを作り試合をする、他のチームにはないとても素晴らしいものだと思います。3～4 年次は高学年のプレーに憧れ、5～6 年次は低学年の子に魅せるプレー、普段は感じる・見る・聞かないものをこの合宿で知ることが出来ました。他にもたくさん思い出がありますがたちばなでの 5 年間は最高に楽しかったです！！

今でもお世話になったコーチや、知り合いのお子さんがいることから、時々活動に参加させてもらっていますのでこれからも色々よろしくお願いします。

たちばなキッカーズ!! 創立 50 周年本当におめでとうございます！！

SL 時代



合宿



メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1/31	藤野 大貴	高田東小	L になってから GK を任され「たちばな」の守護神として活躍してくれました。チームとしてはなかなか良い成績は残せませんでしたが、その中で最少失点で抑えて勝利したゲームも多々ありました。また反面、集中力に欠けたプレーで失点したケースも何度かありました。気持ちの持ち方でプレーに差が出ることを覚えてもらいたいと思います。特に GK はそれが失点に直接にむすびつくからね！たちばなは卒業するけど、仲間はこれからの藤野君にとって大きな財産になるよ！！
DF	2	小出 大	高田東小	「小粒でぴりりと辛い」という言葉がぴったりのプレーを見せてくれました。大きな相手にも臆せず当たっていく姿はみんなをととても勇気付けてくれます。そういう献身的なプレーが失点の少ないチームにしてくれました。たちばなでのサッカーは楽しかったですか？楽しかったのならば、それは良い仲間がいたからです。いつでも遊びにこいよ！皆で待っているよ！！
DF	3	田中 翔太	下田小	「タナ」は 5、6 年生になってからいい持ち味を発揮してくれました。体も大きくなって相手に対して当たり負けなくなったし、安定したディフェンスでチームに貢献してくれました。なんと言っても「タナ」の魅力は、バックから足を活かし攻撃に参加できることです。そんなプレーが出たときは見ているものに興奮と感動を与えてくれます。まだまだ伸びる選手です。中学でもぜひサッカーを続けてください。
MF	4	菅原 拓也	下田小	「タクヤ」は LL-B のキャプテンも経験し良く皆の面倒も見てくれて本当にコーチとしても助かりました。体は小さいけれどボールをコントロールしてドリブルで相手を抜くテクニックも身に付けました。ボールを持ったときの体のバランスがとてもいい選手と思います。ボールに寄り過ぎること、フェイントが相手に近過ぎること、もっとゲーム全体が見ればどこにパスを出せば効果的なのか、自分で抜くのがいいのか、パスがいいのか、の判断も出来たかと思います。まだまだ伸びる素質を持っています。頑張ってください。
MF	5	新保 和輝	下田小	6 年生になってバックのポジションになったあたりから、新保君のいいところが出せるようになったと思います。ボールに対する勘所のよさ、相手をかわしてドリブルで前方へ上がれる強みが新チームのスタイルを作りました。低学年のときは自分の思うプレーが出来なかったときにはふてくされていたことが懐かしく思い出されます。支えてくれた仲間、家族に対して感謝しましょう！！
MF	6	尾関 大海	下田小	練習を休まず、苦しくてもへこたれずにもくもくと頑張っている姿が印象的です。サイドからの攻撃が出来るようになり、尾関君のプレースタイルとなりました。ボールコントロールをしっかりと、ゲームの流れを読む勘を更に養ってください。ここまで一緒に頑張ってきた仲間と、支えてくれた家族に対して感謝することを忘れないように！！
MF	7	佃 康平	下田小	チームの司令塔としてボールコントロール、キープ力ともにずば抜けた能力の持ち主です。箕輪が抜けたところで負担が大きくなり、その持味をなかなか発揮できない時期もありましたが、良く頑張ってくれました。いつもボールと遊んでいる姿が印象的で、その効果がリフティング記録となりました。みんなにも真似をしてもらいたいところです。中学でも是非頑張ってください！！
FW	8	佐々木 智仁	下田小	6 年の夏からは受験で「たちばな」を休会したけれど、2 月には復帰してくれてコーチも嬉しかったです。4 年から 5 年にかけて技術的にとっても伸びました。サイドでボールを受けてゴールラインまで切り込んだパスやシュートは「トモ」のひとつのプレースタイル、持味になりました。コーチの話もしっかりと目を見ながら聞く姿勢が出来ていました。これからも「たちばな」の仲間を大切にね！
MF	9	箕輪 達秀	高田東小	「ミノ」は小さいときからサッカーが好きでお兄ちゃんの試合もずいぶん観戦していたね！！頑張りやで一人でも黙々と練習するタイプです。高学年になって体も大きくなり、その体をうまく使うプレーも出来ていたし、テクニックも覚えて攻守そろったまさにチームの要でした。中学でも是非サッカーを続けてもらいたいとコーチは思います。お兄ちゃんとはまた一味違ったいいプレーヤーになれるよ。ガンバレ！！「ミノ」

DF	10	伊藤 圭祐	下田小	「ケイスケ」キャプテン、本当にご苦労さんでした。圭祐の頑張りでチームもまとまり、どうにか最後の方でそれらしい試合が出来るようになりました。得点の取れないチームだったけど、相手に得点を与えなかったのは圭祐の頑張りとコーチは頭が下がります。LLからはバックのポジションが多くなってしまいましたが、どのポジションでもやっつけける能力を持っているとコーチは思います。そのためには、もっとボールと仲良くならないとダメだよ！！ボールコントロールが大切。ドリブルとリフティングをしっかりとやろう！！
MF	11	市村 拓弥	下田小	「イチ」のゴール前への飛び出しはSLのときから素晴らしいものがありました。それはサイドでの動きでも同じことが言えます。そのスピードをもっと活かすための努力が必要だったね！出されたボールへのファーストタッチの大切さ、「ここにでてくるはず」というゲーム勘を養うことが重要です。「たちばな」で楽しく、自由にサッカーが出来たと思います。もっともっとサッカーが好きになってもらいたい。
GK	12	澤田 祐麻	下田小	練習にまじめに良く通ってくれました。Bチームでのキャプテンも努めいい経験になりましたね！何よりたちばなで楽しくサッカーが出来たのではないかと思います。「ユウマ」にはもっともっとサッカーが上手くなりたいという気持ちと、それに向かって一生懸命頑張るということが必要なと思います。これはサッカーだけではなく全てのことに通じます。いろんなことにチャレンジしてください。
FW	13	山本 夏輝	下田小	いつもニコニコ明るく楽しそうにサッカーをしていました。技術的には経験も浅かったので他の仲間に比べられませんが、練習にもしっかり出てきているし頑張ってくれました。たちばなで出来た仲間はこれからの「ナツキ」にとってとっても大事な財産です。これからも仲良くやっていってください。
FW	14	春山 良太	下田小	たちばなへの入会が5年からで、サッカーのほうは短い期間でしたが自分の出来ることを一生懸命取り組んでいました。その結果が2月12日の練習試合での2得点に現れました。コーチはとても嬉しかったです。「ハル」はしっかり走れるので中学ではその辺を活かしたプレーを目指してもらいたいと思います。
MF	15	磯 恭平	下田小	受験組んで6年生になってからはほとんど「たちばな」への参加が出来なくなってしまったね！体は小さいけどガッツ溢れるプレーはコーチの記憶にしっかり残っています。特に前線での得点チャンスを感じ取る勘とプレー、飛び出しのスピードは他のだれも持っていない「磯」の持ち味です。ただ、スライディングが目立ったね！ぎりぎりのところでプレーしているから体勢的に余裕がなく、ボールへ飛び込む格好になっていました。「たちばな」は卒業しますが、ここまで頑張ってきた仲間はこれからも大切にしてください。
DF	16	小山 裕美	下田小	6年間よくサッカーを続けてくれました。男子ばかりの中でいつまで続くかと心配していましたが、逆にその男子を引っ張ってくれたのが「ヒロミ」だったようです。低学年のときは男子を引連れてたちばなに来ていたような記憶があります。プレーのほうも相手を怖がらず、しっかりとしたディフェンスが出来ていたし、相手をかわしてドリブルからパスへの連携も出来るようになりました。女子では初めての卒業生になるのかな？がんばったね！
MF	17	田島 泰希	下田小	「タジ」は4年生の後半あたりから成長痛のためサッカーが出来ない状態になってしまって本当に残念でした。もし成長痛が無ければこの代のチームにとって無くてはならない存在になっていたでしょう。ボールを持ってドリブルしたときのスピードと体のバランスがとても良い選手でした。サッカーに対してまじめに取り組む姿勢と性格的にはおとなしそうでガッツ溢れるプレーはこれからの「タジ」に礎となって成長してくれるものと期待しています。
FW	27	石井 俊介	下田小	「シュンスケ」は6年の途中からたちばなの仲間に加わり、天性の足を活かしたプレーには目を見張るものがありました。相手ディフェンスを抜くときは見ているものを興奮させる魅力があり、左右からのシュートも迫力充分です。「シュンスケ」にはもっともっとサッカーを好きになってもらいたい。親からもらった大きな体を十分に活かしたプレーを自信を持ってやってもらいたいです。課題はキックの正確性、長身を活かしたヘディング、ボールコントロールを身に付けよう！

GK	30	菅原 幹貴	下田小	「モトキ」は5年からたちばなを休会し受験に頑張ったようでその成果もきちんと出しましたね！ガッツあふれるプレーでみんなに勇気を与えてくれました。キーパーではナイスセービングをしたり、フィールドでも気迫のこもったドリブルからシュートまでコーチの記憶にしっかり印象づけてくれました。受験が終わって久しぶりにたちばなに復帰した姿を見たとき、とても嬉しかったです。たちばなの仲間と共にまた元気な姿を見せてほしいと思います。
佐藤 優樹 (下田小)、阪本 健太郎 (下田小)、吉田 圭佑 (下田小)、濱本 憲佑 (下田小)				

シーズンレビュー

SL 2002 年度(平成 14 年度)

- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2001 年度)
- 4 月 第 29 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 18 回港北区サッカー協会大会
- 7 月 GP サッカーフェスティバル 2 年生大会
- 10 月 第 34 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 6 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

SL-A

- 予選ブロック 2 勝 1 分
3 位、4 位トーナメント 1 勝 1 敗
- 0 勝 6 分で 7 位 —
- 4 勝 2 分で 2 位 —
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 予選 2 勝 1 分で 2 位 —
- 1 位、2 位トーナメント 2 敗
- 3 勝 1 分 2 分で 2 位 —
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 4 勝 1 分で 1 位 0 勝 5 敗で 6 位
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 予選 2 勝 1 分で 1 位
- 1 位、2 位トーナメント 2 敗

SL-B

LL 2004 年度(平成 16 年度)

- 4 月 第 31 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 20 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 36 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 8 回港北区区民サッカー大会
- 12 月 明治杯招待
- 1 月 第 31 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

- 4 勝 2 分で 1 位 1 勝 5 負
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 4 勝 1 分 1 分 0 勝 6 負
- 3 勝 2 分 1 分 1 勝 5 負
- (抽選) で 2 位
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 4 勝 1 分 1 分で 2 位 0 勝 5 負
- 決勝トーナメント 4 位
- 3 位パート準優勝
- 予選ブロック 2 回戦敗退

LL-B

曾田さんと記念写真



L 2006 年度(平成 18 年度)

- 1 月 第 31 回横浜少年サッカー大会 (新人戦)
- 4 月 第 33 回横浜市春季少年サッカー大会
- 5 月 第 30 回全日本少年サッカー大会
- 6 月 第 22 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 9 月 第 4 回三ツ池公園チビッ子少年少女サッカー大会

- 10 月 第 38 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 10 回港北区区民サッカー大会

- 1 月 第 33 回神奈川県少年サッカー大会
- 2 月 大豆戸卒業杯

L-A

- 2 回戦敗退
- 2 勝 4 負で 5 位
- 3 回戦敗退
- 3 勝 2 負予選敗退

L-B

- 1 負 2 分予選敗退
- 2 勝 1 負 3 分で 4 位
- 5 勝で 1 位
- 決勝トーナメント 4 位
- 予選ブロック 1 回戦敗退
- 優勝



大豆戸卒業杯 優勝！！



お別れ会

第 39 期 2007 年度(平成 19 年度)卒業生

チーム紹介 第 39 期生 岡村 健太郎

たちばなキッカーズ 50 周年おめでとうございます。

私たち 39 期は S L の時から出入りが多くまた中学受験で休んだメンバーも沢山いた為、6 年生の時は 9 人中 3 人となりましたが、残ったメンバーと 5 年生が協力して 1 年間頑張ってくれました。10 年が経ち思い出をたどってみると... S L 時代の厚木でのフットサル G P カップは試合より何よりもとにかくとても寒かったのと母達を作ってくれた豚汁やカップ麺が温かくて嬉しかったのを覚えています。L L では横浜国際チビッ子大会ではベスト 8、L では好成績とはいきませんでしたが最後まであきらめない自分たちのサッカーができました。

恒例のたちばな合宿は、いつもは一緒にならない縦学年でグループを作りサッカー練習や出し物の練習、遊びにと合宿前の集まりが楽しくて仕方なかったです。合宿ではチームで寝食を共にして勝っては喜び負けては落ち込み、カレーを食べて元気をもらい夜は怖い話をして盛り上がりたりととても楽しい思い出です。

そんな 6 年間は皆で協力すること、相手の立場に立つことの大切さを学び、人とのつながりを自然と考える事ができるようになったと思います。支えてくれたコーチ、両親のおかげでサッカーを楽しむ事が出来てとても感謝しています。

僕たちが自分らしく生き生きとプレーが出来たように、たちばなキッカーズが子供達にとって心地よい場所となり思い出したときに笑顔になれるような場所であることを祈り応援したいと思います。

メンバー紹介

背番号	名前	小学校	紹介
2	松原 高紀	つづきの丘小	4 年生の国際チビッ子では、飛び抜けた身体能力で難しいシュートを次々と決め、チームのベスト 8 進出の立役者になりました。最後はケガで試合に出れなかったけど、早く治してまたあのプレーを見せに来てください。楽しみにしています。
3	関口 竜樹	つづきの丘小	クールなキャラながら、果敢にサイドを駆け上がり多くのチャンスを作りました。太尾招待戦でも右サイドでゲームの起点を作り、得点チャンスをいくつも演出しました。中学も近くなので、いつでも遊びにきてください。
4	広瀬 燈喜	下田小	6 年春の県大会で味方 FW の決定的なシュートの前に勢い余って飛び込んでしまい、見事にクリアしてしまったことが今でも強烈に印象に残っています。(^^; 得点をとるために一生けん命に走りすぎましたね。一番遅れて入部したにも関わらず持ち前の明るいキャラでチームを大いに盛り上げてくれました。
5	西 健裕	下田小	もともと才能があるのに、その優しい性格のせいか、おとなしかったプレースタイルが 6 年の後半にガラッと変わりました。最後の太尾招待では、スピードに乗った強引なドリブルと強烈なフリーキックで試合を熱くしてくれました。
6	岡村 健太郎	下田小	一見おとなしめの岡っかはご両親に似てとても楽しいナイスキャラ。数々のエピソードは立派に残してくれました。4 年の時はディフェンスラインを統括し、多くのピンチを救ってくれました。6 年最後の合宿で後輩たちを巧みにリードし勝ち取った優勝は今でも忘れられません。
7	大谷 和也	下田小	強引ともいえるドリブルを最後の太尾招待でも存分に見せて観客を魅了してくれました。ドリブルのタイムトライアルでは、伝説のたちばな記録を塗り替え、記録会では区のナンバーワンに輝きました。自分で目標をたて、きちっと取り組んで結果を出せるところが凄いですね。
8	小澤 卓也	下田小	4 年生の時は、キャプテンとしてリーダーシップを発揮し、チームを市大会のベスト 8 に導きました。また、サッカースクールで知り合った友達をたくさんたちばなに連れてきてくれました。数々の大事な試合で見せた柔らかいボールタッチとみごとなボディーパーバランスで相手を優雅に抜いていくドリブルは圧巻でした。

9	飛田 将晃	下田小	去年のゼブラ杯の山王谷戦で決めた左サイドからの強烈なミドルシュートと先日のコーチチームとの対戦で決めた鮮やかなボレーシュートが鮮明に印象に残っています。 6 年生の後半は、受験で抜けた仲間に変わり立派にチームのリーダーシップを取ってくれました。
11	鈴木 竜平	下田小	
12	鶴野 勝利	下田小	試合に練習に常に全力プレーで臨み、熱くチームを引っ張ってくれました。 太尾招待の試合でも、不動のボランチとしてガッツのある汗かきプレーと、広い視野でディフェンスラインのピンチまでカバーするいぶし銀のプレーを随所に見せてくれました。 夏の合宿でもキャプテンとしてチームをみごとに統率しました。
外島 滉太郎 (日吉台小)、横須賀 天紀 (下田小)、佐伯 照 (下田小)、横須賀 敦至 (下田小)、大宮 健吾 (下田小)、細谷 叡資 (日吉台小)、大江 修平 (下田小)、湯浅 智貴 (高田小)、石崎 健太 (下田小)、久染 健 (日吉台小)、塚原 達也 (下田小)、野呂田 優也 (下田小)			



シーズンレビュー

SL 2003 年度(平成 15 年度)

- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2002 年度)
- 4 月 第 30 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 19 回港北区サッカー協会大会
- 10 月 第 35 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 7 回港北区区民サッカー大会

SL-A

- 予選ブロック 1 勝 2 負
3 位、4 位トーナメント 1 勝 1 敗
- 2 勝 2 負 2 分で 4 位
- 4 勝 2 負 1 分で 3 位
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 1 勝 4 負 1 分で 5 位
- 3 勝 2 負で 3 位

SL-B

-
-
-
- 0 勝 5 負で 6 位

LL 2005 年度(平成 17 年度)

- 4 月 第 32 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 21 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 37 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 9 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 32 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

- 2 勝 3 負 1 分で 5 位
- 3 勝 1 負 2 分で 3 位
- 5 勝 1 分で 1 位
- 決勝トーナメント ベスト 8
- 4 勝 2 負で 3 位
- 予選ブロック 1 回戦敗退

LL-B

- 5 負 1 分で 7 位
- 6 負で 7 位
- 2 勝 4 負で 5 位

L 2007 年度(平成 19 年度)

- 1 月 第 32 回横浜少年サッカー大会 (新人戦)
- 4 月 第 34 回横浜市春季少年サッカー大会
- 5 月 第 30 回全日本少年サッカー大会
- 6 月 第 23 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 9 月 第 5 回三ツ池公園チビッ子少年少女サッカー大会
- 10 月 第 39 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 11 回港北区区民サッカー大会

L-A

- 2 回戦敗退
- 3 勝 2 負 1 分で 3 位
- 1 回戦敗退
- 1 勝 3 負 2 分予選敗退
- 1 勝 2 負予選敗退
- 1 勝 5 負で 6 位
- 3 勝 3 負で 2 位
- 決勝トーナメントベスト 8

創立 40 周年記念行事準備委員会発足

- 1 月 第 34 回神奈川県少年サッカー大会

- 予選ブロック 1 回戦敗退



サッカーと私そして、たちばなキッカーズ

コーチ OB 伊藤 直和

たちばなキッカーズ創立五十周年おめでとうございます。

1968 年（昭和 43 年）11 月 23 日（祝日）に誕生して 50 年。この年はメキシコオリンピックでサッカー日本代表が銅メダルに輝いた年でもありました。その後プロ化の話もあったようでしたが時期早尚ということで見送られたそうです。

当時はまだまだ野球人気が高かったと記憶しています。私も小学校卒業まで野球少年でした。入学した地元の中学校に野球部が無かったためテレビアニメ『赤き血のイレブン』の影響もあってサッカー部に入部し高校卒業まで続けました。その後サッカーとは無縁となりましたが息子達がサッカーに興味を持ち、たちばなキッカーズへの入団を期に永田相談役（当時代表）の誘いを受け指導者として携わることとなりました。

以来 20 年間指導者を続けましたが 2017 年 3 月をもって一区切りと思い退団しました。今はたまに試合観戦に行く普通のオッサンです。（笑）

たちばなキッカーズでの 20 年間に長かったのか短かったのか答えは出ませんでした。が指導の難しさ楽しさ等々経験出来た充実した 20 年間でした。

最後に日本サッカーは J リーグの誕生ワールドカップ出場などを経て急速な進化を遂げました。『子供達が主役のびのびサッカー』がモットーのたちばなキッカーズもますます発展されますよう祈念しております。



たちばな杯で穴戸代表(右)と

たちばなキッカーズ創立 50 周年記念によせて
- たちばなキッカーズの魅力 -

コーチ OB 小林 徹

この度は、たちばなキッカーズが創立 50 周年を迎えられますこと、大変おめでとうございます。

これもひとえに、縁あってたちばなに集まった子供たちの頑張り、ご父兄のご協力、代表、監督、コーチの皆様の日頃の努力の賜物と思います。

私事で恐縮ですが、当時、小学 1 年生になったばかりの長男を、どこのチームに入れようかと、土日のたびにあちこちのチームを見学に行き、話を聞き、クラブ見学の日々を過ごしていたのを思い出します。でも結局「たちばな」を選んだ決定的な理由は、コーチが押さえつけたり、型にはめるのではない、自由なサッカーをやらせてもらえそうだったからだと記憶しています。今はもう大人になった息子も、「サッカーをずっとやってきたけど、たちばなのサッカーが一番伸び伸びと楽しくできた」と話していますので、正しい選択だったと思います。

そう、楽しくなければ続けられない、続けることができるから次第に上手くなる、上手くなると自信が出る、更に上を目指すというポジティブな感覚を子供たちに掴ませようと、様々な教本を読んだり、独自でアレンジしたり、とにかく子供たちが真剣になれて、時には笑顔になれるような「楽しい練習」を、通勤時や入浴時にさえ考え続けていました。子供はそんな単純なほうが解りやすく続けられるんじゃないかなと思います。また、お母さん方は、試合のたびに子供のウェアを洗濯したり、お弁当の用意をすることを少しも「苦」と思わず、お父さんは車出しを頼まれて、たまの休みでも早起きして車内をせっせと掃除する。たちばなは、子供が主役ということが「うたい文句」ですが、実は応援されるご家族も、コーチもみんながある意味「主役」であると思います。

誰かの為に一人一人が持ち場持ち場で無償の思いで頑張る事は、まさに持ち場の主役であり、いつの時代も変わるものではない大切なことだと思いますし、子供たちに良いお手本を見せることが出来るものと思います。

また、サッカーで大切なコミュニケーションですが、まず、練習や試合で声が出せない子供が今も昔も多くいることは事実だと思います。コミュニケーション不足から大人でも色々なトラブルが起きますし、子供たちも練習中に諍いを起こしているのを、よく注意したことがあります。

やはり大人がお手本を示すのが一番かと思います。実際コーチが、「声をだせ！」と言うより、コーチ自身が大きな声を出していると、自然に子供たちも声が出てくるようになります。

家庭でも同じことが言えると思います。みんなで元気に挨拶して明るく楽しく過ごしたいものです。

仕事の都合で、東日本大震災の 10 日後に新潟に転勤になって 7 年が経ちます。先日久しぶりにグラウンドの隅から、練習している子供たちの真剣な顔と笑顔と汗をみて、「たちばな」で子どもたちと一緒に楽しくサッカーをやってこられたという喜びを感じました。

これからも、サッカーが大好きで、人にやさしく、明るい元気な子供たちがたくさん育つチームとして、また技術的にも素晴らしいプレーヤーが一人でも多く、「たちばな」から生まれるよう楽しみにしております。

第 40 期 2008 年度(平成 20 年度)卒業生

チーム紹介 第 40 期生 秋葉 裕介

たちばなキッカーズ 50 周年おめでとうございます。

40 期生を紹介します。私達のチームは決してずば抜けて上手い選手達が集まっているチームではありませんでしたがチーム力、団結力ではどのチームにも負けない自信があります。チームの中には高田小学校から通っていて、平日にはなかなか会えないメンバーもいましたが、週末になると毎練習みんなで楽しくボールを蹴っていたのを覚えています。

今になって当時を振り返ってみると、生意気だった私達がのびのびとサッカーを楽しんでいたのは、私達 40 期生の保護者や、当時、担当して頂いたコーチ、支えてくださった皆さんのおかげです。選手だけでなく、保護者、コーチ、応援してくださった方々も含めたチームワークがあったからこそ、横浜市の大会でも勝ち進め、港北区大会では LL・L の部で優勝出来たのだと思います。

最後になりますが、今後のたちばなキッカーズの一層のご発展をお祈りします。



メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW/MF	2	武岡 悠	下田小	全てのポジションの経験を持つオールラウンダー。相手プレッシャーにも動じないゴール前の必殺仕事人。
FW/MF	3	斎藤 大暉	高田小	どんなプレーヤーも自由にさせないマンツーマンのスペシャリスト。その明るい笑顔とゴールパフォーマンスで、たちばなを勝利へ導く！
DF	4	須藤 聖朗	下田小	的確な状況判断と不屈の精神力で相手攻撃の芽を見事に摘み取る！たちばなが誇るエースキラー。ディフェンスのスペシャリスト。
MF	5	浜田 理志	下田小	中盤の底でピンチの芽を潰すと、素早くチャンスに繋がるプレーで周りを魅了！ボランチがよく似合うミッドフィルダー
MF/DF	6	水野 遼大	下田小	強靱な足腰とスピードが魅力の右サイドのスペシャリスト。君のセンターリングで数多くのゴールシーンを演出！
FW/MF	7	徳永 裕太	下田小	大豆戸戦、区大会決勝で魅せたゴールはワールドクラス！どこからでもゴールを狙えるチームナンバーワンのゴールハンター。
MF/DF	8	小川 峻太郎	下田小	攻撃・守備の起点となり、コウソクドリブルから繰り出される絶妙なパスと、左足から放たれるキャノンシュートの威力は、たちばなナンバーワン！
DF/MF	9	木村 大樹	高田小	ディフェンスラインから最前線まで攻め上がりゴールを決める！たちばなが誇るオールラウンドプレーヤー。たちばなの精神的支柱。
MF/DF	10	秋葉 裕介	下田小	スピード豊かなドリブル突破と剛快なシュートで右サイドを切り崩す！個性派集団をまとめた皆から慕われるスーパーキャプテン。
MF/DF	11	戸塚 光	下田小	左サイドの高速突破は迫力満点！たちばな一の俊足プレーヤー。港北区大会優勝を決めた決勝ゴールはチームの誇り。
FW/MF	12	鈴木 郁矢	下田小	天性のサッカーセンスとクイックネスで周りを魅了！美しいゴールを数多く演出した、たちばな No.1 のファンタジスタ。
GK/FW	13	笹原 崇生	高田小	相手の裏を果敢に狙うオフサイドライン際のアタッカーにして、数々の怪我にも負けず勇敢にゴールを守ったチームの守護神。
MF	14	渡辺 達也	下田小	広い視野から繰り出す必殺スルーパスで敵を窮地に陥れる！たちばなが誇るパスサッカーの代名詞にして中盤の要。



シーズンレビュー

SL 2004 年度(平成 16 年度)

1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2003 年度)

4 月 第 31 回横浜市春季少年サッカー大会

6 月 第 20 回港北区サッカー協会大会

10 月 第 36 回横浜国際チビっ子サッカー大会

11 月 第 8 回港北区区民サッカー大会

1 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

2 月 第 6 回横浜すみれカップ

下位パート準優勝

2 勝 2 負 1 分で 2 位

決勝トーナメント 1 回戦敗退

5 勝 1 負 1 分で 1 位

決勝トーナメント 3 位

3 勝 3 分で 3 位

5 勝 2 負で 3 位

決勝トーナメント 1 回戦敗退

1/2 位トーナメントベスト 8

優勝

LL 2006 年度(平成 18 年度)

4 月 第 33 回横浜市春季少年サッカー大会

6 月 第 22 回港北区サッカー協会大会

8 月 富士緑の休暇村で合宿

10 月 第 38 回横浜国際チビっ子サッカー大会

11 月 第 10 回港北区区民サッカー大会

12 月 明治杯招待

1 月 第 33 回神奈川県少年サッカー選手権

2 月 第 23 回駒林カップ (4 年の部)

LL-A

3 勝 3 負で 4 位

5 勝 1 負で 1 位

優勝

LL-B

3 勝 1 負 2 分で 3 位

1 勝 4 負で 4 位

4 勝 1 負 1 分で 2 位 5 勝 1 負で 2 位

A・B 共決勝トーナメント 1 回戦敗退

6 勝で 1 位

4 勝 1 負 1 分で 2 位

A: **優勝**

B: 決勝トーナメント 1 回戦敗退

2 位パート 2 敗

予選ブロック決勝敗退

優勝

L 2008 年度(平成 20 年度)

1 月 第 33 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)

4 月 第 35 回横浜市春季少年サッカー大会

5 月 第 31 回全日本少年サッカー大会

6 月 第 24 回港北区サッカー協会大会

8 月 富士緑の休暇村で合宿

9 月 たちばな創立 40 周年記念大会

10 月 第 40 回横浜国際チビっ子サッカー大会

11 月 第 12 回港北区区民サッカー大会

1 月 第 35 回神奈川県少年サッカー選手権大会

3 回戦敗退

4 勝 1 負 1 分で 2 位

決勝トーナメント 1 回戦敗退

予選トーナメント準決勝敗退

4 勝 1 負で 2 位

優勝

3 位

2 勝 3 負 1 分で 4 位

1 勝 2 負 1 分予選敗退

2 回戦敗退

第 41 期 2009 年度(平成 21 年度)卒業生

チーム紹介 第 41 期生 伊藤 峻平

たちばなキッカーズ創立 50 周年おめでとうございます！

自分たち 41 期生は、本当に仲が良く、元気で明るいチームでした。

みんなサッカーが好きで、暇さえあれば学校や公園でボールを蹴って遊んでいました。時には、鬼ごっこや野球をしたりなど他の遊びの時もいつも一緒でした。

一緒にいる時間が多い分ケンカもしましたが、仲直りも早かったのも、本当に仲が良かったんだと思います。それでも、中学、高校、大学と離れてしまって滅多に遊ぶ機会もなくなりました。今では、全員が集まることは難しく、年始に数名集まってボールを蹴るぐらいです。

我々 41 期生は 10 人いましたが、卒業して 9 年経った今では、全員がサッカーを続けているわけではないですが、サッカーが好きであることに変わりはないだろうと思います。たちばな時代の思い出としてはいろんなことがあります、一番は 6 年生の時、春の港北区大会で優勝したことです。予選リーグを 1 位で決勝トーナメントに進み、準決勝で駒林との対戦で延長の末に勝利！そして、つばさ SC との決勝戦。みんな、なんだかとても緊張していましたが、ピッチにたったならそんなことは関係なし！いつも通りのプレーができて 2-1 で見事勝利し、優勝することができました。本当に嬉しくて今でも忘れられない思い出です。(秋の区大会では同じつばさ SC にリベンジされてしまいましたが...)

あとは、卒業の頃のあざみ野杯で決勝までいき、強豪のあざみ野 FC に PK までもつれこんだこと。結果は負けてしまいましたが、最後にとってもいい試合ができたとおぼえています。

他にも夏の合宿や冬のたちばな杯などの行事が楽しかったことなど、たくさんのたちばなでの思い出があります。

自分は 7 年間たちばなでサッカーをして、サッカーの楽しさや、時に難しさ、仲間の大 切さなどたくさんのことを学びました。その経験が生き、今でもサッカーを続けることができています。きっとたちばなでの 7 年間で忘れることはないでしょう。 本当に 50 周年おめでとうございます。



GP カップ

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
DF	2	小出 明	高田東小	小さいけれどボールに向かっていく姿は誰よりもたくましく、大きく、頼もしく見えます。必死になってゴールを守る頼りになる存在。
MF	3	大森 涼	高田東小	恵まれた体格から繰り出すシュートはチーム 1。あたってくる敵を跳ね返ししながら進む姿が頼もしい。
DF	4	中野 啓心	下田小	今のチームには欠かせない存在。みんなの信頼が高く鉄壁の守り。たちばな 1 のディフェンダーといったらサブキャプテンのこの男。
DF	5	池原 亜門	下田小	宮本亜門の名にちなんでつけられたその名のごとく、将来は歌って踊れるトップアスリート。俊足の貴公子。
GK	6	吉武 裕介	下田小	ゴールを守りながら応援母を決して退屈させない、おちゃめなチームの守護神。試合に夢中で時々ゴールがお留守になるのも御愛嬌。みんなの声援を集める作戦だ。
MF	7	菅原 一輝	木月小	かずちゃん！母の叫びを BGM に、細い体で敵をかわし、ドリブルで切り抜け、トップへつなぐ。たちばなの絵になる男。
MF	8	西川 裕貴	下田小	高い技術とパスセンス。MF に必要な要素をすべて兼ね備えた中盤の要。
MF	9	林 航平	下田小	左サイドからの俊足を生かしたドリブルが持ち味。独特のステップに相手チームの DF が翻弄されます。たちばなのチャンスメーカー。
FW	10	伊藤 峻平	下田小	スピード、技術、すべてにおいて劣らない天才ドリブラー。チャンスは必ずものにする、わがチームの頼れるキャプテン。
FW/GK	11	山岸 倫大	下田小	天性の瞬発力と野生のカンでボールに食らいつき、ゴールを狙い、時にはゴールを守る。負けず嫌いが玉にキズ。今日も走るぜ！



シーズンレビュー

SL 2005 年度(平成 17 年度)

- 7 月 GP サッカーフェスティバル 1 年生大会
- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2004 年度)
- 4 月 第 32 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 21 回港北区サッカー協会大会
- 10 月 第 37 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 9 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

SL-A

- 3/4 位トーナメントベスト 8
- 1/2 位トーナメントベスト 8

SL-B

- 1 勝 4 分予選敗退
- 1 勝 3 負 1 分予選敗退
- 3 勝 3 負予選敗退
- 6 勝で 1 位 4 負 1 分予選敗退
- 決勝トーナメント 4 位
- 1/2 位トーナメントベスト 8

LL 2007 年度(平成 19 年度)

- 4 月 第 34 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 23 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 39 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 11 回港北区区民サッカー大会
- 創立 40 周年記念行事準備委員会発足
- 12 月 明治杯招待
- 1 月 第 34 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

- 3 勝 1 負 2 分で 2 位 2 勝 3 負 1 分予選敗退
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 4 勝 1 分で 1 位 1 勝 3 負予選敗退
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退

LL-B

- 4 勝 2 分で 1 位 3 勝 3 負予選敗退
- 決勝トーナメント 1 回戦敗退
- 6 勝で 1 位 2 勝 3 負 1 分予選敗退
- 決勝トーナメント 4 位

2 位パート優勝

- 予選ブロック 2 回戦敗退

L 2009 年度(平成 21 年度)

- 1 月 第 34 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
- 4 月 第 36 回横浜市春季少年サッカー大会
- 5 月 第 33 回全日本少年サッカー大会
- 6 月 第 25 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 41 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 13 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 36 回神奈川県少年サッカー選手権大会
- 2 月 あざみ野セルジオ越後杯

L-A

- 4 回戦敗退
- 2 勝 3 負 1 分予選敗退 6 負予選敗退
- 2 回戦敗退
- 5 勝 1 分で 1 位 優勝

L-B

- 5 勝 1 分予選敗退
- 5 勝で 1 位 決勝トーナメント 3 回戦敗退
- 5 勝で 1 位 4 負予選敗退
- 準優勝
- 2 回戦敗退
- 予選 1 位 優勝決定戦であざみ野 FC に 0-0 (延長 0-0) PK 戦 1-4 で準優勝

明治杯 2 位パート優勝



第 42 期 2010 年度(平成 22 年度)卒業生

チーム紹介 第 42 期生 田崎 吏矩

50 周年おめでとうございます！

私たち 42 期が卒団してからもう 8 年が経ちますが、当時の記憶は今でも鮮明に覚えています。特に印象に残っているのは最後の夏合宿です。今まで先輩の背中を追いかけていったのが自分たちが手本を見せていけないといけないということで、いつもおちゃらけていたメンバーがチームを引っ張ってとてもいい経験になったと思います。

私たち 42 期生は、最初はサッカーで勝ちたいと思ってる人が親よりも少ない印象で、砂遊びなどが好きで試合後の桜並木では鬼ごっこをしていました。試合は先制点を取られるとほとんど負けて、あと一回勝ったら決勝トーナメントに行けたのにとというのが多かったと思います。そんな私たちも学年が上がっていくにつれて勝ちたいと思う人が増え、最後には悔し涙を流す人もいました。そのように育ててくれたのは、コーチや親のおかげだと思います。

この 42 期のメンバーに出会い、一緒にプレーできたのはたちばなキッカーズがあったからです。なのでこれからもたちばなキッカーズという伝統が続くよう活躍を期待しています。



冬 GP カップ 1 年生大会



秋 国際チビッツ SL-A



秋 国際チビッツ SL-B

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW/GK	2	小野 裕矢	下田小	フィールドではターゲットマン、キーパーでも気迫あるセービングでゴールを守る、オールラウンドプレイヤー。
FW	3	河野 友貴	日吉台小	ゴールを狙うその姿は、まるで獲物を狙うウルフ！たちばなのゴールハンター。
DF	4	石井 達也	日吉南小	いつも冷静、プレーは熱い！最終ラインは俺に任せろ！頼れるディフェンダー。
DF	5	小野田 海暉	高田東小	俊足を生かしたその守備は完べき。キーパーだって任せとけ。クールなイケメン。
MF/DF	6	楯 遼太郎	下田小	頼れる LB のキャプテン。巧みなポジショニングとコーチングでチームを引っ張る。フリーキックは任せとけ！
MF	7	三木 恵介	下田小	サイド攻撃は彼にお任せ！子犬のように走り回るチームのムードメーカー。
MF	8	佃 太志	下田小	キープ力は天下一品。切り返しはだれにも止められないぞ。中盤のキーププレイヤー。たちばなの Kaka。
MF	9	広瀬 倖大	下田小	たちばな一の運動量。風のように駆け回り、チャンスを作りピンチを防ぐ。頼りがいのあるフリーマン。
FW/MF	10	田崎 史矩	下田小	でっかい相手も真っ向勝負。ピッチ狭しと駆け回る。たちばな一のガッツマン。勝利を導け！
FW	11	秋口 丈太	下田小	守りも攻めも器用にこなすスーパーボーイ。乗り出したら止まらない、ゴールを目指して一直線。シュートを決めろ！
MF	12	植田 サーマン	下田小	ボールを追って突き進め！運動神経抜群。頼りにしているよ。みんなのアイドル。
	13	中澤 航大	下田小	
GK	14	井出 廉人	下田小	大きな体から、湧き出るオーラは安心感。フィールド、キーパーどこをやってもセンス抜群！マルチプレイヤー。
MF	15	猿渡 康太	下田小	チーターの如く狙った獲物は逃さない！どんな攻めでも巧みに潰す、俊足ディフェンダー。
MF	16	伊藤 一誠	下田小	小さいながらもガッツな走り！相手ディフェンダーを素早くかわして抜いていけ！
DF	30	恩田 貴史	下田小	敵のパスをガッツでブロック。意表を突くオーバーラップでゴールを目指す、お茶目なディフェンダー。
	32	渡辺 伶	高田東小	
MF	33	川本 杜彦	下田小	サイドを切り裂け！スタミナ抜群の頭脳派ミッドフィルダー。



ハーフタイム、聞いてない?? 伝統???

シーズンレビュー

SL 2006 年度(平成 18 年度)

- 8 月 GP サッカーフェスティバル 1 年生大会
- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2005 年度)
- 4 月 第 33 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 22 回港北区サッカー協会大会
- 10 月 第 38 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 10 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

SL-A

1/2 位トーナメント 3 位

1/2 位トーナメントベスト 16

2 勝 2 負 2 分予選敗退

1 負 4 分予選敗退

3 勝 2 負 1 分予選敗退 6 負予選敗退

5 勝 1 負で 2 位

決勝トーナメント 1 回戦敗退

1/2 位トーナメントベスト 16

SL-B

LL 2008 年度(平成 20 年度)

- 4 月 第 35 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 24 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 たちばな創立 40 周年記念大会
- 10 月 第 39 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 11 回港北区区民サッカー大会
- 12 月 明治杯招待
- 1 月 第 35 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

3 勝 2 負 1 分で 5 位

2 勝 1 負 1 分で 2 位

決勝トーナメント 1 回戦敗退

LL-B

0 勝 4 負 1 分で 5 位

3 勝 2 負で 3 位

たちばな R e d 3 位、WH I T E 4 位

3 勝 3 負で 4 位

3 勝 2 負で 3 位

2 位パート 1 回戦敗退

1 回戦敗退

0 勝 5 負 1 分で 7 位

1 勝 3 負予選敗退

L 2010 年度(平成 22 年度)

- 1 月 第 35 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
- 4 月 第 37 回横浜市春季少年サッカー大会
- 5 月 第 34 回全日本少年サッカー大会
- 6 月 第 26 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 42 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 14 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 37 回神奈川県少年サッカー選手権大会

L-A

1 回戦敗退

3 勝 2 負 1 分予選敗退

1 回戦敗退

3 勝 1 負で 2 位

決勝トーナメント 1 回戦敗退

L-B

6 負予選敗退

6 負予選敗退

5 負 1 分予選敗退

4 勝 1 分で 2 位

決勝トーナメントベスト 8

4 負予選敗退

1 回戦敗退



第 43 期 2011 年度(平成 23 年度)卒業生

チーム紹介 第 43 期生 土井 悠平

私達のチームは決して強いチームではなく高校までサッカーを続けた人も少ないメンバーでした。しかし、チーム間の仲は良く、楽しく賑やかににサッカーをしていた記憶はあります。

ここでメンバー紹介をしたいと思います。

- | | | | |
|----|----|-------|-------------------------------|
| 2 | DF | 並木翔太郎 | 小学生の中でフィジカルが突出していた大型 SB |
| 3 | DF | 森戸巧 | 冷静なプレーでチームを落ち着かせる副キャプテン |
| 4 | DF | 古川光太郎 | ロングフィードが持ち味の守備の要 |
| 5 | MF | 大内洸輝 | コートを動き回るたちばなのダイナモ |
| 6 | MF | 金本航紀 | 中盤を支配する技巧派レフティー |
| 7 | FW | 広瀬思友 | 高い身体能力で得点しチームを盛り上げる双子の兄 |
| 8 | DF | 広瀬元志 | 最後の最後でピンチを救う双子の弟 |
| 9 | FW | 大谷駿平 | ゴールへ向かう意識はチーム一、たちばなのストライカー |
| 10 | MF | 土井悠平 | 周りのみんなに助けられて成長したキャプテン |
| 11 | FW | 和田卓真 | 高い技術で相手を切り裂くたちばなのメッシ |
| 12 | DF | 町井研太 | 全力プレーでチーム鼓舞する情熱家 |
| 13 | FW | 牧野新平 | チーム一の身長で迫力あるプレーヤー |
| 14 | DF | 羽鳥泰志 | ボールへの執念で奪取を繰り返す努力家 |
| 15 | MF | 鈴木雄馬 | 圧倒的なスピードでサイドを駆け上がるチャンスメーカー |
| 26 | MF | 水野寿哉 | レフティー独特のリズムで左サイドを制圧するサイドプレイヤー |
| 28 | MF | 藤村拓 | 小 6 からの加入でチームは上向きに。たちばなの救世主 |

メンバーを見て頂くと、GK 専門のプレイヤーがおらず全員がフィールドプレイヤーでした。しかし誰かがやらないと試合はできないので、とりわけ #7 広瀬や #13 牧野がやるが多かったです。小 4 の時は私が GK をやっていたこともありました。43 期生の最高成績は、小 4 春での区大会準優勝。みんなの頭の中にも未だに残っていることでしょう。

最後になりますが、小学生の頃たちばなキッカーズで楽しくサッカーができたのは、監督・コーチ陣をはじめとするスタッフ、会場まで車を出して下さったり、応援に駆けつけて下さった保護者の皆様のお陰です。本当に感謝しています。そしてたちばなキッカーズ 50 周年から 70 周年、100 周年を迎えられるよう、今後ともチームの活躍とご健闘を祈っています。

メンバー紹介

ポジション	背番号	氏名	小学校	紹介
DF	2	並木 翔太郎	下田小	ダンプ級の相手にも、ひるまず、びびらず、一步も引かず、当たりの強さは天下一品！どんな奴でもかかってこい！
DF	3	森戸 巧	下田小	巧みなプレーで相手をほんろう。サイドを駆け上がりゴールを決めろ！堅守速攻のキープレーヤー！
DF	4	古川 光太郎	下田小	正確なロングボールと体を張ったディフェンス。最終ラインは俺に任せろ！頼れるセンターバック！
MF	5	大内 洸輝	下田小	でっかい相手も真っ向勝負。狙った相手は逃さない！冷静ながんばりや、中盤は任せたぜ！
MF	6	金本 航紀	下田小	チームいちの頑張り屋。左足から繰り出されるボールで相手守備を切り裂く！フォワードからキーパーまで何でもこなせるマルチプレーヤー。
FW	7	広瀬 思友	下田小	いつもにこにこ、キュートな笑顔。ピッチに立てばクールなイケメン。ベテラン・マルチプレーヤー！
DF	8	広瀬 元志	下田小	判断力抜群！俊足を生かし相手に喰らいつく！チームを救うディフェンダー。
FW	9	大谷 駿介	下田小	サッカー大好き、仲間が大好き！チームの勝利めざして最後までゴールに向かってシュートする。
MF	10	土井 悠平	下田小	頼れるキャプテン、チャンスを作り、ピンチを防ぐ。一対一なら任せとけ！努力と情熱の10番、ミスターたちばな！
FW	11	和田 卓真	下田小	フィールドを華麗なドリブルで駆け抜ける。チームにとって絶大な存在。たちばなのメッシ！
DF	12	町井 研太	下田小	どんな時でも全力プレー！熱い気持ちは誰にも負けない。やる気、根性、200%！
FW	13	牧野 新平	下田小	たちばなの人気ナンバーワン！その名は”のんたん”ガッツあるプレーで相手の攻撃を食い止める！
DF	14	羽鳥 泰志	下田小	名前のとおり、ゆったりやすらか、チームの中では思いやり一番の頑張り屋！マイペースのプレーで皆を和ませてくれる。
MF	15	鈴木 雄馬	下田小	相手がビックリ驚くほどのシュートをはなつ！点取り屋でもあるムードメーカー。
MF	26	水野 寿哉	下田小	ピンチのところに風のように現れ、俊足を活かして左サイドを駆け抜けるお助けマン！
MF	28	藤村 拓	下田小	チームに新しい風を吹き込んだ遅れてやってきたヒーロー！



GP カップ 1 年生大会

シーズンレビュー

SL 2007 年度(平成 19 年度)

- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2006 年度)
- 4 月 第 34 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 23 回港北区サッカー協会大会
- 10 月 第 39 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 11 回港北区区民サッカー大会
創立 40 周年記念行事準備委員会発足
- 1 月 フットサル GP カップ 2 年生大会
- 2 月 第 6 回横浜すみれカップ

1/2 位トーナメントベスト 16

2 勝 2 負 1 分で 4 位
0 勝 3 負 2 分で 5 位
3 勝 3 負で 3 位
3 勝 2 負で 3 位

1/2 位トーナメントベスト 8
優勝

LL 2009 年度(平成 21 年度)

- 4 月 第 36 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 25 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 40 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 12 回港北区区民サッカー大会
- 12 月 明治杯招待
- 1 月 第 36 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A LL-B

4 勝 1 負で 2 位
決勝トーナメントベスト 32
4 勝 2 分で 2 位
準優勝

3 勝 2 分で 2 位 2 勝 3 負予選敗退
決勝トーナメントベスト 34
3 勝 1 負で 1 位
決勝トーナメント 4 位
2 位パート 3 位
予選トーナメント決勝敗退

L 2011 年度(平成 23 年度)

- 1 月 第 36 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
- 4 月 第 38 回横浜市春季少年サッカー大会
(震災の影響で予選リーグのみ)
- 5 月 第 35 回全日本少年サッカー大会
- 6 月 第 27 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 43 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 15 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 38 回神奈川県少年サッカー選手権大会

1 回戦敗退
1 勝 4 負 1 分予選敗退

1 回戦敗退
4 勝 2 負予選敗退

4 勝 1 負 1 分で 2 位
決勝トーナメント 1 回戦敗退
1 勝 3 負予選敗退
1 回戦敗退



6 年 若葉台カップ

下田小学校 卒業式



第 44 期 2012 年度(平成 24 年度)卒業生

チーム紹介 第 44 期生 水野 大地

たちばなキッカーズ 50 周年おめでとうございます。

私たち 44 期生はとても仲が良く、団結力のあるメンバーでした。人数が少なく、同学年だけで試合をすることができなかったのも一つ下の学年である 45 期生と共に試合に挑んでいました。そのために 44 期生は 45 期生とも仲が良く、同級生であるような関係でした。

私にはとても印象深い試合が一つあります。それは駒林 SC との試合で、私たちはその試合に勝つことができました。当時、私たちより強かった駒林 SC になぜ勝てたのか。それは団結力とチームワークの良さだと私は思います。全員で守って全員で攻める。これはたちばなで学んだことです。決してサッカーの能力が高かった代ではなかったですが、団結力とチームワークの面では、どのチームにも負けていない自身があります。このメンバーと一緒にサッカーができたことに嬉しく思います。またあのころに戻って一緒にサッカーがしたいと思うほど大好きなメンバーです。

以上で 44 期生のチーム紹介を終わります。

SL 2 年生



SL 集合 45 期、46 期と一緒に

メンバー紹介

背番号	氏名	小学校	紹介
3	森元 公仁	下田小	いつでも冷静、頭脳派プレーヤー！
4	植田シャーヤン	下田小	セオリーよりも直感力！意外性が持ち味さ！
5	鬼澤 輔	下田小	力強いドリブルでシュートまで一直線！
6	小宮 雄太	下田小	合宿での決勝スーパーボレーシュートが輝く！
7	清水 遙仁	下田小	俊足！長身のラインブレイカー！
8	加藤 大	下田小	体を寄せて粘る！粘る！粘るディフェンス！
9	森 陽洋	下田小	最前線で絶妙なポジション取りで相手を攪乱！
10	水野 大地	下田小	攻守にフィールド狭しと駆けまわる！
11	倉本 将太	下田小	君の元気がみんなの元気！チームのムードメーカー！

神奈川県少年サッカー選手権大会



シーズンレビュー

SL 2008 年度(平成 20 年度)

4 月	第 35 回横浜市春季少年サッカー大会	1 勝 5 負 予選敗退
6 月	第 24 回港北区サッカー協会大会	0 勝 5 負 予選敗退
9 月	たちばな創立 40 周年記念大会	5 位
9 月	勝田サッカークラブ 35 周年記念大会	6 位
10 月	第 40 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 負 1 分 予選敗退
11 月	第 12 回港北区区民サッカー大会	2 勝 3 負 予選敗退
1 月	フットサル GP カップ 2 年生大会	4 負 1 分

LL 2010 年度(平成 22 年度)

4 月	第 37 回横浜市春季少年サッカー大会	LL-A	LL-B
6 月	第 26 回港北区サッカー協会大会	2 勝 4 負 予選敗退	5 負 予選敗退
8 月	富士緑の休暇村で合宿	2 勝 3 負 1 分 予選敗退	
10 月	第 42 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 3 分で 1 位	1 勝 5 負 予選敗退
		決勝トーナメント 1 回戦敗退	
11 月	第 14 回港北区区民サッカー大会	4 勝 2 負で 1 位	
		決勝トーナメント 1 回戦敗退	
12 月	明治杯招待	3 位パート 3 位	
1 月	第 37 回神奈川県少年サッカー選手権	1 回戦敗退	

L 2012 年度(平成 24 年度)

1 月	第 37 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)	2 回戦敗退
4 月	第 39 回横浜市春季少年サッカー大会	3 勝 2 負 1 分 予選敗退
5 月	第 36 回全日本少年サッカー大会	1 回戦敗退
6 月	第 28 回港北区サッカー協会大会	2 勝 2 負 予選敗退
8 月	富士緑の休暇村で合宿	
10 月	第 44 回横浜国際チビッ子サッカー大会	6 負 予選敗退
11 月	第 16 回港北区区民サッカー大会	3 勝 1 負 1 分で 2 位
		決勝トーナメントベスト 8
1 月	第 39 回神奈川県少年サッカー選手権大会	1 回戦敗退
2 月	第 32 回あざみ野セルジオ越後杯	予選リーグ 3 位 最終 6 位



第 45 期 2013 年度(平成 25 年度)卒業生

チーム紹介 第 45 期生 藤原 拓也

50 周年、おめでとうございます。

わたしたちの 45 期生は 15 名と大人数で個性的でしたが、お互いを尊重することでチーム力も向上し、6 年時には、区大会で決勝トーナメントまで行くことができました。

メンバーの間で一番、思い出に残っていることは夏合宿です。普段、横割りで活動しているメンバーが縦割でチームを構成し、メンバーが一丸となる熱い戦いは公式戦と同様で緊張が走りました。メンバー間の連携がとれパスがまわり、得点できた時の喜びは今も忘れられません。また、創立 45 周年記念大会をこどもの国で行いましたが、SL から L まで全員での大移動だったこと、とにかく暑かったことを思い出します。

たちばなを通してサッカーの楽しさを学ぶとともに協力することの喜びや仲間を大切にすることも学ぶことができました。ご指導して下さいった監督、コーチや先輩の方々に大変感謝しています。今、私たちは高校でそれぞれの道に進んでいますが、たちばなで学んだ体験が大いに役だっています。

下田小学校に行けば、必ずコーチに会える。このたちばなの環境に感謝しています。普段会えない先輩方や同期ともたちばな杯で会えるのが楽しみです。50 周年からまだまだ先も繁栄してくよう私たちも応援し続けていきたいと思います。

メンバー紹介

- 2 澤田来輝 : 周囲を笑顔にさせる魅力、しなやかな柔軟性でナイスセーブを連発。
- 3 吉田 遊 : 逆サイまでカバーする豊富な運動量をこなすディフェンスの要。
- 4 川島 俊 : 攻めのディフェンスでチャンスをつくり出す。ドリブルは大きな武器。
- 5 南 隼太郎 : 素早い動きでピッチを縦横無尽、オーバーラップで得点に繋げる貢献。
- 6 菊田 丈 : ビッグセーブでチームを救うバランスのとれたキーパー。
- 7 山東 海翔 : プレーはチームのお手本でした。バック、ボランチは抜群の安定感。
- 8 橋本 渚生 : 相手のパスを先読み、パスカットする動きは抜群のセンス。
- 9 小関 理貴 : チーム一のストライカー。キック力はピカイチ。
- 10 藤原 拓也 : サイドを駆け上がるプレーが持ち味。
- 11 河野 翔貴 : トップ下でのチームの要。パスの正確性で勝利をもたらすキーマン。
- 12 斎藤 光次郎 : ディフェンスの要、笑顔と優しさをもつセンターバック。
- 13 鈴木 虎太郎 : 卓越した技術の持ち主、足の器用さは隋一。
- 18 大迫颯太郎 : ワンタッチで素早く味方に出すプレーは最高。攻めの武器。
- 19 武田 尚 : ボランチ、ディフェンスをそつなくこなす優しく、落ち着いたプレーヤー。
- 20 佐伯恒成 : 積極的なドリブルで最後まで諦めず、ピンチをチャンスに変える救世主。

メンバー紹介

ポジション	背番号	氏名	小学校	紹介
GK	2	澤田 来輝	下田小	出席率ダントツ No.1 (コーチも含めて)。「ライガ劇場」と名のつくほど華麗・不思議なセービング！周囲を笑顔にさせる魅力でチームを楽しめる雰囲気してくれました。
DF	3	吉田 遊	日吉台小	運動量が豊富なサイドバック。縦横無尽に走り回って逆サイドまでカバーする。細い体で絡みつくようなディフェンス。攻撃も積極的に参加するたちばなの長友。
DF	4	川島 俊	下田小	サイドの突破力はピカイチ！中盤からゴールを狙う姿勢が素晴らしい。センターバックをやらせてもしっかり相手の攻撃を潰し、攻めのディフェンスでチャンスをつくり出す。
MF/DF	5	南 隼太郎	下田小	素早い動きでピッチを縦横無尽、ボランチ・センターバックをこなし、チームのディフェンスに安定感をもたらすバランス力に長けたプレイヤー。
DF/GK	6	菊田 丈	下田小	GKで相手の前に出る勇気あるプレーが光った。1対1の飛び出し、ビッグセーブでチームを救う！サイドバックでもハーフを追い越す動きが素晴らしい。
FW/MF	7	山東 海翔	下田小	スプリントに優れたプレイヤー。広い視野と足の速さを武器に攻守で活躍。バック、ボランチは抜群の安定感。相手のFWをことごとく潰すディフェンスが素晴らしかった！
DF	8	橋本 渚生	下田小	サイドバックで活躍してくれた。相手のパスを先読みして、パスをカットする動きは抜群のセンス！粘り強く相手を追いかけてピンチを救ってくれた。
FW	9	小関 理貴	日吉台小	乗ったら誰にも止められない天性の点取り屋。積極的にドリブルを仕掛けてパスもシュートも狙う。港北区大会予選最終戦のロングシュートが印象的。
MF/DF	10	藤原 拓也	下田小	サイドを駆け上がるプレーが持ち味。積極的に仕掛け、多くのチャンスを作り、得点も上げた。一年間キャプテンとして良く頑張りました！
FW	11	河野 翔貴	日吉台小	チーム一番の負けず嫌い。トップ下でチームの要の一人。アイデアのあるプレーでチャンスを作り攻撃の起点となって頑張ってくれました。
DF	12	斎藤 光次郎	下田小	ディフェンスの要、冷静かつ優しさに溢れた「仏のコージロー」。体格を生かしたプレーでセンターバックに定着。最後まで敵にプレッシャーを与えてくれる。
MF	13	鈴木 虎太郎	下田小	飄々としたプレーで相手をかわしていく足元の器用さは随一で、積極的にいろいろなポジションにトライ。攻撃に守備にと奮闘してくれて、ここぞって所で頑張ってくれた。
MF	18	大迫 颯太郎	下田小	練習でケンカするほどの気性の激しさがFWでのプレーの原動力に。常に前から仕掛けて苦しい時に得点を奪ってくれた。ワンツールのくさびになって出すパスは攻撃の武器になっていた。
MF/DF	19	武田 尚	日吉台小	普段は大人しいけど、試合になるとしっかりファイトしていた。ボランチ、ディフェンスをそつなくこなす。サッカーに取り組む真面目さが印象的。
FW	20	佐伯 恒成	日吉台小	練習でも試合でも常にファイトし、最後まで諦めず走ってピンチを救いチャンスを作っていた。積極的に勝負を挑むところが素晴らしい！

シーズンレビュー

SL 2009 年度(平成 21 年度)

- 7 月 GP サッカーフェスティバル 1 年生大会
- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会

- 5 月 第 36 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 25 回港北区サッカー協会大会
- 9 月 第 41 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 13 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 フットサル GP カップ 2 年生大会
- 1 月 第 8 回横浜すみれカップ

SL-A

- 6 位
- 1 勝 3 負 1 分
(2008 年度)
- 1 勝 5 負 予選敗退 1 勝 4 負 1 分子選敗退
- 1 勝 3 負 1 分子選敗退
- 3 勝 3 負 予選敗退 6 負 予選敗退
- 2 勝 3 負 予選敗退
- 3/4 位トーナメント 2 勝 1 負
- 総合 6 位

SL-B

LL 2011 年度(平成 23 年度)

- 4 月 第 38 回横浜市春季少年サッカー大会
(震災の影響で予選リーグのみ)
- 6 月 第 27 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 10 月 第 43 回横浜国際チビッ子サッカー大会

- 11 月 第 15 回港北区区民サッカー大会
- 12 月 明治杯招待
- 1 月 第 38 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

- 2 勝 3 負 1 分で 4 位 1 勝 4 負 1 分で 5 位

- 2 勝 4 負 予選敗退

- 6 勝で 1 位
決勝トーナメントベスト 8
- 3 勝 3 負 予選敗退
- 3 位パート 3 位
- 2 回戦敗退

LL-B

L 2013 年度(平成 25 年度)

- 1 月 第 38 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
- 4 月 第 40 回横浜市春季少年サッカー大会
- 5 月 第 37 回全日本少年サッカー大会
- 6 月 第 29 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 9 月 たちばな創立 45 周年記念大会
- 10 月 第 45 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 11 月 第 17 回港北区区民サッカー大会

- 1 月 第 40 回神奈川県少年サッカー選手権大会

- 1 回戦敗退
- 1 勝 4 負 1 分子選敗退
- 2 回戦敗退
- 1 勝 4 負 予選敗退

- 6 位
- 6 負 予選敗退
- 2 勝 1 負 1 分で 2 位
決勝トーナメントベスト 8
- 1 回戦敗退

40 周年記念大会のときは 1 年生



秋の港北区大会 予選リーグ突破!



第 46 期 2014 年度(平成 26 年度)卒業生

チーム紹介 第 46 期生 北見 緑

たちばなキッカーズ 50 周年、おめでとうございます。

46 期生は、メンバーの出入りが多く、常に人数が少ない状態で、負け試合ばかりで、いつも悔しい思いをしていましたが、とにかく 1 点を取ろう！と頑張っていました。試合にはなかなか勝てなかったけれど、のびのびとサッカーをやらせてもらえて、サッカーの楽しさを存分に味わうことができました。

たちばなキッカーズの行事の中で、一番の思い出は、夏合宿です。スポーツテストに始まり、班対抗での試合・朝のラジオ体操&散歩・夜のお楽しみ会・BBQ・6 年生だけ特別の氷穴…と盛り沢山。班対抗の優勝争いは、普段の公式戦以上にみんな必死になっていました。公式戦でもこれくらい本気になれば、もっと勝てたのではないかな？と思うくらい。

年末のたちばな杯では、寒いグラウンドで食べる、熱々のトン汁が美味しかったです。卒団してからも、OB が集まって久しぶりに顔を合わせ、一緒にサッカーをして、楽しませてもらっています。

監督やコーチ、父兄の方々の支えがあったからこそ、こんなに楽しくサッカーができたのだと、本当に感謝しています。

これからも、楽しくサッカーができるたちばなキッカーズとして、ずっと続いて行ってほしいと思います。

GP1 年生大会



メンバー紹介

背番号	氏名	小学校	紹介
8	市島 佑太朗	駒林小	ディフェンス(特に真ん中)やるようになってからはプレーの中でのファイトに磨きがかかった。センターバックで相手ボールを奪ってからドリブルで駆け上がるプレーは、たちばなの一つの武器に。
9	酒井 凜太郎	下田小	5 年の時、今までで唯一試合後永田顧問に叱られた少年（トゥーキックで蹴るな！）だが、左サイドバックで俊足を生かしてのオーバーラップは圧巻！深い位置からのクロスはたちばなの大きな武器に！
10	北見 縁	高田東小	6 年でキャプテンになって、最初は戸惑いながらだったけど、中盤の真ん中でバランスを保ち、上下の動き（これは昔から）でたちばなの中心に！卒団杯での真ん中を抜け出してのゴールは、エクセレント！！
11	中澤 陸玖	下田小	6 年になってセンターバックを任すようになってから覚醒。パスカットしてからチャンスに繋げる力が格段に伸びた。春の全日本少年サッカー大会予選での、自陣でパスカット→ドリブル→強烈なミドルでの同点ゴールが印象的。
18	和田 周真	下田小	リフティングが上手くドリブルのボールタッチにしなやかさがある。サイドでのドリブルが持ち味。ドリブルだけで無く、ピンチを予測して戻る動き、チャンスに駆け上がる動きは非常にいい！！
20	浦川 隆之介	下田小	思い切りの良さ、チャンスに対する嗅覚の良さから攻めの中心にまで成長。春の市大会での折本戦、チーム No.1 のキック力を生かした思い切りのいいミドルシュートのゴールが印象的。
21	森永 聖	高田東小	一時期チームを離れていたが復活！よくぞ戻って来てくれた。蹴るだけで無く、考えたプレーをするように成長。特にチャンスに顔を出すポジション取りは素晴らしい！！



シーズンレビュー

SL 2010年度(平成22年度)

10月	GPサッカーフェスティバル 1年生大会	3/4位トーナメント 1勝1負
1月	フットサルGPカップ 1年生大会 (2009年度)	3/4位トーナメント 2負
5月	第37回横浜市春季少年サッカー大会	4負1分予選敗退
6月	第26回港北区サッカー協会大会	1勝4負予選敗退
9月	第42回横浜国際チビ子サッカー大会	6負予選敗退
11月	第14回港北区区民サッカー大会	5負予選敗退
1月	フットサルGPカップ 2年生大会	1勝4負

LL 2012年度(平成24年度)

4月	第39回横浜市春季少年サッカー大会	LL-A	LL-B
6月	第28回港北区サッカー協会大会	2勝4負予選敗退	
8月	富士緑の休暇村で合宿	2勝3負1分予選敗退	5負予選敗退
10月	第44回横浜国際チビ子サッカー大会	3勝2分予選敗退	6負予選敗退
11月	第16回港北区区民サッカー大会	1勝5敗予選敗退	6負予選敗退
12月	明治杯招待	予選2負で3位 3位パート1回戦敗退	8位
1月	第39回神奈川県少年サッカー選手権	2回戦敗退	

L 2014年度(平成26年度)

1月	第39回横浜少年サッカー大会(市長杯)	1回戦敗退
4月	第41回横浜市春季少年サッカー大会	1勝5負予選敗退
5月	第38回全日本少年サッカー大会	1回戦敗退
6月	第30回港北区サッカー協会大会	1勝3負予選敗退
8月	富士緑の休暇村で合宿	
10月	第46回横浜国際チビ子サッカー大会	1勝5負予選敗退
11月	第18回港北区区民サッカー大会	5負予選敗退
1月	第41回神奈川県少年サッカー選手権大会	2回戦敗退

お別れ会



第 47 期 2015 年度(平成 27 年度)卒業生

チーム紹介 第 47 期生 高田 征那

たちばなキッカーズ！50 周年おめでとうございます！

47 期たちばな卒団生 11 人のうち 6 人がサッカーを続け、4 人が日吉台西中でプレーしています。中学校が違うこともあり、なかなか全員で集まれませんメンバーと共にボールを蹴れることを期待しながら、47 期のたちばなの印象を紹介させていただきます。

1. 三木監督、伊藤コーチ

僕たちは、試合前に監督、コーチにかけてもらった言葉が印象に残っています。監督は、FA など強いチームと戦うとき、弱気になっている僕たちに

「何言ってた、勝ちにいくぞ。」と声をかけてくれました。

そのおかげで最後の区大会で駒林 S C に勝つことができました。

伊藤コーチは、試合で全体的に消極的なプレーをしていたときにハーフタイムのミーティングで

「一人抜いたら、人生バラ色。」と言ってくれました。

最初はどういう意味かわからなかったけれど、理解すると、自然に相手にチャレンジすることができ、ボールを奪う回数がふえていきました。

2. 合宿

たちばなの合宿は、ほかのチームと試合をしないたちばなならではの合宿でチーム内の合宿の為、とても絆が深まる大切なイベントだとおもいました。小学生のときは気付かなかったけど、あんなにいい環境で 4 日間サッカーができたのはコーチや保護者の方々のおかげです。本当にありがとうございました。

3. 交流試合

僕たちが L のときにパレスチナとイスラエルの kids と peace チームと試合をするという貴重な体験をさせていただきました。そして、スペシャルマッチとして、混合でコミュニケーションを取りながらゲームをすることもでき、楽しかったです。

当時、車出しや当番として手伝って頂いた保護者の方々、忙しい中サッカーを教えてくれたコーチの方々、そしてキャプテンという貴重な経験をさせて頂いた L コーチの方々、本当にありがとうございました。

最後になりましたがこれからもたちばなキッカーズの皆様のご活躍とご健勝を心より祈願しております。

メンバー紹介

背番号	氏名	小学校	紹介
2	町井 孝輔	下田小	最前列から果敢に敵に攻め込む。ヘディングさせたら実力 No.1。たちばなのマスコットボーイ！！
3	斎藤 龍三郎	下田小	攻守にわたってクレバーなプレーで味方を助ける。チームの誰とでも分け隔てなく仲良くてできる。チームの潤滑油！！
4	吉野 太悟	高田小	どんなときも仲間のために走り続ける。魂の入ったプレーで仲間に勇気を与える。チームの成長株！！
5	山下 諄	高田小	堅牢なディフェンスで敵をシャットアウト。自由な発想で敵のボールを奪う。天性のフリーマン！！
6	小林 陸斗	下田小	ドリブル突破で敵を切り裂き攻守にわたって味方を助ける。期待に応える男！！
7	窪野 秀音	下田小	独特のリズムで敵をかわしボールをキープして味方につなぐ。チームのチャンスメーカー！！
8	藤江 達郎	下田小	サイドのドリブルで華麗に敵を翻弄する。チーム一のしっかりもの。帰ってきたたちばなのエース！！
9	小西 遥樹	下田小	攻守にわたって走り回るたちばなの心臓。どんな時も決してあきらめない。チーム一のサッカー小僧！！
10	高田 征那	下田小	破壊力抜群のロングフィードでチャンスを量産。チームメイトからの信頼も厚い。頼れるキャプテン！！
11	青木 朔慧	下田小	ドリブルのテクニックは父親譲り。攻守に敵を切り裂く。チーム 1 のスピードスター！！
26	奥 昂樹	下田小	11 人目の存在を忘れてはいけない。さあー！君がいてたちばなイレブンなんだ！！



シーズンレビュー

SL 2011 年度(平成 23 年度)

1 月	フットサル GP カップ 1 年生大会 (2010 年度)	1 勝 4 負
5 月	第 38 回横浜市春季少年サッカー大会	4 負 2 分予選敗退
6 月	第 27 回港北区サッカー協会大会	2 勝 1 負 1 分で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退
9 月	第 43 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 負 2 分予選敗退
11 月	第 15 回港北区区民サッカー大会	2 勝 2 負予選敗退
1 月	フットサル GP カップ 2 年生大会	2 勝 3 負

LL 2013 年度(平成 25 年度)

4 月	第 40 回横浜市春季少年サッカー大会	LL-A	LL-B
6 月	第 29 回港北区サッカー協会大会	2 勝 4 負予選敗退	1 勝 5 負予選敗退
		5 勝 1 分で 1 位	1 勝 4 負予選敗退
		決勝トーナメント 1 回戦敗退	
8 月	富士緑の休暇村で合宿	たちばなオレンジ 6 位、ブルー 3 位	
9 月	たちばな創立 45 周年記念大会	1 勝 4 負 1 分予選敗退	1 勝 4 負予選敗退
10 月	第 45 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 負 1 分予選敗退	1 勝 4 負 1 分予選敗退
11 月	第 17 回港北区区民サッカー大会	予選 1 勝 1 負で 2 位	2 位パート 1 回戦敗退
12 月	明治杯招待	3 回戦敗退	
1 月	第 40 回神奈川県少年サッカー選手権		

L 2015 年度(平成 27 年度)

1 月	第 40 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)	L-A	L-B
4 月	第 1 回 U-12 サッカーリーグ (前期)	2 回戦敗退	
6 月	第 31 回港北区サッカー協会大会	1 勝 8 負 1 分予選敗退	
8 月	富士緑の休暇村で合宿	1 勝 4 負予選敗退	1 勝 3 負予選敗退
9 月	第 1 回 U-12 サッカーリーグ (後期)	5 勝 4 負予選敗退	
11 月	第 19 回港北区区民サッカー大会	2 勝 2 負予選敗退	5 負予選敗退
1 月	第 42 回神奈川県少年サッカー選手権大会	2 回戦敗退	



第 48 期 2016 年度(平成 28 年度)卒業生

チーム紹介 第 48 期生 八瀬尾 太郎

僕が思う「48 期生の強み！」

チーム力

僕たちの代は決して強いチームではなかった。しかし、負けた試合の後で自主的にした反省会が僕たちを強くしていった。キャプテンである僕が司会役のようなものをして一人一人意見を述べていった。試合に勝つためにはどうすればよいのかをみんなで話した。正直言うと、意見を言いたくない人もたくさんいたかもしれない。ただ、みんな強くなりたいという共通の意志を持っていたので、チームがよりよくなっていった。そのおかげか、6 年の F A リーグでは強豪、S C H. F C から 1 点をもぎ取ることができた。さらにさらに、最後の区大会では、約 10 年ぶりに区の強豪、太尾 F C から勝利をおさめた。惜しくも決勝トーナメント進出はなかったが、今までの成長を大きく感じる大会となった。

監督やコーチ達の存在

僕たちの代は、三木監督はじめ、たくさんのコーチたちに恵まれた。

僕たちが試合で負けて悔しがっていると、監督がみんなを集合させて反省会をするのだが、内容はいつも「次、頑張ろう！」だった(笑)。これは軽い感じがするかもしれないが、僕たちにとっては良い切り替えの素となっていた。練習ではコーチ達が丁寧にアドバイスをくれるので、皆わかりやすいと喜んでた。

試合の合間や試合後に出る捕食

試合の時にはいつもお当番のお母さんたちがついてきてくれた。

様々なことでお世話になったのだが、一番嬉しかったのは試合の合間や後にパンなどの捕食を出してくれることだった。暑い夏は塩分チャージのタブレットやあめ、スポーツドリンクも出してくれた。そして、寒い冬には味噌汁やコーンスープなどで体を温めてくれた。それによって、僕たちは長い試合も乗り切ることができたのだと思う。そう考えると、季節やその時々によってどのような捕食がいいか考えてくれていたお母さんたちの存在はとても大きかったと思う。

以上のことから、「僕たちの代の強み！」は大人から子供までみんなの力を結集させた良いチームワークだと思う。そして僕はそれをととても誇りに思っているし、そんなみんなに感謝している。
ありがとう！！



メンバー紹介

ポジション	背番号	氏名	小学校	紹介
GK/MF	2	関 優弥	下田小	真面目な性格に仲間の信頼も抜群！48 期の守護神！
MF/FW	3	伊藤 朝輝	下田小	一度食らいついたら離れない。サイドを前に後ろへ！48 期イチの表現力をもつ男！
MF	4	佐藤 大夢	井田小	ここ一番でのスピードを活かした守備とミドルシュートが大きな魅力！たちばなツインタワーズのリーダー！
MF/DF	5	藤川 風汰	下田小	48 期イチのセンスと嗅覚で攻守切替の要！敵に忍び寄りボールを奪う力は 48 期 No.1！
FW/GK	6	田中 豪士	下田小	48 期イチの美声とポジティブシンキングでチームを引っ張る！ゆうやとつかさからポジションを奪うのは俺だ！
DF	7	有村 望空	下田小	抜群のポジショニングと 1vs1 の強さで敵の攻撃をシャットアウト！48 期不動のセンターバック！
MF/DF	8	高橋 脩真	下田小	なんでもできる俺がいるから、みんなが輝く！48 期イチのユーティリティプレイヤー！
FW	9	嵯峨野 僚	下田小	一度火がついたらだれも止められない！48 期のエースストライカー！
FW/MF	10	八瀬尾 太郎	下田小	港北区のスピードスター！どんな時も 120%の 48 期キャプテン！
MF/DF	11	迫田 幸太郎	下田小	48 期イチの運動能力！笑顔でフィールドを縦横無尽に駆け巡る攻守の要！
FW/MF	12	高橋 郁仁	下田小	48 期イチの文武両道探求者！クレバーさとガッツを持ち合わせたオトコ！
FW	28	倉本 航平	下田小	ただいま海外サッカー留学中！オーストラリア仕込みのプレーに乞うご期待！
MF	29	武田 莉緒	日吉台小	48 期イチの度胸と愛嬌！左サイドハーフは誰に譲らない！
MF/DF	30	高橋 佑吉	下田小	48 期イチのインテリジェンス！センターラインは俺に任せろ！
FW/MF	31	橋本 知憲	下田小	48 期イチの隠れたちばな愛！受験勉強終了後に念願の入会。頑張りました！
MF/DF	32	矢崎 亨弥	高田東小	48 期イチの体幹を持つオトコ！フィジカルの強さは誰にも負けない



シーズンレビュー

SL 2012 年度(平成 24 年度)

- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2011 年度)
- 5 月 第 39 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 28 回港北区サッカー協会大会
- 9 月 第 44 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 16 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

SL-A

2 勝 3 負

1 勝 5 負 予選敗退
3 勝 2 負 予選敗退
2 勝 2 負 2 分予選敗退
3 勝 2 負 予選敗退
ベスト 8

SL-B

1 勝 5 負 予選敗退
6 負 予選敗退
1 勝 4 負 予選敗退

LL 2014 年度(平成 26 年度)

- 4 月 第 41 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 30 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 9 月 第 46 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 18 回港北区区民サッカー大会
- 12 月 明治杯招待
- 1 月 第 41 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

6 負 予選敗退
3 勝 2 負 1 分で 1 位
決勝トーナメント 1 回戦敗退

LL-B

5 負 1 分 予選敗退
5 負 1 分 予選敗退

5 勝 1 分で 1 位
決勝トーナメント 1 回戦敗退
6 勝 1 位
決勝トーナメント 1 回戦敗退
予選 2 分で 2 位 2 位パート 1 回戦敗退
3 回戦敗退

U12 2016 年度(平成 28 年度)

- 10 月 第 1 回港北区 U-11 サッカー大会
- 1 月 第 41 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
- 4 月 第 2 回 U-12 サッカーリーグ (前期)
- 6 月 第 32 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 9 月 第 2 回 U-12 サッカーリーグ (後期)
- 11 月 第 20 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 43 回神奈川県少年サッカー選手権大会

U12-A

1 勝 2 負 1 分 A ブロック 4 位
2 回戦敗退
4 勝 4 負 1 分 予選敗退
2 勝 2 負 予選敗退
8 負 1 分 予選敗退
2 勝 1 負 2 分 予選敗退
1 回戦敗退

U12-B

5 負 予選敗退

4 負 1 分 予選敗退

市長杯 横浜スタジアムで開会式



第 49 期 2017 年度(平成 29 年度)卒業生

チーム紹介 第 49 期生 浦崎 大地

私達の代は、多分 10 年ぶりくらいだと聞きましたが、最後の港北区大会で「決勝」まで進むことが出来ました。結果的には準優勝でしたが、非常に嬉しく結果を残すことも出来ました。私達の代は 1 年生からずっと一緒にやってきたメンバーも多く、6 年生まで続けたメンバーは 15 人もいました。中学に進んで、サッカー部に入ったメンバーも、他の部に入ったメンバーもいるのですが、みんな「たちばな」と「サッカー」が大好きな、「サッカーに熱い」仲間でした。例えば、たちばな以外でも四丁目公園などでみんなでサッカーをやったりで、ずっとサッカーをやってばかりだったと思います。みんな個性的で面白くまた優しく、とても仲が良かった代だと思います。

私が六年間で印象に残っている出来事は 2 つあります。

1 つは、港北区大会の準優勝です。強豪の A チームがたくさんいる予選リーグでしたが、全勝、しかも一失点しかせず勝ち上がりました。準決勝の PK はとても緊張しましたが、みんなで勝ち取った勝利でした。これはとても嬉しかったです。6 年間一緒に頑張ってきた仲間がいたから、協力できたから結果が残せたのだと思います。

もう 1 つも、6 年生の思い出です。初タイトルを取った試合です。先程の区大会の準優勝もそうですが、実は私達は準優勝を何度も取りましたが、優勝は経験できていませんでした。三木監督からも「シルバーコレクター」なんて言われました。それでも 6 年生の 2 月の慶応卒業カップで初タイトルを獲得しました。この大会は 48 期生が優勝しており、連覇のかかった大事な試合でした。最後は PK で、私は外してしまいましたが、みんなが決めてくれて、勝つことが出来ました。外したことは悔しかったけど、とても嬉しかった。なによりチームが団結して優勝を飾れたことはすごくいい思い出です。

私達は、結果を出せた代だと思います。これからの「たちばな」が私達を超えてさらに良い結果をだせるように、サッカーが好きになって上手になってほしいとすごく思います。

最後に、たちばなキッカーズの代表、コーチ、お母さんたちのおかげでみんなで楽しく、仲良くサッカーが出来ました。これからもずっと、私達と同じようにこれからの代のみんなが楽しくサッカーができる「たちばな」を続けてください。



メンバー紹介

ポジション	背番号	氏名	小学校	紹介
DF	2	山崎 冬真	下田小	バツグンの集中力をもつインターセプト王なんです。力強い守備は間違いなく砦！まさに、たちばなの吉田麻也。
DF/MF	3	石川 理裕	下田小	試合中すごい声をだす熱い男なんです。左足は相手にとっては悪夢でしかない！最強・最速フリーキッカー。まさに、たちばなの本田圭佑。
DF	4	中澤 颯優	下田小	DFなのにゴールを量産しているんです。オーバーラップで右サイドを軽やかに疾走する姿は美しいとしか表せません！まさに、たちばなの酒井宏樹。
DF	5	南 昂士郎	下田小	つなぐショートパスがすごくうまいんです。バツグンの守備能力で後ろからチームをささえる頼れる男！まさに、たちばなの長谷部誠。
DF/MF	6	栗田 碧大	下田小	右サイドも左サイドもどっちもすごいんです。斜め45度のアオイゾーンから強烈なシュートをお見舞します！まさに、たちばなの原口元気。
DF/MF	7	福田 蓮音	下田小	実は守備がすごくうまいんです。そしてテクニシャンでありながらポリバレント。すなわち万能プレイヤー！まさに、たちばなの遠藤航。
MF	8	三枝 瑛翔	下田小	相手の背後を取るのがすごくうまいんです。得意のスルーパスでアシストも量産！まさに、たちばなの柴崎岳。
FW/MF	9	渡辺 海斗	下田小	プレーの幅がすごく広いんです。得点だけではなく、献身的な守備でもチームを支えています！まさに、たちばなの岡崎慎司。
MF	10	浦崎 大地	下田小	得点よりアシストが大好きなんです。技術はもちろん魂でチームを引っ張るキャプテン！まさに、たちばなの香川真司。
FW/MF	11	関谷 海斗	下田小	ゴール前のポジショニングがすごいんです。ボールを収める技術は秀逸すぎて半端ないって！まさに、たちばなの大迫勇也。
MF	12	菊谷 航弘	下田小	試合やチームの状況をすごく見ている男なんです。苦しくても献身的なプレーでチームメイトを奮立たせる男！まさに、たちばなのキングカズ！
DF/MF	13	尾高 太祐	下田小	すごい足技を持っているんです。ライン際でのダブルタッチは誰にも止められない！まさに、たちばなの乾貴士。
DF/MF	14	後藤 優樹	下田小	サッカーセンスの塊なんです。プレー選択枝の多彩さ、オフ・ザ・ボールの動きには、いつも驚かされます！まさに、たちばなの宇佐美貴史。
DF	21	福富 大樹	下田小	とっても負けず嫌いなんです。圧倒的な運動量と、際立つ1対1の守備能力でDFラインを支えます！まさに、たちばなの長友佑都。
FW	22	柏木 心	下田小	本当に気持ちが優しいんです。でも試合では、男子相手に負けない気持ちでとことん頑張ります！まさに、たちばなの川澄奈穂美。

1年生の頃と6年生の頃 大きくなったね



シーズンレビュー

SL 2013 年度(平成 25 年度)

- 10 月 GP サッカーフェスティバル 1 年生大会
- 1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2012 年度)
- 5 月 第 40 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 29 回港北区サッカー協会大会
- 9 月 たちばな創立 45 周年記念大会
- 9 月 第 45 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 17 回港北区区民サッカー大会
- 2 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

SL-A

4 負 1 分
2 負

SL-B

4 勝 2 負
3 勝 1 負 1 分
決勝トーナメント準々決勝敗退
5 位
1 勝 3 負 2 分予選敗退
5 勝 1 負
決勝トーナメント準々決勝敗退
1 勝 1 負 1 分
2 位で決勝トーナメント進出 2 回戦で敗退

LL 2015 年度(平成 27 年度)

- 4 月 第 42 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 31 回港北区サッカー協会大会
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 9 月 第 47 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 19 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 42 回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

3 勝 3 負予選敗退
3 勝 2 負予選敗退

1 勝 4 負 1 分予選敗退
1 勝 3 負 1 分予選敗退
3 回戦敗退

LL-B

1 勝 4 負 1 分予選敗退
4 負 1 分予選敗退

1 勝 4 負予選敗退
4 負予選敗退

U12 2017 年度(平成 29 年度)

- 1 月 第 42 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
- 4 月 第 3 回 U-12 サッカーリーグ (前期)
- 6 月 第 33 回港北区サッカー協会大会
- 7 月 創立 50 周年記念行事準備委員会発足
- 8 月 富士緑の休暇村で合宿
- 9 月 第 3 回 U-12 サッカーリーグ (後期)
- 11 月 第 21 回港北区区民サッカー大会
- 1 月 第 44 回神奈川県少年サッカー選手権大会

3 回戦敗退
5 勝 4 負予選敗退
1 勝 4 負 1 分予選敗退

3 勝 4 負 2 分予選敗退
5 勝で予選ブロック 1 位
決勝トーナメント準優勝
1 回戦敗退

港北区大会 準優勝!



子供達と一緒に成長できる環境づくり

フリーコーチ 小川 誠

私達の家族が鶴見から下田町に引っ越して来たのはちょうど 15 年前くらいでしょうか？息子が来年から小学生と言うこともあり、知らない土地で友達がたくさんほしいと何か体を動かして楽しめるものがないかなあと考えていた時期に、バス停の掲示板にあった「たちばなキッカーズ」の勧誘ポスターが目にとまりました。その頃は Jリーグ発足から日本選手も世界レベルでの活躍や、日韓共催のワールドカップやらとサッカーがにわかに盛り上がっていた時代でもありました。

なぜか？息子も興味を示した様で、軽い気持ちで体験に行ったことを思い出します。サッカーをやっていると頭も良くなる？と言う実しやかな噂も流れていました。当時のたちばなは、子供達もたくさんいて、下田小学校のグラウンドを所狭しと時間や場所の制約がある中でサッカーの向上を目指していたことが思い出されます。田舎育ちの私にはちょっとしたカルチャーショックでした。お母さん達のおもてなしと熱烈的な勧誘もありましたね。

昨今、子供達は様々なスポーツ等に関われる様になり、選択肢がほとんどなかった私達の時代に比べたら恵まれた環境の反面、少子化や近隣クラブも増えて、クラブ運営には多大な苦労があったことは言うまでもありません。その様な苦境を乗り越えて 50 周年を迎えられたことは、本当に喜ばしいことと思います。また微力ながらコーチの一員として関われる機会を頂きまして、貴重な体験をさせて頂きました。ルールも何も分からずにいたコーチなりたての頃、先輩コーチが子供達に指導する姿を見て、子供達のひとりひとりを個々の人として向かい合い、5 年後、10 年後と将来の人としての成長を見据えてお話をしてくれたことを深く感銘しました。当時、低学年だった子供達も何かしら伝わり、何かしら受け取ってくれたと思っております。

何事も続けることに意味がある。私自身も日頃から実感し、たちばなの子供達に伝えたかった「継続は力なり」です。それでは続けるためには何が必要か？私がこのたちばなで見つけた答えが「好きこそものの上手なれ」でした。子供達がサッカーや運動を好きになる、興味を持つにはどうしたら良いのか？目標を立てて習得した知識や技術をベースに、低学年では遊びの延長上とし、子供達が自分自身で考えてプレーできることの楽しみを実践の中でチャレンジ精神で体験していく。せっかくなので家族の皆さんも含め全員でサッカーを楽しみながら一緒に環境づくり（子供達のサポート活動、クラブ運営、地域ボランティア活動など）に参加してもらう。まさにそれがたちばなの原点かと思っております。

暑さにも寒さにも早起きにも負けずの SL 時代の GP カップや、学年関係なく寝泊まりを共にし、近寄り難かった上級生も終わってみれば、下級生達の頑張りを認めてくれて仲良しになってくれた夏合宿、大人達は子供達の成長を喜びつつ、子供達は同級生との意地とプライドを掛けて戦ったたちばな杯など。他の対外試合や公式戦では見られない子供達の喜怒哀楽や無我夢中の真剣勝負が頭に蘇ります。

SL 時代では 0-19 と大敗を喫したこともある 40、41 期生達に導いてもらった港北区大会での LL2 冠達成や L 優勝の勝利への感動もありましたが、それ以上にこの様な体験を子供達と共に一緒に時間を過ごさせて頂きましたことを深く感謝しております。こう言った体験を次の世代にもと思い、クラス担当コーチを続けて来ましたが、サッカーを知れば知るほどに勝つこと自体が面白くなってしまい、子供達へのサッカーに対する要求や期待ばかりが先行する様になって、子供達が主役のたちばなコーチとして

は、失格だよねと強く感じ始め、さらには色々な面で自分自身の限界もあり、コーチを続けることは出来ませんでした。

現在もクラブ運営に関わっているコーチ、関係者の皆さんには感謝ばかりで頭が上がらないです。またたちばなの活動に共感してもらっていた横浜市内、港北区内クラブのコーチの皆さんとも交流でき、一緒にプレーできたことをこの場をお借りして御礼を申し上げます。この縁もたちばなの財産として、次の世代を担う新しい若手コーチの皆さんにも繋げて頂ければと思います。

最後になりますが、10 年後、20 年後も卒団していった子供達がいつでも帰ってこれる様な「たちばなキッカーズ」の環境づくりと更に地域密着の活動を盛り上げていってもらえれば幸いです。

たちばなキッカーズ 50 周年おめでとうございます！

コーチ OB 小野 欽也

2004 年に息子が幼稚園の年長でたちばなキッカーズに入り、その翌年から 5 年間ほどコーチをやらせていただきました。50 周年を迎えると伺い、当時を思いながらたちばなキッカーズの Web サイトを見ていて、はっと気づきました。50 周年？私も次は 50 歳！同い年なのです！これまでの人生を振り返るといろんな事があり、成長するにつれて、多くのことを身に着け、多くの方々にご指導をいただきながら、経験を重ね、考え方も大人へと変化してきたと思っています。

たちばなキッカーズも私と同じ年を重ねてきたのですが、たちばなキッカーズには、人が大人になるのとは異なる、変わらないものがあります。たちばなキッカーズには歴代たくさんのコーチがいます、たくさんの卒業生たちがいます、そのなかでたくさんの経験を重ねてきにもかかわらず、50 年という長い年月に渡り、指導理念が全く変化していません。

「子供たちにサッカーを好きになってもらい、押さえつけることはせず、子どもたちが主役の、のびのびとしたサッカーができるように。」

コーチを拝命するときに、宍戸代表に、チームの歴史や理念、指導方針を伺い、「このことを徹底できる人にしかコーチをお願いしない。」と言われたことを今でも鮮明に思い出します。

私が担当していた年代の子どもたちもサッカーが大好きで、練習がない日でもサッカーボールをもって遊びに行くような子がたくさんいました。ですが、試合ではなかなか勝てませんでした。子どもたちも様々で、試合に負けても平然としている子もいましたが、悔しくて泣き止まない子もいて、そんな子がリーダーになり、練習を重ね、少しずつチームがまとまり、少しずつ強くなっていくさまを見せてもらい、逆に子どもたちから教えてもらうこともたくさんありました。この変わらない理念が、こうして子どもたちを立派に成長させることを目の当たりにしたわけです。

仕事が忙しくなってしまう、土日に出張が多くなったことから、練習に参加できなくなり、コーチを続けられなくなり、なんとなく今日まで来てしまいましたが、ボールを抱えて練習に向かう子供を見たり、軒下に干してあるたちばなキッカーズのユニフォームが見えたりすると、キュンとなるというか、ワクワクするというか、なんとも言えない心地よい気持ちになります。これからも変わらぬ理念を守り、未永く続くことをお祈り申し上げます。

祝！50 周年！

フリーコーチ 河野 優

たちばなキッカーズ殿、この度は創立 50 周年、誠におめでとうございます。

少子化が問題となる現代において、子供たちのみならず、その家族関係者の方々にまで、サッカーを通じたスポーツの素晴らしさ、フェアプレーの大切さなど、身を持って体験できる地域クラブとして、半世紀にわたり活動を継続している貴殿に敬意を表します。ここに至るまで、たちばなキッカーズに関与されたすべての方々に、改めてお祝いの言葉を送らせていただきます。

かくいう私も、貴殿には大変お世話になりました。具体的には、長男、次男が選手として在籍したのみでなく、私自身が U-8, 10, 12 の各年代のコーチとして約 10 年間にわたり指導に携わらせて頂きました。今でも、夏合宿の空き時間に、コーチ連中が子供たちより真剣におやじサッカーを楽しみ、夜は酒を片手にサッカー談義をとめどもなく語ったことが良い思い出となっております。

私が在籍していた、わずか 10 年間でも色々なことがありました。半世紀も時間が経過すれば、昔の常識が今の非常識になるほどの事柄もあったかと思えます。例えば、昔は運動中の飲水禁止、運動後に肩肘膝は温かく保持することが常識、それが今では試合中の給水タイム、運動後はクーリングが積極的に導入されるように。また、地域クラブの多様化により、勝利至上主義、プロ選手育成も考慮に入れた英才教育など、クラブが対応すべき環境も刻一刻と変化していることでしょう。

しかし、貴殿は原点を忘れずにクラブ繁栄を続けて来ました。その原点とは「子供が主役、子供たち自身で考える」ことにあります。これは極めて重要な事案であろうと考えます。昨今、某大学のアメリカンフットボールの選手が、「指導者と選手の考えの乖離」のもとに反則行為を働くという悲しい事件がありました。その報道を聞くにつけ、「選手が主役、選手自身で考える、指導者はあくまでサポーター」を貫いてきた貴殿の原点こそが、スポーツを取り巻く環境の上で、尊重されるべき共通概念であることが証明されたと言っても過言ではないでしょう。

今後も「子供が主役」を主眼において、かつ誇りにしてクラブ運営を続けてください。

J リーグ 100 年構想ならぬ、たちばなキッカーズ 100 年構想を目指し、益々の御活躍・発展を心からお祈り申し上げ、祝辞の言葉とさせていただきます。

第 50 期 2018 年度(平成 30 年度)卒業予定

チーム紹介 第 50 期生 高田 脩真

僕たち 50 期生は SL の時 8 人から始まりました。SL の時はなんとなく役割が決まっていた、それが試合で発揮されると嬉しくて楽しかったです。

LL になってからは転校などで 4 人も抜けてしまいましたが、新しく 2 人入って 6 人になりました。4 年生の時には今の 5 年生のおかげで区大会決勝トーナメントに出場できよい経験ができました。

そして U12 になり、秋の区大会で今の中 1 の先輩方たちと準優勝を収めることができ、一生思い出に残るよい経験をさせてもらいました。今は 6 年生 5 人いますが 2 人休会しているので 3 人で活動しています。少ない人数でさみしいですが、5 年生の力を借りて残りの期間も頑張ります。

メンバー紹介

ポジション	背番号	氏名	小学校	紹介
DF	9	齋木 智也	下田小	守備の要でありながら、サイド攻撃のセンスが光るプレーヤー。キック力もぴかいち。オンオフの切り替えができる男。
MF/DF/GK	10	高田 脩真	下田小	サッカーセンス抜群の 50 期キャプテン。GK も含めすべてのポジションができるオールラウンドプレーヤー。精度の高い FK は圧巻。
FW/MF	11	浦川 慶丸	下田小	右サイドから中央への切り込みは誰も止められない。何かやってくれるんじゃないかとワクワクさせるプレーヤー。
FW	20	米山 太智	下田小	様々な方向からの正確なトラップ、必ず決まるシュートコース。勝負どころに強いプレーヤー。
MF	21	高橋 諒吉	下田小	中盤を支えるボランチ。攻守の要となり、職人技の光るプレーヤー。オシャレなスルーパスで周囲を魅了。



創立 50 周年記念大会 新ユニフォームでニコニコ

シーズンレビュー

SL 2014 年度(平成 26 年度)

8 月	GP サッカーフェスティバル 1 年生大会	1 勝 2 負 3/4 位トーナメントで 1 勝 1 負
2 月	フットサル GP カップ 1 年生大会 (2013 年度)	3 勝 1 負 1 分
5 月	第 41 回横浜市春季少年サッカー大会	4 負 2 分予選敗退
6 月	第 30 回港北区サッカー協会大会	2 勝 3 負予選敗退
8 月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会	1 勝 3 負 1 分
9 月	第 46 回横浜国際チビ子サッカー大会	2 勝 4 負予選敗退
11 月	第 18 回港北区区民サッカー大会	3 勝 2 負 1 分予選敗退
2 月	フットサル GP カップ 2 年生大会	1 勝 2 負 (雨天途中中止)

U10 2016 年度(平成 28 年度)

4 月	第 43 回横浜市春季少年サッカー大会	U10-A	U10-B
6 月	第 32 回港北区サッカー協会大会	3 勝 3 負予選敗退	6 負予選敗退
		4 勝 1 負 1 分で 2 位	5 負予選敗退
		決勝トーナメント 1 回戦敗退	
8 月	富士緑の休暇村で合宿		
9 月	第 48 回横浜国際チビ子サッカー大会	1 勝 3 負 1 分予選敗退	6 負予選敗退
11 月	第 20 回港北区区民サッカー大会	3 勝 3 負予選敗退	1 勝 4 負予選敗退
12 月	明治杯招待	予選 2 勝で 1 位	
		決勝トーナメント 準々決勝敗退	
1 月	第 43 回神奈川県少年サッカー選手権	3 回戦敗退	

U12 2018 年度(平成 30 年度)

9 月	第 3 回港北区 U-11 サッカー大会	5 負 A ブロック 6 位
1 月	第 43 回横浜少年サッカー大会 (市長杯)	2 回戦敗退
4 月	第 4 回 U12 サッカーリーグ (前期)	2 勝 7 負予選敗退
6 月	第 34 回港北区サッカー協会大会	2 勝 2 負 1 分予選敗退
8 月	富士緑の休暇村で合宿	
	たちばな創立 50 周年記念大会	3 位
9 月	勝田 SC45 周年記念大会	準優勝
	第 4 回 U12 サッカーリーグ (後期)	6 勝 3 負予選敗退

SL の頃 49 期と



第 51 期 2019 年度卒業予定

チーム紹介 第 51 期生 高橋 力生の母(高橋靖子)より

たちばなキッカーズ創立 50 周年、誠におめでとうございます。

我が家は長男の脩真(48 期)が 1 年生からお世話になっており、記念の年に在籍させていただき嬉しく思います。

48 期の選手達は比較的穏やかなチームでしたが、51 期の選手達は良くも悪くも個性派ばかり。話を聞かない、すぐ泣く、すぐ揉める・・・。

S L (現 U 8) 時代は本当にサッカーができるのかと心配になりました。試合中にコーチから「どっちに攻めるの～」や「キーパーは手を使っていいんだよ～」との声が聞こえることもしばしば。2 ケタのスコアで敗戦もありました。その度応援する保護者達はがっかり。しかし当の選手たちは、一瞬は落ち込むもののすぐたちばな恒例の砂遊びや小競り合いを始める始末。正直、卒業まで勝利できないのでは・・・と少し不安がありました。

そんな選手達を辛抱強く、そして優しくご指導してくださったコーチの皆様のおかげで、少しずつ彼らもサッカーを理解し、目覚めてきたようです。ここ数年は勝利することが増え、全員で「やったーっ」と大喜び。応援してワクワクする試合をしてくれるようになりました。

勝っても負けても「楽しい」試合が増えてきました(本音は勝つ試合を沢山見たいのですが)。この個性派ばかりの選手たちをずっと応援できて本当に良かったと思います。

長男のチームは最終戦(慶應カップ)で見事優勝を勝ち取りました。この 51 期チームでも卒団までに優勝してほしいなあと願っています。

最後に、お忙しい中お時間を割いて選手達のご指導をしてくださるコーチの皆様に、心より感謝を申し上げます。



メンバー紹介

ポジション	背番号	氏名	小学校	紹介
GK/FW	2	寺澤 良剛	下田小	果敢なセービングでチームを救う守護神。 サイドやっても果敢にチャンスメイク！
DF	3	黒田 眞生	下田小	チーム No.1 の俊足を活かした守備が最大の持ち味。 キック力も抜群、ボンバーショット凄いよ！
FW/MF	4	関本 拓馬	下田小	全てのポジションをこなせるユーティリティープレイヤー。 攻めのセンス抜群！正に器用！
MF	5	川村 琉斗	下田小	少ないボールタッチでチャンスを演出。 ワンタッチの展開ほんと凄いよ！
FW/MF	6	高垣 知明	日吉台小	マルセイユルーレットからのドリブルシュートは、ファンタスティック。 ゴール前のシュートセンスも抜群！個人技凄いよ！
DF/MF	7	高橋 力生	下田小	1 対 1 では絶対負けない守備の職人。 クレバーなプレーで相手 FW を完封。 だけど、攻めも大得意！
FW/MF	8	倉持 優人	下田小	スピードに乗ったドリブルからのシュートは、迫力抜群。 ビックリするで！
MF	12	高関 楓眞	下田小	独特のリズムからのドリブルは、攻撃に勢いをもたらす。 実は、センターバックのセンスも極めて高い！
DF/MF	13	橋本 佳憲	下田小	頭脳明晰な守備とハードワークは、チームに勇気をあたえる。 シュートも上手です！
MF	14	西 哲平	下田小	一意専心で練習に取り組む姿は、チームのお手本。 どのポジションもこなせるオールラウンダーも魅力の一つ！
MF	15	佐川 敦哉	下田小	小さな体からみなぎるスタミナは、チーム 1 番。 走り回って、相手をほんろうしまくり！
MF/GK	16	田原 知明	下田小	落ち着いたドリブルからのパスは、正確で味のあるプレー。 実は、キーパーも上手い！！
MF	17	古賀 優太郎	下田小	冷静沈着なプレーから繰り出されるアウトサイドのシュートは、キーパーを惑わす。 合宿でのゴールは、お見事！
DF	18	徳田 琉心	駒林小	ガッツ溢れるプレーを全面に戦うプレーは、まさに闘将。 前線へのフィード飛ぶどー！
DF	19	柏木 和	下田小	恵まれた体格で相手 FW を押し出すプレーは、まさにパワープレー。 大きな声で仲間を元気付ける姿は最高！
DF/MF	22	金子 力樹	下田小	視野の広さと気迫溢れるプレーで最終ラインからチームを牽引。 ホントはトップの方が得意！
FW	23	内野 翔陽	下田小	FW としての動き出しと、持ち備えたポテンシャルは、今後もっとも楽しみな選手。チームメイトからの人望も厚い。



シーズンレビュー

SL 2015 年度(平成 27 年度)

2 月	フットサル GP カップ 1 年生大会 (2014 年度)	1 勝 3 負 1 分
5 月	第 42 回横浜市春季少年サッカー大会	4 負予選敗退
6 月	第 31 回港北区サッカー協会大会	1 勝 4 負 1 分予選敗退
9 月	第 47 回横浜国際チビッ子サッカー大会	2 勝 4 負予選敗退
11 月	第 19 回港北区区民サッカー大会	1 勝 4 負 1 分予選敗退
2 月	フットサル GP カップ 2 年生大会	3/4 位トーナメント 2 負

U10 2017 年度(平成 29 年度)

2 月	第 2 回港北区 U-9 サッカー大会
4 月	第 44 回横浜市春季少年サッカー大会
6 月	第 33 回港北区サッカー協会大会
7 月	創立 50 周年記念行事準備委員会発足
8 月	富士緑の休暇村で合宿
9 月	第 49 回横浜国際チビッ子サッカー大会
11 月	第 21 回港北区区民サッカー大会
12 月	明治杯招待
1 月	第 44 回神奈川県少年サッカー選手権

U10-A

予選リーグ 1 勝 1 負	
決勝トーナメント 1 回戦敗退	
3 勝 1 負 1 分予選敗退	6 負予選敗退
2 勝 4 負予選敗退	1 勝 3 負 2 分予選敗退
1 勝 4 負 1 分予選敗退	6 負予選敗退
2 勝 4 負予選敗退	6 負予選敗退
予選 1 勝 1 負 2 位	
2 位ブロックトーナメント 準々決勝敗退	
1 回戦敗退	

U10-B



創立 50 周年記念大会

第 52 期 2020 年度卒業予定

チーム紹介 第 52 期生 檜村 英昂の母(檜村優子)より

たちばなキッカーズ、創立 50 周年おめでとうございます。2 人からスタートした現 4 年生は今では 9 人となりました。個性豊かで、お互いを認め合う穏やかな子供達です。

試合で『絶対勝つ』という気持ちはとても強く一人一人の力が 1 つになった時すばらしい団結力を発揮します。応援していて清々しく、必死にボールを追いかける姿、声を掛け合う姿、ゴールを目指す姿には毎回目頭が熱くなります。

試合開始キックオフ後 2 分、点を入れられてしまうことが多かった春の大会は惜しくも決勝トーナメントへは届きませんでしたが 3 位と大健闘でした。

ボールの周りに団子になっていた U8 時代からは想像もつきません。

秋の大会では 3 位の壁をやぶり決勝トーナメントへ行こうね！これからの成長が楽しみです。

子供達を我が子のようにご指導下さるコーチのみなさま、心から感謝申し上げます。子供達が伸び伸びサッカーを楽しむ事ができるのは、地域に根ざし、コーチ、子供達、親達が繋がっているたちばなキッカーズだからこそだと思います。たちばなキッカーズのこれからの一層のご活躍をお祈り申し上げます。

GP カップ 53 期と一緒に



メンバー紹介

ポジション	背番号	氏名	小学校	紹介
FW	2	秦 嘉浩	下田小	新規加入でまだ少ししか一緒に練習していませんが、とにかく人懐っこくて、愛嬌たっぷり。海外から転校してきたばかりで日本語も覚えてたのに、すぐに皆と仲良くなりました(素晴らしい!!!)。一つ一つの練習に対する探究心が深く、楽しみながら試行錯誤している様子。すぐに上達すること間違いなしだ。
DF/GK	3	榎本 湊	下田小	4月に転校してきて6月からチームに加入。その週から区大会でデビュー。それまでサッカースクールで経験はあるものの、試合は初めてでしたが、ボールを一切怖がらないことが凄い。特に GK では超4年生級の長身とパワーでファインセーブを連発！これからは沢山ボールに触って頑張ってください。
FW	5	小笠原 央祐	下田小	とてもサッカーが大好きで練習中、一番楽しそうにサッカーするのがオウスケ。特に紅白戦では普段優しいオウスケが闘志むき出しにして、積極的にボールを奪いにいく姿が印象的。これからはボールを触ること、チームメートと関わることを楽しんで、チームを明るくして下さい。
DF	6	竹内 姫夏	下田小	プレー中の最も周りが見えているのがヒメカ。全体が見えているからディフェンスへの動きだしが早い、フォローのタイミングが抜群に良い。区大会は怪我で出場できなかったけれど、松葉杖をついてベンチ入り。足を引きずって選手の水筒を準備したり、相手チームに挨拶に行ったり。どんな状況下でも今の自分にできることを考えて行動できたヒメカは素晴らしい!!!これからは皆のお手本になって下さい。
MF	7	山田 達郎	高田小	タツロウはとても観察力に優れていて、見たこと・聞いたことの吸収がとにかく早い。この年代で頭と身体の両方でサッカーを理解しているのには、とても驚きます。ボランチという難しいポジションでディフェンス、フォロー、サイドチェンジができるようになり、最近ではゴールを量産。特にコーナーキックからボレーやヘディングで得点できるのは大きな武器。司令塔としてドンドン声を出していこう。
MF	8	藤川 寛汰	下田小	カンタのスループアスのセンスは本当に秀逸。俊足選手の多い52期にとって、カンタのキラーパスは最高の武器です。攻撃面だけではなく、カンタの醍醐味は何と言ってもディフェンス。自分より大きな選手相手でも身体の使い方が本当に上手くて、運動量も半端じゃありません。とにかく負けず嫌いで、良い意味で相手にとって嫌な選手。ムードメーカーとして、チームを盛り上げて下さい。
FW	9	伊藤 啓人	下田小	52期の得点王。その得点センスは真似しようにも真似できない天性のものがあります。パスを受けるタイミング、ドリブルの緩急のつけ方、GKの逆を取る感覚は簡単には真似できません。最近、大きく成長したのは、ストライカーは嫌がることが多い前線でのプレッシャーをかけてくれること。For The Team の思いを持って、もっともっと練習して、その輝くセンスを伸ばしていこう。
DF	10	檜村 英昂	下田小	練習量、技術面、パワー、安定感、人望、全てにおいて高い水準を誇るスーパーマン。誰もが疑わぬ52期の大黒柱。攻守両面に優れている為、センターバックながら、チームトップレベルの得点量。またフリーキックの正確性は大人顔負け。セットプレーがたちばなの武器になったのはヒデのおかげ。優しさと強さを合わせ持つから皆に信頼される。引続き、プレー面・精神面双方でチームを引っ張って行って欲しい。
DF	11	吉田 旭	下田小	52期が誇るスピードスター。その速さの一つ上の年代でも十二分に通じるレベル。真剣さ・集中力がいつでも高いレベルにあり、スプリント数、走行量は間違いなくチームトップ。サイドバックで相手のストライカーの縦突破をことごとく阻止できるのはアサヒだけ。サッカー以外では、誰にでも分け隔てなく、特に下の年代や初心者にとっても優しくできるのがアサヒ。行動でリーダーシップを発揮して下さい。

シーズンレビュー

U8 2016 年度(平成 28 年度)

5 月 第 43 回横浜市春季少年サッカー大会
 6 月 第 32 回港北区サッカー協会大会
 9 月 第 48 回横浜国際チビッ子サッカー大会
 11 月 第 20 回港北区区民サッカー大会
 2 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

6 負予選敗退
 1 勝 3 負予選敗退
 1 勝 4 負予選敗退
 1 勝 3 負予選敗退
 3/4 位トーナメント 2 勝 1 負

U10 2018 年度(平成 30 年度)

1 月 第 3 回港北区 U-9 サッカー大会

 4 月 第 45 回横浜市春季少年サッカー大会
 6 月 第 34 回港北区サッカー協会大会
 8 月 富士緑の休暇村で合宿
 たちばな創立 50 周年記念大会
 9 月 勝田 SC45 周年記念大会
 第 50 回横浜国際チビッ子サッカー大会

U10-A

予選リーグ 1 勝 1 負
 決勝トーナメント 1 回戦敗退

4 勝 2 敗予選敗退
 3 勝 2 敗予選敗退

オレンジ 3 位
 優勝

1 勝 4 負 1 分予選敗退

U10-B

1 勝 5 敗予選敗退
 0 勝 4 敗 1 分予選敗退

ブルー 6 位

6 負予選敗退



春の区大会で全員集合

第 53 期 2021 年度卒業予定

チーム紹介 第 53 期生 櫻井 翔輝の母(櫻井望)より

Congratulations on 50th anniversary of “Tachibana Kickers”!!!

サッカー激戦区の横浜市で少年サッカーチームの魁として、50 年の歴史を積み上げてこられたことは“すごい”の一言に尽きます。また、その節目に子供たちが携われたことは、親として誇りに思います。

現 3 年生は、1 年生の春に 8 人でスタートしました。驚くべきことに、同じ幼稚園・保育園の出身者がいない。お互い 3 月までは知らない者同士、まさに運命が引き寄せた？ としか思えないですね。

入団早々の GW 明けから、春の市大会が始まりました。1 学年上が少なかったこともあり、早速試合出場となったわけですが、現実には厳しいです。今まで試合らしい試合をしたこともないので、ルールがわからない。オフサイドってなに？スローイングはファウルスロー、キックはチョロチョロしか前に飛ばない。相手チームは体が大きい 2 年生ばかりで、ぶつかられて泣く。転んで泣く。うまくできなくて泣く。泣いたまま立ち上がれなくてコーチに抱えられて交代。そんなことも多々ありました。

春の大会が終わって、コーチの方々が優しく、丁寧に、辛抱強く教えていただいたおかげで、子供たちも徐々に上達し、ルールも覚え、多少ぶつかられても転んでも泣かないようになりました。ただ、まだ 1 年生、ちょっとしたことですぐケンカが始まり、ピーピー、キャーキャー、まるで動物園・・・笑。

コーチの方々には本当にお世話をお掛け致しました。

2 年生になると、U8 の上級生としての自覚が芽生えたからなのか、ケンカも少なくなり、練習や試合で声を張り上げて伸び伸びプレーしている姿を見ると、ちょっとだけたくましくなったように感じ、また、1 年生の時は、痛いのかケンカで泣いていたのが、2 年生では試合に負けて悔しくて泣いている姿を見ると、わずか 2 年ばかりでも子供たちは「たちばな」を通じてしっかりと成長していることを改めて感じる事ができました。

3 年生になって、U8 から U10 へとカテゴリーが 1 つ上がりました。仲間も増えて、16 人になりました。(2018 年 6 月現在)

再び練習も含めて上級生と相対することが多くなりましたが、みんな負けまいと頑張っています。たくましくなりました。1 年生の時のような弱さ(かわいさ)はもういい思い出ですね。ケンカすることはありません！(多分・笑)

たまに、コーチの話を聞いていなくて、怒られることはありますが・・・。

子供たちの話題は、妖怪ウォッチ、ポケモンからロナウド、メッシ、ネイマールへと変わり、みんなすっかりサッカー少年です。サッカーについて議論？を交わしたりしていることもあるようなないような・・・(盛り過ぎ?)

これから卒団まで 3 年余りありますが、子供たちには「たちばな」を通じて、努力することの大切さや仲間と分かち合う喜びのすばらしさをますます学んで欲しいと思います。その中で、サッカーはもちろん人としてどんな成長を見せてくれるか、非常に楽しみで、考えただけでワクワクします。

コーチの方々、父兄の方々、どうぞこれからも子供たちの成長を温かく見守ってあげてください。

メンバー紹介

背番号	氏名	小学校	紹介
12	櫻井 翔輝	下田小	豪快なキック力と強靱なフィジカルを誇る皆んなの頼れるリーダー。ディフェンスからゴールもアシストも量産。
13	浦崎 大河	下田小	常に全力でプレスを掛け、猛然とゴールを狙う切り込み隊長。たちばな屈指のファイター。
14	福田 渉太	下田小	サイドから深い切り返しとスピードに乗ったドリブルで相手を翻弄する。自分の間合いで仕掛けたら誰も止められない。
15	河本 慶太	下田小	抜群のポジショニングからゴールを狙うスナイパー。ワンタッチで次の動作に移れるボールコントロールは絶妙。
16	小沼 京介	下田小	野性味溢れるスピードと身体の強さでボール奪取力は抜群。自分よりも身体の大きな上級生にも身体をぶつけて諦めない姿はチームを鼓舞する。
17	荒井 大翔	高田小	恵まれた体格を生かしてゴールに突進する。身体ごとボールをゴールにねじ込むストライカー。
18	中村 壮佑	下田小	DF リーダーとして、味方の的確なポジショニングを指示してラインコントロールする頭脳派プレーヤー。身体を投げ出して救ったピンチは数知らず。
19	赤荻 秀	下田小	たちばな屈指のスピードスター。スピードに乗せたら誰も止められない。驚異的なスピードを生かしたドリブルからのゴール量産を期待。
20	岳藤 光希	下田小	皆んなに愛されるムードメーカー。甘いマスクからは想像できない切れ味鋭いディフェンスでピンチを救う。
21	上村 大吾	下田小	チームで一番優しくて仲間のことをいつも気にかけてくれている。試合中はここのポイントで物凄い能力を発揮する。潜在能力は底知れぬ。
22	美馬 凜太	下田小	常に落ち着いてプレーでき、長い手足を生かしたゴールキーパーでのプレーは安定感抜群。フィールドでも独特のリズムで試合の流れを変えられる選手。
23	小澤 六葉	下田小	ほのぼのとして優しくそんな雰囲気だがスイッチが入ると猛然とボールを追いかけて迫力あるプレーをする。ゴールキーパーからフォワードまでプレーできるユーティリティプレーヤー。
24	片山 航太	下田小	入会してまだ数ヶ月だが何年もいるような溶け込み具合。プレーも最初は遠慮が見られたが、スピードを生かしたドリブルや正確なキックで既にチームに欠かせない存在に。
25	上野 陽	下田小	たちばなキッカーズの上野兄弟、その 1。まだサッカーを始めたばかりながら、サッカーの魅力にとりつかれたみたい。クレバーさを活かして 53 期イチのユーティリティプレイヤーになりそうな予感！
26	上野 海	下田小	上野兄弟その 2。好奇心旺盛に色々なポジションに挑戦中！最近 GK にも挑戦し、下田小学年イチのドッジボール選手の片鱗を見せつける！
27	川村 虎太郎	下田小	入会間もないながら、明るい性格と負けず嫌い(?)な性格で早くも大きな存在感を発揮中！自信を持って思い切りプレーできるようになれば、大きく成長しそうな予感！
28	三木 淳史	下田小	アツシも入会から間もないながらも、一つ一つをコツコツとこなそうとするまじめさと、なにかを吸収しようとする姿勢が素晴らしい！まだ小柄だが素晴らしいテクニシャンに成長しそうな予感！



GP カップ



山王谷杯

シーズンレビュー

U8 2017 年度(平成 29 年度)

- 5 月 第 44 回横浜市春季少年サッカー大会
- 6 月 第 33 回港北区サッカー協会大会
- 7 月 創立 50 周年記念行事準備委員会発足
- 9 月 第 49 回横浜国際チビ子サッカー大会
- 11 月 第 21 回港北区区民サッカー大会
- 2 月 フットサル GP カップ 2 年生大会

U8-A

- 3 勝 2 負 1 分予選敗退
- 3 勝 1 負 1 分予選敗退

U8-B

- 1 勝 5 負予選敗退
- 3 勝 1 負 1 分予選敗退
- 1 勝 5 負予選敗退
- 1/2 位トーナメント 1 勝 1 負

2018/11 港北区大会



創立 50 周年記念大会で集合写真

第 54 期 2022 年度卒業予定

チーム紹介 第 54 期生 高垣 侑周の母(高垣陽子)より

50 周年おめでとうございます。

初めて息子を下田小のグラウンドに連れて行ったのは 2 歳の時、兄の練習を見学するためでした。以降「サッカーをやりたい!」と懇願され続け 4 歳の時に入会させました。

当初は、同学年のお子さんはいませんでした。コーチからはボールの蹴り方や運び方を丁寧に教わり、学年が上の U8 メンバーも優しく接してくれたので、サッカーをすることが楽しみになったようで、雨で練習が中止になるとよく泣いていたことを思い出します。

待望の同学年のお子さんが増えたのは 1 年生の時でした。負けず嫌いの子が多く、皆がボールに向かって固まり、我先に取ろうとするので、サッカーになっていない状態でした。

2 年生になると、得点が入れば笑顔、失点すると下を向きと感情が丸見えではありますが、1 年前よりは固まらず、パスの位置を考え、味方の邪魔をしないようになりました。6 月に参戦した区大会では、DF が自分の位置と役割を理解し、相手の攻撃を何度も防いだり、GK が速球を怖がらずに止めたりと、一人一人の成長が目で見えてははっきりと分かり嬉しくなりました。

子どもたちは練習や試合の他にも公園で即席の試合をしたり、リフティングの回数を競ったり、時には鬼ごっこしたりと学年に関係なく遊んでいます。きっと大人になってから小学生時代を思い出す時は、たちばなキッカーズの仲間と一緒に過ごした様子が目に浮かぶのではないかと思います。

普段より会の運営やサッカーの指導に尽力頂いている関係者の皆様に感謝の意を申し上げると共に、たちばなキッカーズの益々の発展を心から願っております。



第 50 回横浜国際チビサッカー大会 予選 2 位で決勝トーナメント進出!

メンバー紹介

背番号	氏名	小学校	紹介
3	内野 晃陽	下田小	11 月加入の新メンバー。練習メニューの飲み込みが早く、今後の期待大。
4	吉田 青空	下田小	キーパー志望の新メンバー。フィールドでは恵まれた身体を活かしたプレーがグッド。
5	松田 優人	下田小	空手仕込みのキックと俊足が武器の新メンバー。半年足らずで初心者の域を越える成長株。
6	木村 太一	下田小	プレー、積極性と着実に成長を続けるタイチ。色々な事に疑問を持ち考える姿勢が素晴らしい。
7	中井 汰海	日吉台小	身体を張ってボールを止める恐れ知らずのタフな男。ドリブルのセンスが光る。
8	宮崎 煌太	下田小	足技を活かしたサイド突破が得意プレー。ゴールへの嗅覚を持ってるサブキャプテン。
9	村田 陽一	下田小	54 期随一の頭脳派プレイヤー。両足から繰り出す正確なキックと俊足はチームの要。
10	高垣 侑周	日吉台小	天性のストライカー、キャプテンユキナリ。スピード、スタミナ、センスがピカイチ。
11	高田 琉生	下田小	下田小学年トップクラスの運動神経の持ち主。攻めてよし守ってよしのオールラウンダー。

シーズンレビュー

U8 2018 年度(平成 30 年度)

1 月 フットサル GP カップ 1 年生大会
(2017 年度)

4 月 第 45 回横浜市春季少年サッカー大会

6 月 第 34 回港北区サッカー協会大会

9 月 第 50 回横浜国際チビ子サッカー大会

3/4 位トーナメント 3 位タイ

3 勝 3 負 予選敗退

2 勝 2 負 2 分 予選敗退

4 勝 1 負 1 分で 2 位

決勝トーナメントに進出決定



夏休み 親子サッカーで一休み

第 55 期 2023 年度卒業予定

チーム紹介 第 55 期生 吉田 旺介の母(吉田麻衣子)より

たちばなキッカーズ創立 50 周年おめでとうございます。一保護者として、一たちばなキッカーズファンとして、この記念すべき日に立会えたことを大変嬉しく思います。これもひとえに、これまでチームを支えて下さった歴代のコーチ、父母、地域の皆様のおかげと、深く御礼申し上げます。

55 期生は現在 1 年生。幼稚園児 2 名からはじまり、現在では女の子 2 名を含む総勢 11 名が在籍しています。低学年、こと 1 年生ともなるとサッカーというよりも、ボール遊びの感覚で、手を使ってしまったり、味方同士でボールを取合いしたり、「僕がうまい！いや、私がうまい！」とケンカしたり…。まだまだ幼さの残る可愛い子供達です。

真冬の GP カップでは、当時幼稚園児だった 2 人が奮闘しました。それまで公式戦に出られなかった 2 人が挑んだ初試合です。霜がとけ、ほぼ田んぼ状態の過酷なコンディションのグラウンドで泥んこになりながらも、上級生を相手に身体を張ってボールに食らいつく姿は、とても素敵でした。

春の公式戦では、「僕が出たい!」「私が出たい!」とコーチを困らせるほどの猛アピール!!! 普段の練習では、集中力が切れてつい遊んでしまう彼らも、公式戦の緊張感から、ピッチに出ると顔つきが変わり「試合に勝ちたい!!!」と真剣な眼差しを見せてくれます。市大会、区大会とも強豪の多いブロックでしたが、お母さん達を興奮させる熱い試合を見せてくれました。

はじめは恥ずかしがったり、泣いてしまったりしていた子供達が、少しずつ精悍さを増し、幼児から少年・少女に成長していく姿が頼もしくて仕方ありません。これもコーチの皆様の指導の賜物と存じます。これからも沢山の仲間に関われて、色々なことを経験し、彼らが逞しく成長していく姿を陰ながら応援していきたいと思います。

最後になりますが、たちばなキッカーズの今後益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



マリノス前座試合に参加 日産スタジアムでパチリ

メンバー紹介

背番号	氏名	学校	紹介
12	吉田 旺介	下田小	得意のドリブルから左足の強烈なシュートを放つ！甘いマスクのスピードスター
13	高崎 真平	下田小	センス抜群のポジショニングで、相手のドリブルを阻止。攻める意欲も人一倍！
14	城 彩花	下田小	サッカー大好き、意欲満々！負けん気の強さは男子にだって負けてない！
15	横山 橙一	日吉台小	練習でも試合でもいつもニコニコ、サッカーを楽しんでくれています。
16	棚橋 律毅	下田小	普段はフワ～っとしてるけど、スイッチが入ると猛然とボールに迫る、俊足リツキ！
17	中西 純一郎	下田小	ディズニーランドよりもサッカーが大好き、ベンチでは試合出せオーラ No.1 ！！
18	片山 誠太	下田小	GKが大好きな陽気なガキ大将セイタ。秘めた力を発揮するときが楽しみな男。
19	松本 千晶	下田小	おてんばだけど、クレバーに相手をよく見てプレーしてる。頭脳派なでしこ。
20	飯島 信悟	下田小	ボールを持ったらゴールに向かう。公式戦初出場でゴールを決める、持ってる男！
22	森木 雄士	下田小	ヘトヘトになるまで走りきるこの学年一番のハードワーカー！とにかく走る！
23	山口 紘一郎	下田小	記念誌掲載締切りぎりぎり滑り込んできた。見た目はおっとりだけど、これからどう覚醒していくか、無限大の成長に期待！



第 56 期 2024 年度卒業予定

チーム紹介 第 56 期生 宮崎 悠輝の母(宮崎京子)より

この度はたちばなキッカーズ 50 周年おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

そんな記念の年に第 56 期の年長児は入会しました。現在、年長児は 1 人ですが 57 期の年中児が増えて幼稚園コンビとして日々頑張っています。

2 人とも 54 期に兄がいるので、負けん気の強さとサッカー大好きな気持ちは小学生のお兄さん達にも負けません！！まだまだ発展途上な 2 人ですが、これから仲間が増えてどんなチームになっていくのかとても楽しみです。

各コーチにおかれましては、お忙しい中熱心にご指導頂きありがとうございます。

56 期はこれから先の長いお付き合いになります。どうぞよろしくお願いします。

メンバー紹介

背番号	氏名	学校	紹介
31	宮崎 悠輝	プリンス幼稚園	天真爛漫に練習中いつも笑顔でボールを追っています。周りがどんな状況であろうと我関せず、自由人ユウキ。今後が楽しみ。
32	村田 航明	プリンス幼稚園	年中で入会したばかりで体は小さいけど、ボールタッチのセンスは抜群。まじめにサッカーに取り組む、小さな巨人カズ。



現役コーチから 50 周年に寄せて

U12 コーチ 徳永 佳則

たちばなキッカーズにお世話になってから早や 17 年が過ぎようとしています。こんなに長くたちばなのコーチをさせていただけるとは思っていませんでした。たちばな 50 周年ということで、ちょうど 10 年前の 40 期が私の次男の学年でしたので懐かしの 40 期の卒団アルバムを引っ張り出して眺めておりました。

最終ページに、当時私が父母の代表として、また、たちばなのコーチとして記載させていただきました、たちばなキッカーズへの感謝のことばと卒団する彼らへのメッセージを恥ずかしながら、以下にそのまま掲載させていただき、今も変わらぬたちばなキッカーズへの感謝のことばとさせていただきます。10 年前のメッセージにも、先日のロシア W 杯で日本代表の監督を務めた西野監督や、今はバラエティで活躍中のあの人も登場しています。



記

きみたちが生まれた 1996 年は、橋本内閣が発足、米国では民主党のクリントン大統領が再選を果たし、巷ではプリクラ、ルーズソックス、ポケモンゲーム、たまごっち、O157 などが流行した年でした。

スポーツでは、長嶋ジャイアンツが「メイクドラマ」の大逆転でリーグ優勝、イチローを擁するオリックスが日本シリーズを制し、野茂英雄がメジャーリーグでノーヒットノーラン達成、有森裕子がオリンピックマラソンで銅メダル、「自分をほめてあげたい」という名言を残しました。サッカーでは、鹿島アントラーズが J リーグ優勝、三浦カズのヴェルディ川崎が天皇杯を制しました。

それに加え、日本のサッカー界にとっては世界に衝撃を与えた事件があった年でもありました。アトランタオリンピックで世界の強豪ブラジルから歴史的な初勝利を挙げた「マイアミの奇跡」です。当時のブラジルオリンピック代表チームは、ロナウド、リバウド、ロベルト・カルロス、ベベット、ジエダといったそうそうたるメンバーで史上最強と謳われました。対する日本オリンピック代表チームは、先のクラブワールドカップで世界 3 位となった現ガンバ大阪監督の西野朗監督が率いる、中田英寿、前園真聖、川口能活、城彰二、伊藤輝悦、服部年宏らを擁する好チームでした。

世界最強の攻撃陣が日本のゴールマウスに猛然と襲い掛かり、シュートの雨を降らせました。しかし、日本のゴールキーパー・川口能活が神がかりのセービングを連発。ブラジルのシュートのうち数本はゴールポストを直撃するなど、日本には運も味方し、ブラジルはじわじわと追いつめられていきました。

ブラジルの選手たちに疲労の色が見え始めた後半 27 分、左サイドにいたウイングバック・路木龍次が、ブラジルのディフェンスラインとゴールキーパーの間のスペースを目掛け、山なりのボールを放り込んだ。そのボールを狙って、フォワード・城彰二が逆サイドからゴール前に走り込む。それに気づいたブラジルのディフェンダー・アウダイールが城のチェックに向かったその時、ボールをキャッチしようとして飛び出したブラジル GK・ジエダと激突。ゴールに向かって転がったボールにボランチの伊東輝悦

が走り込み、そのままゴールマウスに押し込んだ。

まさかの失点に焦るブラジルはその後もう一方的に攻め続けるものの、川口を中心とした日本のディフェンス陣が最後までこれを凌ぎきり、日本が1－0でブラジルから歴史的な勝利を挙げました。

このときの日本チームのように、きみたちのチームも優れた個性が集まった、チームワークのよい、たちばな史上に残る好チームでしたね。港北区大会の3連覇を筆頭に駒林杯やすみれ杯と多くの優勝をたちばなの歴史に書き加えてくれました。でも、これらの多くの勝利はきみたちだけの力で成し遂げられたものではありません。そこには、監督、コーチ、OB、仲間や家族の助けがあって達成できたことを忘れないでください。勝利ばかりではなく、全く勝てなくて悩んだ時期もありましたね。この悔しかった経験も含め、たちばなの仲間と過ごした6年間はきみたちがたちばなから授かった宝物です。共に戦い、いっしょに泣いて笑った仲間、先輩や後輩たちとの絆をこれからも大切にしていってください。悩んだとき、壁にぶつかったときは、この仲間たちの笑顔を思い出してください。きっと前に進む力を与えてくれると思います。

コーチの皆様、たちばなの先輩や後輩、そして仲間たち、6年間ありがとうございました。

U12 コーチ 関谷 健

創立 50 周年、おめでとうございます。

愚息がチームでお世話になっていたことから、4 年前に宍戸代表から声を掛けて頂きました。

伝統あるたちばなキッカーズにコーチとして参加させて頂けていることを光栄に思い、又感謝しています。

型にはめる指導ではなく、子供達の自主性を重んじた指導方針に多くの方が共感し、

50 年という長い歴史を築き上げてこられた、各時代の監督、コーチ、保護者の皆様には心から敬意を表したいと思います。

たちばな記念誌の新聞記事の中に、「何度も失敗するうちに子供は本能で悟る」と曾田元監督の指導理念が書かれていました。自由なプレーの中で子供が自分で考え、何度も失敗を繰り返していく中で、もっとこうした方が良いかなと気付くことができるよう、コーチとして少し子供たちの背中を押してあげることができればと思っています。

時代時代の特徴があると思いますが、真剣に相手と競い、最後まで諦めずボールを追って素晴らしいプレーを見せてくれる子供たちの姿は、本当に感動します。またどんなに疲れていてもサッカーをやりたい時の子供たちの顔は本当に生き生きとしています。

子供たちにとって簡単にできないことが沢山ありますが、諦めず努力を続けていくことで、もっと大きなゴールにたどり着いてほしいと願っています。

これからも子供たちが生き生きとボールを追いかけている姿が見られるよう、微力ながらお手伝いさせて頂ければと思います。



U12 コーチ 福富 厚太

創立 50 周年おめでとうございます。

半世紀の節目を迎えた、たちばなキッカーズの歴史の重みを改めて感じております。ここに至るまでには、主役の子供たちはもちろんのこと、監督、コーチ、ご父兄のただならぬご尽力とチームへの想いがあったからこそ、そのご苦勞に対し心より敬意を表します。

私は、コーチとしてお世話になってから 4 年目の若輩者ですが、子供たちが自ら考えチャレンジし、上手くいっても上手くいなくても、そこから学び成長する姿を何度も見てきました。春にできなかったことが秋には自分の武器になっていることも多く、そうしたシーンを目の当たりにできることが大変嬉しく、またコーチの機会をいただいていることに感謝しております。

これからも子供たちと触れ合いながら、共に成長していきたいと思っております。

たちばなキッカーズが、子供中心のサッカークラブとしてますます繁栄していくことを祈念しております。



U12 コーチ 浦川 隆文

たちばなキッカーズ創立 50 周年、おめでとうございます。この記念すべき日に現役コーチでいれること嬉しく幸せに思います。

たちばなとの出会いは、長男（現在高 1）と次男（現在小 6）が所属したのがきっかけで、2014 年 8 月の夏合宿 BBQ 時に（菊田 U8 ヘッドコーチの推薦もあって）穴戸代表・三木監督に「コーチやらないかあ〜」と声をかけられ、2015 年 4 月から LL（現在の U10）のコーチ生活が始まりました。サッカー経験は小・中学生時代しかなかったものの、LL 時代は大谷ヘッドコーチに指導いただき、試合に勝った負けたと喜んだり悔しい思いをしながら、選手たちと一緒にサッカー楽しみました。U12 になると、選手たちは個々のテクニックも上達し、練習で戦術的なことも取り入れ、試合ではコーチはフォーメーションとポジションを決めるだけ、選手たちの判断で状況に応じた戦いをする大人のサッカーを見せてくれます。ゴールが決まったときみんなで祝福する姿大好きです（ベンチにも来てほしいなあ〜）。

これからも、子どもたちがサッカーを楽しみ、指導するコーチや関係者も楽しい、地域に根ざした、たちばなキッカーズであり続けてください。



U12 コーチ 川村 亮介

たちばなキッカーズ、50 周年おめでとうございます。

2018 年ロシア W 杯と同じ年に 50 周年を迎え、現役コーチとしてチームに携われた事は大変有り難く感じます。

私がコーチになったのは息子が小学 3 年生の時、親子で一緒にサッカーを楽しみたいという思いからでした。ところが、コーチとして携わっていく中で、この年代の子供達にサッカーを楽しませるには何をすれば良いのか、何を伝えれば良いのか、苦悩を感じたことは記憶に新しいです。

子供達はサッカーを通じて、「頑張る力」「チームワークの大切さ」などを少しでも習得出来たら、次



のステージに上がった時に人生を切り開いて行ける力として備えられるのではないかと思います。

今現在も、現役コーチとしての関わり方には難しさを感じることもあります・・・

そんな中でも、子供達と一緒にサッカーが出来る貴重な時間を過ごせる事には、日頃より大変喜びを感じております。

「子供が主役」ということを大切に、子供たちにとって良い環境づくりを心掛けながら、地域の方々・OBの方々・保護者に見守られている環境に感謝の気持ちを忘れず、子供たちとサッカーを楽しみたいと思っております。

たちばなキッカーズが 60、70、80・・・周年を迎えられる事と、チームの発展を心から願っております。

U10 コーチ(ヘッド) 大谷 稔

創立 50 周年！おめでとうございます。歴史ある少年サッカーチームに微力ながらお手伝いできることをいつも光榮に思っております。

半世紀にわたり時代に左右されず、歴史を刻み続けることができるのは「子どもが主役」という言葉に象徴される指導方針がクラブ内で浸透し、また地域に受け入れられていることによるものなのでしょう。

白熱した試合、目先の勝負にこだわりたい気持ちもあるでしょう。多くの主役である子どもたちのため、脇役の一人として今後も貢献していきたいと思います。



U10 コーチ 吉武 誠吾

たちばなキッカーズ 50 周年 おめでとうございます。

思えば息子が小学校入学と同時に、たちばなキッカーズに入団しサッカーが好きになり中学・高校とサッカーを続け沢山の友達もでき、今でもサッカー好きです。

私も息子の入団をキッカケにコーチとしてお手伝いさせていただき 14、5 年 たちばなキッカーズにお世話になっております。

今も、昔も子供達が笑顔でボールを追いかけて走り回る姿は変わらないと思います。

これから先も、たちばなキッカーズの『子供が主役』を基本として子供達が楽しく、のびのびとサッカーが出来る様に非力ながらお手伝い出来ればと思います。



U10 コーチ(B ヘッド) 八瀬尾 大輔

私がたちばなに”コーチ”としてお手伝いをさせて頂くようになったのは、息子が小学校 4 年生になった 2014 年。低学年の頃になかなか学校生活に馴染めなかった息子が 2 年生の終わり頃にたちばなに加わってから、たちばなの仲間、コーチ、保護者の方々に囲まれ、いきいきとサッカーや学校生活を楽しむようになっていく姿をみて、自分自身の地域コミュニティへの関わり方や、自分でできるたちばなへの恩返しを考えていた頃でした。

学生時代は別のスポーツに熱中していたものの、サッカーはまったくの素人。“コーチ”と呼ばれると正直、今でも背中がむず痒くなりますが、そんな私が子供たちに何を“コーチ”できるのか？というのを考えながら毎週末グラウンドに向かっています。

たちばなの活動に参加している子供たちの思いは十人十色、サッカーが得意、不得意な子、自己表現が上手、不得意な子と色々な子供もいるでしょうが、とにかくにも週末になればいろいろな子供たちが下田小に集まってサッカーを楽しみ、数年の後にはサッカーの上達には限らない何かを得て次のステージに進むという育ちの手助けをしていければな、と思います。

時代の流れや社会の変化により子供たち、保護者たち、学校を取り巻く環境は大きく変わってきており、その中でいわゆるサッカー少年団の形やルールは多少なりとも変わっていかざるをえない局面もあるでしょう。そんな時こそ“子供たちが主役”というたちばなの理念を忘れずにいきたいものです。逆にいえば、その理念が諸先輩方により脈々と引き継がれてきたからこそ今回の 50 周年という節目を迎えられたのかと思いますので、この想いを胸に私自身も地域の良きおじさんとして、たちばなの活動に引き続き加わらせて頂きたいと思います。

これからもよろしくお願いします。



U10 コーチ 浦崎 鉄平

創立 50 周年、本当におめでとうございます。

私は、長男が 4 年生であった 2015 年度からコーチを務めさせていただいています。

私自身は学生時代からサッカーに魅了され、競技するのも観戦するのもこの上ない楽しみとしてきたサッカーおたくです。なので、つつい自分が叶えなかった理想を、この年代にはこれ位は、との固定観念を持てしまいコーチになる前は厳しい要求を我が子にしていたことを思い出します。

昨年その長男も 49 期生として無事卒団しましたが、継続的に関わらせていただいたおかげもあり、子どもたちに体と心の急激なカーブの成長があることも、個々の成長に合わせた言葉や練習方法を選ぶこと（教えること）が難しいことも経験させていただきました。つまり、コーチが子どもたちの長期的な成長に寄り添う大切さを教えてもらいました。また、指導方針である「大人ではなく、子どもたちが自分たちで楽しめるサッカー」という言葉を噛み締め、周りのコーチの皆様にもご指導いただきながら、たくさんの反省とともに、私自身も楽しんで続けることが出来ました。

このようにコーチも成長し楽しむことができるように、子どもたちの成長とサッカーに関わったみんな（子供たち、保護者の皆様、コーチ）が公式戦で負けた悔しさや、勝ったときの喜びを分かち合って、思いっきり楽しむことができるのが、たちばなキッカーズの素晴らしさだと思います。この「楽しむ」という伝統を作った先輩方に感謝しつつ、今後も一員として、現在 3 年生の次男とともに微力ながらこの伝統を紡いでいきたいと思っています。



U10 コーチ 山田 倫之

創立 50 周年おめでとうございます。

今、私は 何故サッカーをやっているのか、そしてそれを楽しみ生活の一部になっているのか

小学生の頃の私からは考えられませんでした。

私の子供時代はまさに ON 時代で野球全盛、 周りにサッカーをやる子は一人もおらず、将来の夢はプロ野球選手。ボールを投げる捕るは得意だが、蹴るのは不得意。

そんな私が今歴史あるたちばなキッカーズでコーチをしていることに、とても驚きを感じています。

東京から横浜へ引越してきて、まだ右も左もわからない時に、子供がやっとサッカーをやりたいと言い、いろいろと探して見つけたのが、たちばなキッカーズでした。他にもサッカーチームはありましたが、ホームページが素晴らしく、知りたいことが全て書かれていてしっかりとしたチーム運営がされているのだろうと思いました。

体験に行った時も、即決で「このチームでやる」と息子。となり町で知っている子はいないのに、直ぐに仲良くなり良い雰囲気を感じ、やる気になったのだと思います。そんな子供達のサッカーを見学しているうちに、何故か知らぬ間に私もコーチになっていました。(人生ってわからない！)

技術もなく戦術もわからず、只々サッカーをやるのが好きなコーチではありますが、子供たちには、いつまでもサッカーを楽しめるよう、サッカーを続けることで友達が増えるよう、年をとってもサッカーのある生活、そんな人生を息子や子供達にも歩んでもらえたら良いなと思いつつ教えていければと思っています。

また、その子供達がいつかたちばなのコーチとして戻ってきて、たちばなのサッカーを継承していくことで、さらに歴史を刻んでいければ最高ですね。

その歴史のほんの一瞬ではありますが、関わっていることを皆さんと一緒に喜びたいと思います。



U10 コーチ 吉田 泰介

たちばなキッカーズ創立 50 周年、誠におめでとうございます。半世紀に亘るチームの歴史の記念すべき節目に、現役コーチとして立会えることを大変嬉しく思います。これまでチームを支えて下さった父兄、OB、地域の皆様に深く敬意を表します。

吉田家のたちばなキッカーズとの出会いは、2017 年 1 月。プリンス幼稚園の「餅つき大会」で、あるお母さんから「一度見学に来たら?」とお誘い頂いたことから始まりました。私自身、幼稚園から高校生までサッカー漬けの日々を送っていましたが、20 年以上ボールを蹴っていませんでした。初めて練習を見学に行ったその日、子供達が“自由”に“のびのびと”サッカーを楽しんでいる姿を見て、とてもワクワクさせられ、昔懐かしい光景に映ったことをよく覚えています。あれから 1 年余り、今では長男・次男もすっかり「たちばなっ子」。私もコーチのお声掛けを頂き、妻と共に微力ながらチーム運営に携わらせて頂いております。

コーチとして私が大切にしたいと思っていることは「子供達がサッカーの楽しさに気づく手助けをすること」、そして「サッカーを通じて、“サッカー以外の世界でも共通して大切なこと”を学んでもらうこと」です。楽しむ事と勝つ事のジレンマは永遠のテーマとして議論されますが、子供達が寝ても覚めても「サッカーがやりたくて仕方がない!!!」という気持ちになる後押しができれば最高です!!! 物事に夢



中で取組んで、その過程で得た達成感（時には悔しい思い）が、今後の彼らの成長の一助になれば、嬉しく思います。

試合に勝った、負けたと皆で一喜一憂したり、チーム運営や指導方針の話に花を咲かせたり、私自身もチームの一員として楽しませて頂いております。クラブチーム全盛のこのご時世、地域に根ざし、地域の皆に支えられているたちばなキッカーズは、とても稀有な存在だと思います。先輩方が積重ねてこられた歴史と伝統を受継ぎ、微力ながらチームの為、子供達の為に尽くして参ります。

U10 コーチ 荒井 信次

私は多少ではありますが、学生時代や社会人(草サッカー)の時にサッカーを経験しておりました。サッカーがとても好きだったので子供が産まれたらサッカーをやらせたい、一緒にプレーしたいという思いがずっと昔からありました。息子が、運よくサッカーに興味をもって来て、小学生に入ったらどこのチームに所属するか、いくつかのチームで入会体験して、たちばなに入会を決めました。決めた理由は、当初 SL(U8)メンバー所属は小学生が3人、幼稚園生が1人の計4人の少人数に対して、菊田コーチ、森戸コーチが熱心に指導されていたのと、メンバー達が息子にとってもフレンドリーですぐになじんだから、「一緒にボール蹴りましょう」と声をかけて頂き息子とプレーをする機会をもらえたからです。



お父さんコーチは、たぶん皆同じことを思っていると思われますが、人生の中で少しでも子供とサッカーができる限られた時間、成長を目の前にできるのを、貴重に感じていらっしゃるのではないのでしょうか。

新学期を迎えてから次々に入会者が増えて、既定の8人を超えることができたので春の市大会、区大会に参加し衝撃を受けました。サッカーの試合する環境が整っていることです。

Jリーグ100年構想、サッカーの底辺の底上げとはこういうことかと理解しました。

サッカーのマナー、主審、副審の講習、ファインプレーの徹底など、過去私がサッカーをしていた時とは異次元の世界でした。

特にたちばなのコーチ陣の子供たちに教える姿勢は目先の勝敗だけでなく、個人技、マナーの取得を優先していて、たいへん共感を得ます。

他のチームでは、勝利を優先して子供たちに威圧的な罵倒をして白星をとりに行くチームも少なくなく、その試合には、勝てたかもしれないけど、今後のサッカー人生でサッカーの本質を学べているか、疑問を感じえます。負けには負けの、失敗から学ぶことは多々あります。

今後の子供たちのサッカーの為に楽しさや個人技術取得に徹する姿勢で運営されている

たちばなは、サッカーの良さを子供たちが学べる素晴らしい環境のチームだと思います。

とてもうらやましい限りです。

これからも子供達にサッカーの素晴らしさを理解してもらえるように微力ながらコーチとして貢献できたら幸いです。

U10 コーチ 竹内 周平

たちばなキッカーズ 50 周年記念おめでとうございます。

50 周年記念という節目の年に娘の入団と共に U10 のコーチとしてたちばなキッカーズに携わらせて頂き大変嬉しく思います。

今後のたちばなの更なる活躍と、サッカーというスポーツを通じて地域の子供達の成長を見守ってきた歴史あるチームの活動に微力ながら力添えが出来ればと思います。

いつの日か、日の丸を背負い W 杯で活躍する選手がたちばなから育つ事を願っております。



U10 コーチ 河本 尚徳

創立 50 周年おめでとうございます！

歴史のある偉大なクラブで息子がお世話になり、コーチとして携わることができて大変光栄に感じております。

恐らく 50 年前と比べて、日本でのサッカーを取り巻く環境は大きく変わっているかと思います。J リーグができてから 25 年。私が今も所属する社会人リーグの底辺からトップの J1 リーグまでのピラミッドが整備され、その頂点からはアジア、そして世界を目指せる環境が整いました。

世界で一番競技人口が多いスポーツは、50 年前は恐らく野球であっただろう、日本で子供の競技人口が最も多いスポーツとなりました。それに比例して、J の下部組織をはじめたくさんのクラブチームが設立され、少年サッカーも非常に競争力の高い現場になってきました。公式試合では勝利至上主義も同じように浸透してきているのも目の当たりにします。その中でたちばなキッカーズが追い求めるのは 50 年前と変わらぬ「子供が主役のエンジョイサッカー」です。

サッカー好きな人なら誰でも共感できる、普遍的な価値がここにあります。子供のやる気をいかに刺激して、変化を遂げていく姿をこれからも楽しみに見守っていきたいと思います。



U8 コーチ(ヘッド) 菊田 淳

たちばなにコーチとして関わるようになったのは、ちょうど 10 年前の創立 40 周年の頃です。息子が 1 年生で友達に誘われて入会して練習の送り迎えや試合の車出しなどしていたときに手代木コーチに誘っていただいたのがきっかけでした。私自身も小学一年のときに埼玉県でサッカーを始めたのですが、その頃は小学生のスポーツといえば野球が第一で市内にサッカーチームは一つしかなく、たまに試合といえば他の市に行かなければ試合相手がいないようなことでしたが、それよりも古い、私が生まれるよりも前にチームが創立していたと知りとても驚いたことを憶えています。

創立 45 周年にこどもの国で記念大会を開催した頃には、ホームページをいまのブログ形式でリニューアルしました。それ以前には小林コーチがホームページ運営を一手に引き受けていただいていたのですが、コーチ全員で更新して行くことにして、それ以来、試合やイベントの後にはコーチの方々に記憶を振り絞って熱いレポートを投稿していただいています。



息子が卒業したあと SL のコーチとしてチームに居残って創立 50 周年を迎えることになり、コーチとして 10 年。初めて SL で受け持った年代が今はもう 6 年生になりました。1、2 年生で受け持った子供たちが上の年代に上がってプレーする彼らの成長していく姿を見ると、とてもうれしく、驚かされます。SL の頃、ボールから遠い場所でぼんやり仲間を眺めていたような子が、2、3 年後には、大きな声で周りに指示をだして、出足よくボールに向かっていく姿を見ると、子どもの成長していく力を感じます。

これまで大した指導も出来ず、まわりのコーチの皆さんや子供たちからたくさんのことを教えていただけてきました。これからもたちばなの方針どおり子どもたちを型にはめず、というか型にはめるほどの知識も考えもないので、子供たちがサッカーを楽しんでプレーできる環境を作って行くお手伝いを続けていくことができればと思っています。

U8 コーチ 森戸 ゆかり

私がコーチ（の手伝い）をやらせて頂くことになった経緯は、恐らく多くのコーチ達とは全く異なる形だったのではないかと思います。

中学の頃ソフトボールをやっていた私はサッカー経験は全くなく、それでも元々身体を動かすことと、子供と一緒に遊ぶことが大好きだった（と言うと好感度が高いですが、単純に子供目線の遊びが好きなので）ので、我が子がサッカーを始め、その様子を毎週末グラウンドで観ているうちに、あまりに子供達が楽しそうにボールを蹴るのでじっとしていられず、シュート練習で外れたボールを追っかけていたら、当時 L のコーチだった大谷コーチや徳永コーチに「森戸さん、やりたいなら一緒に練習する？」と声をかけてもらい、それから次男が卒業するまでの約 1 年半は子供達と一緒に練習をするようになり、サッカーの楽しさにドハマリしてしまいました。そして我が子の卒団と同時に私もたちばなを離れたのですが、半年経って懐かしくなって立ち寄ったグラウンドで、「森戸さん何してるの、また練習しにおいでよ」と数名のコーチから声をかけられ、私だけ残留して 5、6 年生とまた練習をするようになった訳ですが、そんな中、当時 SL を担当していた手代木コーチや小林コーチから、「コーチがショートなので SL の手伝いをしてほしい」と頼まれ、実はまだまだ L で練習をしていたかったのですが、こんな変わったお母さんを受け入れてくださったチームと子供達への恩返しの意味も含め、練習からお手伝いに切り替え、現在に至っています。



以前、上のクラスのコーチに「SL 年代ではどんなサッカーをすればいいのか」聞いたことがあります。そのコーチは、「とにかくサッカーが楽しいってことを教えてくれればいいよ。技術的なことは上のクラスに上がってから教えるから。」と言われました。私が思うたちばなキッカーズの素敵なところは、たとえサッカーに興味がなく始めていた子供がいたとしても、みんなでやるサッカーの楽しさを分け隔てなく教えてくれるサッカーフリークなコーチがいることと、自由に動き回っていただけの子供が卒業する頃にはちゃんとサッカーをして、仲間と笑ったり時には泣いたりしているところです。No Tachibana, No Life. そんなたちばなキッカーズが私は大好きですし、これからも子供達と一緒に遊びながらお手伝いをしていけたら嬉しいです。

U8 コーチ 三枝 昌樹

創立 50 周年おめでとうございます。

息子が 49 期生として 6 年間お世話になり、私自身もコーチとして、ほぼ 6 年間お世話になりました。6 年間を通じて 1 番の思い出は、やはり 2017 年秋の港北区大会で準優勝した事です。

6 年間の公式戦で、1 回しか予選リーグを通過できなかったチームが、あれよあれよと決勝戦まで進みました。予選リーグでは、港北区の強豪チーム



に圧勝続きの快進撃。準決勝では、延長戦まで戦い一進一退の攻防の末、スコアレスドロー。

そして、緊張の PK 戦を制し、見事決勝進出！

あの PK 戦で勝利した瞬間は、選手・コーチ・観戦に来ていた親兄弟姉妹も含め、大興奮の最高の瞬間でした。決勝では残念ながら負けてしまいましたが、最終学年でこんな素晴らしい結果が待っているとは、夢にも思いませんでした。

さて、そんな経験を通じて私が学んだ事は、「まちがいなく子供は成長する」という事です。49 期生を 6 年間指導してきて、つくづく思いました。

うまくボールを操れなかった子達が、見事にボールを操れるようになるんです。ちょっとボールが当たって泣いていた子達が、恐れずにヘディングしたり、シュートブロックに飛び込んでいくんです。ずーっと公式戦で予選リーグ敗退を繰り返してきた子達が、港北区大会で準優勝しちゃうんです。

これから先も、サッカーを続けている限り、もっともっと上手くなっていくと思います。

現在私は、U8 のコーチを担当させてもらっています。U8 では、初めてサッカーに出会う子達ばかりです。そして、初めてサッカーをする我が子を目にする親御さん達も多くいます。この子供達と親御さん達に対して、私の経験を少しでも伝えられたらなと思っています。

サッカーを一緒に楽しもう。

今は上手いかわなくて大丈夫。

親御さん達は見守っていてね。

そうすれば、きっと素晴らしい未来が待っているから。

U8 コーチ 宮崎 達夫

創立 50 周年おめでとうございます。

週末は予定のない日が多かったため、昨年度に入会した長男の練習を見に行き、練習や試合のお手伝いをさせていただくうちに、気付けばコーチになっていました。

私は小中高とサッカーをやっていましたが、技術が全く身につかなかった（教えて貰った記憶がない）ため、子供たちに教える事ができるように、また自分がサッカーやフットサルをより楽しむ事ができるように勉強・練習しています。自分ができなかった事もあって、これまでは子供達の技術や身体能力を向上させる事を考えてコーチをしていました。しかし、息子を含む U8 の子供達を教えるなかで、サッカーを楽しんでもらう事、サッカーを好きになってもらう事の方が大切なのだと気付きました。そして、これがとても難しく試行錯誤中です。

まだ駆け出しコーチですが、子供達の成長のお手伝いをさせていただき、その成長を楽しみながら、自分自身も成長していきたいと思っています。

また、大会や合宿その他イベントの準備や調整、組織の運営等、表に見えない重要な部分を 50 年間も担って来られた先輩方・関係者の方々に敬意を表するとともに、私もお役に立てるよう励んでいきます。



たちばなキッカーズ これから世代の写真集

横浜市大会、港北区大会、他







GP カップ



冬は霜が溶けて泥んこなんだよね
ブタメン美味いね～

富士緑の休暇村 夏期合宿



スイカがうまいぜ





本気の勝負でプレーする選手達
公式戦より真剣なのはどうしてだ！？

たちばな杯



サッカーした後の豚汁がうまい
数年前からサンタも登場！！



お別れ会



40 周年記念大会@下田小学校



45 周年記念大会@こどもの国

50 周年記念大会@下田小学校



たちばな年間スケジュール

近年の主な活動スケジュールです。

春と秋の公式戦、例年招待していただいているカップ戦に参加しています。年度末は、多くの卒業杯に招待いただいています。夏期合宿と年末のたちばな杯は選手・コーチの楽しいイベントです。

月	公式試合、主要試合	たちばな行事
4 月	JFA U12 サッカーリーグ前期 兼横浜市春季少年サッカー大会 (U12) 横浜市春季少年サッカー大会 (U10)	新入部員募集 (3 月より) ポスター貼り、入学式のビラ配り
5 月	横浜市春季少年サッカー大会 (U8)	たちばな総会
6 月	港北区サッカー協会大会 (U12、U10、U8)	合宿説明会
7 月	GP カップ (2 年生 1 年生)	夏休み早朝練習
8 月	港北区 U11 サッカー大会	夏期合宿
9 月	JFA U12 サッカーリーグ後期 兼国際チビッ子サッカー大会 (U12) 三ツ池大会 (U12)	
10 月	横浜国際チビッ子サッカー大会 (U10、U8)	
11 月	港北区民サッカー大会 (U12、U10、U8) 全日本少年サッカー大会神奈川県予選 (U12) (JFA U12 サッカーリーグ後期の結果で 42 チームのみ参加)	
12 月	明治杯 (U10)	たちばな杯
1 月	横浜少年サッカー大会 (市長杯) (5 年生、4 年生) 神奈川県少年サッカー選手権大会 (U12、U10) GP カップ (2 年生、1 年生)	
2 月	港北区 U9 サッカー大会 山王谷杯/山王谷スーパーカップ (U8)	たちばなキッカーズ卒団杯 (6 年生)
3 月	卒業生招待試合 (6 年生)	お別れ会 新背番号発表



たちばな杯

毎年12月、たちばな杯を実施しています。現在では、U12、U10、U8それぞれでチーム分けを行い、各チームキャプテンを中心に子ども主体に考え、戦術を組み立て、夏の合宿の班対抗に勝るとも劣らない熱い戦いがくり広げられています。また、試合の合間には親子サッカーを楽しみ、OB・コーチ達も空いている時間にごちゃ混ぜにしてサッカーを楽しみます。

お昼は、温かい豚汁、フランクフルトをお腹一杯食べます。特に豚汁はおいしいと評判で、おかわり3杯位食べる子どももいます。



楽しい夏期合宿

毎年、8月の第1週に、富士緑の休暇村(山梨県南都留郡鳴沢村)で3泊4日のスケジュールで合宿を実施しています。1973年(昭和48年)に島根県大社町で初めての合宿を行ない、その後、1975年(昭和50年)から、ほぼ一貫して富士緑の休暇村で合宿を行っており、たちばなの年間行事の中では最大のイベントです。以下に現在の合宿の様子をまとめてみました。

1. 夏期合宿の目的

サッカーの技術向上、体力強化を目指した強化合宿ではない。即ち、きたえるのではなく、楽しむ事を主目的とした合宿である。楽しみの中で以下の様な取組をする。

- ⚽ 子供達が主体であり、出来るだけ子供達の自主性を尊重する。
- ⚽ 学校の修学旅行とは異なり、縦割りの班に分け、学年とは関係無く楽しむ。
- ⚽ 低学年の子は高学年の子から学ぶ、高学年の子は低学年の子の面倒を見る。
- ⚽ スポーツテストを実施し、たちばな記録更新を目指す。

早朝散歩 富士山の前で記念写真



2. 主要行事

合宿での主要スケジュールを下記表に示した。主要行事は以下の通りである。

⚽ 班対抗戦

- 3年生から6年生をまとめて4～6班に分けて班対抗戦(リーグ戦)を行う。
- 合宿の最大のイベントであり、2日間で実施する。
- 各班のキャプテンと副キャプテンはU12のコーチが指導力を考慮して選出する。尚、各班のメンバーはドラフト方式でキャプテン/副キャプテンが選ぶ。
- 勝ち点方式で順位を付ける。勝点は、勝ち2点、引分け1点、負け0点。
- 各試合の内容で、最優秀選手賞、MIP、敢闘賞、殊勲賞、等の各賞を決める。

⚽ スポーツテスト

- 到着した日の午後に実施する。
- 内容は以下の5種目。(2回実施し、良い方を記録)。各種目のポイントの合計で順位を決定し、たちばな記録更新を目指す。
 - ① リフティング
ボールリフティングの連続回数を計測。体のどの部位を使っても良い。
 - ② 30m 走
30mの直線距離を走るタイムを計測。
 - ③ ドリブル
ボールを1.5mの間隔で10本立て、1本目のボールから5mの位置からスタートして、ジグザグドリブルで往復するタイムを計測。
 - ④ スローイン
スローインのボールの飛距離を計測。
 - ⑤ プレスキック
15～20度の角度の範囲内で、プレスキックのボールの飛距離を計測。

⚽ 早朝散歩／ラジオ体操

- 毎朝06時20分頃から約30分間、ラジオ体操、もしくは、各班別に早朝の散歩を実施する。



⚽ 昼休み

- 14時までは外に出ないで各部屋で昼寝をする。

⚽ 夜の練習

- 初日の夜はナイターでミニサッカーを楽しむ。又は、視聴覚室で講義を実施。
- 2日目以降はオーバーワークになる為、夜の練習は中止する。

⚽ お楽しみ会

- 3日目の夜にキャンプファイヤー等を実施する。
- 子供達が班毎に考え出した（合宿前に、朝練の後などに各班ごとに何日も練習？）歌、ダンス、クイズ、お笑い、ゲーム等を披露。コーチも余興を行うが受けているかどうかは不明。
- 各班の内容を採点し、得点を付ける。

⚽ バーベキュー

- 2日目もしくは3日目の昼にバーベキューを食べる。
- コーチはホスト役に徹し、ひたすら焼く。
- やはり子ども達に肉は大人気。



⚽ グッドマナー

- 合宿期間中の各班のマナーを採点し、得点を付ける。
- 主要チェック項目は、部屋の整理／整頓、バス中での態度、集合時間厳守、就寝時間厳守、食後の後片づけ、配布物の管理、等とする。

⚽ 総合成績

- 班対抗戦、グッドマナー、お楽しみ会、の得点を合計して総合成績を決定する。

⚽ 氷穴

- 6年生は合宿最終日にコーチにつれられ“氷穴”へ、氷穴で涼んだ後は、コーチにソフトクリームを奢ってもらい、更に涼む。

⚽ その他

- あいている時間に父母/コーチと子供の試合等で楽しむ。



夏期合宿スケジュール

第1日目	第2日目	第3日目	第4日目
07:10 下田小集合	06:00 起床 06:20 ラジオ体操 たちばなの歌 07:00 朝食	06:00 起床 06:20 散歩 07:00 朝食	06:00 起床 06:20 散歩 07:00 朝食
08:00 出発	08:30 グランド集合	08:30 グランド集合	08:30 グランド集合 6年生は氷穴へ
09:00 サービスエリアで 休憩	09:00 班対抗戦開始 AMに2-3試合 その後、親子サッカー等	09:00 班対抗戦開始 AMに2-3試合 その後、親子サッカー等	09:00 対外試合、 親子サッカー等
11:00 緑の休暇村到着			11:00 お風呂
12:00 昼食 休憩(昼寝)	12:00 昼食、後片付け	12:00 昼食 (バーベキュー) 休憩(昼寝)	12:00 昼食 12:30 成績発表 表彰式 13:30 自由時間
14:00 グランド集合 スポーツテスト 実施	14:00 班対抗戦開始 PMに2-3試合 その後、親子サッカー等	14:00 班対抗戦開始 PMに2-3試合 その後、親子サッカー等	14:30 出発
17:00 スポーツテスト 終了	17:00 練習終了 お風呂	17:00 練習終了 お風呂	サービスエリアで休憩
18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 下田小到着 解散帰宅
19:00 ミニサッカー (体育館)、又は 視聴覚室で講義	19:00 お風呂	19:00 お楽しみ会	
21:00 お風呂		21:00 お風呂	
21:30 就寝時刻	21:00 就寝時刻	21:30 就寝時刻	

合宿の変遷

回	年	GM	トピックス
0	1973	曾田 弘治	昭和 48 年に初めての合宿を実施。曾田監督の故郷の島根に 5、6 年生を約 1 週間連れて行った。
1	1975	佐野 仁	この年から「緑の休暇村」を使用した第 1 回合宿スタート。 あざみ野 FC の村上源也さんの紹介によるもので、この時から 3 泊 4 日で実施。
2	1976	佐野 仁	
3	1977	佐野 仁	「セルジオ越後」の指導を受ける。
4	1978	佐野 仁	(1996 年 6 月 コーチ会議議事録「曾田監督からの合宿経緯説明」より) ・富士合宿と言えば「佐野コーチ」。1976～1991 年までメインで担当。 1992 年 1 月 11 日他界。 ・1 度だけ人数が少なく 2 泊 3 日があったが、短すぎて不満が残ったため 3 泊 4 日に戻した。 ・早朝練習もやったことがある。鍛えることを主にしたが倒れる子が多く、やはり「鍛えるのではなく楽しむことが主」と言う考えに変えた。 ・今年は「あざみ野」がマリーニョを呼ぶとのことだが、昨年の経験から、このために半日を潰すのは意味がないので今年是不参加とする。 ・飯盒炊飯のカレーは美味しいが、子供達がただ食べるだけでは意味がない。止めても良いのではないか。
5	1979	佐野 仁	
6	1980	佐野 仁	
7	1981	佐野 仁	
8	1982	佐野 仁	
9	1983	佐野 仁	
10	1984	佐野 仁	
11	1985	佐野 仁	
12	1986	佐野 仁	
13	1987	佐野 仁	
14	1988 8/5(金)～8/8(月)	佐野 仁	
15	1989	佐野 仁	
16	1990	佐野 仁	
17	1991 8/3(土)～8/6(火)	佐野 仁	4 班編成。2 回総当たり戦。
18	1992 8/8(土)～8/11(火)	永田 欣也	5 班編成。富士急河口湖ロッジで合宿。 富士緑の休暇村で実施予定であったが、下田小の臨海学校行事(5 年生)と重なり急遽日程変更。
19	1993 8/7(土)～8/10(火)	永田 欣也	6 班編成
20	1994 8/6(土)～8/9(火)	永田 欣也	6 班編成
21	1995 8/5(土)～8/8(火)	永田 欣也	6 班編成。「セルジオ越後」のサッカー教室開催。 初めてお楽しみ会でキャンプファイヤーを実施。その後、定着する。
22	1996 8/2(金)～8/5(月)	宍戸 正人	班分けにドラフト制度を導入。 6 班に分け、各班に 2 名のコーチが付き、初めて班付きお母さん制度を導入。 飯盒炊飯では各班で火起こしをし、自分達の飯盒を炊く。
23	1997 8/2(土)～8/5(火)	宍戸 正人	6 班編成。この年は「あざみ野」とは別日程。
24	1998 8/1(土)～8/4(火)	永田 欣也	5 班編成。この年は、スポーツテストを日本サッカー協会が決めた「スキルテスト」に変更。 合宿終了後、2 泊 3 日に減らすべきでは？という意見がお母さん方から出たが、2 泊にすると合宿内容が制約されることから、今後も 3 泊を継続することとした。

回	年	GM	トピックス
25	1999 7/31(土)～8/3(火)	佐々木 勝幸	5 班編成。この年も「スキルテスト」を実施。 この年から最終日に 6 年生の氷穴見学（田辺コーチのポケットマネー）開始。
26	2000 7/29(土)～8/1(火)	佐々木 勝幸	5 班編成。この年から従来の「スポーツテスト」に戻すことにした。
27	2001 8/11(土)～8/14(火)	佐々木 勝幸	4 班編成で、第 1、第 2 ステージ制。 「あざみ野」と同時期に設定。あざみ野は第 3 グランド。お盆の時期の開催であったが、往復はスムーズだった。
28	2002 8/2(金)～8/5(月)	佐々木 勝幸	4 班編成
29	2003 8/1(金)～8/4(月)	手代木 修	5 班編成
30	2004 7/30(金)～8/2(月)	徳永 佳則	4 班編成
31	2005 8/7(日)～8/10(水)	手代木 修	5 班編成
32	2006 8/3(木)～8/6(日)	手代木 修	5 班編成
33	2007 8/3(金)～8/6(月)	伊藤 直和	5 班編成。6 年生の氷穴見学を正式行事に変更。
34	2008 7/31(木)～8/6(日)	渡辺 邦雄	4 班編成
35	2009 8/6(木)～8/9(日)	手代木 修	5 班編成。班付きお母さんは一旦止めることとした。
36	2010 8/6(金)～8/9(月)	手代木 修	5 班編成 この年から昼の飯盒炊飯を止め、現在のバーベキュー方式に変更。
37	2011 8/4(木)～8/7(日)	大谷 稔	4 班編成
38	2012 8/2(木)～8/5(日)	大谷 稔	4 班編成
39	2013 8/1(木)～8/4(日)	奥 尚仁	4 班編成。この頃からスポーツテスト結果は現地セブンイレブンでのネットプリント印刷に変更。
40	2014 8/7(木)～8/10(日)	窪野 安彦	4 班編成。雨天のためキャンプファイヤー中止。
41	2015 8/6(木)～8/9(日)	八瀬尾 大輔	5 班編成
42	2016 8/4(木)～8/7(日)	八瀬尾 大輔	5 班編成
43	2017 8/3(木)～8/6(日)	浦崎 鉄平	4 班編成
44	2018 8/2(木)～8/5(日)	浦崎 鉄平	4 班編成。閉会式の資料を印刷ではなく、パワーポイントのプレゼン資料で実施。

スポーツテスト記録

たちばなキッカーズでは、1978 年以降、年 1 回夏の合宿時に以下の 5 種類のスポーツテストを実施してきた。

- ① リフティング：ボールリフティングの連続回数を計測。体のどの部位を使っても良い。
- ② 30m 走：30m の直線距離を走るタイムを計測。
- ③ ドリブル：高さ 1.5m のポールを 1.5m の間隔で 10 本立て、1 本目のポールから 5m の位置からスタートして、ジグザグドリブルで往復するタイムを計測。
- ④ スローイン：スローインのボールの飛距離を計測。
- ⑤ プレスキック：15～20 度の角度の範囲内で、プレスキックのボールの飛距離を計測。

それぞれのテストは 2 回行い、良い方の記録を残すことにしている。

次ページ以降に、L（5,6 年生）、LL（3,4 年生）の各年度の平均値と上位者の記録、および平均値の各年度の変化を示した。残念ながら 1982 年度以前と 1988 年度に関しては、上位者の記録が残っていない。また、歴代の最高記録を「たちばな記録」として示している。

このスポーツテストが、夏の合宿における子ども達の目標の 1 つであり、特に「たちばな記録」を更新することは、大きな目標であり、大きな名誉である。いまでも、上位者に送られた楯とメダルを大切にしている OB も少なくないことと思う。

このように長い間行われ、また実際に効果も上げてきたスポーツテストであるが、1990 年後半より、コーチの間から、「よりスキルに重点を置いたテストにしたほうが良いのではないか」という意見が出され、そのようなテストの方法について案を出して検討を加えていた。ちょうどその頃、日本サッカー協会から「スキルテスト」が発表され、検討した結果、1998 年～1999 年の合宿ではこの「スキルテスト」を実施することとした。「スキルテスト」は、ボールリフティング、内通しシュート、ボールコントロール、ドリブル&パス、ターンの種目を点数化し、スキルを判定するテストで、詳細は以下の通り。

- ボールリフティング：3 分間以内で出来た最高連続リフティング回数。
- 内通しシュート：ボードの 2 箇所穴を開け、5m 離れた場所からキックして穴を通す。
- ボールコントロール：サーバーが 5m 離れた場所からボールを山なりに投げ、プレーヤーはショートバウンドでコントロールし、2 タッチでサーバーにパスを返す。
- ドリブル&パス：コーンに沿ってドリブルし、途中で壁にボールをぶつけ、返ってきたボールを再度ゴール地点までドリブルし、そのタイムを競う。
- ターン：決められたコースで、パス・ターン・ドリブルを繰り返し、そのタイムを競う。

その後、2000 年に再度合宿で行う「スポーツテスト」の内容についてコーチ陣で議論を実施、その際、「スキルテストは点数に上限があり、差がつかない。その為、盛り上がり欠ける。」「合宿だけでスキルテストを実施しても意味が無い。普段の練習の中でもっと実施するべき。」「スキルテストでは子供達も盛り上がり欠ける。」等、全体的に以前の「スポーツテスト」に戻す方が良いとの意見が多かったことから、2000 年の合宿より再度、「スポーツテスト」を再開して現在に至っている。

現在でもスポーツテストが、夏の合宿における子ども達の目標の 1 つであり、「たちばな記録」を更新する名誉に向け、毎年子供達は挑戦し続けている。実にたくましい連中である。

スポーツテスト L(5年生、6年生)の記録

年度	人数	平均値					上位者の記録									
		リフティング	30m走	トリアプル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	トリアプル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	トリアプル	スローイン	プレスキック
1978	25	36	5.94	26.60	12.0	23.0									本間	19.7
1979	28	66	5.94	26.61	11.2	21.5								村上	19.70	
1980	36	52	5.78	27.92	10.9	18.4										
1981	45	48	5.76	25.38	11.5	18.9	中野	850								
1982	40	63	5.53	25.28	12.0	22.8										谷嶋
1983	37	32	5.70	24.76	11.5	23.2	河本充	205	辛	5.10	河本充	20.00	佐藤	18.2	鈴木	34.6
							伊藤	189	鈴木	5.10	佐藤	20.80	河本充	17.3	田辺実	32.8
							大村	127	山本	5.10	田中	20.90	田辺実	15.3	内田	30.5
													鈴木	15.3		
1984	36	84	5.61	25.19	11.9	20.0	内田	884	永長	4.91	野里	19.98	小栗	16.3	樺沢	31.2
							野里	347	笠原	5.17	配野	20.00	野里	15.8	仁平	30.3
							田辺義	337	田中	5.21	田中	21.12	田中	15.3	篠原雄	29.2
1985	28	36	5.68	25.50	12.5	22.9	吉村	224	安士	5.17	伊藤	21.00	小栗	19.9	箕輪	31.3
							田辺義	202	大野	5.22	田辺義	21.25	伊藤	16.6	吉村	31.0
							丸山	167	伊藤	5.30	草野	22.45	福谷	15.2	丸山	30.0
1986	32	68	5.70	25.63	12.6	23.0	吉村	392	箕輪	4.98	草野	21.08	伊藤	18.1	箕輪	32.7
							越前	320	伊藤	5.17	室伏	21.92	福谷	17.3	福谷	31.9
							出口	156	海野	5.20	海野	21.97	芳賀	15.9	吉村	31.4
							十河	156								
1987	39	35	5.53	24.50	12.2	22.9	十河	211	青木	4.96	海野	19.95	海野	18.2	秋元	34.6
							横山	105	出口	4.98	出口	20.05	田辺	15.5	田中	33.5
							薄木	91	世良	4.99	薄木	20.53	田島	15.0	海野	33.5
1988	39	102	5.56	23.53	12.3	22.9			秋元洋	4.74	佐々木	18.96			秋元洋	37.7
1989	27	69	5.53	23.50	13.0	25.1	阪本	257	内山	5.06	阪本	19.70	沢田	21.2	吉川	33.3
							今西	225	吉川	5.11	三田	20.00	内田	17.8	沢田	33.0
							佐藤	219	今西	5.13	関	20.30	内山	16.3	今西	32.3
									沢田	5.13			吉川	16.3		
1990	23	59	5.50	24.34	13.7	22.9	上江	388	辻剛	4.97	佐藤	18.66	松永	21.6	秋元純	33.5
							秋元純	309	木津	5.05	木津	20.09	内田	18.4	鈴木	31.9
							関	132	遠藤	5.07	上江	20.92	田賀系	17.2	横山	31.8
													藤本	17.2		
1991	24	28	5.40	27.10	12.5	23.9	木津	178	辻剛	4.58	浜田	20.12	遠藤	18.6	遠藤	37.8
							杉本	97	遠藤	4.62	遠藤	22.23	木津	17.7	藤本	37.0
							池野	64	杉本	4.79	杉本	22.33	藤本	17.4	谷嶋	32.0
1992	25	42	5.47	25.91	11.8	22.7	杉本	216	杉本	4.48	杉本	19.96	谷嶋	18.2	谷嶋	35.0
							池野	109	小関	5.05	谷嶋	20.19	春原	15.2	浦田	31.0
							小田	102	浜田	5.09	箕輪	22.00	中村	14.5	堀口	31.0
1993	23	63	5.77	27.23	10.4	15.4	渡辺	532	九鬼	5.18	菅野	20.00	菅野	13.0	増田	22.3
							松久保	241	九鬼飛	5.20	松久保	22.48	中田	12.7	菅野	21.8
							菅野	109	福間	5.23	中田	22.52	田端	12.7	渡辺	21.0
1994	26	80	5.56	24.30	11.5	19.8	平井	426	篠原	5.07	菅野	18.81	杉山	17.1	菅野	31.1
							菅野	366	菅野	5.08	九鬼士	19.86	菅野	16.6	杉山	29.9
							松久保	265	九鬼飛	5.10	内山	20.22	北島	15.2	福間	25.3
1995	25	92	5.32	23.31	13.6	24.2	小西	423	永田	4.76	小瀬村	17.92	北島	18.5	白石健	33.5
							長尾	406	小瀬村	4.79	横山	20.01	坂川	17.9	長尾	31.8
							松久保	392	昆	4.99	小西	20.31	小西	17.1	小谷	29.1

 は、たちばな記録を示す。

スポーツテスト記録

年度	人数	平均値					上位者の記録									
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック
1996	32	113	5.48	22.49	12.0	22.9	白石健 845	鳥見 4.62	堀内 17.03	鈴木 18.6	白石健 35.4					
							横山 714	鈴木 4.72	横山 17.11	庄司 17.9	庄司 33.8					
							新井 169	庄司 4.79	鈴木 18.60	白石健 17.5	古田 33.2					
1997	33	189	5.42	22.51	13.0	23.0	堀内 2,898	徳永 4.88	堀内 17.46	松田 16.5	徳永 38.8					
							菊地 746	菊地 4.88	菊地 18.04	菊地 16.2	鷺沢 30.2					
							白石直 441	白石直 4.98	細井 18.17	高井 15.0	菊地 29.9					
2000	21	43	5.34	23.28	13.1	25.7	関崎 174	佐々木 4.58	関崎 17.76	松田 25.3	佐々木 39.2					
							笹木 127	浅原 4.98	浅原 19.36	浅原 15.8	笹木 35.0					
							浅原 124	森口 5.12	井上 20.07	笹木 15.7	伊藤 31.8					
2001	18	97	5.20	21.11	13.7	24.0	深瀬 589	伊藤 4.66	五嶋 18.35	鈴木 17.5	伊藤 36.2					
							伊藤 338	新岡 4.91	城戸 18.67	井上 16.8	井上 32.3					
							井上 150	鈴木 4.94	深瀬 19.26	新岡 16.6	新岡 28.9					
2002	16	125	5.34	20.49	13.9	22.8	深瀬 500	村木 4.89	永山 18.04	五嶋 17.0	五嶋 31.9					
							林 190	伊藤 4.96	遠藤 18.54	遠藤 16.0	石黒 29.1					
							神谷 190	石黒 5.07	深瀬 18.62	永山 15.7	川辺 27.2					
2003	14	146	5.46	20.86	13.0	25.9	木村 350	小林 4.83	小林 17.79	川辺 20.8	神谷 32.2					
							猪田 273	神谷 5.11	大谷 17.95	大谷 16.3	大谷 32.0					
							神谷 271	木村 5.14	堀内 18.07	小林 15.8	八代 29.8					
2004	18	92	5.67	22.05	12.3	19.6	小川 714	関崎 4.96	関崎 17.27	加納 16.8	八代 33.9					
							関崎 248	野田 5.15	八代 17.83	小川 16.5	芦田 26.2					
							八代 224	八代 5.18	小川 18.78	野田 16.5	手代木 24.4					
2005	21	103	5.57	22.47	11.5	23.4	佃 732	野田 4.98	佃 18.57	野田 17.6	徳永 39.6					
							佐々木 371	田中 5.12	新岡 19.22	徳永 15.5	新岡 35.7					
							徳永 192	市村 5.16	徳永 19.38	西 15.2	野田 29.4					
2006	23	260	5.61	21.70	11.5	22.2	佃 3,295	石井 4.89	佃 17.67	石井 15.0	西 31.7					
							大谷 1,354	市村 4.95	大谷 18.07	伊藤 14.6	伊藤 31.6					
							小澤 206	田中 5.14	菅原 18.37	西 14.0	藤野 27.9					
2007	21	107	5.51	24.58	12.0	22.6	斎藤 426	西 4.77	大谷 16.47	木村 17.0	小澤 34.5					
							徳永 256	渡辺 4.91	鈴木 19.21	小川 16.1	西 32.7					
							小澤 227	鈴木 4.92	小澤 19.42	小澤 15.2	小川 32.1					
2008	18	287	5.40	19.64	13.5	25.3	徳永 1,040	秋葉 4.78	中野 17.31	木村 20.3	渡辺 33.4					
							菅原 861	山岸 4.81	小出 17.35	小川 17.0	大森 32.2					
							斉藤 731	徳永 4.99	伊藤 17.67	徳永 17.0	木村 31.9					
2009	24	139	5.41	20.51	13.3	23.6	菅原 1,624	山岸 4.66	伊藤 15.73	山岸 18.1	中野 36.8					
							西川 357	中野 4.73	中野 16.35	西川 16.8	大森 33.6					
							佃 248	池原 4.92	小出 16.85	池原 16.7	西川 32.1					
2010	28	229	5.43	22.09	11.3	22.9	和田 4,426	小野田 4.91	佃 16.75	広瀬 15.9	大谷 32.6					
							佃 811	大谷 4.92	三木 17.12	井出 15.2	広瀬 32.2					
							秋口 194	和田 4.97	和田 17.46	古川 15.0	石井 31.6					
2011	17	88	5.62	21.64	12.1	21.6	森 468	土井 5.11	森 17.31	古川 17.8	広瀬 30.9					
							森戸 352	広瀬元 5.24	土井 18.58	広瀬 15.6	広瀬元 30.3					
							並木 180	鈴木 5.26	水野大 18.88	土井 14.5	清水 29.0					
2012	18	96	5.60	21.25	11.1	20.2	森 575	清水 4.76	森 17.15	清水 14.9	水野 27.9					
							南 303	水野 5.18	河野 17.55	水野 14.7	清水 23.4					
							橋本 178	小関 5.22	小関 18.72	山東 14.7	川島 22.8					
2013	15	204	5.32	21.07	11.0	21.4	和田 1,851	河野 4.66	小関 17.96	川島 14.8	小関 29.2					
							南 251	山東 4.93	河野 19.01	小関 14.0	澤田 28.2					
							鈴木 186	小関 4.94	橋本 19.33	山東 13.8	山東 26.0					
2014	14	55	5.66	22.37	11.2	22.2	北見 168	浦川 5.19	北見 20.52	小西 14.2	浦川 31.3					
							窪野 141	酒井 5.25	小西 20.59	酒井 13.5	高田 30.0					
							中澤 113	北見 5.34	中澤 20.61	中澤 12.7	山下 28.5					

は、たちばな記録を示す。

年度	人数	平均値					上位者の記録									
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック
2015	20	172	5.53	22.10	12.5	21.9	窪野 2,111	嵯峨野 4.91	小西 18.21	窪野 18.6	小林 31.4	窪野 2,111	嵯峨野 4.91	小西 18.21	窪野 18.6	小林 31.4
							藤江 274	藤江 4.93	八瀬尾 18.68	小西 17.9	高田 31.4	藤江 274	藤江 4.93	八瀬尾 18.68	小西 17.9	高田 31.4
							小西 132	小林 4.93	藤江 19.07	高田 17.8	八瀬尾 29.1	小西 132	小林 4.93	藤江 19.07	高田 17.8	八瀬尾 29.1
2016	23	92	5.49	21.68	11.8	22.9	八瀬尾 658	八瀬尾 4.80	迫田 17.76	八瀬尾 16.3	嵯峨野 37.0	八瀬尾 658	八瀬尾 4.80	迫田 17.76	八瀬尾 16.3	嵯峨野 37.0
							迫田 212	佐藤 4.94	八瀬尾 17.83	有村 14.6	八瀬尾 35.1	迫田 212	佐藤 4.94	八瀬尾 17.83	有村 14.6	八瀬尾 35.1
							中澤 175	嵯峨野 5.08	浦崎 18.47	石川 14.3	石川 31.9	中澤 175	嵯峨野 5.08	浦崎 18.47	石川 14.3	石川 31.9
2017	16	213	5.34	20.28	12.8	26.3	関谷 982	石川 4.61	南 18.11	石川 17.7	石川 42.5	関谷 982	石川 4.61	南 18.11	石川 17.7	石川 42.5
							中澤 815	浦川 4.74	渡辺 18.18	山崎 16.3	浦川 32.1	中澤 815	浦川 4.74	渡辺 18.18	山崎 16.3	浦川 32.1
							高田 353	南 5.07	尾高 18.50	高田 14.8	南 31.1	高田 353	南 5.07	尾高 18.50	高田 14.8	南 31.1
2018	14	63	5.64	22.22	11.6	37.4	高田 501	浦川 4.70	高田 17.61	高田 18.4	高田 37.4	高田 501	浦川 4.70	高田 17.61	高田 18.4	高田 37.4
							金子 130	高橋 5.19	金子 17.74	浦川 17.4	浦川 33.1	金子 130	高橋 5.19	金子 17.74	浦川 17.4	浦川 33.1
							寺澤 40	高田 5.26	浦川 18.46	寺澤 14.2	齋木 26.5	寺澤 40	高田 5.26	浦川 18.46	寺澤 14.2	齋木 26.5

は、たちばな記録を示す。

スキルテスト L(5年生、6年生)の記録

		人数	ホール リフティング		内通しシュート			ホールコントロール			ドリブル &パス		ターン		合計 得点
			回	点数	上	下	点数	トラップ	パス	点数	タイム(s)	点数	タイム(s)	点数	
1998年	平均	18	78.9	8.6	0.9	0.7	3.6	4.7	4.2	8.9	15.11	5.4	6.94	6.7	33.1
	上位者														
	菊地		222	10	3	0	7	5	5	10	11.25	9	5.47	10	46
	樋口		137	10	2	1	6	5	4	9	13.00	7	6.36	8	40
	徐		58	9	1	2	5	5	4	9	13.31	7	6.30	8	38
1999年	平均	16	50.2	7.44	0.6	0.7	2.94	4.1	4.3	8.44	14.3	6.25	7.15	6.25	31.3
	上位者														
	関崎		175	10	2	0	5	5	5	10	12.71	8	7.13	6	39
	浅原		63	9	1	2	5	5	4	9	12.78	8	6.64	7	38
	庄司		63	9	1	1	4	4	4	8	12.41	8	6.68	7	36

スポーツテスト LL(3年生、4年生)の記録


年度	人数	平均値					上位者の記録									
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング		30m走		ドリブル		スローイン		プレスキック	
1978	21	7.7	6.1	31.2	8.9	16.6									村上	30.5
1979	24	6.9	6.3	32.7	8.3	15.6										
1980	27	12.8	6.1	30.5	9.1	15.6										
1981	22	19.5	6.0	28.1	9.7	14.2	青木	178			河本充	22.00				
1982	22	11.4	5.9	30.7	9.6	17.2			緯沢	5.30			内田	14.2		
1983	12	5.9	6.0	27.9	8.6	14.9	吉村	11	大野	5.80	田辺義	23.10	三橋	10.2	吉村	19.5
							田辺義	10	芳賀	5.80	前島	24.80	大野	10.0	田辺義	18.9
							大野	10	草野	5.80	吉村	26.00	前島	9.9	室伏	18.4
1984	24	12.7	5.9	28.2	9.4	18.3	吉村	109	松崎	5.29	吉村正	21.18	伊藤	13.5	吉村	25.6
							海野	32	箕輪	5.31	窪	23.56	福谷	13.0	福谷	24.1
							伊藤	18	海野	5.42	伊藤	23.64	芳賀	12.2	草野	22.9
							草野	18								
1985	28	8.1	6.1	28.1	9.2	16.0	海野	34	出口	5.47	海野	20.11	海野	11.8	内田	23.4
							出口	23	猪狩	5.51	十河	23.39	山口	11.6	田辺貴	20.9
							高木	13	武田	5.54	山口	24.50	中村	10.4	海野	20.9
							猪狩	13								
1986	36	22.3	6.0	26.8	9.6	18.1	秋元洋	94	辻	5.38	猪狩	22.47	中村	13.4	秋元洋	29.6
							猪狩	84	今西	5.38	勝田	23.17	佐々木	12.8	田島	28.2
							薄木	81	猪狩	5.42	大輪	24.19	秋元洋	12.6	青木	24.4
													田島	12.6		
1987	36	24.5	5.9	27.4	9.5	17.0	柴田淳	305	武貞	5.20	三田	20.79	鷺津	12.6	沢田	25.0
							吉川	83	沢田	5.32	森本	21.81	柴田淳	12.6	本原	23.7
							本原	81	中田	5.40	小山	21.98	吉川	12.4	鷺津	21.2
1988	29	23.4	6.0	26.7	10.0	16.4	秋本	143	森木	5.53	佐藤	22.41	内田耕	15.2	秋本	23.8
1989	19	11.5	5.9	27.2	9.9	16.5	小橋典	37	辻剛	5.09	小橋和	22.40	木津	13.5	池野	21.2
							浜田	24	木津	5.30	木津	24.00	遠藤	12.9	木津	20.8
							渡部雄	22	渡辺哲	5.39	遠藤	24.30	依田	12.5	小橋典	20.5
1990	28	6.6	6.1	28.9	9.0	14.8	杉本	31	渡部	5.10	森	21.58	杉本	12.5	谷嶋	26.8
							渡部	21	杉本	5.23	谷嶋	24.26	森	12.4	堀口	25.5
							小田	15	池野	5.47	春原	24.42	小田	11.7	森	23.6
1991	12	5.2	5.8	31.9	9.1	15.6	菅野	14	真田	5.33	持丸	25.24	中田	12.0	増田	22.2
							真田	9	中田満	5.51	渡辺	28.48	中田満	10.6	中田満	18.9
							渡辺	8	中田	5.53	真田	28.64	真田	10.3	真田	18.7
							持丸	8								
1992	23	18.9	6.1	29.9	8.3	13.3	平井	122	菅野	5.38	中田	24.33	中田	12.4	菅野	20.5
							菅野	92	山口	5.56	小瀬村	24.97	菅野	12.0	増田	19.8
							小瀬村	57	中田	5.62	菅野	25.20	北島	10.7	中田	19.1
1993	33	23.6	6.4	28.3	8.1	14.5	横山	117	小蒲	5.55	小瀬村	21.38	北島	12.5	緒方	22.6
							長尾	93	昆	5.55	長尾	22.77	緒方	11.6	阿南	21.2
							平井	75	鈴木	5.76	横山	23.11	小西	10.0	北島	21.2
1994	37	29.8	6.1	27.2	8.6	16.0	長尾	270	昆	5.17	横山	21.15	緒方	12.0	緒方	28.3
							緒方	155	長尾	5.32	堀内	21.43	白石健	11.5	長尾	27.8
							堀内	105	鈴木	5.34	石井	21.62	鈴木	11.4	横山	24.1
1995	41	28.2	5.8	28.2	9.1	15.1	堀内	359	白石直	5.11	堀内	19.95	松田	14.1	古田	25.1
							菊地	96	菊地	5.18	菊地	21.34	古田	13.6	白石直	22.9
							宮川	93	高橋亮	5.25	白石直	22.04	白石直	13.3	菊地	21.5

は、たちばな記録を示す。

年度	人数	平均値					上位者の記録									
		リフティング	30m走	トリアプル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	トリアプル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	トリアプル	スローイン	プレスキック
1996	31	27.0	5.8	25.3	9.6	17.4	菊地 265	菊地 5.16	菊地 18.87	菊地 15.4	菊地 28.2	大井 78	成田 5.16	樋口 20.76	森岡 13.4	大井 25.1
							森岡 78	樋口 5.19	徐 21.60	佐藤敦 12.9	徐 22.8					森岡 22.8
1997	25	31.7	5.8	25.5	10.2	16.7	庄司 92	成田 5.13	樋口 20.41	森岡 15.8	金子 26.7	小西 90	佐々木 5.25	森岡 20.58	成田 14.9	森岡 24.5
							森岡 88	庄司 5.30	庄司 20.60	松田 13.3	成田 23.6					
2000	21	23	5.16	24.36	10.1	18.6	小林 66	村木 5.18	五嶋 19.83	五嶋 14.0	五嶋 28.2	椎塚 44	小林 5.25	小林 20.10	椎塚 13.8	椎塚 25.7
							深瀬 43	永山 5.27	城戸 20.43	田中 13.1	深瀬 23.9					
2001	11	43	5.94	23.61	10.1	16.3	神谷 104	神谷 5.32	大谷 19.26	川辺 13.5	大谷 22.7	堀内 82	木村 5.42	堀内 19.43	神谷 13.0	神谷 21.7
							林 79	堀内 5.84	神谷 20.62	大谷 12.3	木村 18.7					
2002	24	35	6.02	25.64	9.5	14.6	友川 109	八代 5.30	大谷 19.93	大谷 13.4	大谷 23.6	大谷 102	関崎 5.34	林 21.30	西 12.0	徳永 20.7
							関崎 98	林 5.36	友川 22.01	八代 11.8	関崎 20.7					
2003	27	25	6.05	24.92	9.0	15.9	徳永 298	新保 5.43	植松 19.76	加納 14.3	徳永 26.5	佃 81	野田 5.50	磯 19.82	西 13.3	西 25.1
							新保 48	秋山 5.51	徳永 20.74	山岸 12.3	秋山 24.6					
2004	28	47	6.10	25.64	8.5	14.1	佃 239	新保 5.36	菅原拓 19.15	箕輪 13.9	佃 23.2	田島 232	伊藤 5.37	佃 19.45	佃 12.2	菅原幹 21.8
							伊藤 117	田中 5.39	箕輪 19.50	伊藤 12.2	藤野 20.8					
2005	21	60	5.78	23.82	9.0	17.9	大谷 502	松原 5.29	大谷 19.59	木村 12.9	小川 23.3	渡辺 238	秋葉 5.33	渡辺 21.30	小川 12.0	岡村 22.6
							小澤 105	鈴木 5.39	笹原 21.30	渡辺 10.7	西 21.9					
2006	25	64	6.10	27.22	9.7	16.6	渡辺 343	秋葉 5.19	徳永 19.55	木村 16.80	木村 27.7	小川 264	戸塚 5.28	伊藤 20.33	小川 16.07	徳永 27.6
							浜田 238	水野 5.30	斉藤 20.78	西川 12.5	小川 25.4					
2007	26	29	5.89	24.46	8.7	14.5	伊藤 133	山岸 5.15	伊藤 18.90	大森 14.2	西川 25.2	西川 72	池原 5.22	佃 19.20	吉武 13.5	池原 22.6
							小出 60	伊藤 5.39	小出 19.40	伊藤 13.0	林 22.5					
2008	25	99	5.84	23.01	8.8	16.8	和田 1,494	小野田 5.48	和田 18.36	広瀬 12.7	楯 24.1	佃 338	大谷 5.50	佃 19.58	小野 12.0	三木 22.1
							小野 100	猿渡 5.54	三木 19.70	水野 11.3	尾関 21.1					
2009	18	197	5.72	24.0	8.1	14.7	和田 3,048	大谷 5.11	尾関 16.47	土井 11.1	尾関 25.4	水野寿 121	水野寿 5.24	和田 17.85	水野寿 10.5	大谷 23.9
							土井 87	尾関 5.30	水野寿 18.54	鬼澤 10.5	土井 21.2					
2010	25	19	5.93	25.8	8.9	15.5	鬼澤 82	山東 5.33	森 18.70	清水 12.5	清水 22.4	森 67	清水 5.42	水野大 19.13	小関 12.0	ベアー 21.9
							水野大 56	鬼澤 5.50	河野 21.08	水野大 11.4	鬼澤 21.1					
2011	20	9	6.29	27.02	8.6	15.1	藤原 24	山東 5.54	河野 20.52	川島 11.6	山東 24.5	山東 22	小関 5.86	小関 21.19	小関 11.2	小関 23.2
							澤田 21	大迫 5.93	大迫 22.00	菊田 10.0	河野 23.1					
2012	18	93	6.03	25.65	8.1	11.8	和田 1,432	中澤 5.47	窪野 20.76	山下 11.5	奥 22.8	中澤 45	青木 5.60	中澤 21.12	窪野 11.3	酒井 19.5
							藤江 42	酒井 5.63	和田 22.51	酒井 10.2	小林 18.0					
2013	25	28	5.88	25.18	8.8	15.2	藤江 184	青木 5.06	藤江 20.06	窪野 12.2	窪野 23.0	窪野 104	小林 5.47	小西 20.07	小西 12.1	奥 22.3
							奥 50	倉本 5.49	窪野 20.68	山下 11.5	高田 21.3					
2014	24	13	6.12	25.72	7.8	15.2	倉本 38	八瀬尾 5.34	八瀬尾 21.27	八瀬尾 12.3	倉本 24.6	南 37	土屋 5.51	高橋佑 22.30	迫田 10.1	八瀬尾 20.6
							迫田 36	有村 5.66	嵯峨野 22.34	倉本 10.2	嵯峨野 20.4					

は、ちばな記録を示す。

年度	人数	平均値					上位者の記録									
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング		30m走		ドリブル		スローイン		プレスキック	
2015	20	44	5.84	23.49	10.0	16.2	中澤	191	渡辺	5.42	南	20.13	高田	13.5	中澤	24.2
							尾高	143	高橋諒	5.42	尾高	20.30	渡辺	13.0	渡辺	22.9
							南	65	石川	5.46	渡辺	21.19	浦川	11.2	栗田	19.1
															高田	19.1
2016	23	15	5.92	26.47	8.4	15.4	高田	146	高橋諒	5.36	高田	19.45	高田	14.5	高田	26.3
							高橋諒	30	関本	5.38	米山	21.58	浦川	12.2	浦川	25.7
							浦川	25	田中	5.47	高橋諒	22.19	米山	11.6	齋木	20.3
2017	23	20	5.90	24.52	9.0	15.5	櫻村	50	黒田	5.39	金子	20.28	黒田	12.76	金子	20.9
							寺澤	48	吉田	5.42	高橋	21.26	寺澤	12.21	関本	20.7
							金子	40	高橋	5.45	高垣	21.60	櫻村	10.2	高橋	20.2
2018	22	11	6.20	26.32	7.5	12.0	山田	66	吉田	5.00	藤川	19.50	櫻井	10.9	櫻村	28.8
							吉田	32	伊藤	5.34	吉田	19.90	吉田	10.4	吉田	24.1
							櫻村	19	山田	5.40	伊藤	21.45	伊藤	10.1	山田	17.4

 は、たちばな記録を示す。

スキルテスト LL(3年生、4年生)の記録

		人数	ホール リフティング		内通しシュート			ホールコントロール			ドリブル &パス		ターン		合計 得点
			回	点数	上	下	点数	トラップ	パス	点数	タイム(s)	点数	タイム(s)	点数	
1998年	平均	21	18.4	4.6	0.7	0.4	2.8	3.5	2.9	6.4	19.00	2.7	8.08	4.7	21.2
	上位者														
	浅原		40	8	2	0	5	5	4	9	13.86	7	6.86	7	36
	関崎		58	9	1	0	3	5	3	8	13.65	7	6.49	8	35
	中村		23	6	2	1	6	5	3	8	16.85	4	8.69	4	28
1999年	平均	28	18.8	4.46	0.6	0.7	2.85	3.3	3.9	7.19	16.16	5.04	8.20	4.69	23.4
	上位者														
	伊藤		121	10	2	0	5	5	4	9	14.61	6	7.34	6	36
	井上		41	8	1	0	3	4	4	8	13.30	7	6.60	7	33
	五嶋		32	7	0	1	2	5	4	9	13.60	7	6.75	7	32

歴代コーチの変遷

	'68	'69	'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78
曾田 弘治	L	L	L	L/LL	L/LL	L/LL	L/LL	L	L-A	L-A	L-A
池畑 健一郎			L	L	L	L					
杉崎 実			L	L	L	L	L	L	L-A		
佐野 仁							L	L	L-B	L-B	L-B
安沢 武芳							L	L	L	L	L
大島 勉							LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A
永田 欣也									LL-B	LL-B	LL-B
末山 本村									LL-A	LL-A	L-A

	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
曾田 弘治	L-A	L-A	L-A			L-A	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A
佐野 仁	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A
大島 勉	LL-A	LL-A	L-A	L-A	L-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A
永田 欣也	LL-B	LL-B	LL-A	LL-A	LL-A	LL-B	LL-B	L-B	L-B	L-B	L-B
末山 本村	L-A	LL-B	LL-B								
中林 由行	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ
佐藤 章			L	L	L						
前島 宏行			LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B
吉村 武康				L	L	L	L	L			
田辺 昭治				SL	SL	SL	SL	SL	SL	SL	SL
南間 正次					LL-A	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B
横川 芳江					SL	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B
村松 理雄						LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B
田島 直樹						SL	SL	SL	SL	SL	
柴田 幸吉							SL	SL	SL	SL	
薄木 雄次								LL-B	LL-B	LL-B	LL-B
佐藤 敬									LL-A	LL-A	L-B
内山 義嗣									LL-B	L-B	L-B
渡辺 邦雄											SL

	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99
曾田 弘治	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A	L-A	ﾌﾘｰ
佐野 仁	L-B	L-B	逝去							
大島 勉	LL-A	LL	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-B	LL
永田 欣也	L-B	L-B	L-B	SL	SL	SL	SL	SL	LL-A	SL
中林 由行	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ							
前島 宏行	LL-A	LL	L-A	L-A	L-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-B	LL
田辺 昭治	SL	SL	SL	SL	SL	SL	L-B	L-B	L-B	L
南間 正次	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B	L-B	L
横川 芳江	LL-B	LL	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B	LL-B			
村松 理雄	LL-B	LL	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-A	LL-B	LL
薄木 雄次	LL-B	LL					逝去			
佐藤 敬	L-B									
渡辺 邦雄	SL	SL	SL	SL	LL-B	LL-B	L-B	LL-B		
中野 純	L-A	L-A	L-A	L-B	L-B	LL-B	L-B	ﾌﾘｰ		
緒方 修一			SL	SL	LL-A	L-A	LL-B	LL-B	ﾌﾘｰ	LL
堀内 正一				SL	SL	SL	SL	L-A	SL	SL
新井 一成				LL-B	LL-B	L-B	L-A	LL-B	L-B	L
細井 雄二					SL	SL	SL	L-A	LL-A	L
穴戸 正人					LL-B	LL-B	L-A	L-A	L-A	LL
木村 尚嗣						LL-B	LL-B	L-B	L-A	LL
鈴木 彰浩							LL-B	SL	ﾌﾘｰ	L
五嶋 喜久夫								SL	SL	L
伊藤 直和								SL	SL	LL
佐々木 勝幸									LL-A	L
浜田 雄貴										L
木津 謙太郎										L

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
曾田 弘治	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問
大島 勉	LL	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ					逝去		
永田 欣也	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役
前島 宏行	代表	代表/L	代表/L	L	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ
田辺 昭治	SL	SL	SL	SL	SL	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	SL	SL	SL
南間 正次	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ							
村松 理雄	L	L	SL	LL	LL	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ
渡辺 邦雄	SL	SL	LL	LL	L	L	L	LL	LL	LL
緒方 修一	L	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ							
堀内 正一	LL	LL	L	L	SL	SL	LL	L	L	L
新井 一成	SL	L	LL	LL	L	L				LL
細井 雄二	L	LL	LL	L	SL	SL				
穴戸 正人	LL	監督/SL	監督/SL	代表/ 監督/SL	代表/ 監督/SL	代表/ 監督	代表/ 監督/SL	代表/ 監督/SL	代表/ 監督	代表/ 監督
木村 尚嗣	LL	LL	L	L						
五嶋 喜久夫	LL	L	L	SL	LL	L	L	ﾌﾘｰ		ﾌﾘｰ
伊藤 直和	L	L	L	SL	LL	LL	LL	L	L	L
佐々木 勝幸	L	LL	SL	LL	LL	L	ﾌﾘｰ(L)	LL	LL	ﾌﾘｰ
浜田 雄貴	L	L	L	L			LL	ﾌﾘｰ		
木津 謙太郎	L	L	L	L						
小林 徹	LL	LL	L	L	L	L	L	ﾌﾘｰ		LL
軽部 浩一	SL	LL	LL	L						
秋山 浩	SL	SL	LL							
手代木 修				LL	L	SL	SL	SL	SL	SL
徳永 佳則				LL	L	LL	LL	L	L	L
田島 泰彦				LL	LL	L	L	LL	LL	LL
小澤 伸雄				SL	LL	LL	ﾌﾘｰ			
小川 誠				SL	SL	LL	LL	L	L/ SL	SL
渡辺 智彦					SL	LL	LL	L	ﾌﾘｰ	ﾌﾘｰ
吉武 誠吾						SL	LL	LL	L	L
小野 欽也						SL	SL	LL	LL	L
佃 学						ﾌﾘｰ	L	LL	LL	L
三木 健司							SL	LL	LL	L
大森 隆								LL	L	L
大谷 稔								SL	LL	LL
河野 優								SL	SL	SL
水野 裕介									SL	LL
菊田 淳									SL	SL

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
曾田 弘治	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問
永田 欣也	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役
前島 宏行	SL	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
田辺 昭治	SL	SL	SL	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
村松 理雄	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
渡辺 邦雄	LL	LL	LL	LL-A/B	フリー	LL	フリー	フリー	フリー
新井 一成	LL	L	L	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
穴戸 正人	代表/ 監督/SL	代表/ 監督	代表/SL	代表/ LL-B	代表/フリー	代表/フリー	代表/フリー	代表/フリー	代表/フリー
五嶋 喜久夫	フリー	フリー							
伊藤 直和	L	フリー	L	L	L	L	U12		
佐々木 勝幸	LL	フリー(LL)	LL	フリー	フリー				
小林 徹	SL	SL	SL	SL	フリー				
手代木 修	SL	SL	SL	SL	SL	フリー	フリー	フリー	フリー
徳永 佳則	L	L	L	LL-B	LL-A	L	U12	U12	U12
田島 泰彦	LL	LL	LL	LL-B	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
小川 誠	SL	SL	SL	LL-B	LL-B/SL	SL	フリー	フリー	フリー
渡辺 智彦	フリー	フリー							
吉武 誠吾	L	L	L	L	LL-B	LL	U10	U10	U10
小野 欽也	L	フリー(L)	フリー	フリー	フリー				
佃 学	L	SL	SL	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
三木 健司	L	LL	監督/L	監督/L	監督/L	監督/L	監督/U12	監督/U12	監督/U12
大谷 稔	L	L	LL	LL-A	LL-A	LL	U10	U10	U10
河野 優	LL	LL	L	L	LL-B	LL	U10	U10	フリー
水野 裕介	LL	L	L	SL	フリー				
菊田 淳	LL	LL	L	L	SL	SL	U8	U8	U8
窪野 安彦	SL	SL	LL	LL-A	L	L	フリー	フリー	フリー
青木 睦雄			LL	LL-B	L	L	U12		
奥 尚仁			LL	LL-A	フリー	フリー	フリー		
森戸 ゆかり				SL	SL	SL	U8	U8	U8
三枝 昌樹					LL-A/B	LL	U12	U12	U8
倉本 貴則					LL-A/B	フリー	フリー		
土屋 寿治					LL-A/B	フリー	フリー		
八瀬尾 大輔					LL-A/B	L	U12	U10	U10
浦川 隆文						LL	U10	U12	U12
関谷 健						LL	U12	U12	U12
浦崎 鉄平						LL	U12	U12	U10
福富 厚太						LL	U12	U12	U12
倉持 信之						SL			
川村 亮介							U10	U10	U12
山田 倫之								U10	U10
吉田 泰介								U10	U10
荒井 信次								U8	U10
河本 尚徳								U8	U10
宮崎 達夫								U8	U8
村越 和久								U8	
竹内 周平									U10

クラブ規約の変遷

創立当初のたちばなキッカーズクラブ規約

たちばなキッカーズクラブ規約

1. 本クラブは「たちばなキッカーズ」と称する。
2. 本クラブは、小学校3年生より6年生までの少年をもって正会員とし、中学生を準会員とする。入会希望者は所定のテストを受けた上入会できる。
3. 本クラブは、サッカーの技術向上を通して、会員相互の親睦と心身の鍛錬をはかることを目的とする。
4. 本クラブは、次の役員によって運営される。
会長・監督 曾田 弘 治
コーチ 杉 崎 実、大 島 勉
技術・戦術顧問 中 山 昌 平
会長はクラブを総括し、監督は試合を指揮する。コーチは監督を補佐する。
5. 本クラブは、クラブの目的を達成するため次のことを行う。
 - (1) サッカー技術向上のため雨天の場合を除き次のような練習日を設ける。
たとし試合等の事情により練習時間を変更することもある。
 - ① 毎日曜日 午前7時～11時
 - ② 毎土曜日 午後1時～4時（自主練習）
 - (2) 神奈川県スポーツ少年団に加盟し、その主催する試合に参加する。
 - (3) 各地の少年サッカークラブとの交歓試合を行う。
6. 練習中、試合中をとわず、クラブ員としての活動の際のけがについては次の処置をとる。
 - (1) 1週間以上の医師の治療を要するけがについては、主としてスポーツ安全協会傷害保険による。
 - (2) その他はクラブ内で処置する。
7. 本クラブの経費はクラブ員の納める会費をもってあてる。

8. クラブ員は次の会費を負担する。

- (1) 会 費 月額 300円
- (2) 入会金 300円
- (3) スポーツ安全協会傷害保険費 年間 300円

9. 会費について

- (1) 会費は3ヶ月分ずつまとめて4月、7月、10月、1月の第1日曜日に納める。
- (2) 会費納入金を納入日の前週に渡す。
- (3) 一度納めた会費は、その後脱退しても返納しない。
- (4) 会費は、①試合参加費 ②通信交通費 ③用具代 ④クラブ行事(たちばな杯争奪、年2回実施)、諸経費などの諸費用に当てる。
- (5) 会計に不足が生じた時は、臨時に会費を徴収することができる。
- (6) 会費の収支はつねに明らかにし、年1回決算報告を行う。

10. ユニフォームは会員個々の負担とし、下記規定のものを用いる。

サッカーウェア オレンジ
 パンツ 紺
 ストッキング オレンジ

(補足)

- 対外試合には全員出場めざすが、練習に参加し、積極的なプレーと、より望ましいマナーを具備せる者を優先する。
- 連絡なく1ヶ月以上にわたって練習に参加しないものは、退会したものとみなす。
- 会員の人数の都合で、入会申し込みの受付を一時中止する場合もある。
- 会員は自主練習用ボールを各自で用意する。

昭和 53 年当時のたちばなキッカーズクラブ規約

たちばなキッカーズクラブ規約

1. 本クラブは「たちばなキッカーズ」と称する。
2. 本クラブは、小学校3年生より6年生までの少年をもって正会員とし、中学生を準会員とする。入会希望者は所定のテストを受けた上入会できる。
3. 本クラブは、サッカーの技術向上を通して、会員相互の親睦と心身の鍛錬をはかることを目的とする。
4. 本クラブは、次の役員によって運営される。

会 長、監 督 曾 田 弘 治

コ ー チ 大 島 勉、永 田 欣 也、

佐 野 仁、安 沢 武 芳

~~技術、戦術顧問 中 山 昌 平~~

会長はクラブを総括し、監督は試合を指揮する。コーチは監督を補佐する。

5. 本クラブは、クラブの目的を達成するため次のことを行う。
 - (1) サッカー技術向上のため雨天の場合を除き次のような練習日設ける。
たゞし試合等の事情により、練習時間を変更することもある。
 - ① 毎日曜日 午前7時～11時
 - ② 毎土曜日 午後1時～4時(自主練習)
 - (2) 神奈川県スポーツ少年団に加盟し、その主催する試合に参加する。
 - (3) 各地の少年サッカークラブとの交歓試合を行う。
 - (4) 年1回以上スポーツテストを行う。
- 6 練習中、試合中をとわず、クラブ員としての活動の際のけがについては次の処置をとる。
 - (1) 1週間以上の医師の治療を要するけがについては、主としてスポーツ安全協会傷害保険による。
 - (2) 1週間以内の軽病については自己負担とする。

7. 本クラブの経費はクラブ員の納める会費をもってあてる。

8. クラブ員は次の会費を負担する。

(1) 会費 500円(月額)

(2) 入会金 500円

(3) スポーツ安全協会傷害保険費 ~~500円~~^{550円}(年間)

9. 会費について

(1) 会費は6ヶ月分ずつまとめて4月と10月に納める。

(2) 会費納入金を納入日の前週に渡す。

(3) 一度納めた会費は、その後脱退しても返納しない。

(4) 会費は、①試合参加費 ②通信交通費 ③用具費 ④スポーツ少年団加盟費
⑤クラブ行事(たちばな杯争奪、年2回実施)、諸経費などの諸費用に当てる。

(5) 会費に不足が生じた時は、臨時に会費を徴収することができる。

(6) 会費の収支はつねに明らかにし、年1回決算報告を行う。

10 ユニフォームは会員個々の負担とし、下記規定のものを着る。

サッカーウェア オレンジ、ブルー

パンツ 紺、白

ストッキング オレンジ

(補足)

・対外試合には全員出場をめざすが、練習に参加し、積極的なプレーと、より望ましいマナーを具える者を優先する。

・連絡なく1ヶ月以上にわたって練習に参加しないものは、退会したものとみなす。

・会員の人数の都合で、入会申し込みの受付を一時中止する場合もある。

・会員は自主練習用ボールを各自で用意する。

以 上

現在のたちばなキッカーズクラブ規約

たちばなキッカーズ・クラブ規約

2017年5月

1. 本クラブは、たちばなキッカーズ・クラブと称する（略称：TKC）
2. 本クラブは、原則として幼稚園年長から小学校6年生までの児童をもって正会員とする。
3. 入会希望者は、入会にあたり所定の手続きを必要とする。毎年、定期募集は3月末、その後は随時入会可能とする。
4. 本クラブは、サッカーの技術向上を通じて、会員相互の親睦を図ることを目的とする。
5. 本クラブは、クラブの目的を達成する為に、次のことを行なう。
 - (1) サッカー技術向上のため、次のような練習日を設ける。

ア. 毎日曜日・祭日	午前9時～12時	グラウンド：下田小学校 他
イ. 毎土曜日	午後1時～5時	グラウンド：下田小学校 他
 - (2) 横浜サッカー協会少年部に加盟し、その主催する試合に参加する。
 - (3) 近隣サッカークラブとの交歓試合を行なう。
 - (4) たちばな杯争奪戦（年2回程度）、その他（夏期合宿等）
6. 練習中、試合中を問わず、クラブ員としての活動の際のケガについては、次の処置をとる。
 - (1) 4日以上以上の通院を要するケガについては、主としてスポーツ安全協会傷害保険を適用する。
 - (2) 軽傷の場合は、クラブ内で応急処置をする。
7. 本クラブの経費は、クラブ員の納める会費を以って充当する。
8. クラブ員は、次の会費を負担する。

(1) 会費	3ヶ月	6,000円
	(中途入会の場合は1ヶ月)	2,000円
(2) 入会金		1,000円
(3) スポーツ安全協会傷害保険	年間	800円
(4) 雑費	年間	1,000円

新規入会の場合は、初月の会費は免除とし、且つ、入会が1～3月の場合は雑費も免除とする

9. 会費等について
 - (1) 会費は3ヶ月まとめて全納する。
 - (2) 一旦納めた会費は、その後退会しても返却しない。但し、病気、引越し等のやむを得ない事情により退会する場合は、月単位で会費を返却する。
 - (3) 病気、その他やむを得ない事情により、2ヶ月以上休む場合は会費を免除する。尚、長期に亘り休み、その後復会する予定の場合は「休会」とし、休会届けを提出することとする。
3ヶ月の会費を納入後に休会する場合、休会が2ヶ月以上になる場合は会費を返却する。休会が2ヶ月未満の場合は月単位で会費を返却する。尚、休会の場合でも、雑費とスポーツ安全協会傷害保険金は徴収する。
 - (4) 遠征試合の交通費等は都度自己負担とする。
 - (5) 会計に不足が生じた時は、臨時に会費を徴収することができる。
10. ユニフォームは、全員個人の負担とし、下記規定のものを用いる。

尚、ゴールキーパー用のユニフォーム（ウェア／パンツ／ストッキング）はクラブで用意する。

サッカーウェア	(正) オレンジ色 (副) ブルー色 (両方とも半袖とする)
	尚、長袖のアンダーシャツ着用の場合はウェアと同色とする
サッカーパンツ	(正) ブルー色 (副) ホワイト色
	尚、アンダーショーツ着用の場合はパンツと同色とする
ストッキング	(正) オレンジ色 (副) ブルー色
サッカーシューズ	トレーニングシューズ(対外試合のみスパイクを使用してもよい)

補足

 - ・対外試合には全員の出場を目指す。常に練習に参加し、積極的なプレーと、より望ましいマナーを備えた者を優先する。
 - ・連絡なく1ヶ月以上にわたって練習に参加しない者は退会したものとみなす。
 - ・クラブ所有のユニフォームは公式試合時のみ着用とし、練習試合/クラブ練習時は個人所有のたちばなユニフォーム或いはクラブ推奨のTシャツ（或いは白色のTシャツ）、たちばなジャージを着用すること。
 - ・練習用のシャツとして、プロチーム等のレプリカユニフォームの着用は禁止とする。

以上

たちばなキッカーズ指導方針

昭和 50 年の朝日新聞に紹介された“たちばなキッカーズ”と曾田監督の指導理念

市民スポーツの顔

でも多く」と、この六年間、日 要素がとりまくなかで一人で六年 間を切り盛りするのは容易ではな いのが曾田弘治氏（日本住宅公 団勤務、五一歳）。

公園住宅、マンションに囲まれ た横浜市港北区の下田小学校。校 庭の桜も散り、新学年がはじまっ たある日曜日。朝の六時すぎはま だはまだ寒かったが、七時開始のチ ビツ子サッカーには「待ち遠しく て」といいながら早々と七十人も 集まり、シート板はもうろんの こころそこにあるかや、ベン チにボールをきかんにけり込ん でいた。団地に住む杉崎美氏のフ ェで行われた紅白試合では、ゴー ルまえの混戦で、キーパーが相手 と、激突し、しくしく泣きなが ら退場の一幕も。

昔（こ）は神奈川県磯部（きつ き）郡下田村と呼ばれた。その橋 を取って、「たちばなキッカー ス」。だからユニホームもみかん 色だ。

「子供には楽しいサッカーを。 そのなかから、気持ちがよい。を一人 言葉やスポーツママなど一過性の



曾田弘治さん

二人のお嬢さんを相手に、校庭 でボールをけった。そのときもら した「好きな人があれば教えても いいよ」に、長女美子さん（当時 小学校五年）は同級生十二、三人 を集めてきたのが四十二年。これ

が誕生のきっかけだ。メンバーは 年々増加、現在八十人で満員札止 め。

曾田氏は旧制大杜中学（島根 県）と早大でサッカー部にいた が、「戦中、戦後の混乱でボール をけり足りなかった」そうだ。し

かしサッカーの土壌のないあた らしい住吉街の下田町に、偶然の動 機から始まり、ブームという

子大会があり、試合相手にはこと 欠かない。

横浜・たちばなキッカーズ監督

となるより、できる事から

「をうまくなくする」という。ま 教える「指導法に共鳴した。

昨年暮れ、曾田家はこの公園住 宅から東京・世田谷に転居、同僚

の杉崎氏に応援にきてもらって いるが、もう一つの応援は信子夫

人。「サッカーおはさん」と親し まれ「古巣（公園）の奥さんとの

「コミュニティ維持」（曾田氏）の コミュニティ維持」

ためここやってるが、また夫 人は下田小学校（開放推進校）メ

モ参照）の利用者促進協議会（地 費に支給する。

土曜日の午後は同校教頭、中山 昌平氏が指導しており、たちはな キッカーズは民間、学校の画面か ら指導されているかたち。「学校 のアプローチは父母に安心感を与 える」など、そこには日本のスポ ーツの現状から見逃せないものが ある。

「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なん度も失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なん度も失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なん度も失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なん度も失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なんども失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なんども失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なんども失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なんども失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

「なんでもかじ」（子供）、 「子供が好きで仕方がない」（父 母）と、曾田氏の指導理念である 「なんども失敗するうちに子供は 本館で悟る」は評判がよい。だか ら無干渉、自由をモットーに「ケリ をきくことはしたが、曾田氏もベレ 損なうとなり、相手FWに抜か れたからと怒っている、サッカ にやさしく。また出来ることから

メモ

横浜市内小、中学校三 百五校のうち、学校開 放は二百八十六校。これらは一 般校（校庭を年間五十日以上開放 百六十九校）、推進校（体育館、 校庭を百日以上二、三、特別校

（同二百以上二、三）の三つに 分類。市教委は一級校に約五万 円、推進校に三十万円、特別校に 五十万円を謝金、施設消耗、修 費に支給する。

が、クラブの卒業生は「こゝ にはもどってこない。その理由 は受験勉強……」と明らかに同氏の 顔にはいままでのさびしさが……。

1996 年 1 月に制定した「たちばなキッカーズ指導方針」

たちばなキッカーズ指導方針

1996.1 月制定

たちばなキッカーズは地域に根ざした少年サッカークラブであり、いわゆる一般のサッカースクールとは性格が異なる。指導方針は以下の通りとする。

1. 子供達の自主性を重んじ、型にはめる指導ではなく、出来るだけ楽しく、思い切り発散出来るスポーツ活動の場を作る。これにより、子供達でつくる『小社会』の中で、サッカー技術も、サッカー以外の事（仲間意識、規律等）も自分で会得するようにさせる。
2. 子供達が自分等でサッカーを楽しみ、生き生きとし、のびのびとしたサッカーが出来るように指導する。精神的にも技術的にもフェアプレーを遵守させることを基本とし、コーチは目先の勝負には出来るだけこだわらない様にする。
3. サッカーが好きになり、うまくなると、将来Ｊリーガーを目指す子も出てくるであろう。サッカー技術を身に付ける上で、小学生時代は非常に重要な時期である。従って、コーチは『10年先の完成期にいかにか大きく成長させるか』を念頭に置き、サッカー技術向上に向け、子供達を育成する。尚、各グループを同一技術レベルの小チームに分け、育成する事を基本とする。

そこでTKCサッカートレーニング要綱に各グループ（SL、LL、L）の技術目標をまとめたが、各グループの基本的な育成方針を以下の通り設定する。

－SL

- ・ この時期の子供にはボールに興味を持たせ、ボール遊びの楽しさを教える。
- ・ また、豊富な運動経験を持たせることが重要である（たちばな以外で経験させる事も重要）。従って、反復練習よりも色々な練習を取り入れる（サッカー以外でも良い）

－LL

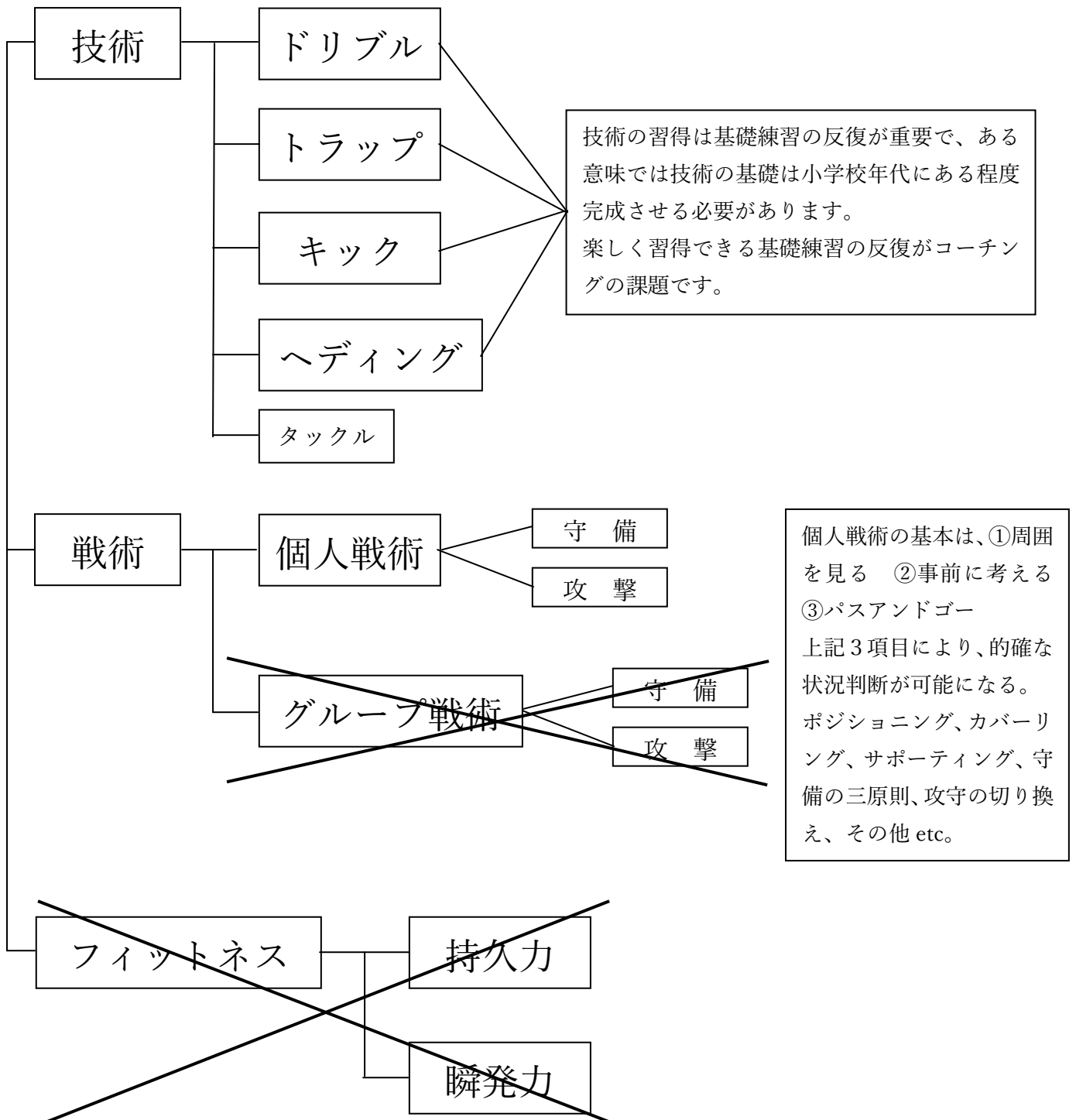
- ・ 全ての技術を身に付ける能力を持っている時期である。スピードやパワーを身に付ける事は出来ない。
- ・ 従って、テクニック、正確さ、等の上達に主眼を置き、反復練習によりスキルアップを図る。

－L

- ・ LLと同様に、テクニックの上達に主眼を置く。
- ・ ゲーム形式（ミニゲーム主体）により、個人戦術（状況把握、パスアンドゴー、等）のレベルアップを図る。
- ・ 個人戦術の上達により、グループ戦術が成り立つ事を教える。

TKCサッカートレーニング要綱

サッカー上達のための3要素



上記の様にグループ（チーム）戦術及び、フィットネスは少年サッカーには必要なしと考えます。
ただし、これはトレーニングについての見解であり、個人的に足が速い選手、パワーのある選手は評価すべきであります。

TKC年齢別、技術目標

少年サッカーにおける年齢要素は①カレンダー年齢（生後何年か）。②肉体的年齢（成長期の個人差）。③精神的年齢（集中力、協調性、その他個人差）。④サッカー年齢（サッカーを始めてから何年か）。の4大要素が考えられます。この4大要素を考慮し、大きな個人差があることを前提に考えていきたい。

A) リフティング

U8	U10	U12
<p>フリーで10回。 ワンバウンドリフティングを利き足のインステップで30回(2年生)。 最大の狙いは浮き球を扱う感覚、バランス感覚、ボールの中心をとらえる感覚の三つの感覚を養うこと。 幼稚園、1年生に上記の感覚を望むのは不可能なので目標設定は不要。 重要なのはリフティングを嫌いにさせない事。</p>	<p>フリーで1分間。 利き足のインステップで50回。 左右のインステップで20回。 フリー（できるだけインステップ）で30m落とさずに。 2人1組でフリーで10回。 特に4年生には左右でのインステップ感覚が必要。 注意しなくてはならないのは、モモでのリフティングは簡単なので回数はこなせるが、モモを使うクセがつくと、試合中のボールコントロールがワンタッチが多くなるため注意。</p>	<p>フリーで2分間。 左右のインステップで50回。 頭で10回。 インステップのみで50m落とさずに。 2人1組で2タッチのリフティングを20回。 特に6年生は回数の評価よりもインサイド、アウトサイド、頭など身体全部を使ってできる事、左右交互にできる事を評価すべきである。</p>

B) ドリブル

U8	U10	U12
<p>U8に一番必要。 サッカーの出発点。 DF、MF、FWの区別なく、全員に試合中に意図的に多用させる。 技術的にはインサイド、アウトサイド、つま先を使い「けて進む」のではなく「押して運ぶ」感覚を。 左右に抜くフェイントをそれぞれ1つ覚え、逆をとる楽しさを重視。</p>	<p>ボールだけ見ないで周囲を見ながらのドリブル感覚を。 足の裏を使ったドリブルを。 片足と両足での角度を変えたドリブル(ジグザグドリブルをインサイド、アウトサイドで)。 スピードの変化のドリブル。 キックフェイント、切り返し、引き技、またぎ、回転等の多種のフェイントの強化。 1対1の強化。</p>	<p>身体を使ったキープのドリブルを覚えさせる(突破のドリブルとは異なる)。 相手との間合いを考えたフェイント感覚を。 常に目的(ドリブルして次はどのようなプレーに結びつけるのか)を意識させる。ドリブルそのものは目的ではない。 ドリブルの後、シュートなのかセンタリングなのか敵を引きつけてパスなのか・・・。</p>

C) トラップ (ボールコントロール)

U8	U10	U12
<p>幼稚園、1年生には浮き球のトラップは不可能。 ゴロのボールをインサイド、アウトサイドで止まった状態でコントロールする。 2年生は、浮き球をインサイド、アウトサイド、インステップで止まった状態でコントロールする。 バウンドしているボールを何度もバウンドさせず、早く押さえることに注意。 ワンバウンドリフティングで感覚を養わせる。</p>	<p>足のトラップだけでなく、頭、胸、モモのトラップも。 ただし、モモのトラップの多用には注意。 特に4年生からは動きのなかで自分の前に正確にボールコントロールする事、ボールに寄ってコントロールする事を習慣づけるよう指導。 注意しなくてはならないのは空中でコントロールできるボールを何回もバウンドさせてしまうようなプレー。</p>	<p>次のプレーを考えたトラップ(ボールコントロールの角度を変える)。 ワンタッチコントロールを重視し、ツータッチ目でシュート、パス、ドリブルに移ることができるように指導。 マークされた状態からのフェイントを入れたトラップ。 注意するのは、ボールを受ける前の判断力をつけさせる(前を向ける状況なのに後ろを向いたままトラップしている。ワンタッチで前を向く)。</p>

D) キック

U8	U10	U12
<p>まずは、インステップキックから。2年生になったらインサイド、アウトサイドも。強いキックや遠くへ飛ばす必要はなく、正確さを第一に。 注意することは、①足首を固定しインパクトの位置を覚えさせる。 ②立ち足をボールの真横に踏込み、ヒザを曲げる。③インパクトの瞬間までボールを良く見て、ボールの中心をキック。 ④身体全体のフォームに注意し腕の振り方、フォロースルーに注意。正確なキックをするためにはボールを「送りだす」イメージで。</p>	<p>3年生まではU8と同じだが、パスとシュートの区別を考えて練習しインサイドのダイレクトパスができるように。 立ち足の踏み込む位置によってボールの飛び方が異なることも覚えさせる。 4年生になったらインフロントキックも練習、ボールのインパクトの位置の違いを覚えさせる。 ボレーキック(インサイド、インステップ、アウトサイド)の練習も。 あくまでも、基本中心で、正確さを第一に。</p>	<p>動いているボール(前後、左右等)をインサイド、インステップでダイレクトで正確にキックできるように。 アウトフロント、ヒールキック等のトリッキーなキックも遊びの中に自由に取り入れる。 状況によるキックの種類、強弱の判断ができるように。 身体全体のフォームが固まったら、ヒザから下の振りの速さを覚えさせる。</p>

E) ヘディング

U8	U10	U12
<p>幼稚園、1年生には必要なし。ヘディングの最大の敵は恐怖心とケガである。</p> <p>恐怖心を消し去る適切なコーチングが必要。2年生から構えをしっかりつくってから、難易度を上げていく。</p> <p>その段階は、A：スタンディング B：歩きながら C：スタンディングで方向を変える。</p> <p>チェックポイントは①ボールが額の中心にまっすぐ当たっているか。②あごと首が固定できているかどうか。③目を開けているか。④ボールを恐れずまっすぐにアプローチしているか。</p>	<p>基本的には2年生の練習と同じ。D：走りながら E：ジャンプだけ F：走りながらジャンプのステップアップも必要。</p> <p>ヘディングの場合、どうしても防衛本能が働くため、構えや形が悪くなる場合が多い。</p> <p>ヘディングが苦手な選手をじっくり観察して U10 の段階で問題点を見つけ、構えや形が悪いのか、タイミングが悪いのか、心理的に問題があるのかを考えて修正する必要がある。</p> <p>基本的にはAからFまでのステップの繰り返し。</p>	<p>難易度をアップして、G：相手と競り合いながら H：相手を立たせてジャンプの練習。</p> <p>ダイビングヘッド等のトリッキーなプレーは特別練習する必要があるが、選手の希望でやる場合には砂場で十分ケガに注意して。AからHまでのステップを繰り返し練習。</p>

主要大会の記録

横浜少年サッカー大会（新 5・6 年生による新人戦）：1 月開催

年度/実施年	回	優勝	準優勝	第 3 位	第 4 位	チーム数
1975/76	1	山王谷	横浜東	たちばな	FC 本郷	23
1976/77	2	山王谷	たちばな	駒林/クリッパ - J	-	27
1977/78	3	たちばな	山王谷	横浜東	篠原つばめ	32
1978/79	4	たちばな	横浜東	駒林	山王谷	39
1979/80	5	トライスター	黒滝	山王谷	夏山	52
1980/81	6	たちばな	港南台	FC 本郷	駒林	62
1981/82	7	駒林	横浜東	山王谷	たちばな	61
1982/83	8	山王谷	FC 本郷	たちばな	黒滝	66
1983/84	9	FC 本郷	駒林	夏山	伊勢山	79
1984/85	10	FC 奈良	あざみ野	駒林	FC 野庭	79
1985/86	11	アムゼル	駒林	六浦少年	フローラ	86
1986/87	12	勝田	FC 本郷	保土ヶ谷エルフィンズ	文庫	93
1987/88	13	日産 FC	FC 隼	若葉台	上星川	103
1988/89	14	日産 FC	野庭 KC	駒林	山王谷	105
1989/90	15	FC 本郷	あざみ野	横浜深園	若葉台	105
1990/91	16	アムゼル	上中里	ハッ橋	上郷 FC	105
1991/92	17	駒林	日産 FC	磯子	FC 緑	107
1992/93	18	あざみ野	原 FC	FC 本郷	阿久和	112
1993/94	19	日産 FC	駒林	新井	霧ヶ丘	118
1994/95	20	あざみ野	FC 野庭	原 FC	日産 FC	131
1995/96	21	あざみ野	駒林	日産 FC	長津田ト'ラゴンズ	139
1996/97	22	あざみ野	日産マリノス	城郷	富岡	144
1997/98	23	元石川	あざみ野	横浜フリューゲルス	SCH	140
1998/99	24	FC ゼブラ	GS ファイトース	富岡 SC	駒林 SC	141
1999/00	25	あざみ野 FC	FC 野庭	マリノス新子安	富岡 SC	139
2000/01	26	マリノス新子安	あざみ野 FC	FC 希望が丘	マリノス菅田	133
2001/02	27	横浜 F・マリノス	SCH. FC	バディー SC	藤塚キッカーズ	137
2002/03	28	横浜 F・マリノス	FC 奈良	瀬谷 FC	田奈 SC	137
2003/04	29	バディー SC	あざみ野 FC	原 FC	かながわクラブ	144
2004/05	30	横浜 F・マリノス	バディー SC	野庭キッカーズ	駒林 SC	146
2005/06	31	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC	原 FC	翠翔 FC	152
2006/07	32	バディー SC	横浜 F・マリノス Pr	ジュニオール SC	SCH. FC	157
2007/08	33	あざみ野 FC	バディー SC	SCH. FC	NPO HIP. SC	158
2008/09	34	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC	バディー SC	原 FC	160
2009/10	35	横浜 F・マリノス	バディー SC	ジュニオール SC	田奈 SC	164
2010/11	36	バディー SC	SCH. FC	市ヶ尾 FC ブリーオ	太尾 FC	162
2011/12	37	横浜 F・マリノス Pr	ジュニオール SC	SCH. FC	六浦毎日 SS	164
2012/13	38	横浜 F・マリノス Pr	黒滝 SC	SCH. FC	原 FC	163
2013/14	39	SCH.FC	あざみ野 FC	JFC FUTURO	バディー SC	163
2014/15	40	SCH. FC	横浜ジュニオール SC	横浜深園 SC	KAZU. SC	165
2015/16	41	横浜 F.マリノス Pr	バディー SC	SCH.FC	あざみ野 FC	163
2016/17	42	SCH. FC	横浜 F.マリノス Pr	FC カルパ	横浜港北 SC	164
2017/2018	43	SCH. FC	横浜 F.マリノス Pr	黒滝 SC	あざみ野 FC	165

横浜市春季少年サッカー大会（第23回までは横浜市スポーツ少年団サッカー大会）：4月開催

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第3位	第4位	チーム数
1974	1	LL	横浜東	たちばな	山王谷	FC本郷	8
		SL	横浜東	銀嶺	篠原つばめ	富岡ひばりが丘	4
1975	2	L	洋光台	山王谷	篠原つばめ	たちばな	19
		LL	横浜東	たちばな	山王谷	篠原つばめ	13
		SL	横浜東	銀嶺	篠原つばめ	黒滝	9
1976	3	L	山王谷	たちばな	篠原つばめ	横浜東	25
		LL	たちばな	山王谷	公田	富岡ひばりが丘	25
		SL	黒滝	公田	富岡ひばりが丘	勝田	11
1977	4	L	たちばな	横浜東	山王谷	公田	29
		LL	夏山	山王谷	たちばな	富岡	27
		SL	瀬ヶ崎	FC本郷	黒滝	篠原つばめ	16
1978	5	L	たちばな	駒林	山王谷	篠原つばめ	24
		LL	たちばな	夏山	瀬ヶ崎	駒林	25
		SL	黒滝	横浜東	山王谷	駒林	19
1979	6	L	たちばな	横浜東	駒林	山王谷	32
		LL	篠原つばめ	夏山	瀬ヶ崎	FC本郷	30
		SL	富岡	山王谷	FC本郷	かながわ	20
1980	7	L	港南台	公田	山王谷	横浜東	44
		LL	黒滝	山王谷A	駒林	かながわ	37
		SL	山王谷	駒林A	駒林B	瀬ヶ崎	26
1981	8	L	FC本郷	山王谷	かながわ	横浜東	53
		LL	駒林A	FC本郷	山王谷A	夏山	52
		SL	夏山	かながわ	駒林	野庭キッカーズ	31
1982	9	L	FC本郷	かながわ	横浜東	若葉台	58
		LL	夏山	山王谷	駒林	港北	67
		SL	駒林	野庭キッカーズ	山王谷	黒滝	33
1983	10	L	FC本郷	奈良	駒林	たちばな	63
		LL	山王谷	FC野庭	夏山	かながわ	61
		SL	夏山	野庭キッカーズ	あざみ野	港南台	39
1984	11	L	FC本郷	山王谷	野庭キッカーズ	港南台	68
		LL	瀬ヶ崎	公田	山王谷	駒林	72
		SL	駒林	山王谷	横浜東	野庭キッカーズ	40
1985	12	L	野庭キッカーズ	篠原つばめ	伊勢山	山王谷A	80
		LL	駒林	港南台A	山王谷	瀬ヶ崎	84
		SL	横浜深園	黒滝	夏山	野庭キッカーズ	56
1986	13	L	駒林A	アムゼル	FC本郷	フローラー	93
		LL	上郷	山王谷	磯子	駒林	97
		SL	山王谷	駒林	夏山	野庭キッカーズ	58
1987	14	L	元石川	日産FC	小山台	駒林	108
		LL	あざみ野A	駒林	富岡	FC本郷	107
		SL	駒林	あざみ野A	原FC	富岡	63
1988	15	L	日産FC	かもめ	あざみ野A	上郷	116
		LL	日産FC	長津田ドラゴンズ	FC隼	上中里	106
		SL	あざみ野A	原FC	山王谷	浜北	63
1989	16	L	富岡	南戸塚	公田	横浜深園	116
		LL	FC隼	並木A	あざみ野A	アムゼルA	104
		SL	原FC	長津田ドラゴンズ	駒林	山王谷	58

1990	17	L	日産 FC	FC 本郷	野庭キッカーズ	長津田ドラゴンズ	111
		LL	FC 隼	日産 FC	原 FC	上郷	98
		SL	文庫	夏山	原 FC	浜北	57
1991	18	L	並木 SC	FC 緑少年	六浦少年	かもめ SC	115
		LL	横浜深園	並木 SC	FC 本郷	六浦少年	103
		SL	FC ゼブラ	FC 緑少年	駒林 SC	六浦少年	57
1992	19	L	駒林 A	日産 FC	六浦少年	若葉台 SC	121
		LL	日産 FC	駒林 A	FC 本郷	FC 若北	112
		SL	駒林 SC	あざみ野 SC	駒林 SC	原 FC	68
1993	20	L	日産 FC	野庭キッカーズ	北 YMCA	並木	122
		LL	あざみ野 A	日産 FC	黒滝	文庫	114
		SL	あざみ野 A	黒滝	駒林	富岡	75
1994	21	L	日産 FC	野庭キッカーズ	駒林	原 FC	135
		LL	駒林	山王谷	城郷	今宿少年	124
		SL	城郷	元石川	山王谷	富岡	78
1995	22	L	原 FC	日産 FC	ゼブラ	藤塚	137
		LL	あざみ野 A	原 FC	富岡	城郷	127
		SL	あざみ野 A	ゼブラ	駒林	FC80	77
1996	23	L	日産 FC	FC 本郷	中央 YMCA	オフサイド	149
		LL	日産 FC	山王谷	元石川	磯子 SC	130
		SL	瀬谷 FC	ゆたか	城郷	黒滝	68
1997	24	L	横浜マリノス	FC 本郷	若葉台	駒林 SC	152
		LL	GS ファイターズ	あざみ野 FC	原 FC	FC 本郷	132
		SL	あざみ野 FC	原 FC	FC 本郷	丸山台	52
1998	25	L	横浜マリノス	並木	元石川 A	ゆりの木	146
		LL	横浜マリノス	ゆたか	瀬谷 FC	今宿少年	123
		SL	原 FC	夏山	六ツ川	駒林	57
1999	26	L	マリノス菅田	あざみ野	富岡 SC	原 FC	151
		LL	マリノス新子安	あざみ野	SCH FC	田奈 SC	139
		SL-11	六浦少年	FC 野庭	バディー	緑少年少女	60
		SL-8	若葉台 FC	アローズ	しらとり台	大崎 SC	18
2000	27	L	マリノス菅田	あざみ野	希望が丘 L	瀬谷 FC	146
		LL	マリノス新子安	駒林 SC	バディー SC	黒滝 SC	131
		SL-11	バディー SC	あざみ野 A	夏山 SC	駒林 SC	46
		SL-8	大崎 SC	田奈 SC	ゆたか FC	磯子フレンズ	33
2001	28	L	マリノス菅田	あざみ野 FC A	田奈 SC	若葉台 FC A	145
		LL	マリノス新子安	あざみ野 FC A	瀬谷 FC	バディー SC	126
		SL-11	あざみ野 FC	バディー SC	FC 本郷	野庭キッカーズ	42
		SL-8	横浜港北 SC	磯子フレンズ SC	クライムイレブン	いずみ野 SC	38
2002	29	L	横浜 F・マリノス	FC 本郷	バディー SC	SCH. FC	136
		LL	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC A	大豆戸 FC	田奈 SC	126
		SL-11	バディー SC	FC ゼブラ	あざみ野 FC	FC 野庭	52
		SL-8	FC 奈良	若葉台 FC	鶴見東 FC	FC 左近山	38
2003	30	L	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC A	瀬谷 FC	磯子ファイターズ	148
		LL	あざみ野 FC A	横浜 F・マリノス	FC 本郷	バディー SC	143
		SL-11	あざみ野 FC A	J. スポーツ	バディー SC	FC 本郷	66
		SL-8	ヨコハマ KC	鶴ヶ峰 SC	あざみ野 FC	磯子フレンズ	43
2004	31	L	バディー SC	横浜 F・マリノス	藤塚キッカーズ	KAZU SC	154
		LL	横浜 F・マリノス	バディー SC	SCH. FC	原 FC	152
		SL-11	バディー SC	HIP. SC	あざみ野 FC	藤の木 SC	73
		SL-8	しらとり台 SC	椎子 SC	市ヶ尾 FC ブリオ	大門 SC	44

主要大会の記録

2005	32	L	あざみ野 FC	横浜 F・マリノス	野庭キッカーズ	原 FC	161
		LL	横浜 F・マリノス	J スポーツ FC	あざみ野 FC	野庭キッカーズ	155
		SL-11	バディー SC	FC 左近山	大豆戸 FC	元石川 SC	60
		SL-8	六浦毎日 SS	白根 SC	瀬谷 FC	山王谷 SC	51
2006	33	L	田奈 SC	ジュニオール SC	バディー SC	FC 野庭	161
		LL-11	バディー SC	黒滝 SC	二俣川 SC	FC 左近山	112
		LL-8	横浜 F・マリノス	原 FC	翠翔 SC	市ヶ尾 FC	96
		SL	バディー SC	大豆戸 FC-A	駒林 SC-A	今宿少年	123
2007	34	L	バディー SC	横浜港北 SC	ジュニオール SC	瀬谷 FC	166
		LL-11	あざみ野 FC-A	大豆戸 FC	横浜港北 SC	ジュニオール SC	97
		LL-8	原 FC ブラック	横浜 F・マリノス	六浦毎日 SS-A	SCH. FC	117
		SL	横浜港北 SC	あざみ野 FC-A	バディー SC	いぶき野 FC ヘリス	115
2008	35	L	横浜 F・マリノス プライマリ	黒滝 SC	バディー SC	SCH. FC	165
		LL-11	バディー SC	富岡 SC-A	大豆戸 FC	横浜港北 SC	105
		LL-8	SCH. FC-A	横浜 F.マリノス Pr	あざみ野キッカーズ Jr	J.スポーツ FC	113
		SL	FC ゼブラ	FC ソレイユ	バディー SC-B	あざみ野キッカーズ Jr	106
2009	36	L	バディー SC	大豆戸 FC	田奈 SC	翠翔 SC	171
		LL(8)	横浜 F・マリノス Pr	駒林 SC-A	FC カルパ-B	田奈 SC	216
		SL-8	一本松 SC	あざみ野 SC-A	バディー SC-B	六浦毎日 SS	117
2010	37	L	横浜 F・マリノス Pr	SCH.FC	あざみ野 FC	山田若竹 SC	169
		LL(8)	あざみ野 FC	SCH.FC	FC ゼブラ	ジュニオール SC	214
		SL	SCH.FC	あざみ野 FC	元石川 SC	ジュニオール SC	121
2011	38	東日本大震災のため決勝トーナメントは行なわず					168
							227
							130
2012	39	L	横浜 F・マリノス Pr	SCH.FC	バディー SC	横浜港北 SC	173
		LL(8)	あざみ野 FC-A	JFC.FUTURO	SCH.FC-W	バディー SC-W	226
		SL	SCH.FC	N2SC	あざみ野 FC-A	JFC FUTURO	128
2013	40	L	横浜 F・マリノス Pr	あざみ野 FC	SCH.FC	FC 鴨志田緑	173
		LL(8)	バディー SC-W	横浜 F・マリノス Pr	JFC FUTURO	バディー SC-S	229
		SL	バディー SC-W	バディー SC-S	品濃ウイングス	田奈 SC	125
2014	41	L	SCH.FC	バディー SC	大豆戸 FC	NPO.HIP.SC	171
		LL(8)	バディー SC	横浜 F.マリノス Pr	SCH.FC	あざみ野 FC	195
		SL	SCH.FC	バディー SC	六浦毎日 SS	FC カルパ	118
2015	42	LL	横浜 F.マリノス	バディー SC	野庭キッカーズ	あざみ野 FC	186
		SL	SCH.FC	富岡 SC	JFC.FUTURO	横浜港北 SC	122
		少女	FC すずき野レディース	金沢ガールズ	旭ガールズ	緑ピクシーズ	5
2016	43	U10	バディー SC	FC 本郷	大豆戸 FC	SCH.FC	187
		U8	FC カルパ	あざみ野 FC	バディー SC	JFC.FUTURO	115
		少女	緑ピクシーズ	金沢ガールズ	旭ガールズ	駒林 SC ローザ	8
2017	44	U10	バディー SC	あざみ野 FC	SCH.FC	横浜 F.マリノス Pr	185
		U8	SCH.FC	あざみ野 FC	バディー SC	FC 本郷	117
		少女	金沢ガールズ	一本松 SC	SH ガールズ	棄権	10
2018	45	U10	バディー SC	SCH.FC	あざみ野 FC	FC カルパ	170
		U8	バディー SC	あざみ野 FC	JFC FUTURO	SCH.FC	112
		少女	金沢ガールズ	一本松 SC	SH ガールズ	都筑ガールズ	9

横浜市春季少年サッカー大会（2015 年度から U12 は JFA 神奈川県 U12 サッカー大会と合体して開催）

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第 3 位	第 4 位	チーム数
2015	42(1)	U12	バディー SC	SCH.FC	あざみ野 FC	元石川 SC	167
2016	43(2)	U12	横浜 F.マリノス Pr	バディー SC	六浦毎日 SS	NPO.HIP.SC	166
2017	44(3)	U12	横浜 F.マリノス Pr	あざみ野 FC	バディー SC	今宿少年 SC	165
2018	45(4)	U12	あざみ野 FC	横浜港北 SC	SCH.FC	今宿少年 SC	165

横浜国際チビッ子サッカー大会（1980 年度（第 12 回）大会から 1 部/2 部に分離）：10 月開催

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第 3 位	第 4 位	チーム数
1969	1	L	朝鮮学園	東戸塚	中区(ゴール)		
1970	2	L	中区	St.ジョセフ	朝鮮学園	山王谷	
1971	3	L	クスノ木	原(アポロ)	朝鮮学園	山王谷	12
		LL	原	たちばな	山王谷		6
		SL	山王谷	横浜東	原		6
1972	4	L	G.プランダーズ	たちばな	St.ジョセフ	篠原つばめ	9
		LL	アポロ	G.プランダーズ	篠原つばめ	山王谷	8
1973	5	L	アポロ	篠原つばめ	山王谷		12
		LL	St.ジョセフ	篠原つばめ	St.ジョセフ 横浜東 たちばな		10
1974	6	L	朝鮮学園	FC ゴール	山王谷	篠原つばめ	15
		LL	たちばな	山王谷	横浜東	St.ジョセフ	15
		SL	横浜東	銀嶺	篠原つばめ	公田	6
1975	7	L	朝鮮学園	篠原つばめ	駒林	洋光台	21
		LL	横浜東	山王谷	たちばな	朝鮮学園	18
		SL	横浜東	勝田	朝鮮学園	黒滝	17
1976	8	L	横浜東	YMCA 横浜	たちばな	勝田	27
		LL	横浜東	たちばな	山王谷	公田	30
		SL	黒滝	公田	横浜東	勝田	19
1977	9	L	たちばな	横浜東	山王谷	勝田	29
		LL	たちばな	公田	駒林	横浜東	33
		SL	勝田	篠原つばめ	瀬ヶ崎	山王谷	26
1978	10	L	たちばな	横浜東	山王谷	瀬ヶ崎	30
		LL	横浜東	篠原つばめ	公田	黒滝	34
		SL	黒滝	山王谷	駒林	FC 本郷	26
1979	11	L	朝鮮学園	横浜東 A	たちばな A	YMCA 二俣川	39
		LL	篠原つばめ	勝田 A	山王谷 A	たちばな A	40
		SL	山王谷	かながわ	港南台	瀬ヶ崎	25
1980	12	L-1	たちばな	黒滝	勝田	夏山	22
		LL-1	篠原つばめ	山王谷 A	黒滝	洋光台	42
		SL	山王谷	駒林	黒滝	FC 本郷	29
1981	13	L-1	FC 本郷	港南台	横浜東	山王谷	27
		LL-1	夏山	FC 本郷	山王谷	駒林	28
		SL	野庭 KC	夏山	FC 野庭	洋光台	36
1982	14	L-1	FC 本郷	奈良	駒林	たちばな	30
		LL-1	FC 本郷	山王谷 A	瀬ヶ崎	夏山	28
		SL	駒林	山王谷	野庭 KC	夏山	37

主要大会の記録

1983	15	L-1	野庭 KC	元石川	FC 奈良	山王谷	35
		LL-1	山王谷	かながわ	野庭 KC	駒林	31
		SL	駒林	山王谷	夏山	港南台	42
1984	16	L-1	駒林	FC 本郷	山王谷	元石川	39
		LL-1	夏山	たちばな A	FC 本郷	野庭 KC	38
		SL	駒林	あざみ野 A	山王谷	夏山	57
1985	17	L-1	FC 奈良	野庭 KC	FC 本郷	かもめ	45
		LL-1	駒林	六浦少年	公田	あざみ野	44
		SL	駒林	横浜深園	長津田ドラゴンズ	北 YMCA	62
1986	18	L-1	FC 野庭	FC 隼	若葉台	元石川	51
		LL-1	あざみ野	六浦少年	上郷	ヨコハマ KC	48
		SL	長津田ドラゴンズ	横浜深園	夏山	あざみ野	66
1987	19	L-1	野庭 KC	元石川	山王谷	若葉台	50
		LL-1	駒林	横浜深園	FC 本郷	山王谷	49
		SL	並木	駒林	富岡	原 FC	69
1988	20	L-1	あざみ野	山王谷	駒林 A	かもめ	54
		LL-1	日産 FC A	駒林 A	あざみ野 A	長津田ドラゴンズ	48
		SL	磯子	あざみ野	横浜深園	六浦少年	69
1989	21	L-1	横浜深園	FC 本郷	FC 奈良	つばめ	56
		LL-1	原 FC	日産 FC A	富岡	駒林	47
		SL	あざみ野 A	駒林	原 FC	ゼブラ	68
1990	22	L-1	日産 FC	長津田ドラゴンズ	藤の木	横浜深園	55
		LL-1	FC 隼	横浜深園	六浦少年	浜北	48
		SL	浜北	城郷	駒林	原 FC	70
1991	23	L-1	並木	日産 FC	原 FC	かもめ	55
		LL-1	横浜深園	駒林 A	富岡	上郷	53
		SL	城郷	FC 緑	FC 野庭	あざみ野	73
1992	24	L-1	日産 FC	FC 緑	GS ファイターズ	横浜深園	63
		LL-1	日産 FC	駒林	FC 本郷	若北	55
		SL	駒林	FC 本郷	あざみ野	丸山台	82
1993	25	L-1	日産 FC	北 YMCA	駒林	長津田ドラゴンズ	64
		LL-1	FC 本郷	あざみ野	六浦少年	上星川	65
		SL	アムゼル	城郷	駒林	原 FC	85
1994	26	L-1	日産 FC	原 FC	若北 A	富岡	70
		LL-1	日産 FC	港南台	アムゼル	長津田ドラゴンズ	64
		SL	元石川	文庫 FC	城郷	SCH	94
1995	27	L-1	日産マリノス	原 FC	ゼブラ	黒滝	69
		LL-1	アムゼル	あざみ野 A	富岡	洋光台	66
		SL	城郷	並木	あざみ野	白根	96
1996	28	L-1	日産マリノス	FC 本郷	中央 YMCA	フリーゲルス	84
		LL-1	あざみ野 A	元石川 SC	FC ゼブラ	ゆりのき	63
		SL	ゆたか SC	野庭キッカーズ	FC 本郷	富岡 SC	87
1997	29	L-1	FC 本郷	日産マリノス	若葉台 A	アムゼル	84
		LL-1	日産マリノス	あざみ野 A	原 FC	駒林	70
		SL	あざみ野 A	原 FC	たちばな	丸山台	76
1998	30	L-1	FC ムサシ	日産マリノス	あざみ野 FC A	フリーゲルス	70
		LL-1	日産マリノス	FC 本郷	富岡 SC A	瀬谷 FC	56
		SL	原 FC	駒林 SC	FC 本郷	城郷 SC	86

1999	31	L-1	マリノス新子安	あざみ野 FC A	富岡 SC	美晴少年 SC	68
		LL-1	あざみ野 FC A	田奈 SC	マリノス新子安	駒林 SC	62
		SL-11	バディーSC	六浦少年	原 FC	富岡 SC	87
		SL-8	相沢 FC	篠原つばめ	六浦少年	いずみ野	10
2000	32	L-1	あざみ野 FC A	マリノス新子安	マリノス菅田	丸山台 SC	63
		LL-1	マリノス新子安	FC 奈良	白根 SC	六ッ川 SC	57
		SL-11	あざみ野 FC A	バディーSC	原 FC	ハッ橋 SC	80
		SL-8	ゆたか FC	FC 瀬ヶ崎	田奈 SC	鶴ヶ峰 SC	25
2001	33	L-1	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC A	野庭キッカーズ	若葉台 FC A	67
		LL-1	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC A	丸山台 SC	城郷 SC	52
		SL-11	あざみ野 FC A	FC 希望が丘	バディーSC	駒林 SC	81
		SL-8	翠翔 SC	ワイケイ FC	鶴ヶ峰 SC	駒林 SC	25
2002	34	L-1	バディーSC	SCH. FC	横浜 F・マリノス	FC 本郷	68
		LL-1	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC A	SCH. FC	FC 奈良	64
		SL-11	バディーSC	公田 SC	あざみ野 FC A	原 FC	89
		SL-8	あざみ野 FC	J. キッズ SC	HIP. SC	鶴見東 FC	34
2003	35	L-1	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC A	バディーSC	KAZU. SC	76
		LL-1	横浜 F・マリノス	大豆戸 FC A	SCH. FC A	SCH. FC B	75
		SL-11	あざみ野 FC A	J スポーツ	駒林 SC	美晴少年 SC	108
		SL-8	FC 奈良	あざみ野 FC	藤が丘少年 SC	YKFC	25
2004	36	L-1	あざみ野 FC A	バディーSC	SCH. FC	藤の木 SC	77
		LL-1	バディーSC	原 FC	横浜 F・マリノス	いずみ野 SC	76
		SL-11	あざみ野 FC A	バディーSC	横浜すみれ SC	田奈 SC	105
		SL-8	黒滝 SC	市ヶ尾 FC フリー	本牧少年 SC	FC 瀬ヶ崎	28
2005	37	L-1	横浜 F・マリノス	SCH. FC A	あざみ野 FC A	ジュニオール SC	84
		LL-1	横浜 F・マリノス	J・スポーツ FC	バディーSC	田奈 SC	78
		SL-11	大豆戸 FC	FC 左近山	バディーSC	元石川 SC	97
		SL-8	港南台 SC	翠翔 SC	品濃ウイングス	一本松	38
2006	38	L-1	横浜 F・マリノス Pr	あざみ野 FC	原 FC	ジュニオール SC	80
		LL-11	バディーSC	あざみ野 FC	二俣川 SC	大豆戸 FC	118
		LL-8	横浜 F・マリノス Pr	ジュニオール SC	市ヶ尾 FC フリー	SCH. FC	101
		SL	バディーSC	あざみ野 FC	駒林 SC	大豆戸 FC	159
2007	39	L-1	横浜 F・マリノス Pr	バディーSC	あざみ野 FC A	J・スポーツ FC	85
		LL-11	二俣川 SC B	あざみ野 FC A	大豆戸 FC A	横浜すみれ SC	114
		LL-8	横浜 F・マリノス Pr	大豆戸 FC B	SCH. FC	FC80 洋光台	113
		SL	横浜港北 SC A	大豆戸 FC A	FC 南台	FC カルパ	155
2008	40	L-1	横浜 F・マリノス Pr	野庭キッカーズ	田奈 SC	バディーSC	88
		LL-11	バディーSC	大豆戸 FC A	あざみ野 FC A	いぶき野 FC ヘル	108
		LL-8	横浜 F・マリノス Pr	SCH. FC	エストレーラ FC-S	日の出キッカーズ	115
		SL	大豆戸 FC A	野庭キッカーズ	バディーSC-A	FC ゼブラ	145
2009	41	L-1	横浜 F・マリノス Pr	バディーSC	二俣川 SC	野庭キッカーズ	88
		LL-1(8)	田奈 SC	あざみ野 FC-A	横浜港北 SC-A	FC カルパ-B	114
		SL-8	横浜港北 SC-A	FC 左近山	バディーSC-B	SCH.FC	160
2010	42	L-1	SCH.FC	バディーSC	横浜 F・マリノス Pr	あざみ野 FC	87
		LL-1(8)	SCH.FC	あざみ野 FC	FC 左近山	一本松 SC	112
		SL-8	横浜港北 SC	元石川 SC	ゼブラ SC	あざみ野 FC	152
2011	43	L-1	横浜深園 SC	翠翔 SC	横浜 F・マリノス Pr	SCH.FC	81
		LL-1(8)	SCH.FC	横浜 F・マリノス Pr	大豆戸 FC-A	二俣川 SC-B	114
		SL-8	SCH.FC	JFC FUTURO	バディーSC-S	FC 左近山	159

主要大会の記録

2012	44	L-1	横浜 F・マリノス Pr	バディー SC	横浜港北 SC	黒滝 SC	92
		LL-1(8)	バディー SC	あざみ野 FC	SCH.FC	JFC FUTURO	117
		SL-8	横浜 F・マリノス Pr	大豆戸 FC	あざみ野 FC	横浜港北 SC	165
2013	45	L-1	バディー SC	横浜港北 SC	横浜 F・マリノス Pr	あざみ野 FC-B	89
		LL-1(8)	SCH.FC	原 FC-A	あざみ野 FC-A	大豆戸 FC	122
		SL-8	バディー SC	横浜港北 SC	富岡 SC	FC アムゼル	159
2014	46	L-1	SCH.FC	JFC FUTURO	横浜 F・マリノス Pr	大豆戸 FC	84
		LL-1(8)	バディー SC	横浜 F・マリノス Pr	SCH.FC	しらとり台 FC	99
		SL-8	バディー SC	いぶき野 FC ベリタ	横浜港北 SC	横浜かもめ SC	146
2015	47	LL-1(8)	バディー SC	あざみ野 FC-A	SCH.FC	横浜 F・マリノス Pr	98
		SL-8	JFC FUTURO	SCH.FC	大豆戸 FC-A	しらとり台 FC	140
		少女	FC すずき野レディース	横浜ウィンズ	SH ガールズ	旭ガールズ	9
2016	48	U10-1	横浜 F.マリノス Pr	バディー SC	SCH.FC	文庫 FC	101
		U8	バディー SC	あざみ野 FC	横浜ジュニオール SC	青葉 FC	145
		少女	FC すずき野レディース	旭ガールズ	緑ビクシーズ	金沢ガールズ	9
2017	49	U10-1	バディー SC	横浜 F.マリノス Pr	SCH.FC	大豆戸 FC	95
		U8	バディー SC	あざみ野 FC	SCH.FC	富岡 SC	136
		少女	金沢ガールズ	横浜ウィンズ	原なでしこ横浜	SH ガールズ	??
2018	50	U10-1					
		U8					

横浜国際チビッ子サッカー大会(2015年度から U12 は JFA 神奈川県 U12 サッカー大会と合体して開催)

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第 3 位	第 4 位	チーム数
2015	47(1)	U12-1	バディー SC	JFC FUTURO	横浜 F・マリノス Pr	SCH.FC	80
		U12-2	ライフネット SC	上星川 SC	あざみ野キッカーズ Jr	FC 鴨志田緑	76
2016	48(2)	U12-1	横浜 F.マリノス Pr	あざみ野 FC	六浦毎日 SS	横浜すみれ SC	90
		U12-2	大豆戸 FC-B	白根 SC	FC 霧が丘	横浜東 SC	76
2017	49(3)	U12-1	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC	野庭キッカーズ	JFC FUTURO	80
		U12-2	折本 SC	クライムイレブン	山田若竹 SC	ライフネット SC	71
2018	50(4)	U12-1					
		U12-2					

横浜国際チビッ子サッカー大会 2 部：10 月開催

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第 3 位	第 4 位	チーム数
1980	12	L-2	小菅ヶ谷	横浜東 B	YMCA 青葉台	洋光台	27
1981	13	L-2	上星川	FC 隼	西 YMCA	フローラ	30
		LL-2	たちばな	港北 FC	上星川	トライスター	31
1982	14	L-2	富岡	大崎	大曽根	野庭 KC	30
		LL-2	駒林 B	黒滝	富岡 A	かながわ	30
1983	15	L-2	文庫 FC	南戸塚	寺尾小	若北 SC	35
		LL-2	FC 奈良	たちばな	アローズ	希望ヶ丘	34
1984	16	L-2	小山台	古河	上中里	大崎	41
		LL-2	上郷	藤の木	港南台	YMCA 北	36
1985	17	L-2	保土ヶ谷	南戸塚	上中里	北 YMCA	45
		LL-2	文庫 FC	アムゼル	FC 奈良	FC 霧が丘	45
1986	18	L-2	伊勢山	黒滝	FC すずき野	希望ヶ丘	50
		LL-2	若葉台	長津田ドラゴンズ	南戸塚	FC 緑	58
1987	19	L-2	アローズ	上中里	夏山	鶴ヶ峰	61
		LL-2	洋光台	中央 YMCA	富岡 B	南戸塚	59
1988	20	L-2	つばさ	若北 A	駒林 B	ヨコハマ KC	64
		LL-2	日産 FC B	西 YMCA	大崎	FC 西柴	60
1989	21	L-2	FC 西柴	長津田第 2	山田若竹	帷子	61
		LL-2	日産 FC B	FC 若北	夏山	長津田第 2	58
1990	22	L-2	かもめ	フローラ	黒滝	公田	59
		LL-2	たちばな	FC 緑	駒林	篠原つばめ	48
1991	23	L-2	FC 西柴	伊勢山	六ッ川	洋光台 A	63
		LL-2	今宿少年	阿久和	FC 緑	六浦毎日	54
1992	24	L-2	長津田第 2	瀬谷	たちばな	南ヶ丘	60
		LL-2	若葉台	上星川	コミュニティ ラザ	原 FC	63
1993	25	L-2	上郷	霧が丘	希望ヶ丘	北方	62
		LL-2	南ヶ丘	夏山	FC 奈良	藤の木	55
1994	26	L-2	アローズ	いずみ野	磯子 SC	坂本	70
		LL-2	黒滝	フローラ	藤の木	オフサイド	66
1995	27	L-2	並木	洋光台	長津田第 2	フリーゲルス	74
		LL-2	桜ヶ丘	美晴	帷子	鶴見東	65
1996	28	L-2	FC 奈良	あざみ野 B	コミュニティ	横浜 SC つばさ	67
		LL-2	帷子 SC	保土ヶ谷エルフィンズ	西本郷 FC	鶴見東	63
1997	29	L-2	小菅ヶ谷	GS	夏山	瀬谷 B	62
		LL-2	岩崎	コミュニティ	北 YMCA	ゆたか	63
1998	30	L-2	あざみ野 FC C	小山台 SC	市ヶ尾 FC	オフサイド	81
		LL-2	78FC 西柴	横浜朝鮮	南が丘キッカーズ	横浜つばさ	77
1999	31	L-2	イーグルス	丸山台 SC	コミュニティ FC	YKFC	83
		LL-2	あざみ野 FC B	一本松 SC	野庭キッカーズ	北 YMCA	74
2000	32	L-2	今宿少年 SC	FC ゼブラ	城郷 SC	FC80 洋光台	81
		LL-2	いぶき野	野庭キッカーズ	今宿少年 SC	坂本 SC	77
2001	33	L-2	横浜栄コラッジオ	坂本 SC	富岡 SC	たちばな	82
		LL-2	田奈 SC	上中里 SC	大豆戸 FC	コミュニティ FC	80
2002	34	L-2	あざみ野 FC C	瀬谷 FC	洋光台 SC	三保小 SC	71
		LL-2	駒林 SC A	大豆戸 FC B	コミュニティ FC	折本 SC	71
2003	35	L-2	保土ヶ谷エルフィンズ	港南台少年 SC	公田 SC	AZK Jr	76
		LL-2	横浜北 YMCA	一本松 SC	帷子 SC	クライムイレブン	75

主要大会の記録

2004	36	L-2 LL-2	城郷 SC 若葉台 FC	3BSC FC 左近山	FC 本郷 白根 SC	元石川 SC 東汲沢 SC	80 86
2005	37	L-2 LL-2	山王台 SC アローズ FC	城郷 SC 坂本 SC	Y.S.C.C 横浜栄コラッジオ	ブルーキックス FC 隼	77 84
2006	38	L-2	ハッ橋 SC	港南台 SC	FC プラタノ	都筑サッカー友の会	83
2007	39	L-2	あざみ野キッカーズ Jr	野庭キッカーズ B	中和田 FC	FC アムゼル	84
2008	40	L-2	帷子 SC	小山台 SC-B	FC ねぎし	今宿少年 SC	82
2009	41	L-2 LL-2(8)	希望ヶ丘ライオンズ 横浜深園 SC	西本郷 FC SCH.FC-B	Tips 戸塚 FC	和泉 FC 岩崎 FC	88 114
2010	42	L-2 LL-2(8)	いぶき野 FC ヘルパ 二俣川 SC	YTC.FC フレンド SC	六浦毎日 SS 日限山 FC	フレンド SC FC ゴール	87 123
2011	43	L-2 LL-2(8)	J.スポーツ FC 夏山 SC	FC ゼブラ 原 FC	二俣川 SC 大豆戸 FC-B	FC 杉田 FC.YSA	89 124
2012	44	L-2 LL-2(8)	本牧少年 SC 大門 FC	KAZU.SC FC プラタノ	しらとり台 FC 山王谷 SC	FC.YSA いずみ野 SC	85 125
2013	45	L-2 LL-2(8)	FC 霧ヶ丘 三保小 SC	FC 本郷 瀬谷サンダーキックス	FC サンダース 太尾 FC-C	城郷 SC FC 鴨志田緑	82 117
2014	46	L-2 LL-2(8)	港北 FC Jr FC パルビターレ	FC カルパ 南ヶ丘キッカーズ	FC 本郷 六ッ川 SC	希望ヶ丘ライオンズ 三ッ沢ダックス	90 105
2015	47	L-2 LL-2(8)	ライフネット SC FC 霧ヶ丘	上星川 SC FC プラタノ	あざみ野キッカーズ Jr 横浜栄 FC Jr	FC 鴨志田緑 阿王ヶ台 SC	76 92
2016	48	U10-2	浜北谷本 FC	Tips	かながわクラブ	ゆりのき FC	88
2017	49	U10-2	FC ビッツ	二ッ橋・相沢	帷子 SC	FC.MSN	91
2018	50	U10-2					

全日本少年サッカー大会神奈川予選：5月開催

年度	回	参加数	優勝	準優勝	第3位	第4位
1977	1	96	善行 A	ゴールブランダーズ	百合ヶ丘サッカー	たちばなキッカーズ
1978	2	143	いずみキッカーズ	たちばなキッカーズ	村岡 A	浜見 A
1979	3	189	浜見 A	たちばなキッカーズ	村岡 A	大庭コンドル
1980	4	240	大根ラディッシュ	北の台キングイレブン	ゴールブランダーズ	天台 A
1981	5	268	ゴールブランダーズ	六会 A	中里 A	山王谷 SC
1982	6	307	成瀬 A	大沼ファイターズ	六会 A	FC 今宿
1983	7	307	町田イレブン	下和田サッカー	大越 A	上南サザンイレブン
1984	8	316	ゴールブランダーズ	夏山 SC	FC 本郷	FC 元石川
1985	9	340	ゴールブランダーズ	双葉キッカーズ	野庭キッカーズ	桜丘サッカー
1986	10	307	FC 六会フジサワ	FC 高坂	ゴールブランダーズ	若葉台少年 SC
1987	11	310	浜見平ジュニア FC	ゴールブランダーズ	成瀬サッカー	下福田ポルト
1988	12	311	ゴールブランダーズ	綾南オレンジ	かもめ SC	港南台 SC
1989	13	322	ゴールブランダーズ	日産 FC ブライマリー	FC 今宿茅ヶ崎	横須賀シーガルズ
1990	14	312	日産 FC ブライマリー	中里 A	玉縄 SC	駒林 SC
1991	15	324	原 FC	FC 辻堂	高谷 04	萩野 SC
1992	16	326	大庭 FC	成瀬サッカー	今宿少年	ゴールブランダーズ
1993	17	329	ゴールブランダーズ	日産 FC ブライマリー	FC 六会藤沢	日産 FC 追浜
1994	18	360	日産 FC ブライマリー	ゴールブランダーズ	ジュニアイレブン	野庭キッカーズ
1995	19	363	南百合丘 SC	黒滝 SC	FC 六会藤沢	下和田 SC
1996	20	375	FC 本郷	立野台 FC	日産 FC 追浜	日産 FC ブライマリー
1997	21	377	日産 FC ブライマリー追浜	富岡 FC	あざみ野 FC	駒寄 SC
1998	22	371	横浜フリューゲルス	あざみ野	早園 SC	横浜マリノス追浜
1999	23	370	あざみ野 FC	横浜 F・マリノス追浜	横浜 F・マリノス菅田	萩野 SC
2000	24	361	あざみ野 FC	南大野 SC	成瀬サッカー	ジュニアイレブン
2001	25	352	横浜 F・マリノス追浜	横浜 F・マリノス菅田	あざみ野 FC	日限山 FC
2002	26	370	SCH・FC	萩野 SC	横浜北 YMCA	FC 本郷
2003	27	386	横浜 F・マリノス	FC しらゆりシーガルズ	さぎぬま SC	FC 奈良
2004	28	392	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC	藤沢 FC	鳶尾ジュニア SC
2005	29	403	横浜 F・マリノス	橘 SC	バディーSC	FC 六会湘南台
2006	30	422	横浜 F・マリノス	横浜 F・マリノス追浜	足柄 FC	寒川少年 SC
2007	31	424	横浜 F・マリノス Pr 追浜	湘南ベルマーレ	バディーSC	藤沢フットボールクラブ
2008	32	436	川崎フロンターレ	バディーSC	横浜 F・マリノス Pr	あざみ野 FC
2009	33	437	川崎フロンターレ	バディーSC	FC パーシモン	あざみ野 FC
2010	34	444	バディーSC	SCH.FC	足柄 FC	FC パーシモン
2011	35	460	川崎フロンターレ	あざみ野 FC	横浜 F・マリノス Pr	横浜 F・マリノス Pr 追浜
2012	36	470	バディーSC	SCH.FC	FC パーシモン	横浜 F・マリノス Pr
2013	37	478	横浜 F・マリノス Pr	リトルジャンボ SC	バディーSC	ミハタサッカークラブ
2014	38	496	JFC フトゥーロ	あざみ野 FC	川崎フロンターレ	リバーFC

2015 年度から予選リーグ戦、決勝トーナメント方式に変更：決勝トーナメントは 11 月開催

2015	39	128	横浜 F・マリノス Pr	バディーSC	JFC フトゥーロ、海老名 FC
2016	40	128	横浜 F・マリノス Pr	バディーSC	SCH.FC、川崎フロンターレ
2017	41	128	川崎フロンターレ	あざみ野 FC	横浜 F・マリノス Pr、鴨居 SC
2018	42				

神奈川県少年サッカー選手権（高は L（U12）に、低は LL（U10）に相当する）：1 月開催

実施年	回	クラス	参加数	優勝	準優勝	第 3 位
1975	1	高	12	明治	鶴南 A	ゴールブランダーズ
1976	2	高	83	鶴南 A	明治	善行 A
1977	3	高 低	99 56	鶴南 A たちばなキッカーズ	いずみキッカーズ いずみキッカーズ	明治ファイターズ 羽鳥 C
1978	4	高 低	132 80	善行 A 村岡 E	浜見平 夏山	俣野ホークス 山王谷
1979	5	高 低	159 96	酒匂あかつき 天台 C	村岡 A 篠原つばめ	ゴールブランダーズ FC504 茅ヶ崎ベスト
1980	6	高 低	196 119	秋葉台 A 村岡 E	大庭 A ゴールブランダーズ	村岡 A 天台 A
1981	7	高 低	237 154	天台 A 成瀬	浜見平 横浜東	善行 A 山王谷
1982	8	高 低	265 182	天台 A FC 本郷	小和田 A 六会 E	村岡 A 荻野 SC
1983	9	高 低	312 188	草柳 SC 山王谷	駒林 SC FC 本郷	羽鳥 A 夏山 SC
1984	10	高 低	318 217	小和田 A 山王谷	秋葉台 A 下福田ボルト Jr	上和田 A 野庭キッカーズ
1985	11	高 低	330 249	FC 本郷 綾南ジュニアオレンジ	中里 A 瀬ヶ崎	山王谷 下福田ボルト
1986	12	高 低	331 264	伊勢山少年 SC 中里 4E	国府津 FC 夏山 SC	ゴールブランダーズ 小山台 SC
1987	13	高 低	314 266	FC 六会フジサワ 綾南 SC	ゴールブランダーズ 上郷 FC	中里 6A 東原 SC
1988	14	高 低	298 267	高谷 O4 駒林 SC	浜見平ジュニア SC 深園 SC	FC 六会藤沢 日産 FC プライマリ
1989	15	高 低	329 290	綾南オレンジ 日産 FC プライマリ	中里サッカー少年団 富岡 SC	立野台 FC あざみ野 FC
1990	16	高 低	325 290	日産 FC プライマリ ゴールブランダーズ	中里サッカー少年団 原 FC	横須賀シーガルズ 松延少年 SC 六浦少年 SC 鶴ヶ台スパイダーズ
1991	17	高 低	328 280	日産 FC プライマリ FC 隼	深園 SC 日産 FC プライマリ	中里 SC 荻野 SC
1992	18	高 低	329 276	六浦少年 SC FC 六浦藤沢 翼 SC	横須賀シーガルズ —	FC 緑少年少女 SC 駒林 SC
1993	19	高 低	335 305	日産 FC プライマリ FC 若北	横須賀シーガルズ さぎぬま SC	六浦少年 SC ゴールブランダーズ
1994	20	高 低	352 315	FC 六会藤沢 日産 FC プライマリ	日産 FC プライマリ 並木 SC	西鶴間 SC 南百合丘少年 SC 相武台ニューグリーン FC 本郷
1995	21	高 低	374 339	相武台ニューグリーン 日産 FC プライマリ	六会藤沢 FC 城郷 SC	日産追浜 成瀬サッカー
1996	22	高 低	386 351	あざみ野 FC あざみ野 FC	JESC 林間 SC	柏ヶ谷 SC 名向 FC
1997	23	高 低	396 345	横浜マリノスプライマリ 横浜マリノスプライマリ	横浜マリノスプライマリ追浜 成瀬サッカー	大沢 FC あざみ野 FC
1998	24	高 低	404 352	あざみ野 あざみ野	原 FC 若宮	湘南辻堂 原 FC
1999	25	高 低	402 342	ゴールブランダーズ 横浜 F・マリノス追浜	八つ橋 SC 原 FC	南百合丘少年 SC FC シリウス
2000	26	高 低	386 332	駒林 SC 横浜 F・マリノス Pr	あざみ野 FC あざみ野 FC	さぎぬま SC 明治 SSS

2001	27	高低	384 324	横浜 F・マリノス Pr 横浜 F・マリノス Pr	横浜 F・マリノス菅田 さぎぬま FC	横浜 F・マリノス追浜 黒滝 SC
2002	28	高低	388 337	あざみ野 FC 横浜 F・マリノス追浜	明治 SSS あざみ野 FC	横浜 F・マリノス さぎぬま FC
2003	29	高低	387 333	横浜 F・マリノス Pr 横浜 F・マリノス Pr	バディー SC 酒匂あかつき	湘南ベルマーレ あざみ野 FC
2004	30	高低	399 364	横浜 F・マリノス追浜 横浜 F・マリノス	瀬谷 FC バディー SC	FC コラソン 綾南オレンジ
2005	31	高低	409 384	横浜 F・マリノス追浜 バディー SC	SCH. FC 横浜 F・マリノス	藤沢 FC SCH. FC
2006	32	高低	415 397	バディー SC 横浜 F・マリノス	綾南オレンジ J. スポーツ	湘南ベルマーレ 中野島 FC
2007	33	高低	432 406	横浜 F・マリノス バディー SC	南が丘 SC 横浜 F・マリノス	横浜 F・マリノス追浜 黒滝 SC
2008	34	高低	435 408	横浜 F・マリノス追浜 バディー SC	湘南ベルマーレ 大豆戸 FC	横浜 F・マリノス Pr パーシモン
2009	35	高低	442 408	バディー SC バディー SC	横浜 F・マリノス Pr 原 FC	足柄 FC SCH.FC
2010	36	高低	450 424	川崎フロンターレ 横浜 F・マリノス追浜	横浜 F・マリノス追浜 横浜 F・マリノス Pr	湘南ベルマーレ FC カルバ
2011	37	高低	455 425	横浜 F・マリノス Pr バディー SC	足柄 FC あざみ野 FC	川崎フロンターレ 横浜 F・マリノス Pr
2012	38	高低	462 432	横浜 F・マリノス追浜 横浜 F・マリノス Pr	バディー SC 友愛 SCJ	横浜 F・マリノス Pr SCH.FC
2013	39	高低	476 450	横浜 F・マリノス Pr 横浜 F・マリノス Pr	川崎フロンターレ JFC FUTURO	横浜 F・マリノス追浜 バディー SC
2014	40	高低	483 455	横浜 F・マリノス Pr 横浜 F・マリノス Pr	川崎フロンターレ SCH.FC	川崎ウィングス FC はるひ野
2015	41	高低	493 453	SCH.FC バディー SC	リトルジャンボ SC 伊勢原 さぎぬま SC	横浜 F・マリノス Pr ジュニオール SC
2016	42	高低	491 456	バディー SC 横浜 F・マリノス Pr	横浜 F・マリノス追浜 バディー SC	川崎フロンターレ FC パーシモン
2017	43	高低	490 441	SFAT ISEHARA SC バディー SC	横浜 F・マリノス Pr SFAT ISEHARA SC	足柄 FC JFC FUTURO
2018	44	高低	499 456	横浜 F・マリノス Pr 横浜 F・マリノス Pr	川崎フロンターレ バディー SC	JFC FUTURO SCH.FC

－編集後記－

記念誌編集にあたりましては、まずは横浜サッカー協会 4 種委員会およびサッカーチームの方、地元で校庭を利用させて頂いている小学校、中学校の校長先生方、地元地域の自治会／スポーツチームの方から御祝辞をいただき、誠にありがとうございました。この場をおかりして厚く御礼申し上げます。

30 期以降の歴代キャプテンの方々には、すでに社会人となり忙しくされている方や大学受験を控えている方などいらっしゃいましたが、時間のない中でチーム紹介文を引き受けていただきました。また、コーチ OB の方々も快く寄稿依頼を引き受けていただきました。誠にありがとうございました。

今回の記念誌につきましては、チーム創立からの出来事を年表にまとめ、近年の年代を 30 年史、40 年史のコンセプトでチーム成績、メンバー紹介、トピックス等を紹介する 2 部構成で制作しました。たちばなのこれまでの歴史をプレーヤー（子供達）中心にまとめることを心がけ、過去の記念誌の内容も引用させていただき何とか今回の発行にこぎつける事が出来ました。数多くの方々から、原稿、写真等の資料を提出して頂き、ご多忙中にもかかわらず御協力頂き、誠にありがとうございました。一方、年代によりましては十分な資料が揃わず、戦績、メンバー紹介等の内容が不十分となってしまいました事を深くお詫び申し上げます。

最後に、記念誌編集に際しましては、編集委員の皆様をはじめ、たちばなキッカーズ関係者の皆様まのご協力に感謝すると共に、印刷／製本をして頂きました有限会社ワコーの皆様に深く感謝いたします。紙面をおかりして厚く御礼申し上げます。

（菊田）

たちばなキッカーズ創立 50 周年記念行事実行委員会組織

統括責任	宍戸 正人
記念式典	浦崎 鉄平、菊田 淳、吉田 泰介 浦崎 淳子、三枝 美由紀、栗田 美佳、藤川 ちあき
記念品	八瀬尾 大輔、高田 聖子、櫻井 望
記念誌	菊田 淳、宍戸 正人、三木 健司、山田 倫之、宮崎 達夫
記念大会	三木 健司、大谷 稔、菊田 淳
会計	中澤 美緒、高橋 靖子
ユニフォーム	吉田 泰介、川村 亮介、山田 倫之

たちばなキッカーズ創立 50 周年記念誌

発行	たちばなキッカーズ 創立 50 周年記念行事実行委員会
印刷所	有限会社ワコー
発行日	平成 30 年 11 月 23 日

VC

TACHIBANA

